昭和24年3月19日第3種郵便物認可　昭和36年9月20日印刷　昭和36年9月25日発行　第42輯第9号（毎月1回25日発行）

建築と社会

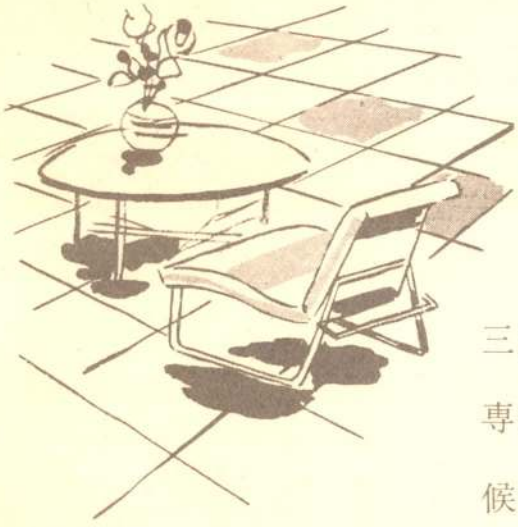
建築とリクリエーション特集

9／1961



日本建築協会

明るい床材
三星プラスタイル



三星アスファルトタイル
三星Pタイル（2耗厚）
三星マチスタイル

規格寸法　304.8㎜×304.8㎜　厚サ 3.2㎜

価格　3.3平方米　2,300円 ～ 4,800円（材工共）

三星の弾性床タイルは何れも製法の専売特許品で、日本の多湿多雨の気候でも優れた性能をもつ、舶来品の追随を許さない製品です。

● 屋外には使用出来ません

● 各製品毎のカタログ見本
技術報告書を御請求下さい

◆ 特　徴

施工後故障が少い・工期が早い
価格が手ごろである・手入掃除が簡単
色彩が自由に選沢出来る・永持ちする

三星ルーフイングの

田島応用化工株式会社

工場小台営業所　東京都足立区小台町633　TEL (911) 1181(代)
本社神田営業所　東京都千代田区神田岩本町13　TEL (866) 6148(代)
大阪出張所　大阪市西区京町堀上通1～14　TEL (44) 5951(代)
夜間管理人室用　TEL (44) 9910(代)

日東紡の新建材



丈夫で明るい採光材の決定板



美しく丈夫なプラスチック床材

日東紡 FILON Fファイロン ニットータイル

日東紡績株式会社

東京本社 東京都中央区八重洲6－1 電(281)0211　大阪支店 大阪市東区高麗橋5－1 電(202)1301

名古屋営業所 名古屋市中区御幸本町通り9－8 電(23)0945・4414　福岡出張所 福岡市橋口町15－1 電(74)8992

皆様の設計と施工に東洋の床材



リノリューム
リノタイル
ビニール系新製品
ビニラートタイル
ビニール製
スポンジシート

◇ソフトな感触
◇優秀な耐久力
◇美しい色彩

カタログ進呈

東洋リノリューム株式会社

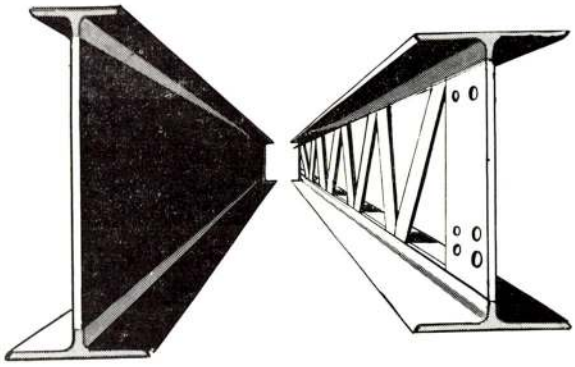
本社工場 兵庫県伊丹市伊丹558
電話 伊丹 代表3531・大阪㊽4490

東京支店 東京都中央区銀座4 三和ビル
電話 (561)1701・2564

大阪事務所 大阪市東区瓦町2 三和ビル
電話 (23) 0375～0379

新時代の建設には新時代の形鋼

NKK-T形鋼



用途
- 各種I, H, T形鋼用
- 各種オープンウエブ材用
- 非対称断面形鋼用

特長
- 溶接が容易
- サイズが豊富

NKK

日本鋼管

本社　東京都千代田区大手町
大阪営業所　大阪市東区今橋5の23

505型 七年間研究の成果
MPボイラ

重油炎許可なしで
伝熱面積50m²以下で
蒸発量3.5Ton 以上
ボイラ効率85%以上



株式会社 平川鐵工所

本社・工場　大阪市大淀区大仁西2－1　電(45) 1975(代)
東京営業所　東京都中央区八重洲6－7　電(281)7787(代)3100
九州営業所　小倉市富野525　電(5)4862

あなたの忠実な…

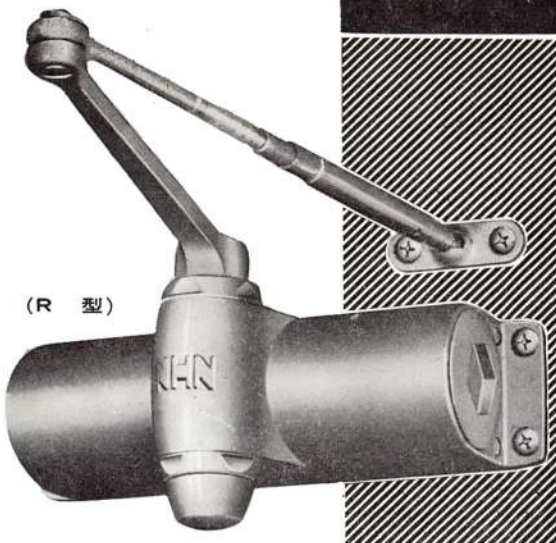
ドアーボーイ！

NHN

＊紫綬褒章に輝く＊

日・米・英・独，各国特許

ニッカナ ドアーチエック



(R 型)

型状優美
故障絶無

日本金具製作所

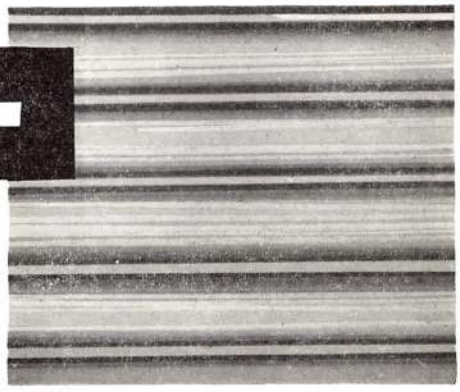
製造元 ダイハツ工業株式會社

亜鉛鍍金の上に塗装した

東洋シヤッター

キングスプリングシヤッター

見えない所まで心をくばった……



■スプリングシヤッター ■重量スプリングシヤッター

■自動シヤッター ■手動電動スチールシヤッター

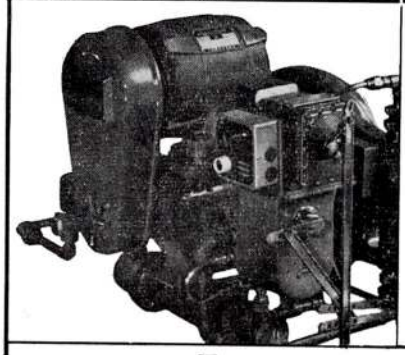
東洋シャッター株式会社

本社・工場　大阪市西淀川区佃4ノ33 TEL㊼−2812〜3・3116・0414
東京支店　東京都大田区新井宿5ノ547 TEL (771)−1171
名古屋支店　名古屋市中区下日置町2丁目7番地 TEL㉜ 5954・6324
出張所　岐阜、京都、神戸、横浜、津、福岡
その他出張所特約店は全国主要都市にあり

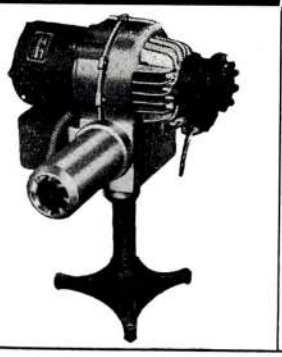
詳細カタログ呈上

最高水準を行く

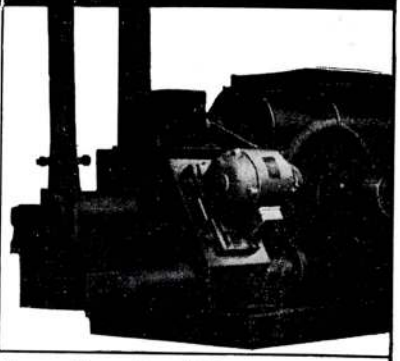
サンレー 重油は
全自動 ロータリー
重油バーナー



サンヒート 軽油は
全自動 ガンタイプ
軽油バーナー



サンレー 石炭は
全自動 ニューマチック
スプレッダー ストーカー



NIKKYO
日共冷熱機材株式会社
本社 大阪市大淀区天神橋筋六丁目五（天六阪急ビル）
電話 大阪 ㊽ 代表 1476（直通）7071（交換）
東京出張所 東京都千代田区神田神保町1丁目
電話 東京 (291) 2718

最も進歩した建築には最も進歩した床材
ビニアスタイル（2粍厚）



新製品
K－タイル（1・5粍厚）
アスタイル

藤森建材株式会社
東京本社 東京都中央区日本橋通1―2(大倉ビル) TEL (271) 6432～5
大阪営業所 大阪市東区博労町2―65(藤森ビル) TEL (27)3191～5・7385
福岡営業所 福岡市薬院大通2―73 TEL (74) 1945 (75) 3473
札幌営業所 札幌市南二条西10丁目 TEL (4) 2511～3

アスファルト防水は年限保證する
日本アスファルト防水工業会の仕様による
経験と技術の工業会員へ

日本アスファルト防水工業会員名簿　（イロハ順）

地区別	会社名	住所	電話
北海道地区	日本スレートKK	札幌市北三条東4—1	②3458・4426
東北地区	大和工業KK 仙台出張所	仙台市二日町1—2	③7790・②0335
関東地区	井上瀝青工業KK	東京都中央区銀座東2—13	(541)1974-5
	伊藤建材KK	東京都台東区浅草田島町77	(871)5311(841)5729
	北条瀝青工業KK	東京都中央区湊町3—7	(551)2676・4382
	YK金岡興業	東京都新宿区柏木5—1172	(361)5947・(371)1337
	高山工業KK	東京都千代田区神田小川町1—8	(251)0161-3・1301-2
	瀝青建材KK	東京都中央区銀座東3—11	(541)6945・7834
	桑原建材KK	東京都文京区新諏訪町6	(921)0448・0647
	大和工業KK	東京都荒川区南千住6—42	(891)1144-6・7155-7
	マサル瀝青工業KK	東京都台東区新坂本町61	(841)8501・(871)2851
	藤井工業KK	東京都文京区林町94	(941)0271・2582
	KK三柏商会	東京都千代田区神田同朋町3	(251)8867・7517
	KK金港商店	横浜市西区高島町1—1	㊹7846・8476-7
東海地区	中央建材工業KK	名古屋市中区南久屋町3—12	㉔0496・2066・8700
	日本建材興業KK	名古屋市西区南押切町5—12	㊺6860・2574・0415
近畿地区	日新工材KK	大阪市西区新町北通1—17	㊹3785-6・2721
	マルエス工業KK	大阪市福島区上福島南1—152	㊺2360・2030
	KK新光商店	大阪市南区塩町通2—13	㉖7195-7・4467
	高山工業KK 大阪営業所	大阪市北区老松町2—19	㉞5976-8
	清水興業KK	大阪市北区鶴野町34	㊲0251-3
中国地区	豊永建材KK	広島市南竹屋町103	④3567
	東中國防水工業YK	岡山市磨屋町22	③2211・6302
四国地区	大三工業KK	高松市内磨屋町7	②8697
	KK山本商会	松山市萱町2—95	②2717・8422
九州地区	日新興業KK	延岡市本小路74	4305
	大同工業KK	宮崎市橘通6—82	8155-6
	KK工材社	門司市大里東通10丁目	㊳1468-9
	安藤工事KK	福岡市大浜1丁目新町95	②6968・③5765
	KK北原建材商会	鹿児島市上之園町62	④0001-2

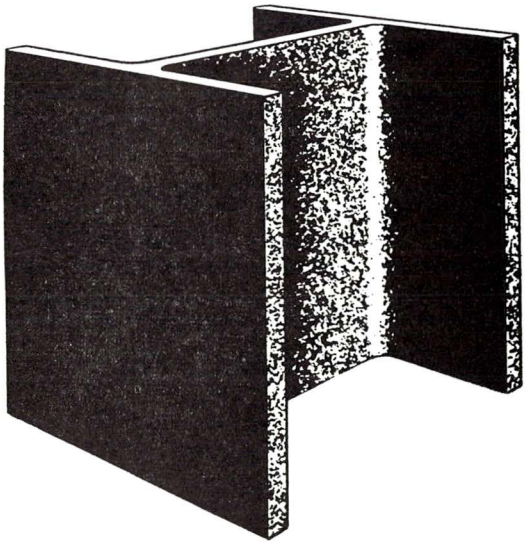
日本アスファルト防水工業会関西事務所

大阪市西区新町北通1-18　日新工業KK大阪営業所（53）5281-3

● 明日の日本を礎く……

H形鋼

■ 構造用H形鋼
■ 基礎杭用H形鋼



用途

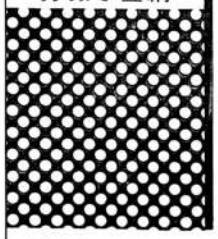
- 基礎杭
- 仮設
- 地下鉄
- 建築
  - ビル
  - 工場
  - 発電所
  - 学校
  - その他
- 隧道
- 橋梁
- 鉄塔、鉄柱
- 港湾
- 桟橋
- 船舶
- 機械



八幡製鐵株式會社

KYOWA

打抜き金網



■カタログ進呈■

協和の建築金物！



オールプラスチック製
二枚羽根丸型
レヂスター



協和実用新案ＣＦ４
防臭用ダストシュート



新案
握玉付シリンダー錠



箱型
レール用ドアーハンガー

協和産業株式会社

本　　仕　大阪市東区本町５丁目１１番地
電　話（代表）　大　阪　25 － 5978　番
（御堂筋本町４丁目交叉点　西へ半丁北側）
東京出張所　東京都千代田区六番町１５番地
電　話（代表）　東　京　301 － 0624　番
（国電四谷駅南口　主婦連合会館東隣）
工　　場　大阪市都島区内代町４丁目１番地
電　話（代表）　大　阪　33 － 4431　番

新製品

富士印ビニコンレール

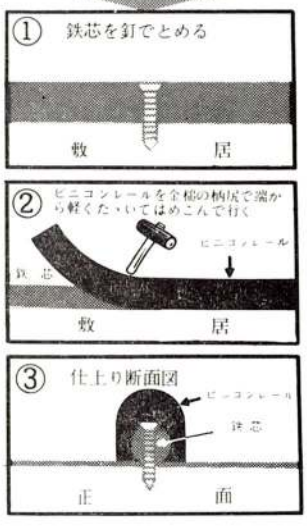
ビニールレールの革命

折れない!!
曲らない!!
釘頭が出ない!!
ゴトゴト音がしない!!

ビニコンレールの特徴

＊ＪＩＳ規格の一級材を使用しておりますので品質が均一で折れません。
＊釘頭が全く外に出ないので、ゴトゴト不愉快な音がしません。
＊温度変化に対して、曲ったり折れたりしません。
＊取付は至って簡単です。
＊色彩が優雅でどこにでもご使用になれます。

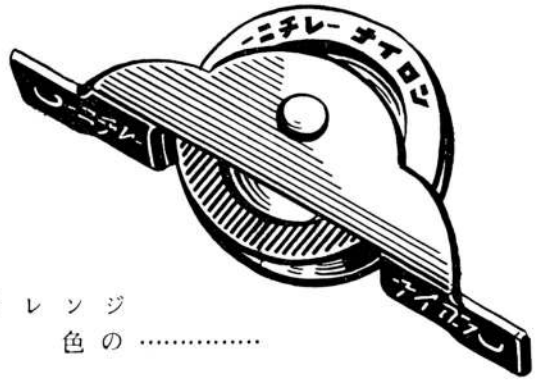
ビニコンレールの
取り付け方



製造元
株式会社藤本鋳造鉄工所
ＴＥＬ　大阪（301）２５３７
ＴＥＬ　東京（331）５３７６

総発売元
大阪鋼材株式会社
ＴＥＬ　代表（54）１１６１

ニチレ ナイロン 戸車

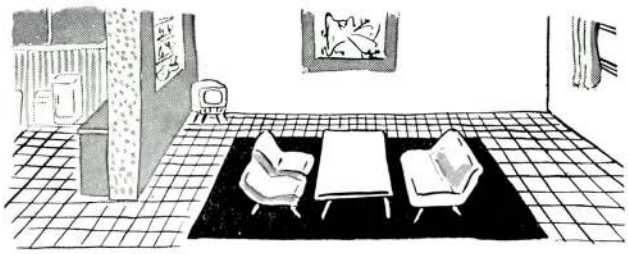


オレンジ
色の……

静かで
くさらず
永久に

規格寸法	種類
25m/m（8分）	鉄枠丸平
30m/m（1寸）	イモノ枠丸平袖
36m/m（1寸2分）	ナイロン枠 丸平
43m/m（1寸4分）	三種類アリ

Nitiray Nylon



手軽に買える 豪華な品質！

- パイルはナイロン１００％ですから、摩耗に対して強く、永持ちして経済的です。
- 裏は特製スポンジですから、心地よいクッションがあります。
- 染色は鮮明で美しく、堅牢染ですから、日光や洗濯に対しても変・褪色しません。
- 軽くて取扱いが簡単です。ゴミは電気掃除機では勿論、ふつうのほうきでも簡単にとれます。
- 施工方法は簡単ですから、容易にお好みの寸法に仕上げられます。

日本レイヨンの NIPPON RAYON'S

ニチレ® ナイロン ノーブル カーペット

総発売元

日本レイヨン株式会社　　伊藤萬株式会社

最新の設備　優秀の製品

三和シヤッター



建設大臣登録
(ト)4082

甲種・乙種防火シヤッター
電動式・手動式・スプリング式
其他のシヤッター全般

三和シヤッター株式会社

本店	尼崎市久々知字コエ23	電代表(40)5341
札幌支店	札幌市琴似町琴似522	電(3)7438 (5)1519・6873
旭川営業所	旭川市常盤通三丁目	電 5097
帯広出張所	帯広市西2条南7丁目6	電 3856 3857
東北支店	仙台市土樋112	電(3)3296・9618
秋田営業所	秋田市牛島山虎ノ口外張新町九	電 2783
新潟営業所	新潟市春日町西2丁目	電 (3)1443
盛岡営業所	盛岡市茶園城ヶ町1丁目14	電 (2)7407
東京支店	東京都新宿区新宿1丁目60	電(34)2478・3696・9678(351)9226
神田営業所	東京都千代田区神田松住町12 山京ビル	電(251)6278 (291)3841～4
横浜営業所	横浜市中区弁天通3丁目45	電 (2)7278
高崎営業所	高崎市下和田町429	電 2166
宇都宮営業所	宇都宮市旭町1丁目3428	電 7722
甲府営業所	甲府市紅梅町21	電 2442
名古屋支店	名古屋市中村区広井町2丁目46八洲ビル	電(54)2846(55)9786
静岡営業所	静岡市音羽町188	電 (3)2846
長野営業所	長野市妻科町739	電 (2)5292
松本出張所	松本市袋町149	電 2497・4744
四日市出張所	四日市市四ッ谷新町2823	電 2443
大阪支店	尼崎市久々知字コエ23	電代表(40)5341
大阪南営業所	大阪市阿倍野区三明町1丁目22ノ3	電 (77)8217
大阪北営業所	大阪市大淀区天神橋筋8丁目23	電 (35)9800
神戸営業所	神戸市葺合区生田町3丁目23	電 (2)0189
京都営業所	京都市中京区新町通御池上ル中之町42	電 (22)0900
金沢営業所	金沢市栄町65	電 (3)3130
彦根営業所	彦根市四番町88	電 2053
高松営業所	高松市塩上町809	電 (3)4290
高知営業所	高知市旭町3丁目50	電 (2)1576
徳島営業所	徳島市船場町2丁目12	電 (2)0659
広島営業所	広島市千田町3丁目856	電 (4)3756
九州支店	福岡市渡辺通5丁目92	電(75)5181(75)6901
熊本営業所	熊本市南千反畑町162	電 (2)0893
佐世保営業所	佐世保市島瀬町140	電 5513
鹿児島営業所	鹿児島市平野町119	電 (2)6762

一本の

チェーンの

ベネシヤン
ブラインド

特許

Uni Con

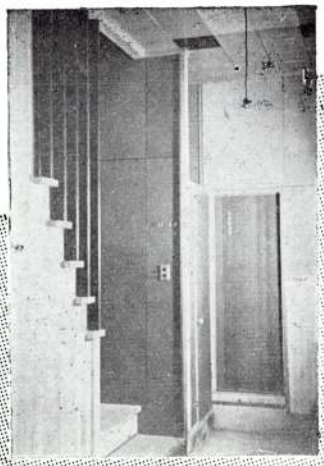
日米ブラインド工業株式会社

本社　東京都中央区日本橋江戸橋3～7　TEL (271) 7505－8
出張所　大阪(64)0495 名古屋(97)8326 北海道(4)2511－3 仙台(2)5977
富山(4)6077・5606・金沢(2)0991・福岡(5)1912・広島(4)6524

新 防火材
アルマイト吸音板
ヤハズラス
木毛セメン特殊板

建 化粧板
メラミン樹脂製品
ボード特殊合板
プラスチック製品

材 吸音断熱
スロール天井板
大建ボード
スロール断熱板

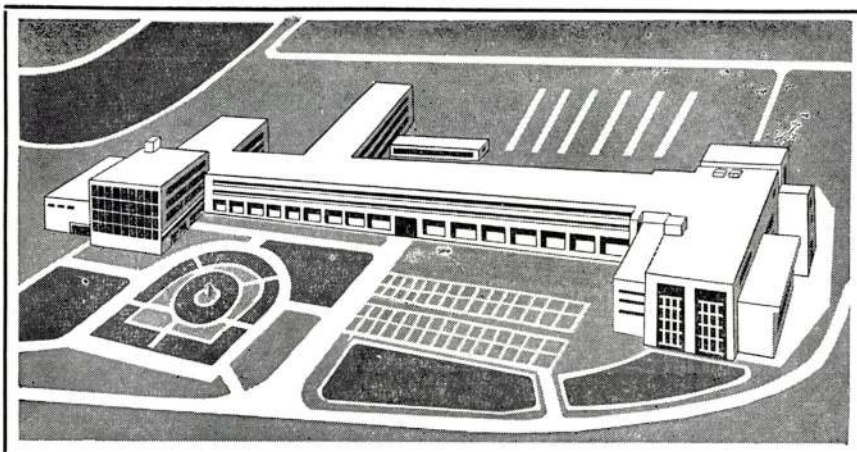


ロッカ
トモエ
生きる近代建築に
魂ある文化材

モデルハウス展示
すまいの開発店
西区立花通2電(53)2843

30メーカー代理店

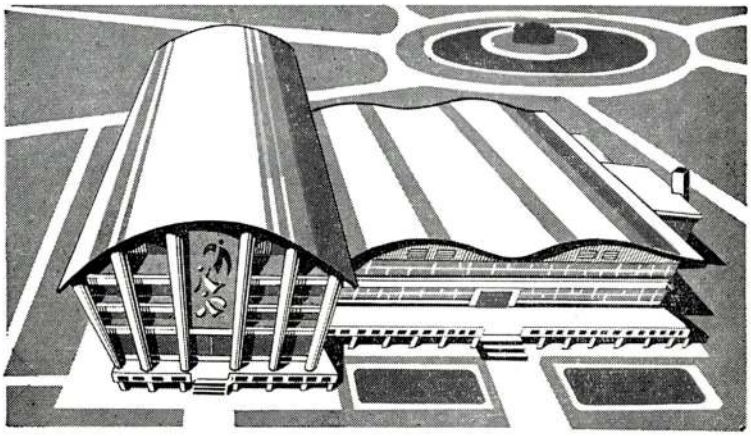
大阪・四ツ橋
株式会社 山東建材社
TEL (54) 1861～5・2131・2233



軽量、緩勾配屋根に
軽快な近代建築材

日泝スーパーアルソイド
日泝ゴールデンルーフイング

伸縮目地材　エキスパンタイト
　　セロタイト
コーギング材　シールセメント



日泝化学工業株式会社

本　　社　東京都中央区八重洲1—3
　　TEL(271)7000・5463～5
営業所及東京工場　東京都荒川区尾久町6—101
　　TEL (807) 代表 0161～5

大阪営業所及大阪工場
　　大阪市東淀川区堀上通り3—39
　　TEL(39)0924～5・2045・2079

東陶の衛生陶器と付属金具

L-92 に代る

L-220

オパール



ビル・アパートはもとより一般住宅

にも御採用頂けるよう寸法や価格の点では従来最もよく

Toyotoki 御愛用頂いていた製品L－92を基準として考慮いたしました。

定　価

陶　器(1級)L 220 ¥ 2,750

金　具(Toyotoki印)

立水栓 T205Y
@¥ 600 (2個) ¥ 1,200

止水栓 T4AY
@¥ 670 (2個) ¥ 1,340

排水金具 T6P ¥ 1,210

バックハンガ
取付木ネジTL220D ¥ 200

計 ¥ 6,700

参考定価

陶　器(並級)L 220 ¥ 2,200

金　具(TTK印)

立水栓 K205Y
@¥ 510 (2個) ¥ 1,020

止水栓 K4AY
@¥ 570 (2個) ¥ 1,140

排水金具 K6PC ¥ 1,030

東洋陶器株式会社

本　社
小倉市篠崎町458　TEL ⑤ 2481～5

大阪営業所　大阪市東区高麗橋5—32　TEL ㉓ 4518～9

各地営業所　東京・名古屋・小倉・広島・高松・札幌・仙台・富山　TEL 2105～8

茅ヶ崎工場
神奈川県茅ヶ崎市



床材の王座（キング）！

ロンタイルK

30 cm × 30 cm ・ 厚さ 2 mm

新発売

ロンリウムK

182 cm 巾 ・ 厚さ 2mm、3mm ・ 長尺

従来のロンリウム・ロンタイルの姉妹品として、川口ゴムの最新の設備で完成したビニル新床材で、色調・摩耗性・耐燃性・耐油性など格段と優秀性を有します。ロンリウムK・ロンタイルKはいずれも全層同質で耐摩耗が強化され、然もソフトな質感は公共建築・ビル・車輌の床にピッタリとし価格も一層経済的になっています。

ロンプレート
網入等各種類そろった塩ビ波板

ニューロンプレート
使いやすい、トタン小波の普及品

ロンガラス
用途の広い、透明・半透明塩ビ平板

ロンフイックス
丈夫で汚れない最新の壁・襖貼材

ロンリウム
品質随一と定評のある床張材

ロンタイル
あらゆる床にマッチする美しい床材

川口ゴム工業株式会社

本社・工場　東京都葛飾区本田四ッ木町54　電話　東京(697)6141(代表)
蒲生工場　埼玉県越谷市大字蒲生2740　電話草加(087)2033蒲生112
外国部　東京都千代田区神田錦冶町2—16　電話　東京(291) 3588～9
神田営業所　東京都千代田区神田錦冶町2—16　電話　東京(291) 0003～4
大阪営業所　大阪市南区北炭屋町33　電話　大阪(27) 4358～9



梁の被害

白蟻

の駆除予防工事専門

諸官庁・諸会社御指定

調査無料!!

全国各地方に社員が出張いたしておりますから
遠近に拘らず御一報次第蟻害対策の御相談に参
上致します

和歌山市小松原通四丁目一番地（日赤病院前）

前田白蟻研究所

電話（和歌山）②１３８９番

建物樹木の害虫

白　蟻

イエシロアリの巣





イエシロアリの一族

和歌山市小松原通四丁目一番地(日赤病院前)

前田白蟻研究所

電　話（和歌山）②１３８９番

毎日放送千里丘総合社屋
と千里丘呉羽寮見学会

毎日放送千里丘総合社屋と千里丘呉羽寮見学会

（大阪府建築士会・共催）

1. 日　時　9月22日（金）午後1時30分（集合）――5時（解散）
1. 集合所　大阪駅西口バス駐車場，目標・京阪観光バス
1. 申　込　電話で20日までに願います。貸切バス1台（60名）で締切ります。

1. 建物概要

毎日放送千里丘総合社屋

位置　吹田市山田下297番地
工期　昭和35年10月～昭和36年8月
設計監理　日建設計工務株式会社
施工　株式会社 大林組
事務所ブロック　鉄筋コンクリート造4階建　延3,545.17m²
スタジオブロック　鉄筋コンクリート造・1部鉄骨造4階建・塔屋付　延5,431.83m²
他に別館，機械室，大道具室，車庫など

呉羽紡績株式会社千里丘呉羽寮

位置　吹田市大字山田字北原
工期　昭和35年11月～昭和36年8月
設計　東畑建築事務所
監理　呉羽紡績株式会社営繕課
施工　株式会社勝呂組大阪支店
鉄筋コンクリート造3階建　延1,050，705m²
付属建物2階建鉄筋コンクリート造（食堂・浴場・洗濯所（管理人室）609,235m²　延1,659.94m²

「建築からみた照明」
公開座談会

本会後援　公開座談会

「建築からみた照明」開催通知

1. 主　催　関西照明普及委員会
1. 日　時　9月22日（金）1時30分より
1. 会　場　関電ホール（中之島・関電ビル地下）
1. 講　師　KK 竹中工務店　小川　正氏
　坂倉準三建築事務所　西沢文隆氏
　日建設計工務KK　生方文次氏
　上田垣太郎氏
　その他　関西照明普及委員会委員数氏

日 本 生 命 中 之 島 ビ ル 見 学 会

（大 阪 府 建 築 士 会 ・ 共 催）

日本生命中之島ビル
見学会

1. 日　　時　9月27日（水）午後3時（集合）～5時（解散）
1. 集 合 所　標記建物正面玄関
1. 申　　込　電話で25日までに願います。定員150名
1. 建物概要

設計・監理	日本生命保険相互会社不動産部 株式会社竹中工務店設計部
施　　工	株式会社竹中工務店
所 在 地	大阪市北区常安町27
敷地面積	3,558.085m²
延 面 積	14,724,181m²
構造，規模	鉄骨鉄筋コンクリート造　地下2階，地上10階 塔屋3階
使用概要	研修用教室，研修生個室宿舎231室，集会所， 大講堂，食堂，喫茶室，文化研究所などの施設 あり。社員の再教育を主たる目的とする。
工　　期	昭和34年12月～昭和36年9月

理　事　の　辞　任　と　逝　去

理事の辞任と逝去

このたび次のとおり理事に異動がありましたのでお知らせ申します。

記

理　事　諫早信夫君　東京転任のため辞任
理　事　市川洸男君　病気のため8月29日逝去

以上

要望書提出

要　望　書　提　出

このたび下記のとおり，関係団体連署の上それぞれ要望書を提出致しましたので，お知らせ申します。

官公立大学工学部建築学科拡充に関する要請書

最近の日本経済の成長は，各産業技術の革新を軸として，その速度を加速度的に高めており，したがつてその経済成長を物質的にささえる建設活動も最近ますますその大規模化と技術的高度化の方向を強めております。建築の分野に限つてみてもその傾向は例外ではなく，したがつて高度な建築技術と実務能力とを備えた高級建築技術者および，建築技術の分野拡大と専門分化に即応する建築関係研究者に対する需要も近年著しいものがあります。さらに建設活動の活発化していく現状の中で，都市計画の総合性と企画性とを欠いた建設がかえつて都市の困乱を助長しているとき，都市計画技術者の必要性と建築家の都市計画への積極的参加が強く要請されております。しかるに，それらの都市計画，建築関係の技術者および研究者を養成すべき教育体制が現在その要請に応ええず，それら技術者の不足が痛切に叫ばれていることは，政府当局をはじめ各界有識者の，日本経済に占める都市計画および建築の重要性に対する認識の脆弱さを物語るものであり，まことに遺憾に存するとともに，その問題が将来日本の経済発展のひとつの大きな隘路となりかねない状勢を憂うる次第であります。

最近日本建築学会教育委員会が行なつた官公立大学の建築学科増員計画に関する調査結果においても，その73パーセントがこの1，2年の間に定員を増員したい希望をもつており，その増員総数千百名を数えております。この数は現在の状勢における最小限の増員希望数とみなされるものであり，したがつて当局におかれましては，少なくとも現在でているこれら増員計画の実現には特別の配慮をなされますとともに，当局における建築学科拡充計画を確立されますことをここに要請いたす次第であります。

なおそれら増員計画の実現には，それに即応する各大学の施設の拡充と現在の建築技術の高度化に伴なう教科内容の再編成が必ず行なわれなければならない点をご認識の上そのための適正な処置を1日も早くとられますことを併せて要請いたす次第であります。　以上

昭和36年8月8日

社団法人	日本建築家協会	会長　前川国男
社団法人	日本建築学会	会長　木村幸一郎
社団法人	全国建設業協会	会長　大林芳郎
社団法人	日本建築士会連合会	会長　石井桂
財団法人	建築業協会	理事長　竹中藤右衛門
社団法人	日本建築協会	会長　尾崎久助

提出先

文部大臣　荒木万寿夫殿
大蔵大臣　水田三喜男殿
科学技術庁長官　三木武夫殿

建築設備の専門科設置に関する要望書

平素建築教育につき多大のご配慮をいただき感謝の至に存じます。

近年産業界の各方面において技術者の不足が強く訴えられておりますが，建築界におきましても全くどうようで，ことに戦後急速に発展をみました建築設備関係におきましてはとくにこの感を深くするものであります。

ご高承のとおり最近における建築設備の向上進歩と設備工事の発展は実に目をみはるものがあり，その建物総工費に占める設備工事費の割合は，戦前15%程度でありましたものが，戦後は30～50%の比重を示すに至り，その工事費総額は近年1千億円を大きく超える状態であります。

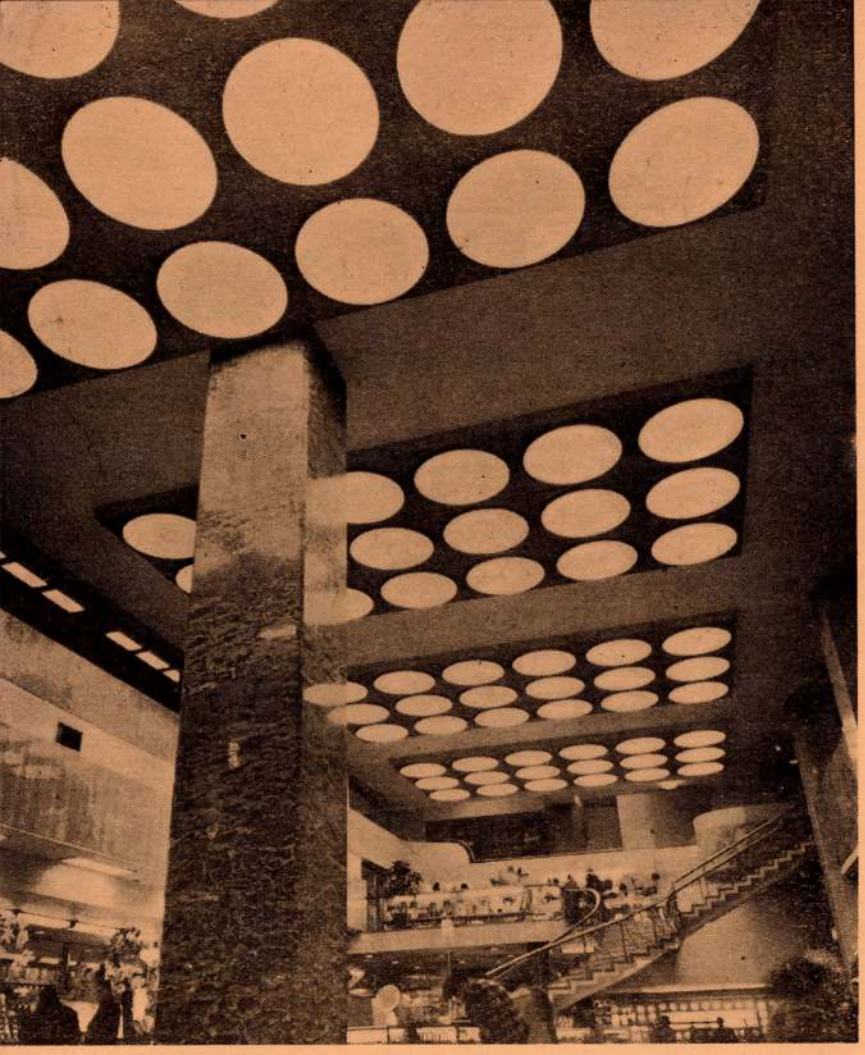
しかるにこれに従事する技術者の数ははなはだ少数でその増員育成は焦眉の急と考えられておりますが，これらの設備技術者の教育施設としては，建築設備に関する専門科を設置してある学校は全国で数校を数えるにすぎず，ために技術者の多くは他の専門科目の修得者を再教育の上転用せざるをえない実状であります。かかる事情のため優秀な人材を設備界に迎えることがはなはだ困難であり，これはこんご社会の進歩に伴なつてさらに一層の発展を期待される設備界にとつてはまことに憂うべき事態であるとともに，他の専門科目修得者を転用のために再教育をするという人物不経済を解消するためにも急速な専門教育機関の増設が痛感せられる次第であります。

仄聞するところによれば，昭和38年度には府下に5校の工業高等学校が新設せられる趣でございますが，上記の趣旨により，なにとぞこの機会に，この新設の工業高校に建築設備に関する専門科を設置下さいますよう特別のご高配を賜わりたく要望申し上げます

昭和36年8月24日

社団法人	日本建築協会	会長　尾崎久助
社団法人	大阪府建築士会	会長　渡辺節
大阪建設業協会		会長　大林芳郎
社団法人	日本建築学会近畿支部	支部長　元良勲
社団法人	日本建築家協会関西支部	支部長　村野藤吾
大阪府管工事業協同組合		理事長　石田憲二
大阪府電気工事工業協同組合		理事長　山本龍太郎

大阪府教育委員会殿



大阪そごう光り天井

カタログ進呈・誌名ご記入の上ご請求下さい。

七大特色

- 軽くて強靱である。
- 加工が自由，特に曲面加工が容易である。
- 光学的に光線透過率が優れている。
- 光学的にエッジライティング・パイプラティングの効果を有する。
- 電気絶縁性が良行である。
- 耐水，耐熱，耐化学薬品性が優れている
- 着色が自由である。

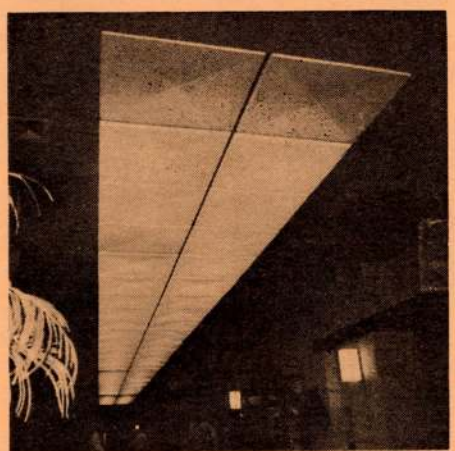
用　途

サトリウム，サンルーム，その他の窓ガラスにホール，工場，商店街等の採光用に……特殊波型アクリライトドアー（アクリドアー）間仕切に，階段手摺，腰板，壁面，装飾柱，カウンタートップに，各種電気機械器具および部品，ルーバー，照明器具カバーに，屋内表示板，屋外看板，広告照明灯，店内装飾に。

すきとおる美しい光のプラスチックス！

アクリライト®

ACRYLITE®



宝塚劇場ルーバー

三菱レイヨン株式会社

本　店　東京都中央区京橋2の8（新光ビル）　TEL（281）5551（代表）
支　店　大阪市北区中之島2の22（新朝日ビル）　TEL（202）2241（代表）
　　名古屋市中村区堀内町4の1（毎日会館）　TEL（55）7131（代表）

鉄骨鉄筋コンクリート構造設計実例集・会員特価注文書

会員特価2,900円　送料200円　　定価3,500円　送料200円

冊　数	金額(送料を含む)	支 払 い 方 法
		注文と同時に送金
		図書到着後に送金

送 附 先
(所在地・会社名)

注文者名	勤務先名・所在地
	電話（　）　番

郵便料金
受取人払
大阪東局
承認第693号

（切手不要）
差出有効期間
昭和36年11月
20日まで

郵便はがき

（受取人）

大阪東郵便局区内
北浜三ノ三七

社団法人 日本建築協会
出版部 行

（通信欄）

日本建築協會・新刊図書案内

発刊・10月下旬

鉄骨鉄筋コンクリート構造設計実例集

発刊のことば

石崎澈雄

建築構造に関して出版された書物は多いが，実際に建てられた建築物の構造やその設計過程を明らかにしたものは少ない。しかも，鉄骨鉄筋コンクリート造の場合などは，でき上っている建物を見ても，主たる構造はコンクリートを被っているために，これを知ることができない。

本書は実在の建物の構造とその設計方法を示すために，最近つくられた代表的なビルディングの構造図面と計算書に施工中の写真をそえたものである。これにより鉄骨鉄筋コンクリート構造の詳細を知り，それに用いられる種々の手法を見ることができる。従って専門の建築構造技術者にとって役立つと同時に，現代の建築構造を示しているという意味で，専門外の方々でも，多少とも建築構造に関心のある方には，よい参考資料になると思う。（図書案内より）

鉄骨鉄筋コンクリート構造設計
実例集 編集委員会
（50音順）

編集委員長　石崎澈雄／京都大学・教授・工学博士
幹　事　倉石秀夫／竹中工務店
宮川達郎／日建設計工務
力武利夫／清水建設大阪支店
委　員　芦田弥直／大成建設大阪支店
石田　正／竹中工務店
木田幸夫／大林組
小泉　昇／竹中工務店
陶浪貞彦／清水建設
多田英之／日建設計工務・工学博士
竹森達郎／大成建設
長田正雄／大阪建築事務所
前川陽一／村野森建築事務所
レイアウト　山本敏郎／日建設計工務

編集・発行　社団法人 日 本 建 築 協 会／大阪市東区北浜３丁目37番地／電話北浜㉓9648・9649・9640番

総　目　次

新大阪ビルディング
地下２階・地上９階・搭屋４階・延面積 27,953m²
設計・村野森建築事務所
施工・株式会社　大林組

関電ビルディング
地下３階・地上12階・搭屋４階・延面積 36,826m²
設計・施工　株式会社　竹中工務店

阪神ビルディング
地下２階・地上11階・延面積 47,327m²
設計・施工　株式会社　大林組

千代田生命ビルディング
地下３階・地上９階・搭屋３階・延面積 12,875m²
設計・施工　大成建設株式会社

輸出繊維会館
地下３階・地上８階・搭屋３階・延面積 15,260m²
設計・村野森建築事務所
大阪建築事務所
施工・株式会社　戸田組

大阪国際貿易センター
本館・地下１階・地上５階・延面積 13,145m²
設計・日建設計工務株式会社
施工・株式会社　大林組

大阪東映会館
地下１階・地上８階・搭屋３階・延面積 8,845m²
設計・施工　清水建設株式会社

鉄骨鉄筋コンクリート構造設計実例集

1. 構造計算書　　2. 構造設計図面
＜ダンボール発送函入＞

1. 構造計算書

B５判＜タテ257×ヨコ182㎜＞
総500頁　　写真・図版1000余点
８ポイント活字１段横組
アート紙・上質紙使用
表紙・特クロース製本・箔押・特上質紙カバー付

2. 構造設計図面

B４判＜タテ257×ヨコ364㎜＞
総200頁・平版印刷美麗仕上げ
特上質紙使用
表紙・特クロース製本・箔押・特上質紙カバー付

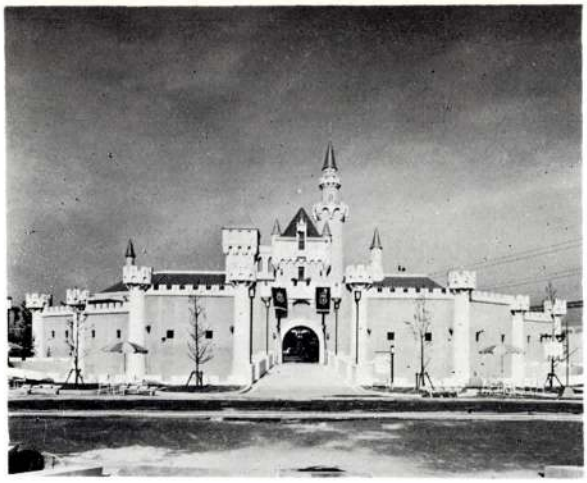
お申込み

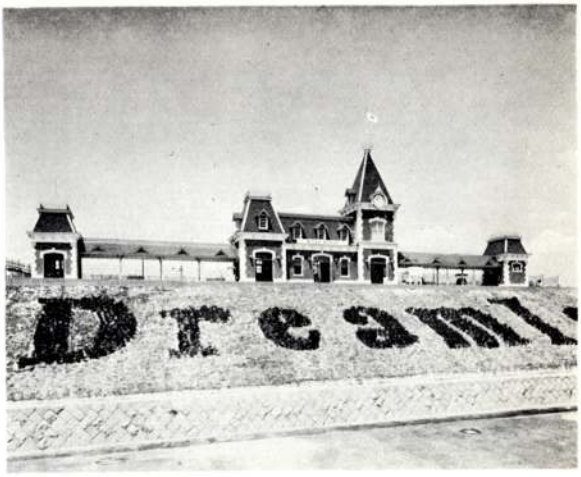
挟込みの会員特価注文書（切手不要）をご利用下さい。発刊次第お届けいたします。

会員特価	**2,900円**	送料	200円
一般定価	3,500円	送料	200円

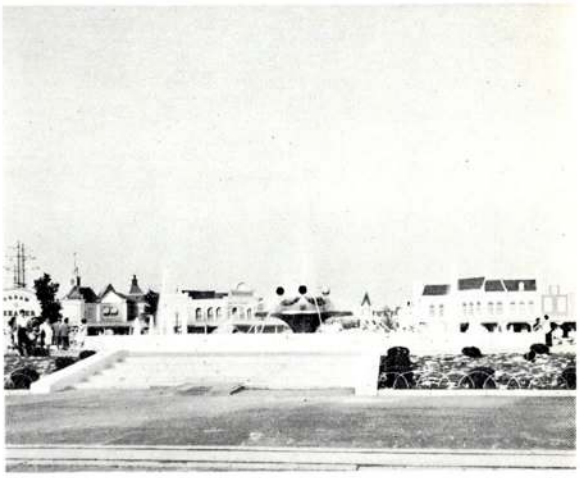
内容見本

『建築と社会』８月号84頁～85頁の間に，内容見本を挟込んでおります。ご参照下さい。













ドリームランド　　建築工事　清水建設株式会社



松下電器産業株式会社本社社屋

設　計　本館・第一別館：日建設計工務株式会社
　　第二別館：株式会社双星社竹腰建築事務所

施　工　株式会社　竹中工務店

敷地面積	30,242.3 m² (9,148.00坪)
建築面積	5,751.25m² (1,811.63坪)
延面積	20,210.95m² (6,113.82坪)
構造規模	鉄筋コンクリート造一部鉄骨鉄筋コンクリート造
竣工日	昭和36年8月1日



玄関ホール

最近竣工した新建築

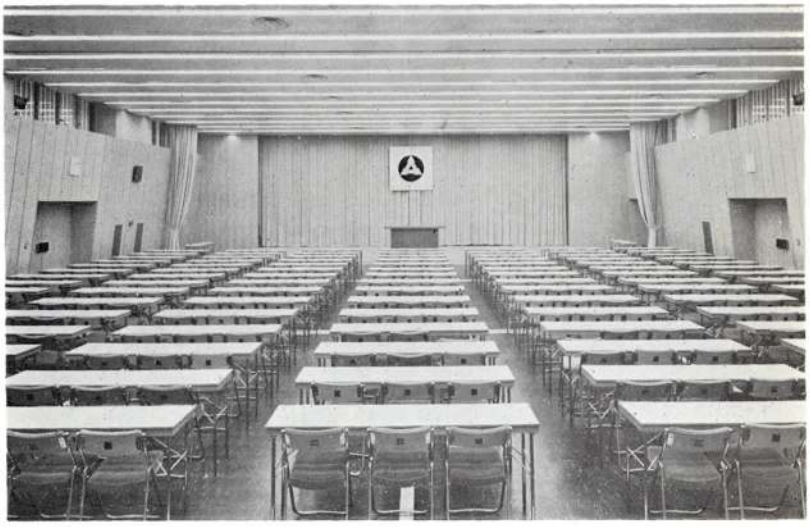
松下電器産業株式会社
本社社屋



会議室



事務室の一部



講堂



大阪 興銀ビル　　設計　山下寿郎設計事務所　　施工　株式会社 大林組



ロビー

興銀ビル

そごう　大阪店

家具装飾部

興　銀　ビ　ル

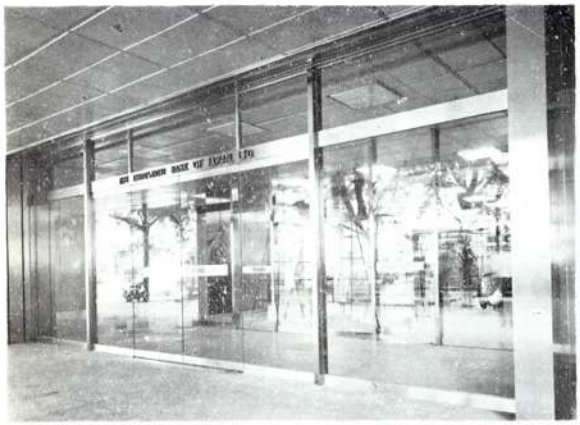


外装タイル（磁器25角）

有　田　タ　イ　ル　株　式　会　社

硝　子　工　事

株式会社　拍　商　会



シャタア工事全般

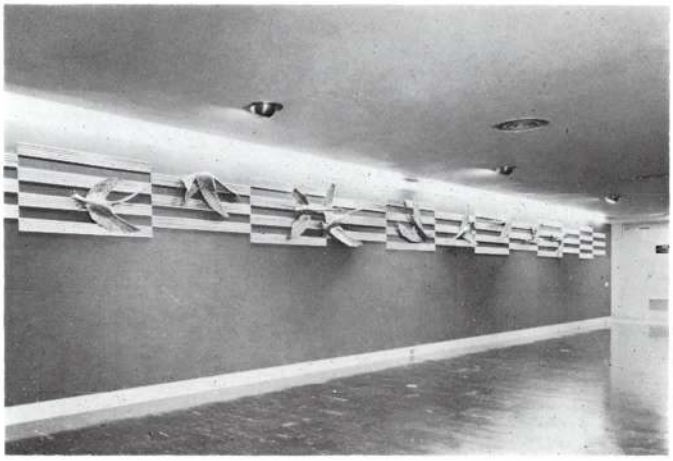
株式会社　鈴木シャタア商会





2 階 営 業 室 天 井

興　銀　ビ　ル



アルミ製パネル製作：小林尚琅氏

日 軽 応 接 室



日 本 軽 金 属 株 式 会 社 大阪事務所

日軽アルミニウム工業株式会社大阪営業所

株式会社大阪アルミニューム製作所大阪営業所

興　銀　ビ　ル

日本板硝子の新しい熱線吸収ガラス

グレーペーン

断熱性の複層ガラス

サーモペーン　　使　用　　日本板硝子株式会社



タイル工事

株式会社　平田タイル

ゲルカセメント防水工事

ゲルカ工業株式会社

アスファルト防水工事

株式会社　久保商店

興　銀　ビ　ル



塗　装　工　事

株式会社　中　村　塗　装　店　大　阪　出　張　所

マ　ー　ベ　ロ　ン

総発売元　丸紅飯田

日本触媒化学工業株式会社

大阪市東区高麗橋5－1　興銀ビル6階

“マーベロン”は日本触媒のポリエステル樹脂を原料にして作られます。天然大理石と比較すると，堅牢，光沢，色彩の自由，軽量と多くの長所をもっています。日本触媒の本社にも多量に採用し，好評を博しています。

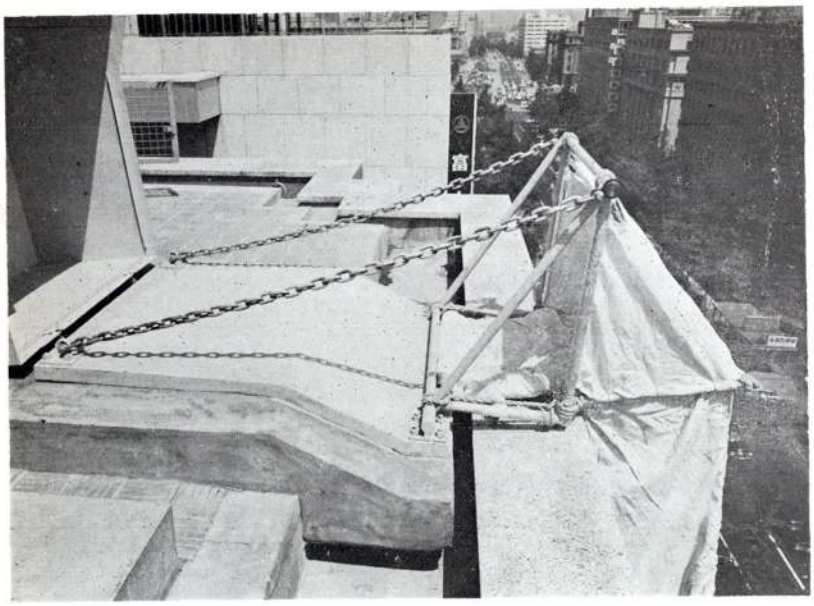
フロアー



社長室



興　銀　ビ　ル

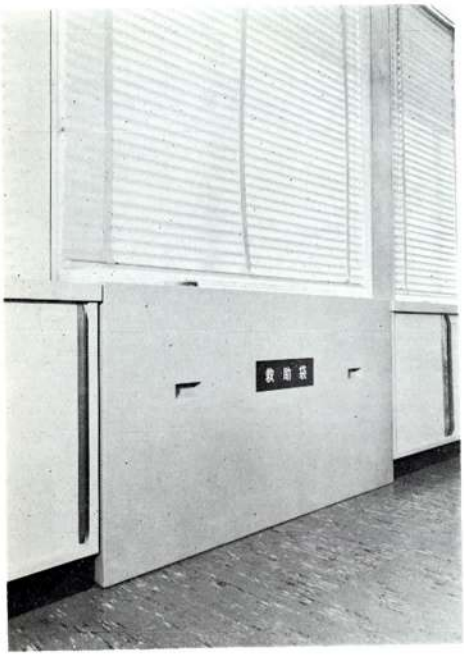


屋上設備降下使用時状況

斉田式非常用救命袋設備工事

上　田　消　防　建　設　株　式　会　社

室内設備格納状況



某ビル避難訓練状況



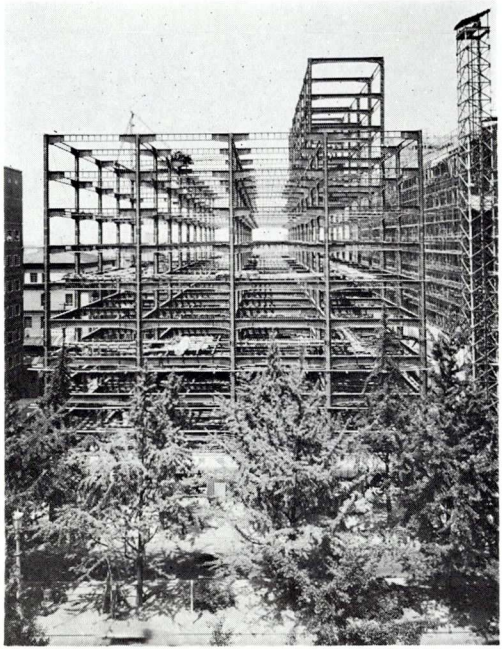
興　銀　ビ　ル



各階事務所内部・スプレッドサテン使用

石　産　商　事　株　式　会　社

鋼　材　　大洋商事株式会社



SK式軽量鉄骨天井下地「ネールロック」®
SK式軽量鉄骨間仕切「ネールロック」®
専売特許 #（199788）

株式会社　満　点　製　作　所

ステンレス製作金物
その他建築装飾金物

株式会社　上　野　製　作　所

鉄　鋼　一　式

大　阪　鋼　材　株　式　会　社

興　銀　ビ　ル



ノンタッチ自動扉

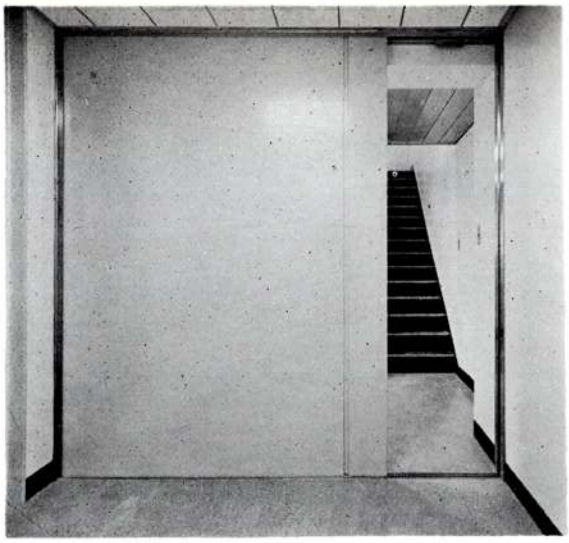
日本ではじめて興銀ビルに採用された自動扉は取手に手を近づけると扉が進行方向に向って自動的に開き，通過した後閉ります。
扉が開きかけているとき，反対側から扉に近づくと扉は反転しますから扉にたたかれる心配はありません。

日本エヤーブレーキ株式会社



ニットータイル

日　東　紡　績　株　式　会　社



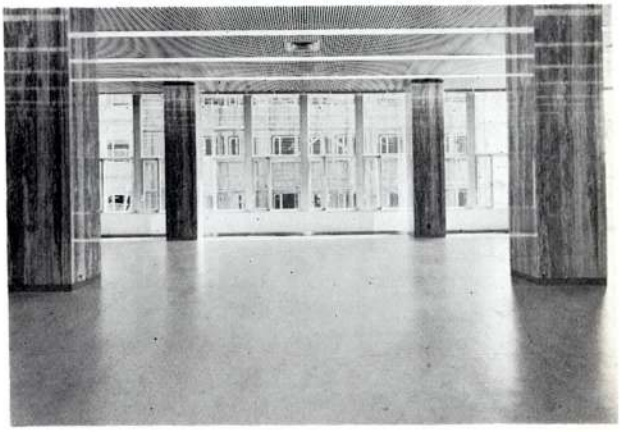
理研分胴式防火引戸（ヒューズ付）



理研式自閉防火ドア（ヒューズ付）

理研鋼機株式会社大阪営業所

興銀ビル



天井・壁：クロース張り
床　　：リノタイル

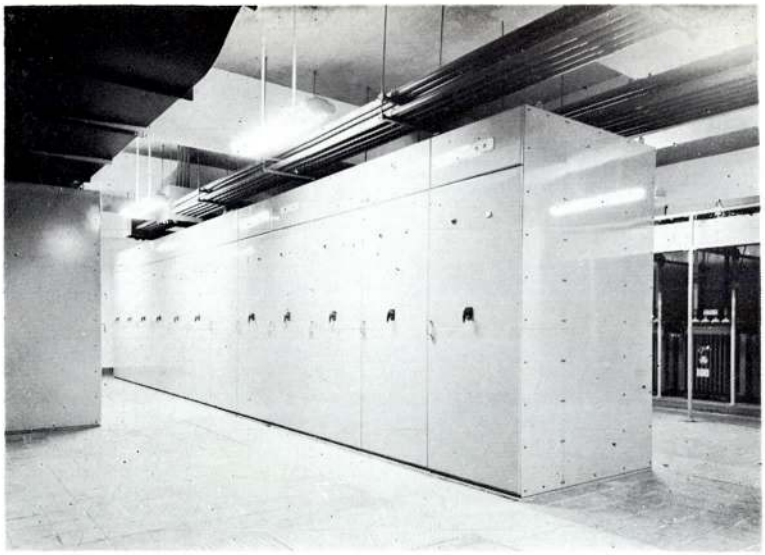
亀井株式会社



大理石工事

株式会社 矢橋大理石商店





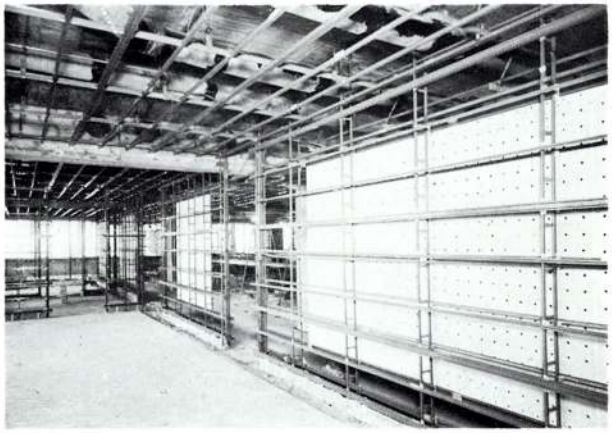
衛生設備工事　　須賀工業株式会社

興銀ビル

間仕切・天井

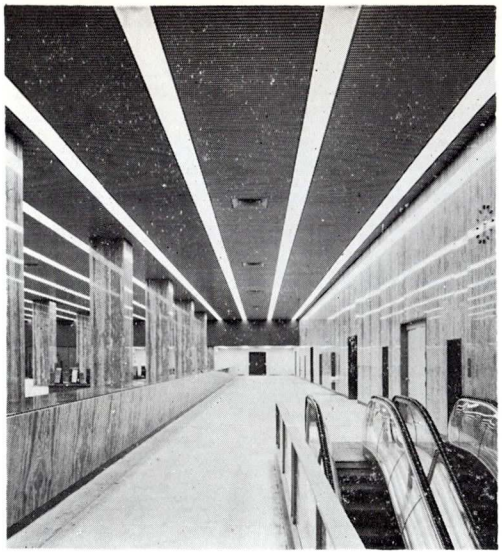
日進式ボード下地採用

株式会社　奥村重兵衛商店

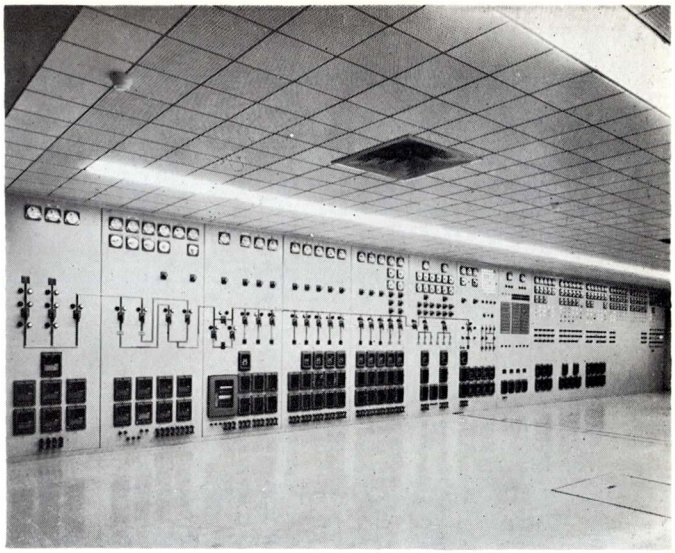


鉄骨工事

株式会社　春本鉄工所



2階銀行客溜



中央監視制御室

電気工事　近畿電気工事株会社

興銀ビル

アスファルト防水工事

日本瀝青工業株式会社大阪支店

セメント

磐城セメント株式会社

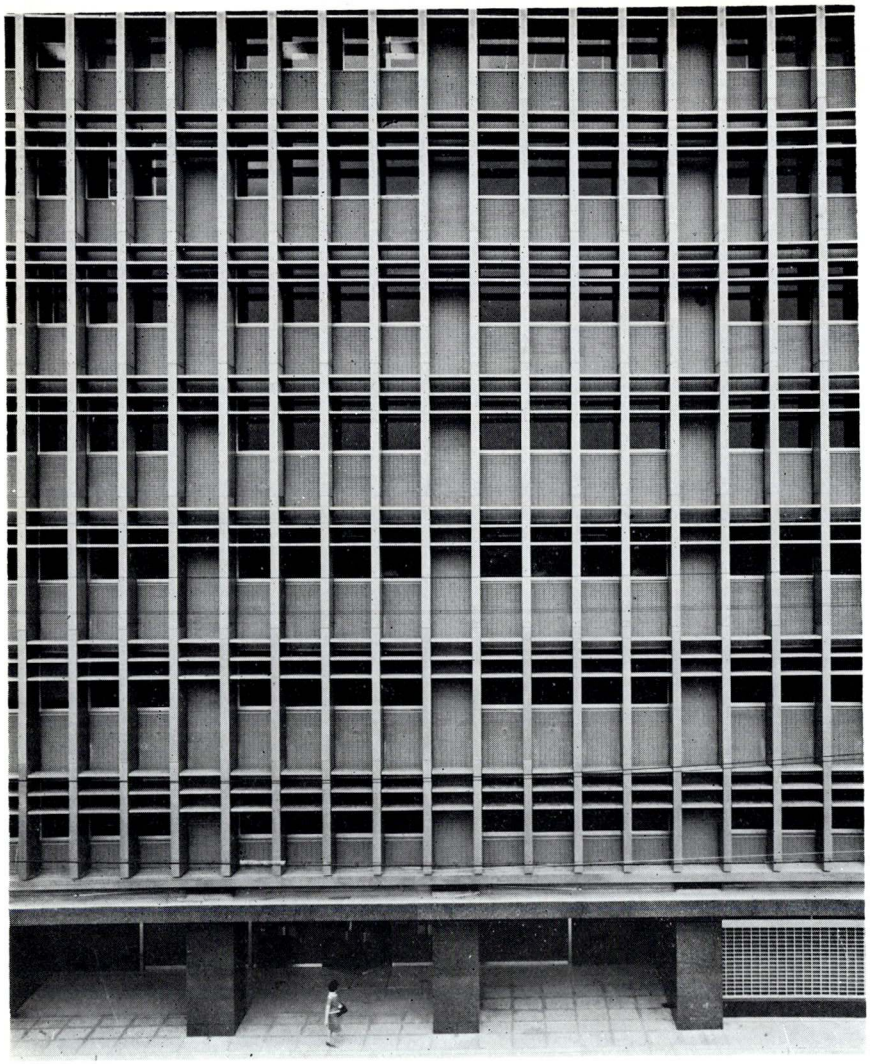


耐火煉瓦工事材工一式

樫山耐火煉瓦営業所

家具

株式会社　高島屋装飾部



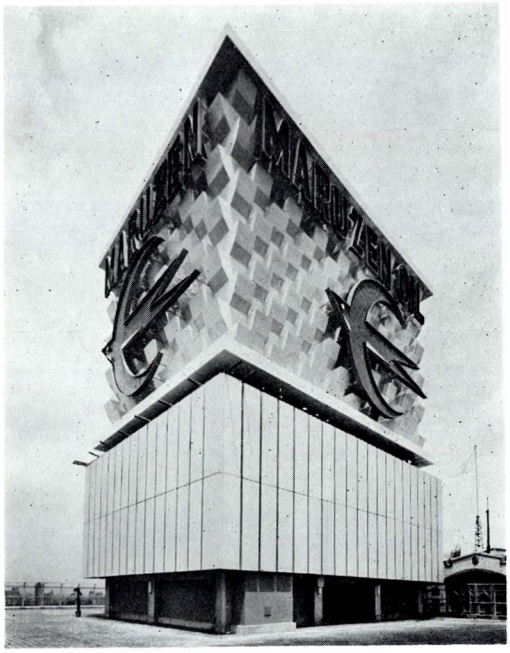
上：正面外観

下：塔屋

丸善石油本社ビル

設計　KK石本建築事務所

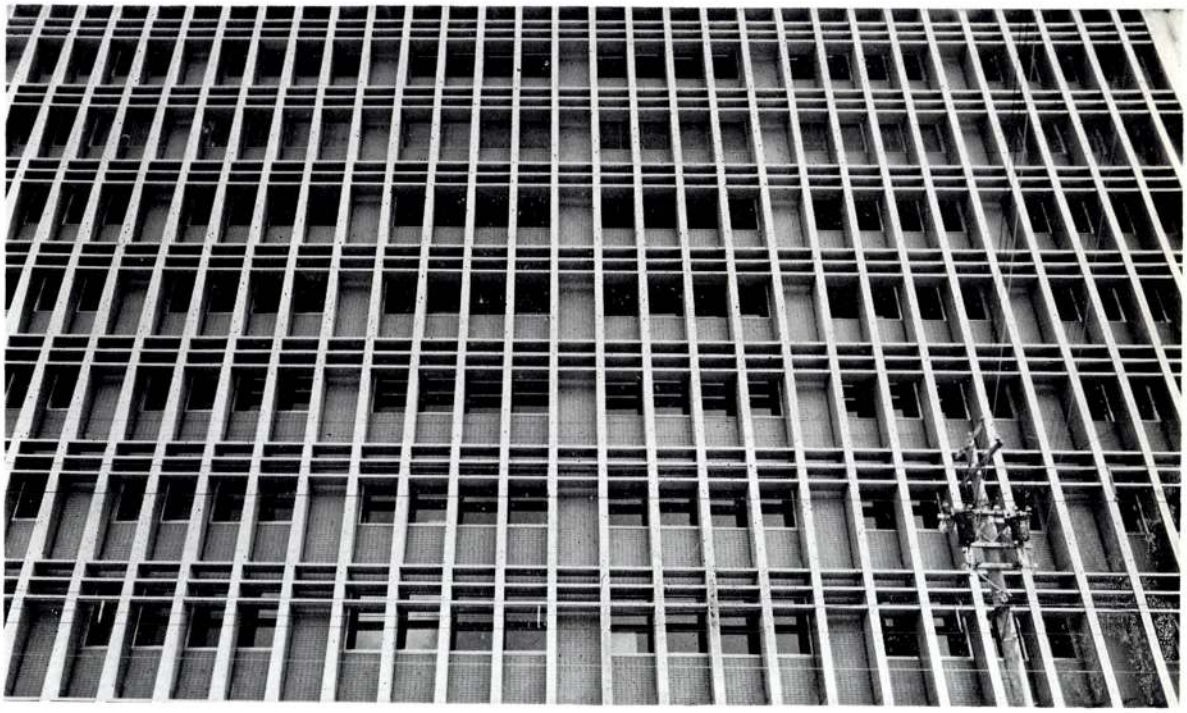
施工　鹿島建設株式会社



丸善石油本社ビル

アルミサッシ・ドアー・カーテンウオール

不二サッシ工業株式会社





外装タイル磁器小口平使用

有田タイル株式会社

アスファルト防水工事

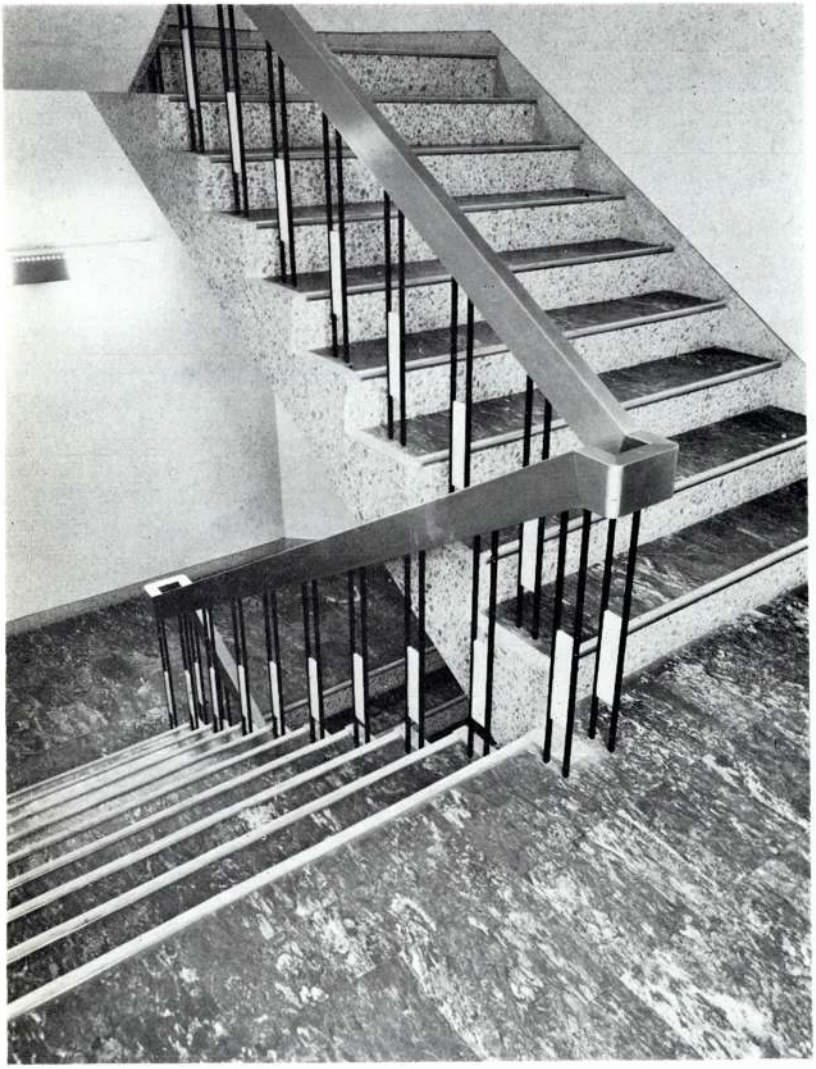
内外工業株式会社



丸善石油本社ビル

エレベータホール各階床：
ソフトンタイル2粍厚使用

事務室各階床：
Pタイル2粍厚使用



階段全階踏面：
ソフトンタイル2粍厚使用

田島応用化工株式会社

丸善石油本社ビル



大理石工事

株式会社 矢橋大理石商店

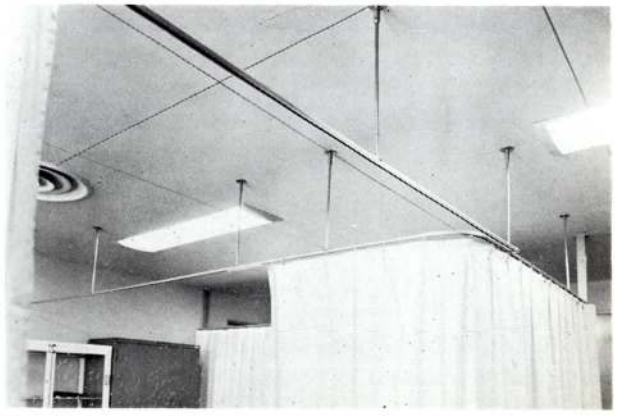


家具・造作

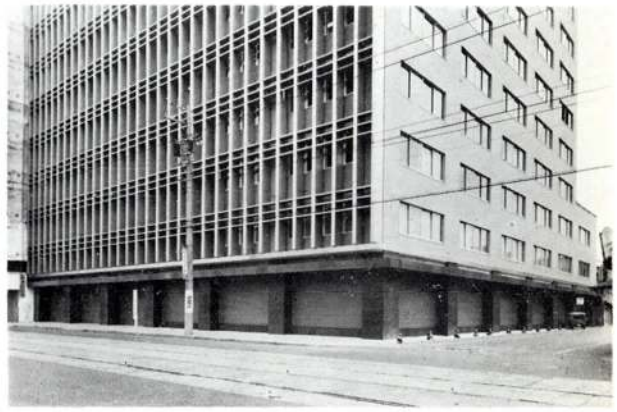
内外木材工業株式会社

高級O.S. A型 B型 C型 D型 カーテンレール

材料：ステンレス，アルミ，ブラス，スチール，ビニール



岡田装飾金物株式会社



サッシ工事全般

本田工業株式会社



丸善石油本社ビル

丸善石油本社ビル

家具および造作

株式会社　高島屋装飾部

塗装工事

建装工業株式会社大阪支店

装飾用
建築用　製作金物

日本装建工業株式会社

コンクリートブロック
厚型スレート
コンクリート歩道平板　製造販売責任施工
セメントタイル
プレカスト　JIS表示許可工場

和歌山スレートブロック製造株式会社
大阪営業所

ヒシクール

丸善石油本社ビルにはヒシクールや，テンパライト・ドアなど各種菱印板ガラスが大量に使われています。とくに外窓に使われているヒシクール（熱線吸収硝子）は，太陽からの熱線を70%近く吸収しますので，真夏など室内温度を外気温より5～6°も下げることができ，冷房効果を一層高めます。

旭硝子株式会社



ホテル・パシフィック

設　計　渡辺建築事務所

施　工　株式会社　戸　田　組





鋼　製　建　具　　日本スピンドル製造株式会社金属成型事業部

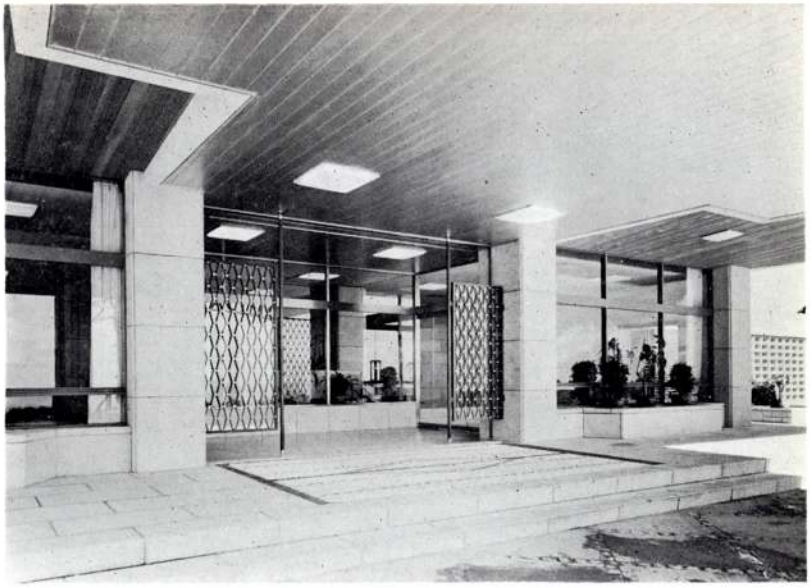
ホテル・パシフィック

セメント分散剤　リグナール　　製造発売元　神戸材料株式会社

ウォーカビリティの増大・コンクリート強度の増大
施工打肌の美しさ・施工費の経済性
リグナール使用の簡易さ



ホテル・パシフィック



魅力のポイント

タフライトドアー

日本板硝子株式会社

外装タイル工事

井上窯業株式会社



ゲルカセメント防水工事

ゲルカ工業株式会社

テラゾー工事

岡田石材工業株式会社
大阪営業所

大理石工事

株式会社　矢橋大理石商店

ホテル・パシフィック





電灯設備施工

八千代電設工業株式会社

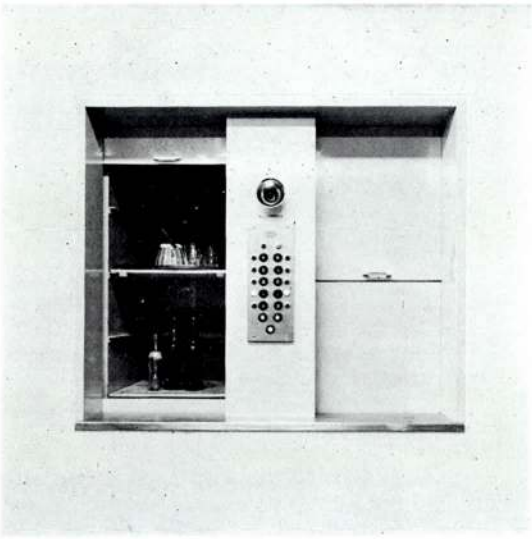
ロビー・食堂・客室　家具造作

株式会社　高島屋装飾部

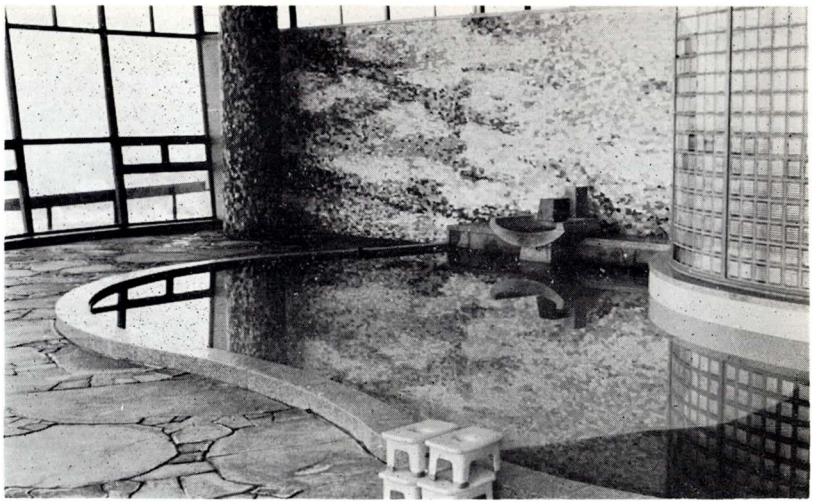


エレベーター
リフト・コンベヤー　電気設備工事全般

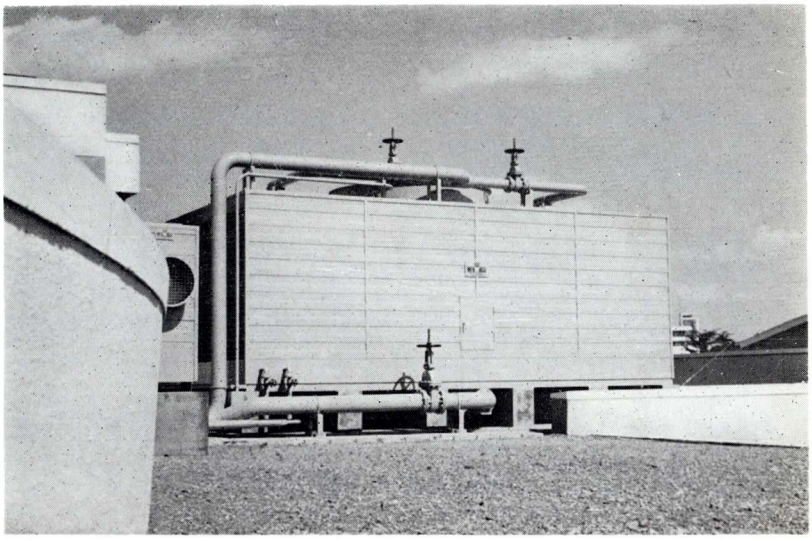
河南電気機械株式会社



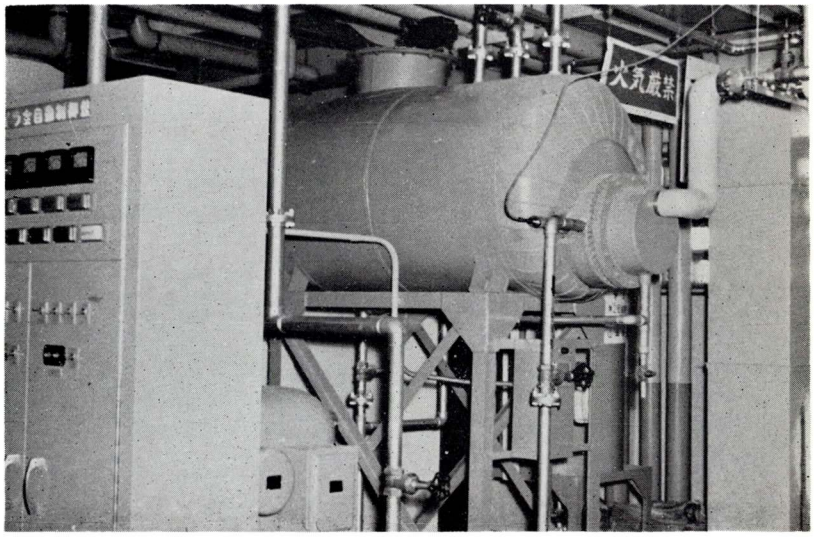
ホテル・パシフィック



大浴場



冷却塔



オイルサービスタンク

冷暖房設備工事

大阪電気商会
大阪暖房商会



娯楽室 スナックバー 家具調度　　そごう 大阪店

家具装飾部

ホテル・パシフィック

石工事　関西石材株式会社

電線管　東芝鋼管株式会社

塗装工事　竹林塗装工業株式会社

全館壁天井張　東洋建装工業株式会社

コンクリートブロック
厚型スレート
コンクリート歩道平板
セメントタイル
プレカスト
} 製造販売責任施工

JIS表示許可工場

和歌山スレートブロック製造株式会社

大阪営業所

誰れもが認めて下さるプラスチック床材料の最高峰

桂のビニールタイル

3㎜厚 303㎜(1尺角)
4㎜厚 303㎜(1尺角)
5㎜厚 303㎜(1尺角)
6㎜厚 303㎜(1尺角)

- 曲げても 叩いても破損しない
- 耐薬 耐油 耐燃性
- 耐摩耗性にて優れた耐久力
- 色調優美で程良い弾力性

床材料の販売工事(責任施工)

株式会社 桂商会

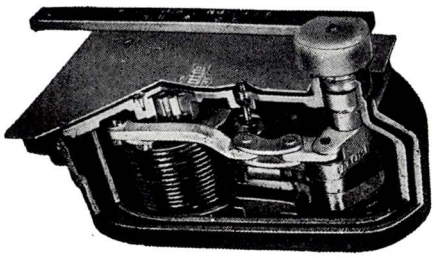
営業部 大阪市大淀区天満橋筋6～12
大阪市天王寺区上本町3丁目23

TEL 大阪㉟6625番
TEL(75) 0695(直通)・8906(27)6409

S.K ユートピア

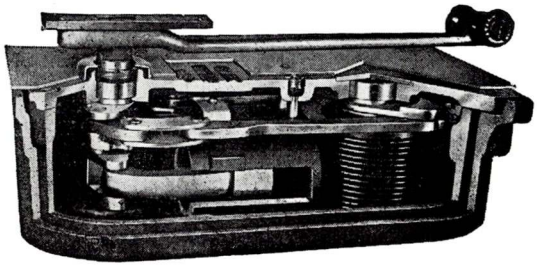
近代人の感覚にマッチする

ユートピア印



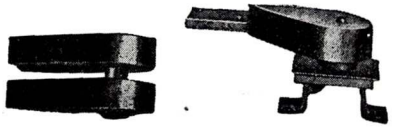
(片開持出吊り型)

フロアーヒンヂ



(中心吊自由開型)

ピボットヒンヂ



(ピボット・ヒンヂ持出し吊り型)

(カタログ御入用の節は御申込下さい)

製造元

敷島金物株式会社

布施市横沼町1丁目46番地 電話布施(72) 7713(代) 7714番
東京都千代田区神田三崎町2ノ26 電話東京(301) 0403(332)5310番

Toray
Reg. Trade Mark
東洋レーヨン株式会社

美しい花園をお部屋にも……

丈夫で弾力性に富み、ホコリがたたないので大へん衛生的です。お部屋の雰囲気にマッチしたカーペットをお選びいただくため、あらゆる色柄を豊富に準備いたしております。室内に豪華な感覚と新鮮で楽しい雰囲気を漂わす東レ・カーペットをぜひお試し下さい

東レカーペット

二重織・銀鈴織・富士織・三重織・装美織・額縁三重織・三美織などがございます

東レ・カーペットのほか、東レ・フラットーヨー使用ファンシーラッグ(夏の敷物)も好評を頂いております



東レカーペット発売元—(株)辻田文平商店(大阪市住吉区南住吉町4の59)　ファンシーラッグ発売元—丸紅飯田(株)

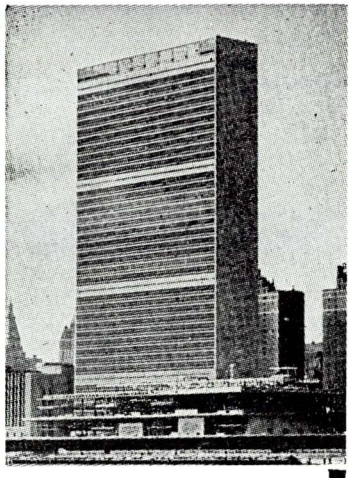
耐火・断熱・軽量骨材

新製品 三井パーライト

パーライトは真珠岩を急速に加熱、膨張せしめたもので主成分は硅酸であり小さな真空状のガラス質の巣の集りで形成されて居ります。
パーライトは非常に軽く耐火的であるのでプラスターに混じ耐火、断熱用壁仕上に又、コンクリートとしては砂の代りに使って断熱、軽量コンクリートとして使用されます。

用途の一例

(1) 軽量コンクリート用細骨材
(2) 左官材料（セメント・プラスター骨材）
(3) 保温断熱材
(4) 油　井　用
(5) 濾過助材



(パーライトを使用した国連ビル)

特　　性

軽いセメントモルタルの½以下（嵩比重0.04～0.20、砂の重量の1/10～1/20）
耐火性が大である　セメントモルタルの4倍の効力がある（熔融温度1000℃以上）
断熱効果が大である　セメントモルタルの2倍以上（伝熱係数λ＝0.03～0.05kcal／mh℃）
亀裂予防になる　殆んど亀裂が出ない
遮音吸音効果が大　セメントモルタルの2倍以上
施工が容易である　他の軽量骨材に比し施工が容易である
化学成分　SiO_2=75.5、Al_2O_3=15.3、Fe_2O_3=0.9　CaO=0.12、K_2O=4　Na_2O=3.5
有機不純物揮発分なく、長期保存するも変質しない

パーライトセメントモルタル調合その他・パーライトプラスターの配合説明書贈呈

三井金属鉱業株式会社

本　　店	東京都中央区日本橋室町2の1	東　京	(241) 4101～9・2371～9
大阪支店	大阪市北区中之島3の5	大　阪	(44) 3731・3751
東京営業所	東京都中央区日本橋室町2の1	東　京	(241) 4101～9・2371～5
名古屋営業所	名古屋市中村区広小路西通2の26	笹　島	(54) 3171～5
福岡営業所	福岡市天神町39	中　局	(4) 9336～9

建築と社会

9

リクリェーションと建築特集

1961年・第42集・9月号・目次

作品作風

大阪興銀ビル……設計監理：山下寿郎設計事務所…31
施工：kk大林組

丸善石油本社ビル……設計監理：kk石本建築事務所…36
施工：鹿島建設kk

建築の眼……40

担当（50音順）：中村 堯・能勢善樹・早川和男・山下信夫

本文

第1部「論」

生活におけるレクリェーション……今 和次郎…41

リクリェーション開発のマスタープラン……三村 浩史…43

国民休暇村の構想……糸賀 黎…48

国民宿舎の設計について……永嶋 正信…54

日本のユースホステル……林 幸二郎…59

第2部「群」

びわ湖観光開発計画……京大西山研究室…61

Ⅰ．リクリェーション生活の発展と観光計画……61
——びわ湖の全体計画——

Ⅱ．都市発展の中における観光開発計画……68
——大津地区観光開発計画——

K-地区レゾート開発……大久保昌一…76

立山観光開発計画……宇野 佐…86

大阪城公園の計画について……田治 六郎…90

トータル・リクリェーション・ゾーン
……小島 将志・太田 隆信・沖田 裕生…92

第3部「個」

1. 国民宿舎……玉野荘……棚橋 諒…97

2. ユースホステル……小豆島ユースホステル
……連合設計社市谷建築事務所 100

3. 観光ホテル……

A．志摩観光ホテル……村野・森建築事務所 104

B．ホテル・パシフィック……渡辺建築事務所 108

4. 官公庁厚生施設……観潮荘……松山郵政局建築部 113

5. 遊園地……ドリームランド……村野・森建築事務所他 116

近代建築調査委員会報告21

奈良県庁本館・奈良国立文化財研究所・奈良ホテル…浅野 清 121

書評……「消費革命とレジア産業」……住田 昌二 125

会報（9月分）…… 126

9



表紙デザイン：表紙デザイン小委員会
SMデザイングループ

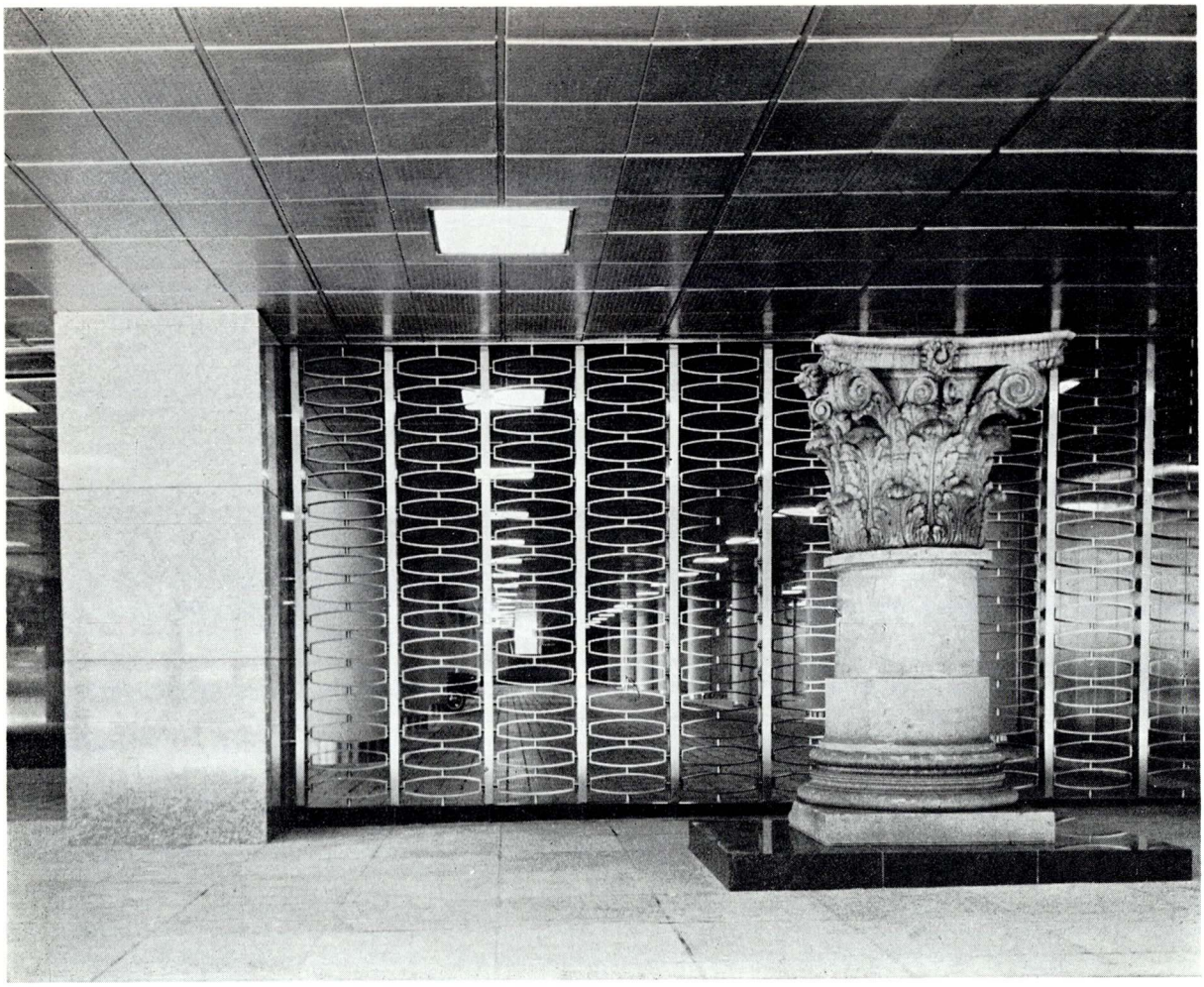
売　価　1部150円・送料共
昭和36年9月20日印刷
昭和36年9月25日発行
編集人　松井昭光
発行所　社団法人　日本建築協会
大阪市東区北浜3丁目37
電話　大阪㉓9648・9649・9640番
振替口座大阪39975番
発行人　沖田誠一
印刷所　株式会社研文社
大阪市北区堂山町66
電話㉓2091～3番
印刷者　網野栄



御堂筋に面した外観

設計監理	山下寿郎設計事務所
建築工事	株式会社大林組
電気設備工事	近畿電気工事株式会社
空気調和設備工事	日立工事株式会社
衛生設備工事	須賀工業株式会社
昇降機設備工事	株式会社日立製作所
自家発電設備工事	池貝鉄工株式会社

大阪興銀ビル



前面アーケード詳細　コリンシア式柱頭がおかれている

前面アーケード



所在地	大阪市東区高麗橋五丁目1番地
敷地面積	3,179.418m² (　961.77坪)
建築面積	2,724.43 m² (　824.14坪)
建築延面積	29,454.59 m² (8,910.01坪)
工期	昭和34年9月 ～ 昭和36年7月
建築規模	
配置	東面御堂筋，南面高麗橋筋，西面御霊筋，北面浮世小路を劃する
構造	鉄骨，鉄筋コンクリート造
階数	地下3階，地上9階，塔屋3階
高さ	軒高　31.00m 塔屋高　43.00m
基礎	鉄筋コンクリート造，捨コンクリート，敷砂利地形
外装	1階　本磨花崗石貼，ステンレス・シャッター（一部硬質タイル張り） 2階以上　硬質タイル張，アルミサッシ，グレーペーン硝子窓（背面一部人造石洗出）



1階ピロティ式の駐車場

興銀ビル設計者のことば

山下寿郎

このたびでき上った大阪興銀ビルの敷地は，これまで日本興業銀行大阪支店が建っておった場所であります。以前の建物は，私の尊敬する先輩の一人，建築家長野宇平治博士の傑作の一つで，大正九年春に竣工したルネッサンス式の見事な花崗石の建築史的外装をもつ建物でありました。当時の土方久徴総裁や長野博士が，日本興業銀行の将来の業務の伸展を考慮に入れて設計されたものであったに相違ありませんが，現在では，わが国の経済力も当時とは比較にならぬほどに偉大な発展を見せ，また事務の整理に機械力を利用するなどと，当時想像もおよばぬほどの文明の進歩，文化の発展をみるようになり，また『原子力の利用』などという，大変な言葉がなんでもなく人の口に上るような時代となっては，今までの規模や施設の建物では，用を便じにくくなりましたのも，已むを得ないことでありましょう。

このような事情で，新に大阪支店の店舗を建築せられようとする日本興業銀行と，この敷地の利用に着眼せられた興和不動産株式会社とが協力して，ここに新しい建物を計画せられ，その計画の具体化を私に委嘱されましたのが，ここに滞りなく竣成しましたことは，設計者として誠に喜悦に堪えません。

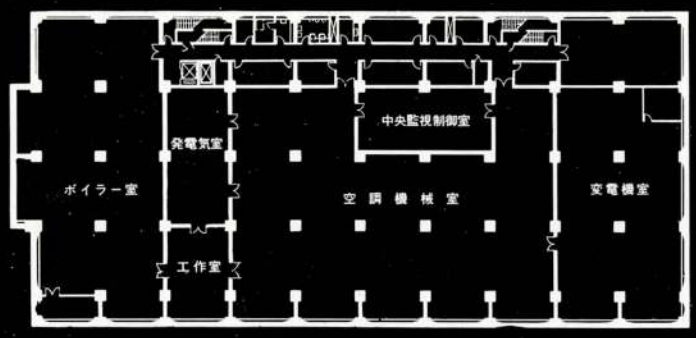
この建物では，銀行の大切な営業室を，思い切って二階に設けることが，この建物の使用上，非常に有利であると判断しまして，勇敢とも思われる平面計画を進言したのでありますが，この考え方を快く採用して下さった川北頭取はじめ役員その他の方々のご裁断に，私どもは非常に敬服し，かつ感謝に堪えません。

この工事においては，近隣との関係その他で，主体工事はもちろん，設備工事なども，その遂行には複雑煩雑で，面倒な問題が沢山ありましたが，能くこれらを克服して立派に工事を完遂せられた大林組を始め，その他の工事者の方たちのご精進とご努力とに，設計監理者として深く感謝するものであります。

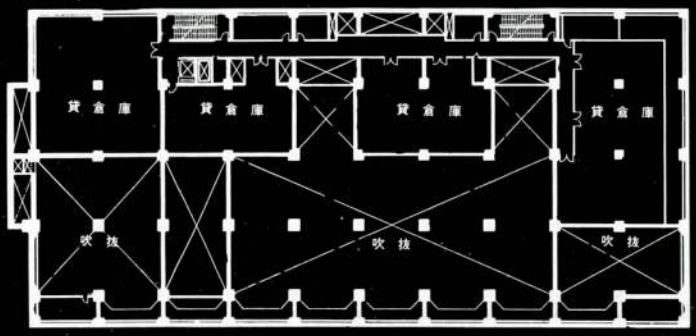
前面アーケード玄関脇に，以前の建物に使われたコリンシアン式柱頭が据えられましたが，これは，後世，建築史教育の上に大にお役に立つであろうということを期待しております。

（竣工パンフレットより）

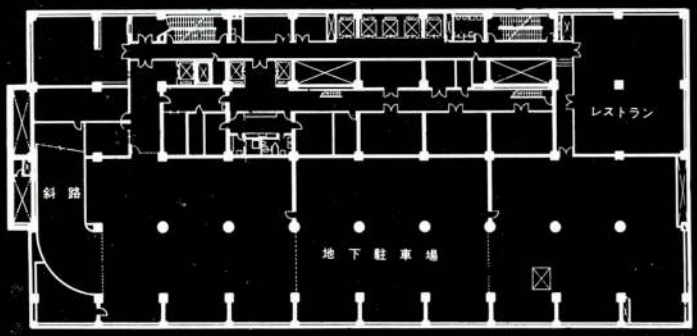
大阪 興銀ビル



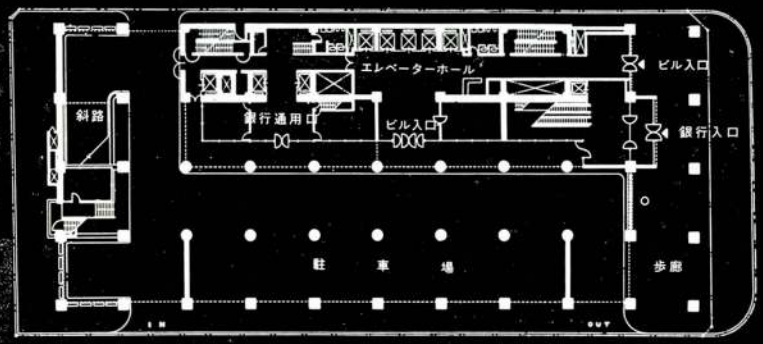
B3



B2



B1

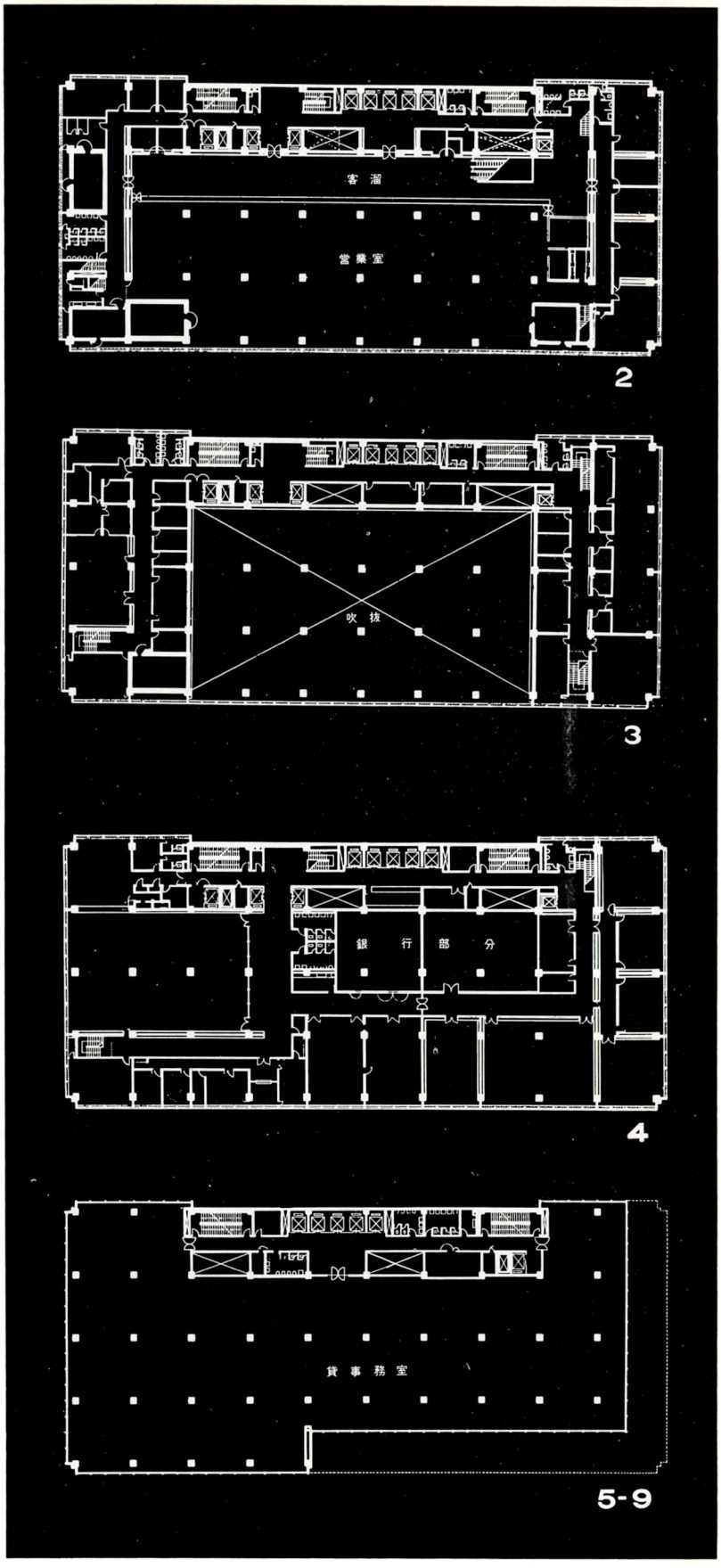


1

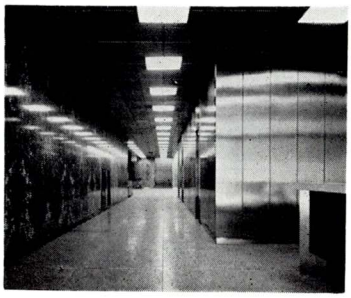
玄関

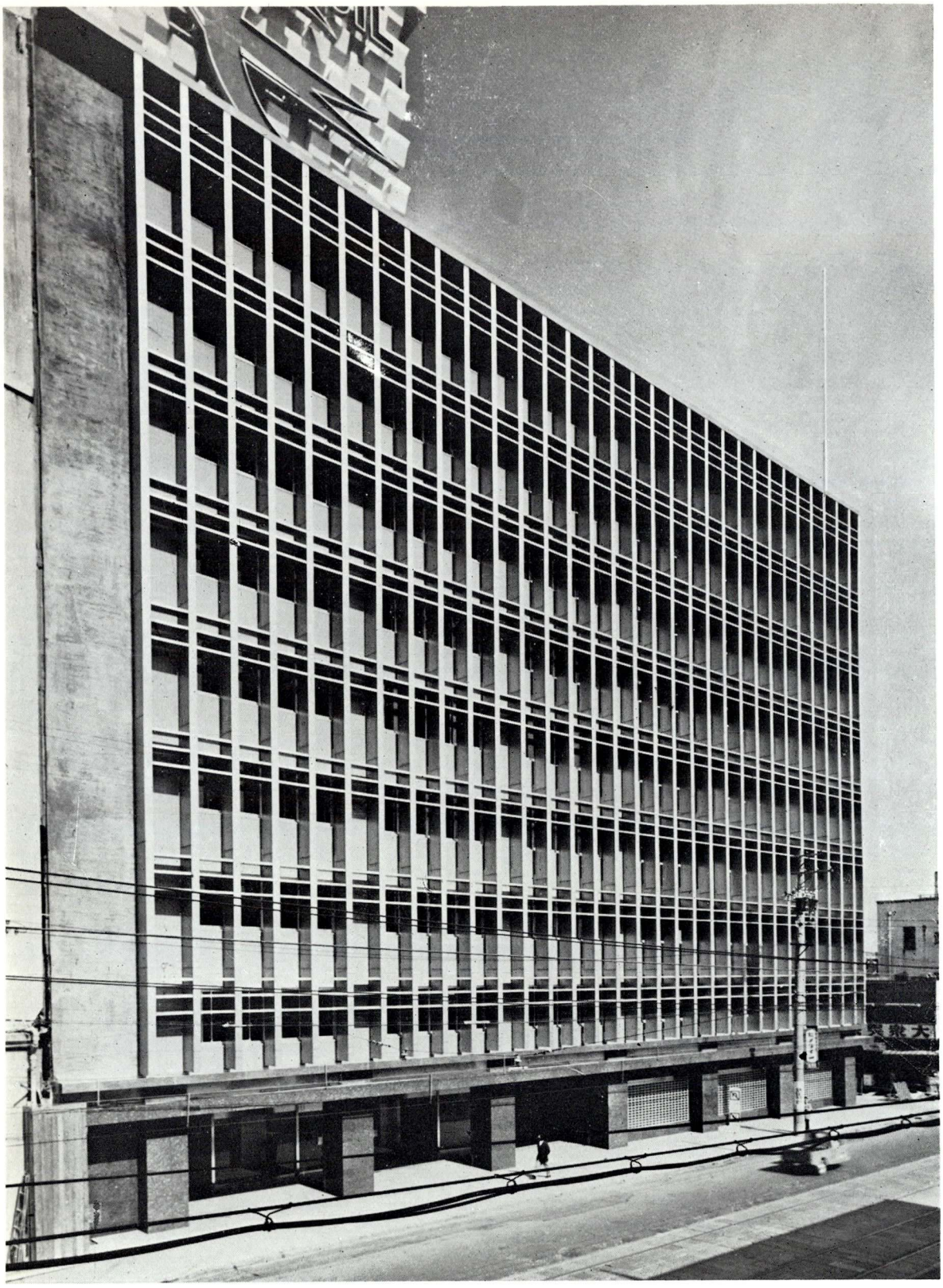


大阪
興銀ビル



エレベータホール





丸善石油本社ビル

設計監理：ＫＫ石本建築事務所　　施　工：鹿島建設株式会社

1階柱型：花崗石(ノールウエイ産)　1階廻り：アンチサンガラスブロック嵌　2階上部外壁：磁器小口タイル　ルーバー：アルミエレクトロカラー(ブロンズ色)



玄関ホール

8階役員会議室



床：じゅうたん敷
壁：シマシオベニヤ
　　練付。クリヤラ
　　ッカー
天井：布　貼

設備施工：KK日立製作所

丸善石油本社ビル





丸善石油本社ビル

丸善石油本社ビルの設計について

このビルはもと百貨店として建築された，地下1階，地上7階の鉄筋コンクリート造，延11,506m²の既存建物に接して，鉄骨鉄筋コンクリート造，地下3階，地上9階，延19,857m²のビルを増築して，両者を一つの建物として全館同一会社で使用するものである。

現在完成したのはこの増築部分であって，既存建物の改装は引続いて工事が行なわれている。完成の暁は既存建築を通じ一つのまとまったビルとしての外観を持つように設計したもので，既存部は地上7階，増築部は9階なので，これに統一ある外観を与えるため正面はそれぞれ縦ルーバーをだし，これに3段組の水平ルーバーを配した。ルーバーはいずれもアルミニューム製である。これはまた西側正面の西陽の直射を防いで冷房効果を有利にすると同時に，丸善石油と提携する 米国 Los Angeles の Union Oil Co. の本社ビルとも相通ずるテーマを採用したものである。

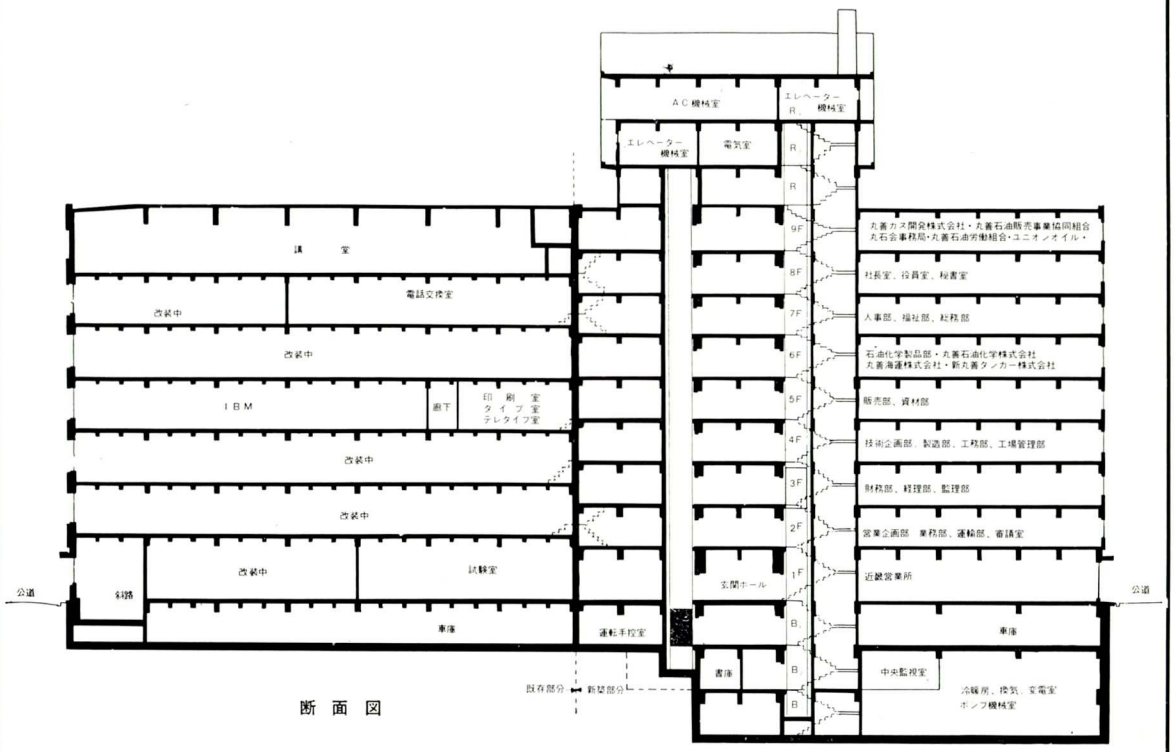
設計に当りとくに考慮した点は，既存建物は鉄筋コンクリート造で基礎は，基礎スラブをもたない独立基礎で，基礎繋梁は外周にあるだけで，これに接して地下3階を造るため地下2，3階は既存建物から約9m離し，既存部近接柱下には真管深礎工法による特殊地形を採用した。また既存部と増築部とは構造的に完全に遊離し，約200mmの空隙を残し，それぞれ別個に振動しても安全なように考慮した。

（KK石本建築事務所）

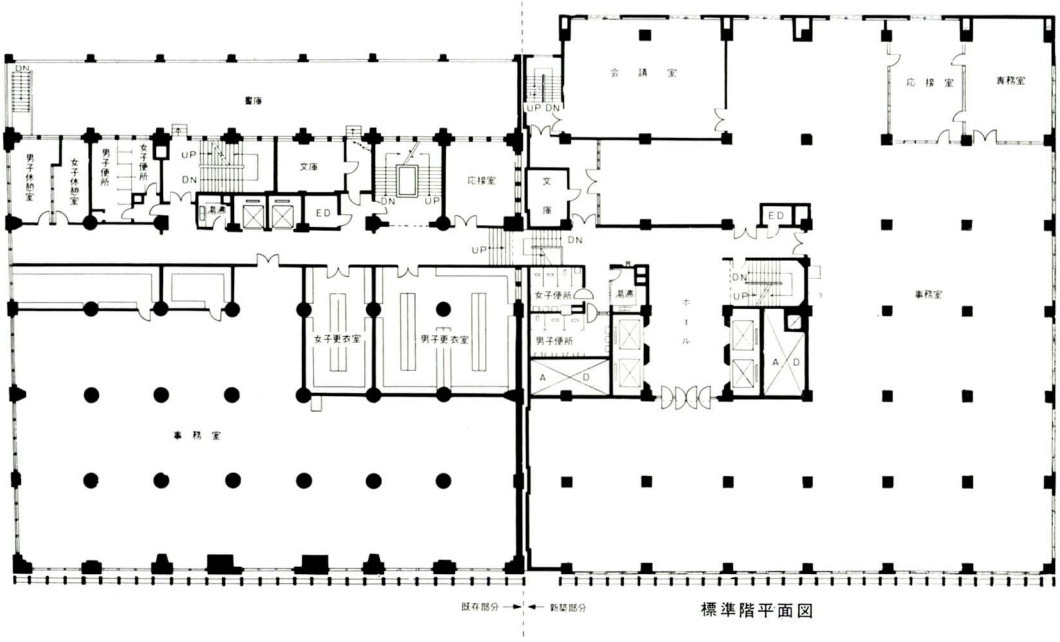
上：社長室（8階）
床：じゅうたん敷
壁：ウオールト張付
クリヤラッカー
天井：布　貼

下：副社長室（8階）
床：じゅうたん敷
壁：くす板目ベニヤ張付
クリヤラッカー
天井：クロース貼

建設位置		大阪市南区長堀橋筋1丁目3
敷地面積		3,548.320m²
建築面積		
	新　築	1,747.533m²
	既　存	1,566.086m²
	計	3,313.619m²
建築延面積		19,857.723m²
	新築 地下3階	3,763.442m²
	地上9階	15,345.426m²
	塔屋3階	748.355m²
	既存 地1階 地上7階 塔2階	11,506.053m²
建物各部の高さ	基礎底面	G.L－12.900m
	軒高	G.L＋31.000m
	ネオン塔屋尖端	G.L＋56.150m
工期	着工	昭和34年8月26日
	竣工	昭和36年6月21日　新築部分竣工
主体構造		鉄骨鉄筋コンクリート造



断面図



標準階平面図

丸善石油本社ビル平面図・断面図

器　と　中　味

私の会社での話。1年間に20日の有給休暇がある。ところがその消化率が大へん低い。特に夏はレジャーのシーズン，だがみんななかなか休まない。そこで労働組合がいろいろ調べたところ，月給が安いので遊びにゆけないらしい。家でごろごろしているくらいなら冷房のある事務所へきた方がまし。とりわけ世帯持ちにとっては，戦後強くなったのは靴下と何とかで，ただ家にいたのでは日曜大工が落ち，それくらいなら……というようなことがわかった。

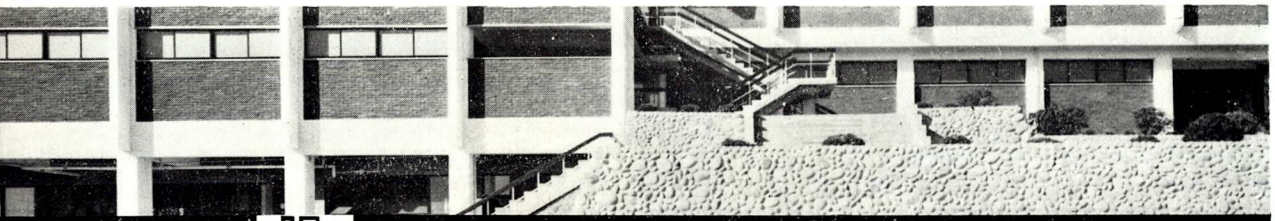
最近はレジャー建築がさかん。しかしこんな現象をみていると，どんな人が本当にたのしんでいるのかと一寸気になる。奈良のドリームランドは，なかなか高くつくらしい。サイフの中味を気にしながらではパパも気が重いだろう。どうも建築家はいつまでたっても生活の器をつくるだけに終りそうだ。しかし，建築家がその中味——それを利用する人々のことについて考えをめぐらし，発言してゆくとき，その社会的地位もましてゆきそうな気がする。　(HA)

木　造　も　ま　た　良　し

積重ねられたコンクリートアパートや小規模なコンクリート住宅などの夏の暑くるしさ，息ぐるしさ，寝ぐるしさはまったくやり切れない。屋根は瓦・柱は桧・障子に雨戸という木造住宅にいては想像もできない不快さである。木の熱貫流率が0.15ならばコンクリートは0.95と6倍からの熱の侵入を受けるのだからたまらない。夏の夜の一陣の風という爽快味は味えない。渇いた熱い環境は再生産の場さえ枯渇させる思いだ。

最近社寺の復興にも鉄筋コンクリートによるものが多い。首尾よく竣工した姿を見て〝よくできているまるで木造のようだ〟という声も聞く。何となく奇妙な響だ。

鉄筋コンクリート造が耐震・耐火・耐久等々に非常に優れた点のあるのは衆知のとおりである。しかしながらこの長所があまりにも強力なためそれだけがむきだしで扱われ過ぎる傾向がありはしないか。適材を適所に使うということからも建築材料をもっと幅広く検討してみたいものだ。　(YA)



けんちくの眼

担当50音順：中村　堯・能勢善樹・早川和男・山下信夫

(本号と次号は上記の執筆者に担当してもらいます。)

新　鮮　空　気

空気調和と称されている分野の中で，空気の清浄度が空気調和設備を生かすか殺すかの鍵を有してはいないだろうか。人数の不当に多い室にいる重くるしさ，体臭の残った劇場，食堂の混合された悪臭など，日頃経験をお持ちであろう。東京都，大阪市などにあっては換気設備の中で新鮮空気取入量を明示はされている。しかしながら地方都市，田園地帯を除いて都市および工業地帯の建物で取り入れられている外部空気が果して〝新鮮〟でしょうか。加うるにこの空気を地階などの機械室に送入するために屋階から地階に外気取入れシャフトと称して計画上構造上に無理をしている場合が多いと思う。やがて空気もタンク車で各建物に配送されたり，水道・ガス・電気のように自分の近辺で処理せずに遠方より送られて口径150，200粍ぐらいで引込めばOKとはならないだろうか。ただし独占事業はまっぴらごめんだ。　(NA)

女　体

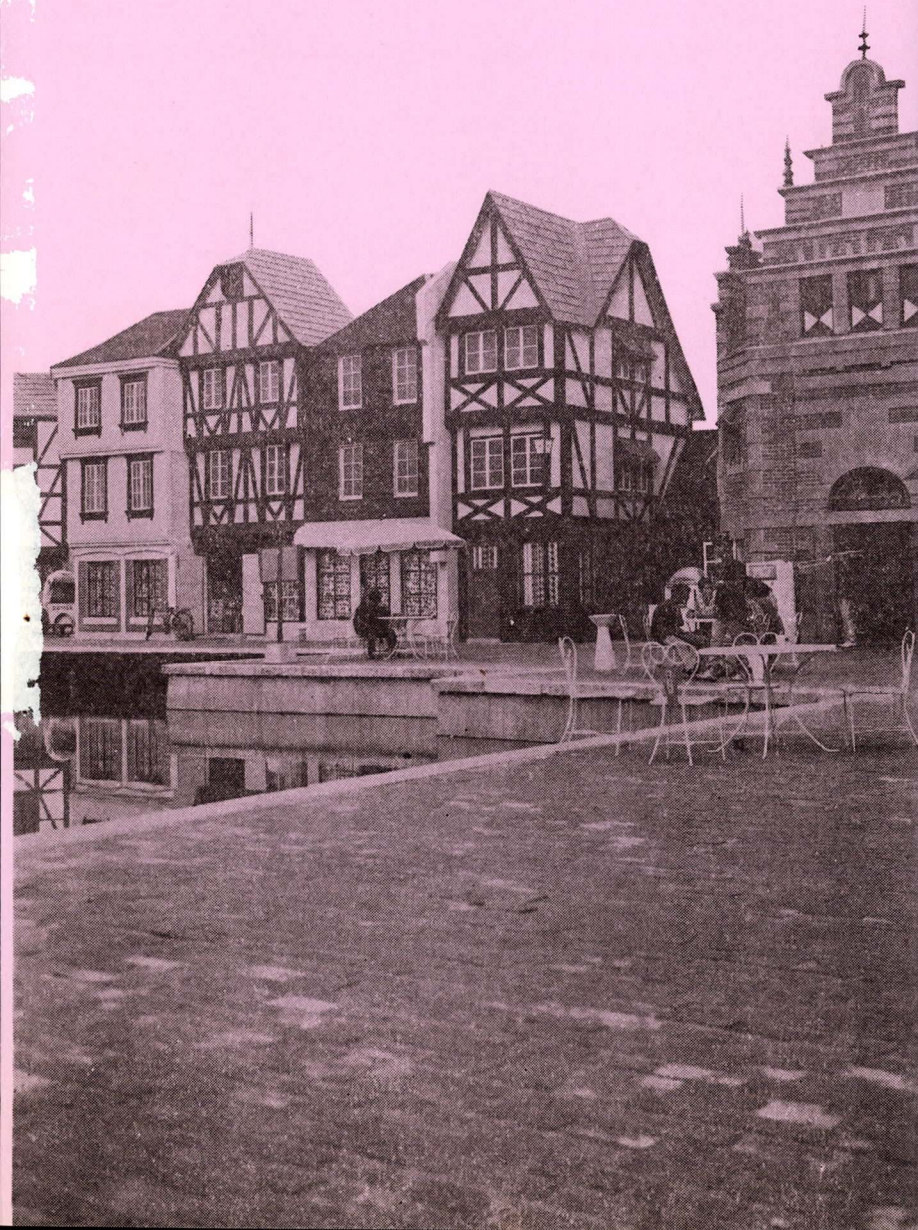
最近のビルラッシュで都心に立ちならぶビルを眺めるのは本当に心楽しい。ちょうど美人コンテストのように，あでやかな姿体が競い合う。お色気たっぷりなセックス派，一分の隙もない優等生型，真赤に髪を染めたロカビリースタイル。唯々ボリュームを誇る肉体派，つんとすました女子学習院型，もの欲しそうなミーハー族。

どの女性も魅力があり，男心をゆさぶるツボは心得ている。振り返り振り返り歩いて帰るのだが，さてどの女性にも恋情がつのらない。みんなどこかよく似ていて，インスタントラーメンの味がしてくる。

そしてはなはだ失礼な想像になるのだが，この若い女性がおばあさんになった時どんな顔になるだろうかと考える。時々ビルの谷間で見かける，静に佇んでいる明治大正時代のおばあさんのような，人生の深さを刻み込んだ，見飽きない美しい顔になるだろうか。唯々因業な年よりにならなければいいが。　(NO)

論

リクリエーションと建築



生活におけるレクリェーション

今　和　次　郎

生活は住宅という囲いの中だけでは順当なバランスがとりがたくなった。住居の外にはみだして営まれるレクリェーション生活までを含めないと，生活とはいえなくなつた。生活学は，家政学のわくだけでは始末できなくなつて，観光学その他と握手しなければならなくなったのである。ちょうどそのことは，一軒の家計だけで，そのやりくりだけでくらしのことが考えられなくなって，国の経済や社会保障制度などと見合わせてでなければならなくなったと同じようにである。観光とはなにかといえば，旅行を伴うレクリェーションであると定義されているが，われわれは，職場の労働生活から解放されて，住居にかえって心身の疲労をときほぐす，その重要な役割を荷ってくれているのは，もちろん家庭であるけれど，365日，それだけのくりかえしでは，とうてい働く人の心身が活発に動いてくれるものとは思えない。ウィークエンドや，休暇をねらって，潤滑油の役をする観光的行為をやるのでなければ，生々とした運転ができないような時代となったのだ。

いぜんには，観光といえば，生活運営とは直接関係のない，物見遊山のこととばかり軽く考えていたのだけれど，そのことについて，こんにちでは，そのことをもっと精密に検討しなければならなくなったのである。政治のあり方，生産過程のありかたなどが，大きく生活のありかたにひびいて，新しい課題として，生活におけるレクリェーションについて着眼しなければならなくなったのである。

レジャーとは，もともと余暇—労働，休養，余暇と区別されているその余暇—に当るわけであるが，こんにちでは，余暇といったのでは余りに漠然としている。分析がなさすぎる。余暇というものの内容は不明確だから，労働とそして静的レクリェーションとしての休養，動的レクリェーションとしての，ここでいうレクリェーションとし，その動的レクリェーションをレジャーの内容と見立てなければ適切でない。こういうふうに，認識の変更がうながさるべきである。レジャーを単に暇といったのでは，こんにちの言葉であるレジャーは生きていない。

どうしてレジャーブームが着目されるようになったのかといえば，時代の思想や社会事情，労働事情などが変ったからであるが，なおそれは，住宅の現実の状況などともからみあって，そうなったのだとみなければなるまい。

戦前と戦後とは住宅事情ががらりと変った。坪数が縮少された。アパート式になった。アパート団地も通念化されるに至った。そこで，家庭生活の様態も当然変貌した。鍵のかかるドア，能率的な合理的な設備だが，それからいえば狭い空間の中で型にはめられた動線の中に，人間行為が納めこまれたことになる。そこでいわゆるプライバシー，自然に対しても，近隣に対してもプライバシーが発揮されるものとなった。そしてそうあることこそ近代生活だと理論ずけられてもいるのであるが，それで，ひとりでに，黒髪を茶色に化学処理をしてみたくなったりするような，いよいよ人工的な方向へいく傾向がみられたりしているし，またまるっきり反対に，スキーとか山登りとかの，自然の素肌に触れたくなる心理をも生んでいると推理できるのである。しかも，給料のベースアップなどという民主々義の成熟もみられる時代だから，そういう風潮が量的に現象してくるのも当然だといわなくてはなるまい。そこで，レジャーをどのようにくらすか，ということが生活の中のひとつの主要な問題となり，一層行動的なレクリェーションこそ着目の重点とされるに至ったといえるのである。

では，そういうすべり方をしているレジャーブーム，つまり行動的レクリェーションを求める，そこでの対象の問題はどうか，というと，たとえば，インテリが讃美している桂離宮の建築などは，こんにちのそそつかしい

レジャーブームの主体者たちへのものとしてはあまりに数的だから不向きであろう。あの建築や庭は，それを造った当時の貴族たちの，たっぷりしたレジャーの中に生活した，その立場で求めたレクリエーション果実なのだから，こんにちのいわゆるブームに追われるなみのサラリーマンなどはその境地までは行けるはずのものではない。明日の労働におわれている立場の人々のレジャーは時間の限定がある。ウィークエンドの土曜，日曜の与えられたレジャーデーだけがレクリエーションへ解放されているだけで，その他の曜日は，職場で働き，また家庭で休むだけのくらしをしているのだから，そういう人達には望みえまい。しかし，家庭の婦人，妻であり，あるいは母である彼女たちなら，この頃の電気機具やインスタント食物で，たっぷりレジャーがあるのだから，子供のない妻の場合ならば，もっと静的レクリエーションの線を深く堀り下げていける可能性があるのだとも考えられるが，しかし現象してる様相でみると，そう好意的には考えられない節がある。残念なことだが妻は旦那様にひかれてしまうものらしい。しかし，この問題はもっと精論しなければならない事項だから，宿題としておきたいのだが。そういうレジャーに恵まれたる婦人たちにこそ，変化だけを求める単なるレクリエーションに落ちこむことから飛躍して，もっと奥行きのある教養獲得という趣味を築いてもらうことを期待したいのであるが，なかなか理屈通りに直線的にいかないで，あやしげな曲線を画くのが実際のようだ。

で，ここでは平俗な場合を主に考えておきたくなるが，たとえば，アパートあるいはアパート式の部屋で，図式的な生物学的な幸福にひたりうるならば，恵まれたるものは女性たちだといえるのであろうけれど，そういう現実ばかりで，365日めんめんとくらせるものではあるまい。もしもそれで，何等の不平も不満もないとすると，生活の中に完全に消化し切った特例としてのリクリエーションのケースだといえるのだが。かって私はそういう特例的状態を讃美する心で，新居浜の四坂島の工員たちの生活を，「愛は最上のレクリエーション！」という小文をかいて，大方の共鳴をいただいたことがあるが。

しかし，特例でない限り，夫と妻とがそのような見事な安定した共感の座にあることはありえない。夫も妻も，環境を変えて，新しい刺激を求め，新しい活気を得るためのレクリエーションを求めようとすることは一般であろうし，そうあるのが当然なこと，自然なこととしなければなるまい。つい，街にでる，デパートにいく，それらにあえて功利的な目的があるわけでなくて，住居の中の生活とのコントラストを求めて，いささかのレクリエーションに役立てようとする場景である。そういう行動者たちのために，街に喫茶店もならんでいる。また街には自動車の流れもあるし，いろいろ建物も建っている。それらはすべて，平穏な，あまりに平穏なアパートの室内とはちがった感覚を与えるものであるという点で，それらに接することは，レクリエーションになるのである。詳しくいえば，いつも自分がたてこもっている城である家庭と，感覚上のコントラスト，そのコントラストの度合いのちがいが大きい程，レクリエーションとしての効果が大きいのが，素朴な心情の人々の場合なのである。

こういう点で，わが家を，ぐっとモダンに建てて，室内万般，器物もすべて桂離宮式原理に精備したような住宅に生活している人は，街にでると不幸の連続であろう。至るところに蔑視しなければならない対象がみちているだろうからだ。それは悲劇であるが，こんにち選ばれたるデザイナーともなれば，このような悲痛な生活感情の持主でなければなるまいと思うのである。しかし，その中にまた，特例もでてくる。建物環境が不快を与えることを，別の方面でまぎらす部類の人々である。人間関係のヴァライテーを求めて，たわいのないレクリエーションを，たとえば安直なところでキャバレーとか，バーのごときで求めている人々である。あるいはまた，もっと不倫の道でレクェーションを求めたりしよう。こうかけば，それは論理の曲芸だよ，とやっつけられるかも知れないが。こういう点で一層安全な道は，ゴルフとか，この節ではヨットとかに夢中になることだといっていいかもしれない。

しかし，何といっても，レクリェーションの大物は，旅行を伴うレクリェーション，すなわち観光だ。若い人たちならば，海に，スキーに，山嶽に，日常の圧気を吹き飛ばすだろうし，中年以上の人となれば，温泉場行き，避暑地，避寒地行きだ。別荘というものの意味もこれらに添えて考えられる。そして，そういう環境に求められる建築すなわち造形は，当然日常生活のそれとはちがった感覚満足が求められるものでなければならないこともあきらかだ。

そこで，理性をバックボーンとしたモダン感覚の造形と，情緒をバックボーンとしたロマンチックな造形とが，どういう勝負になるかが問題になろう。前者は，すべてモダーン一色で，後者は社寺あり，郷土館あり，ヘルスセンターあり，となるわけだが，観光地としての性格としていずれが本来か，などということは，それは需要者主体によってきまることなのだから，いちがいにきめるわけにいくものであるまい。まるで純文学というものと，大衆文学というものについての論議に似た論議になるからだ。建築の社会美学的錯雑さと，ややこしさが思われるばかりだ。レクリェーションを求める人々へ，理想を与えるか，現実を与えるか。学問の立場もしたがって，おのずからここで二つの流派に分れるといえる。

（筆者　早大名誉教授）

リクリェーション開発のマスタープラン

三　村　浩　史

「ある家族がしゃれた色の冷暖房装置つきの自動車でピックニックにゆくとしよう。かれらが通る都会は舗装がわるく，ごみくずや朽ちた建物や広告や，とっくに地下に移されるべきはずの電信柱などで目もあてられぬ状態である。

かれらはきたない小川のほとりできれいに包装された食事をポータブルの冷蔵庫からとりだす。

夢は公園で泊ることにするが，その公園たるや公衆衛生や公衆道徳をおびやかすようなしろものである。くさった廃物と悪臭のなかでナイロンの天幕を張り，空気ブトンを敷いてねようとするときに，かれらはかれらに与えられているものが奇妙にもちぐはぐであることを漠然とながら考えるかも知れない。一体これがアメリカの特質なのだろうか」（ガルブレイス著，ゆたかな社会）

5万円消費革命といわれる耐久消費財ブームから，レジャーブームへの移行は，アメリカ的生活様式の零細化された日本版といえる。冷暖房つきの自動車やポータブル冷蔵庫を別にすれば，冒頭のレジャー風景はわが国のそれにあまりによくあてはまり，われわれもまた「一体これが日本の特質なのだろうか」と考えざるをえなくなってきたようである。

そこに共通にみられるものは，余暇活動をふくむわれわれの生活の全域にわたるおびただしい個人相手の消費財供給と公共的な施設やサービスのそれとのアンバランスである。国立公園の整備にわが国の140倍もの公共投資を行なっているようなアメリカのこの小景は，予想されるわが国のレジャーの将来にとっての警鐘を意味するものであろう。

Ⅰ　リクリェーションの発展構造

リクリェーショは有閑階級の占有から，有閑大衆のものへと移ったといわれる。

有閑大衆の意味するもの，その一つは「ピープル」の労働形態と生活様式の変貌であり，もう一つの面は「マス」が生みだす累積された巨大なレジャー市場である。

1．労働と生活様式の変貌

生産技術の発展と，労働者の生活権の拡大強化によって，労働の形態は低賃金長時間の肉体労働から，労働時間の短縮，労働の軽減へと進んできた。そこからは単なる生存からよりよい生活への希望が生まれた。

しかしながら，一方では労働形態の単能化，規格化は労働における人間疎外を押し進める。これに加えて，都市生活での住宅難，生活環境設備の不足，騒音と喧噪，大気の汚染，通勤地獄などが生理的休息のみでは回復されない疲労を倍増し，気晴し的リクリエーションを生活必需品化した。

原子力の平和利用やオートメーションで代表される飛躍的な生産技術の発展は，人間の労力を軽減するが，一方では計器の番人として精神的緊張を高める。

もし生産性の向上が失業という強制された余暇でなくて，拘束的労働の減少と賃金の向上をもたらすならば，ここから新しいリクリェーションのための基礎条件―余暇活動のための「時間」，「金」，「エネルギー」が発展する。

2．新しい余暇観の成長

労働，休息，余暇という明確に分離された現代生活の時間割は「仕事は仕事，アソビはアソビ」という割り切った考えかたを一般化する。

このような余暇観は家庭でも展開されつつある。家事労働の合理化，商品化によって女性，とくに家庭の主婦のもつ余暇は急速に増加しつつある。二宮金次郎に象徴される節倹，勤勉といった旧い禁欲的な倫理は次第に後退し，これにかわって，近代的な小家族を中心とした新しいリクリェーション倫理が生まれようとしている。

このような余暇時間の増加，それを裏づける家計，さらに新しい余暇観の成長によって，リクリェーションの様相は大きく変ってゆこうとする。余暇利用のための条件が満たされてゆくにつれて，リクリェーションの要求は時間，消費とも零細で散発的なものから，計画的で安定したものへと進む。より高度の知見，技術を必要とするような創造的リクリェーションは，余暇のもう一つの産物ともいえる教育，文化水準の向上と表裏一体をなして，加速度的に増加するであろう。スポーツ，文化的創

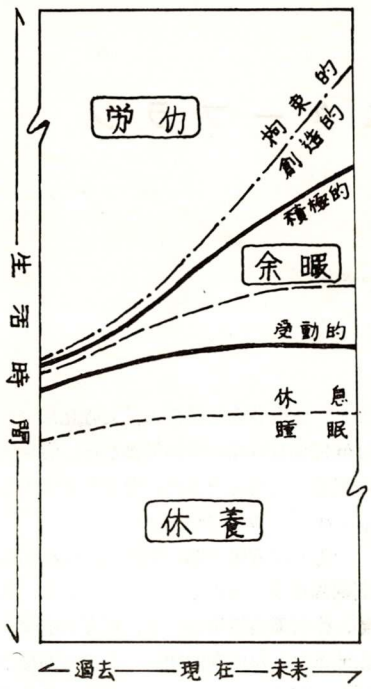


図1
労働者の生活時間の発展方向

作活動など，自ら行なうことで楽しみながら，自己発展に役立ててゆくような新しいリクリェーションは，拘束的労働が次第に減退し，創造的な余暇利用と創造的な労働との有機的統一が成立するまでの過渡的段階であるということができる。

Ⅱ　レジャー・ブームの夢と現実

1．大都市―マスリクリェーション市場

リクリェーションを中核とする新しい生活様式の展開は全体として巨大なリクリェーション市場をつくりだす。

予想される生産年令人口の増加，2次，3次産業人口の膨脹，これらの大都市流入は，大都市を中心とするマスリクリェーション需要の伸びを加速するのに役立っている。

デパートのショーウィンドーにはモーターボートや自動車がならび，繁華街にはトルコ風呂から大衆食堂，キャバレーをおさめた立体的娯楽の殿堂ができる。じゅうたんを敷きつめたパチンコ屋もあるという。屋内スケートリンクやスキー場，ボーリング，郊外の遊園地やゴルフ場などにも巨大な投資が続けられている。ラジオ，テレビ，週刊誌などのマスメディアは，これらのきらびやかな豊富さのムードを大衆に呼びかけてゆく。そこには観光娯楽業者が驚くほど大量の顧客が押寄せてくる。これらの事実は大衆のもつ余暇エネルギーが日増しに大きくなりつつあることとともに，その零細ではあるが巨大なリクリェーション消費を相手にする余暇産業の急速な成長を示すものである。

人口の43.7%が国土のわずか1%に密集しているわが国では，大都市を中心とする観光娯楽企業の立地はすべてこれらの有利な状況を背景にしているといえる。

2．低いリクリェーションの水準

王様にまつりあげられた消費者は果して王にふさわしく，ゆったりとバランスのとれた生活を楽しんでいるだろうか。

わが国では余暇利用をうながす所得と時間の余裕およびその利用形態がまだまだで低い段階にとどまっている。国際的にみても，拘束労働時間は，アメリカ，カナダなどの週40時間にくらべて，わが国の労働時間は50時間にも及んでいる。しかも好況になるにつれて，逆に労働時間には微増の傾向がみられる。また1日の余暇時間では，昭和35年8月経済企画庁の調査によれば，平均余暇時間は世帯主3.08時間，主婦3.38時間であり，世帯主の1月の休日数は2.5日にすぎない。しかもこの余暇所有では，大企業と零細企業の格差が大きくみられる。昭和34年7月の東大新聞研の調査でみても，週日平均労働時間は大企業従業者の9.2時間にくらべて，中小商業主は10時間である。また労働省の統計でみると，休日では年間10日以上の休暇をもつものが1,000人以上の企業では77.2%であるのにくらべて，100人未満ではわずか37,6%にとどまっている。

余暇のすごしかたについてみても，前記経済企画庁の調査は，「ラジオ，テレビ，新聞」，「ごろ寝などの休息」と答えたものが大多数を占める状況である。これを所得別にみると，大企業従事者などの高所得層では「読書」，「スポーツ」，「旅行」などが比較的多くみられるが，余暇時間，経済に恵まれない低所得層などでは「休息」，「雑談」などですごしている者が多くなっている。

このようにわが国の労働者はまだまだ余暇を積極的に利用する条件をもっていないことがわかる。とくに低所得者層においては，失業という強制的余暇からようやく抜けだそうとしている段階であるといえる。

余暇のすごしかたでも，住居内でのラジオＴＶ，週刊誌などのマスメティアとの接触，ゴロ寝，街頭でのパチンコ，競輪競馬などのかけごと，プロ野球やボクシングなどのみるスポーツ，2本立映画など，観光旅行といっても満員電車での日帰りレクリェーションや，職域，地域団体などの貸切バスを利用した大量廉価な「包装された旅行」を楽しんでいる段階であって，「少ない金でたのしめる」という条件が中心になっている。

次第に変貌する労働条件，居住条件，さらにマスコミのあやつる新しい生活様式のムードで刺激されつつリクリェーションに対する要求はいちじるしく強まりつつあ

る。にもかかわらず，現在の余暇利用をささえる時間，金，エネルギーの状況下でこの要求を十分受けいれ，生活全域にバランスのとれた発展をうながす準備はなされていない。ここに余暇利用の零細化，街頭化の原因があり，それにふさわしい零細レジャーマーケットを受け入る素地があるといえる。

Ⅲ　リクリェーション空間の展望

リクリェーションが拘束的労働，生理休息に必要な部分以外のすべての生活を意味するとすれば，リクリェーションのひろがりは，われわれの生存するすべての空間をつつむものであるといえる。

リクリエーション空間の建築，都市計画的な配置は，われわれの生活のリズムが生みだす多様な余暇存在の形態に対応するものである。

家庭，学校，職場などでの毎日の余暇，週末や季節，年次的な休暇など，それぞれに適当なリクリェーション施設やサーヴィスが必要である。

1．コミュニティ・リクリェーション

個人や，家族，近隣，学校，職域から都市にわたる多様な集団は，日常生活圏での複雑なリクリェーション活動のネット・ワークを要求している。これらのなかで，近隣および都市コミュニティでのリクリェーションはその中核となるものである。

a．近隣リクリェーション

近隣コミュニティでのリクリェーション計画はすべての社会階層，年令グループのためになされねばならない。

近隣リクリェーションは，住居空間の社会的な延長として，居住者に心理的な親近感，空間的な近接感を与えるものでなければならない。近隣リクリェーションは人間的なコミニケーション—利用者がみずから参加し体験する—を得ることができる最大の機会である。近隣コミュニティの大小の緑地，公園，運動施設，集会場（大人と子供それぞれの）の規模と配置について，最近の公共団地などは意識的にとりあげているとはいうものの，一般的にはきわめて低い水準にある。またそれらのリクリェーション施設を管理し，住民の利用をヘルプしてゆく組織に欠陥がある。とくに，将来のリクリェーションの発展を予想すれば，戸外スポーツ施設の絶対量の不足が問題となると考えられる。これらの施設は装備の整った専門家級のものでなくても，住民がみずから「する」スポーツとして，利用が容易で，自由度の高いものでなければならない。このようなスペーシャスな空間は，都市における住宅規模の狭少さとそこからはみだした部分の社会化—共通の庭と居間を前提とするものであるけれども，フラット1戸当り30坪といった現在の設計条件では困難である。限られた土地を有効にリクリェーションに利用するには，現在の平板的な都市を高密度立体的住居空間と低密度のリクリェーション空間の組合せをもつ都市へと発展させる必要がある。

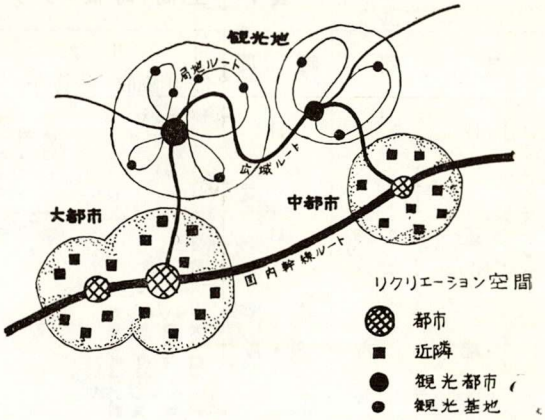


図2　リクリエーション空間の配置

b．都市リクリェーション

都市コミュニティにおけるリクリェーションは，近隣やその他の小集団では供給できない専門化され，集中化されたリクリェーション施設とサーヴィスを要求する。

空間利用のコンパクトなショッピングや娯楽場，興行的な映画，演劇，音楽，ショウ，さらにボクシングやプロレス，プロ野球などのみるスポーツなどの都市における商業的リクリェーション施設，美術館，博物館，音楽堂，図書館などの公共的文化施設，スペーシャスな空間を要求する競技場や球場，動植物園や遊園地，大規模な公園や緑地などは，都市圏内においていくつかのセンターを形成する。また公共的な中央施設は都市住民に直接サービスするばかりか，近隣，その他の集団におけるリクリェーション活動を積極的に援助する役割が与えられている。近隣リクリェーション施設にくらべて住民1人あたりの利用率は低いが，都市全体として大量の群衆の参加する都市リクリェーション施設は利用時のピークに耐える規模，すぐれた交通上の立地を必要とする。現代の大都市では，大きなスペースを必要とするもの，企業性の薄いものは，しばしば地価の高い都市内部から追いだされる結果になっているが，これは住民の利用要求とは基本的に逆行しているものといえる。

都市および近隣リクリェーション施設のこんにちの問題点は個人相手の商業的なリクリェーション施設の繁栄にくらべて，公共的なリクリェーション施設の貧困にあるといえる。

公園法によると，住民1人あたりの公園面積は3平方米を最小限にするとあっても，大阪市1.69，京都市1.20神戸市2.7平方米にすぎず，ワシントンの42.0，パリ

表1　空間・時間・リクリエーションの具体例

空間		時間	リクリエーション 消極的　休養的←――――→積極的　創造的	主な機能
コミュニティ・R	住居	日	TV　ラジオ　新聞　週刊誌　団らん　ゲーム　趣味　読書　庭あそび　けいこごと	個人・家族全員の日常リクリエーション
	近隣	日	談話・集会　グループ・サークル　クラブの活動　散歩　非公式のスポーツ　野球　水泳　テニス　卓球　コーラス　美術　演劇	簡単な施設を用いてみんながするリクリエーション 学校・職域・地域集団
	都市	日・週	ショッピング　大衆娯楽　パチンコ　競輪競馬　プロ野球　ボクシング　映画・演劇（みる・きく）　音楽　演劇　公式のスポーツ競技　陸上競技　サッカー　野球	専門家の演出をみききするリクリエーション アマとしてより高度の施設を用いるリクリエーション
観光・R	広域	週・季年	名所見物　社寺勝観　都市遊観　展覧会　遊園地　動植物園　ドライブ　ハイキング　水泳プール　海浜浴場　釣ボート　温泉　宿泊　見学・研修旅行　スキー　登山　ヨット	個人・任意の集団による観光リクリエーション

5.02などとくらべてその貧弱さがうかがわれる。

表2　1人当り公園面積（昭34）

公園法最低基準	3.00m²
東京	0.64
大阪	1.69
名古屋	1.98
京都	1.20
ニューヨーク	10.00
ワシントン	42.00
ロンドン	10.00
パリ	5.02

1人あたり3平方米という段階は，密集した市街地内にわずかに「息ずく場所」を与える程度であって，リクリエーション需要の増大する負荷にはとても耐えられるとは考えられない。とくにリクリエーションの質的な発展方向を考えると，みるスポーツや，利用度が高く収益性のよい卓球場，屋内スケート場，プールなどを除けば，その他のスペーシャスなスポーツ空間の見通しは極めて悲観的である。

近隣リクリエーション施設の大部分も，大規模開発における開発体の供給による他は，その分布の網の目が荒く，かつ設備が貧弱であって，とうてい住民へのサービスを果しているとはいえない。これらは，地域社会におけるリクリエーションの問題として，その建設，経営，管理のシステムが真剣に検討されねばならない時代を迎えているといえる。

わが国のレジャー利用の特色とされる街頭性，それはレジャー消費の零細さを示しているが，同時に商業的に供給される大衆娯楽以外にリクリエーションの機会を与え得ない公共的リクリエーション施設供給の現状にも帰因しているといえる。

2. 観光リクリエーション

日常の定型的生活をはなれて，気持を開放し，大自然の中で1日でも2日でも過して健康をとり戻し，明日への元気を生みだす，あるいは未知の風土に接して知見を深めることは現代の都市生活者にとって必需品化しつつある。

労働時間の短縮につれて，余暇の存在形態は小きざみの余暇からよりまとまった休暇へと移行してゆく。輸送技術の革新によって，低廉，高速，大量輸送が可能になれば，観光リクリエーションの需要も飛躍的に増大するであろう。

1957年において交通機関を利用したわが国の延観光客数は約4億人と推定されているが，その消費額においてはきわめて低い。しかし余暇状況の向上によって急速な発展を予想されることは，アメリカの総リクリエーション消費額の4分の1までを観光旅行が占めていることでも推察できる。

予想される観光リクリエーションの変貌をみると，まず，観光リクリエーション層の広汎な展開が考えられ，

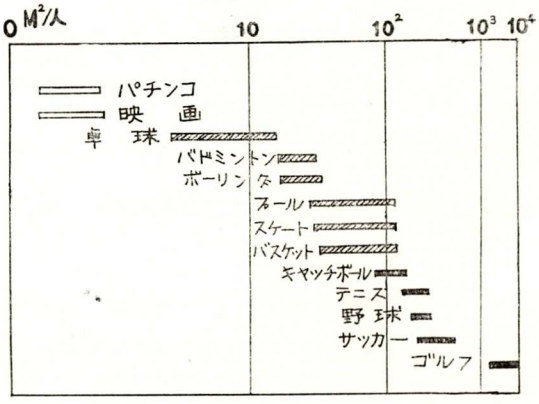


表3　同時利用1人当り所要面積の例

次にこれまでの遊楽的，見物的な受動的リクリェーションから，登山，スキー，海水浴などの戸外スポーツ，あるいはその他の文化的な活動など積極的多様なリクリェーションの組合せへと移ってゆくものと思われる。

行動形態も，遊覧バスによる集団的パッケージツアーから，家族や小グループの自主的なプログラムによるリクリェーション旅行へと移ってゆくであろう。

また休暇制度の確立，ユースホテルや国民宿舎など社会福祉的な国民観光制度の発展によって，現在は大半が日帰りまたは1泊程度，半径150キロ程度のものが日数行動半径とも次第に拡大されてゆくものと考えられる。

これに対応する観光施設計画はスポットからルートへ，単能的なものから多目的なリクリェーション活動へと発展しなければならない。観光供給を成立させるものは広義的にいって，資源と施設である。

観光リクリェーション立地の特色はその位置の絶対性にある。山岳，雪面，水面，海岸線，原始林，温泉などの自然的資源，古社寺，祭礼，伝統産業，民俗，古蹟等の歴史的で社会的な資源，これらは一般的にいってコミュニティリクリェーションのもつ人工的均質性とは異なり，任意の立地を許さないし，一度破壊されれば再び回復することが困難である。

わが国の国立公園，国定公園は国土面積の10.8%を占めている。しかしその大部分は民有地であって，計画的な管理，資源の保護は極めて低い段階にある。年々その利用者は上昇しつつあるにもかかわらず，観光資源の有効な利用と十分な保護を可能にするような計画および施設整備がはかられていない。

将来における，これら観光リクリェーションの激増を考えれば，空間的にみて，全国土的見地から，広域観光圏および国内主観光ルート，さらに観光圏内においては，観光都市，観光基地などの集団施設地区とこれらを結ぶ局地観光ルートの整備が必要である。

観光地域におけるバランスのとれた開発を進めるためには，大量，高速交通を要求される観光ルート，宿泊その他の都市的観光施設の集中する集団施設地区，さらに自然と人間との対話を可能にするような低密度のリレクリェーション地の三つの空間的要素を分離する必要がある。

原始林に開発されたドライヴウエーは1キロ米の奥まで自然環境を変えるといわれる。観光地における局地的な交通動線，人と車の分離，自然地区の保護などは極めて重要であるといえる。

地域開発と一体化した広域の観光リクリェーション開発は，大資本の進出を可能にするような恵まれた立地条件をもつ地点を除けば，地元の資本力では不可能である。単独では企業性の乏しい施設，人工度の低い自然環境，専用歩道，広場，苑地，道路などこれらは観光地における公共施設として考えられねばならない。

Ⅳ　マスタープラン実現のために

多角的な発展を予想されるマスリクリェーションを，われわれの生活の重要な部分としてとらえ，これにあらゆる空間的なバランスを与えながら展開してゆくためには，建築家，プランナー，企業者および公共機関の協力がなによりも大切である。

国土，地方，都市などにおける総合計画はわれわれの生活の4つの要素，生産—労働，居住—休息，リクリェーション—余暇利用およびこれらの諸機能を結ぶ交通ルートによって組織される。現在の計画体制における住居およびリクリェーション計画の貧困は，生活環境の低水準に喘きながらも，あるいはそれゆえに，スシ詰めのスキー列車に，あるいは海岸線延長1mあたり25人というような芋ノ子海水欲場にあふれる民衆の発散するリクリェーションエネルギーを無視したものといわねばならない。たとえば大都市を中心とする海岸線は臨海工業水質汚染地帯の進出によって次第に失なわれてゆく。市町村の財政は黒字になっても，住民は失なわれゆくリクリェーション地の代償に何を得たかは疑問であり，わずかにプール建設の要望書をだすといった程度にとどまっている。また観光地におけるドライヴ・ウエーと観光センターの建設が盛んである。ここでは風致の破壊はともかく日曜ともなればバスや自家用車の列が騒音と排気をまきちらす。これはマスリクリェーション供給にとって必然的形態かもしれない。しかし，これまでの歩行登山者の権利は無視されている。開発と保護，この矛盾する現実を解決するためには，バランスのとれた土地利用計画がなによりも必要であり，都市および観光空間における厳密な用途地域のコントロールトと，これを裏づける公共的な施設の整備—公共投資によるものと，企業的開発者への義務ずけによるものが必要である。

今日の余暇をめぐる社会大衆状況は大きな変革期に当面しているけれども，それが中間層ムードにのった消費財産業の宣伝におわることなく，真にわれわれの生活を豊かにするのであるためには，余暇利用活動—リクリェーションを社会的問題としてとりあげる必要がある。

社会計画や経済計画に呼応したフィジカルな空間計画とそれらへのフィードバックが建築家や都市計画家に課せられた役割とするなら，われわれはリクリェーション発展の方向とその条件を空間的なイメージを通じてみきわめ，総合的な計画のなかに反映させてゆく責任がある。それはリクリェーションを国民の生活権利として確認し，福祉国家建設のプログラムのなかに組みこんでゆく努力でもある。

（筆者　大阪府技師）

国　民　休　暇　村　の　構　想

糸　賀　　黎

1．盛んなレジャー論と10年後の国民生活

経済企画庁の〝10年後の国民生活〟によると消費性旅行とレクリエーションについて次のような予測がされている。（レクリエーションなどと関係の深い旅行を消費性旅行と称すると，登山，スキー，温泉に行く人，あるいは夏休みで帰省する学生や，新婚旅行などがこの中にいれられる。）これによると全国民を平均すると旅行回数は昭和32年には1人が1年間に約4回位消費性旅行をしていたのが，10年後には平均13回位旅行することになると思われる。（**第1図**参照）また自動車旅行については貸切バスによる国民1人当り年間旅行回数は昭和32年に1.02回であるが単純に個人消費支出との関係から10年後の旅行回数を推計するとおおむね8〜10倍にふえると思われる。

経済企画庁の予測を基にして現在の国立公園利用者数の増加を推定すると，10年後には少なくともその数は2億を突破するものと予想される。

このようにレジャー旅行が盛んになったことについてフランスのジークフリードは，その著書「現代」の中で現代のもっとも典型的な相のひとつとして，「計画された画一的な遊覧旅行」をとりあげ，「新しい遊覧旅行は組織され，ほとんど機械化され，集団的でなによりも民主的である」と述べている。

わが国においても最近マスコミが盛んにレジャーを宣伝し，レジャー調査が実施され，一部にはレジャーの理論化さえ試みられるようになってきた。またマスコミの宣伝に対応して民間企業による観光施設への投資も，昭和33年の景気を境として最近ウナギ上りに上昇しつつあり，一見供給が観光需要に追いつけない感さえする。

最近週刊紙をにぎわしているレジー論からみると近い将来にはレクリエーション旅行について多くの甘い夢を抱かせるものがある。しかしレジャーブームという表面的なムードの底に一般国民の余暇利用の実態はどうなっているであろうか。

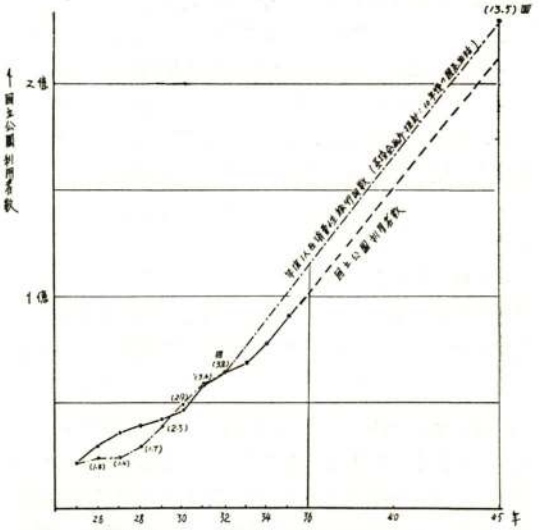
2．余暇利用調査に現われた旅行の現実

去年11月実施された総理府の「国民の旅行に関する世論調査」によると次のような結果が報告されている。

(1) 全国民について，旅行の年間平均回数を推計すると1.1回（旅行をしたもののみについては2.4回）にすぎない。この1年間に泊りがけの旅行を1度もしなかったという回答が54%におよんでいる。

(2) 目的を慰安観光などのレクリエーションに限定すると旅行者75%（調査対象者の34%）である。全国民について慰安観光旅行の年間平均回数を推計すると，0.7回（慰安観光旅行をしたもののみについては2.0回）にすぎない。

(3) 家族ずれ旅行の有無については，この1年間に家族ずれ旅行の経験のあるものは慰安観光旅行をしたものの3分の1（全対象者の11%）にすぎず，大半は職域，地域の団体旅行である。



第1図　年間1人当涉費性旅行回数の増加
国定公園利用者数の増加

第 1 表

社会層別の余暇消費タイプ

社会層	旅行に関する項
上流層	家族ずれで田舎の宿屋かゴルフ場のあるホテル（1泊1万円以上），飛行機旅行，海外旅行
職員層	社内慰安旅行　家族とは年1回1泊旅行
小企業　商店主	接待・業界・業務旅行，家族・従業員ずれの旅行
大企業　労働者	会社旅行年2回，積立金による団体バスピクニック
小企業　労働者	従業員慰安旅行，仲間で日帰りピクニック，帰郷
農民	ヘルス・センター，婦人会でバス旅行，青年団のサイクリング

（朝日ジャーナル編集部調査による）

（朝日ジャーナル編集部調査による社会層別の余暇消費タイプをみても，家族ずれの旅行の可能なものは上流層，企業商店主あるいは一部の職員層に限られ，国民の大部分をしめる労働者，農民におよんでいない。（**第1表**参照）

(4)　全対象者の大半が旅行できないという実状に対して，彼等の旅行意欲を調査すると，少なくとも年1回位は旅行したいという希望が全対象者の75%におよんでいる。旅行のできない理由として〝経済的な理由〟〝留守番がない〟〝家事で忙しい〟〝休暇がとれない〟と述べている。

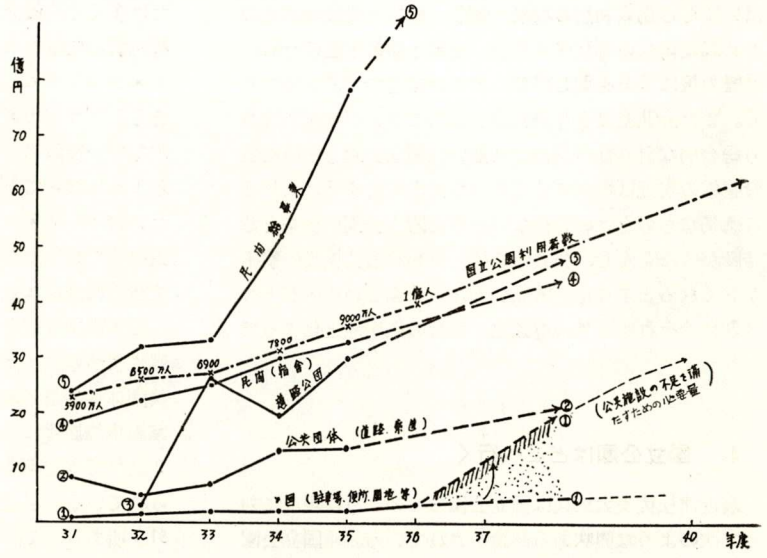
以上総理府調査に現われた観光旅行に関する諸相はレジャーブームに反して大多数の国民の生活水準はヒマもカネもとぼしい現実を反映するものである。松下圭一氏によれば「（1）休日は月平均2.5日であり，明日の勤労意欲を導くレクリエーションとしてのレジャーを追及する気持にはなれない。（2）勤労者の場合実質的に余暇が減ってきている。（3）所得格差は減ったというが日本の余暇追及は個人の経済的余裕にとぼしく，恩恵ないし積み立てによらなくては出費のかかる余暇追及が不可能である」（朝日ジャーナル3巻18号）と指摘される。したがって家族ずれの個人は困難であり，また休日のすごし方としてごろ寝などの休息が非常に多いことになるのである。現在のレジャーブームが観光客の飛躍的増大をもたらしたという事実の反面，所得と余暇の社会層および地域格差がいちじるしく国民のあらゆる階層に行きわたっていないきびしい現実がかくされているのである。

3.　高級化する観光施設とおくれる公共施設の整備

たしかに観光旅行者は増大しつつあり，これを受け入れるためにレジャー産業は好況を呈する。資本主義社会では余暇利用すら企業体にとって第三次産業として利潤を生む対象となる。観光地にはホテルや旅館などの宿泊施設がたえず競って新築，造改築を行ない設備を新しく高級化して行く。しかし，このようなデラックス化しつつある観光旅館の料金は，一般国民の生活水準に比して極めて高いものになりつつある。東京や大阪から1泊のレクリエーション旅行をする場合，その1人当りの経費は少なくとも2,500～3,000円となり，その内訳は宿泊料と交通費が大部分をしめるものと思われる。このような出費は，一般大衆が旅行を楽しむためには決して軽い負担額ではない。今日家族ずれで1泊の観光旅行を楽しむことは容易なことではないのである。

わが国における国立公園施設整備の現況を例にとって観光地と施設の現況を分析すると，**第2図**のとおりである。この図表からわかることは

(1)　民間企業による観光施設への投資は，昭和33年の好景気を起点として急激な上昇カーブをえがきつつある。これはロープウエイ，民間の有料道路，有料レストハウス，ホテル，水族館などの億の事業費を単位とする膨大な投資が盛んになってきたことを示すものである。民間企業のうちホテル，旅館などの宿泊施設だけを取ってみても，その伸びは国立公園利用者数の増



第 2 図　　国立公園における観光施設投資の現況と予測

加に比例する投資が続けられている。これは宿泊施設が需要に対応する収容力を増大させているとともに，建築や設備の更新を行ない，施設を高級化して行く傾向を示すものである。その反面前述のとおり国立公園は一般大衆のレクリェーションの場であるという本来の性格を失って行く。

さらに箱根のような観光地にみられるとおり，自然公園としての自然環境は施設の乱設のため失なわれ，国立公園は都市化あるいは遊園地化する。現実に民間企業により行なわれている公園施設の方向は，必ずしも自然公園として理想的な姿ではない。

(2) 民間の投資がこのように伸びている一方，国立公園の公共施設はどうであろうか。国立公園内において道路公団の執行する有料道路は，確かに利用者の増加に対応する伸びをしめしている。しかしこれとても採算性を重んじて利用者から料金を徴する施設である。国によって行なわれるべき公園道路，駐車場，園地，給排水施設，便所などの基本的公共施設（無料施設）への投資は31年以来全く横ばいの状態を示し，利用者と民間の有料施設の伸びに対応していない実情である。またその投資額の絶対値も他の事業に比べて極めて少ない。

以上の結果は，公園と称すべき地域に公共性を与えるべき基本的な公共施設が，量的にも質的にも極めて不十分である。たとえば箱根へ行けば交通運輸施設は有料道路であるかまたはロープウエイ，遊覧船であり，無料で通れる施設は国道1本あるのみである。このような金をとる路線が四通八通し，人々がゆっくり自然景観を楽しむことのできる人の歩ける遊歩道や，野外で人々が休息できる園地はどこにあるであろうか。その他各地の国立公園において駐車場の不足のために道路が車の駐車で一ぱいになる過剰利用の現象，便所，給排水施設の不足のため環境衛生の悪化する現象，避難小屋の不足のための遭難対策に万全を期し得ない事態が起りつつあるのである。また公共施設と有料施設が量的にアンバランスであり総合的な計画性が保持され難い。国立公園とその他施設整備の現況は増大する近代的な大衆旅行を受け入れるに適切なものとはいい得ない。もし国立公園に金をとる施設がはんらんし，公共性を持った無料公共施設の整備がおくれるとすれば，国立公園から公園という名がとりさられ，それは郊外の遊園地か都会の歓楽地と化するであろう。

4. 国立公園はどこへ行く

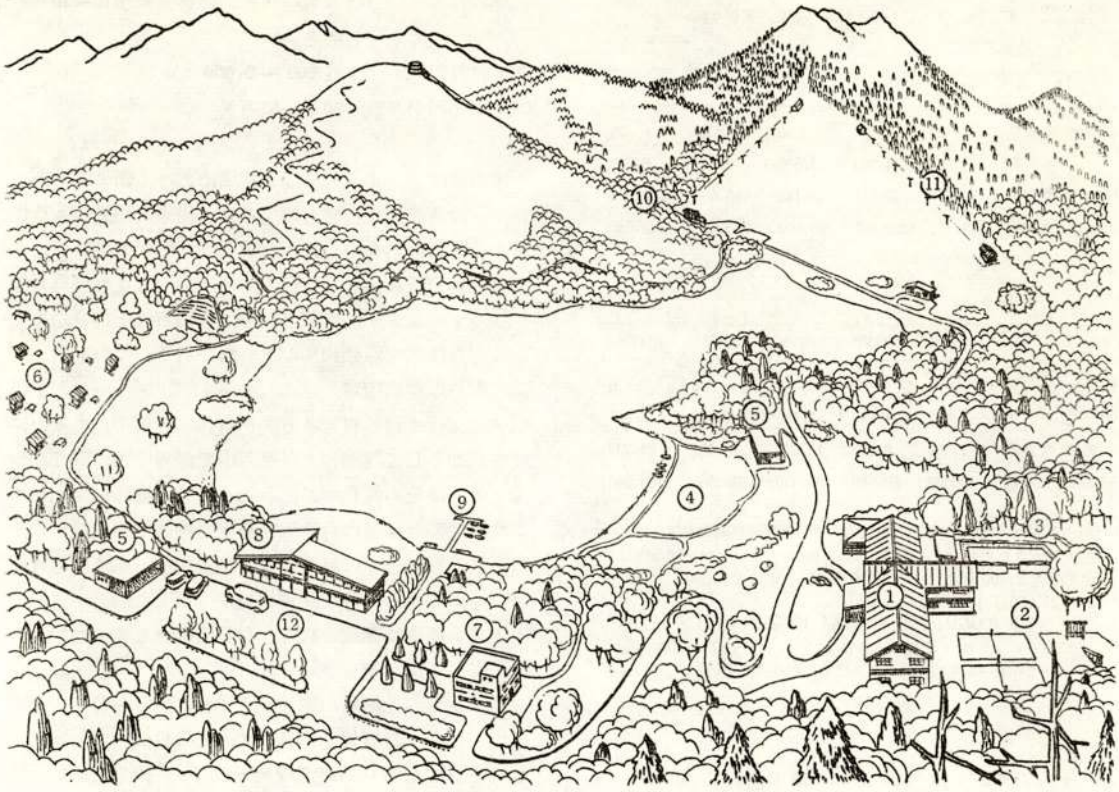
最近浦松佐美太郎氏は国立公園のこのような現況に対して次のような興味ある評論をされている。「国立公園のなかに私鉄会社の金もうけのための有料道路が走っているなどというコッケイなことはあるまい。国立公園という看板を潔くはずしてしまい，私鉄公園とした方がどれだけすっきりするかもしれない。」（厚生第16巻第7号）「日本では国立公園という名称だけは存在しているが，国立公園そのものは存在していない。非国立公園的な営利業者まかせである。もし日本に国立公園の問題がありとすれば，それはすでに指定した国立公園をいかにしたら公園化できるかという問題であると思う。」（雑誌国立公園138号）。国立公園はこれからどこへ行くのか？。

5. 問題解決へのアプローチ

国立公園を本来の意味の公園化するにはどうしたらよいのか。以上述べた観光旅行と観光施設の現況から問題点を整理することにより，ひとつのアプローチが生まれるのではなかろうか。そのひとつは基本的な公共施設の整備である。まず量的な問題として現在の利用者の需要に見合うだけの量を早急に整備するとともに，予想される今後10ケ年の利用者の急激な伸びに対処しうるような公共投資（少なくとも現在の5～7倍）が必要とされる。これによって公共施設と有料施設のアンバランスが解消されるであろう。施設整備の目標として（1）一般大衆によるオーバーユース（利用過剰）対策（2）観光地の環境衛生対策（3）教化施設の整備などの教化対策（4）山岳地や海浜地における遭難対策（5）年々増大しつつある国際観光客のための国際観光対策（即オリンピック対策）などの重点的な対策が必要である。また公共施設の質も公園の名に値するような立派なものでなければならない。

次に一般大衆に対して家族的に気軽に，しかもできるだけ多くその機会をもつ可能性を与えるために交通費と宿泊費の低減をはかる方向である。欧州におけるソシヤル・ツーリズムの思想もこのような方向を目指すものである。ヒマもカネもない低額所得層，ヒマはあるがカネがない一般階層にも旅行の機会を与える政策が要求されるようになってきた。わが国においてもすでに青少年のためのユース・ホテル，家族ずれの一般国民のための国民宿舎の諸制度が始められたのは，観光旅行における宿泊費の低減をはかるひとつの試みである。

後者の国民宿舎とは，自然公園や保養温泉地において厚生省が厚生年金保険および国民年金の積立金の地方公共団体への還元融資により建設する宿舎で，一般国民の家族単位旅行に供するものである。宿泊料金は1人1泊2食付で木造500円，耐火構造600円の基準料金が定められている。現在建設中のものを含めると公営のものは51ケ所あり，こんごさらに100ケ所の計画が持たれている。宿泊施設の質も他の一般旅館に比べて決して低いも



①国民宿舎　②運動広場　③温泉プール　④園地　⑤休憩所　⑥野営場　⑦博物館　⑧ダイニング・ロッジ
⑨舟遊施設　⑩ロープウエイ　⑪スキーリフト　⑫駐車場

第3図　国民休暇村構想図

のでなく，最近建設されるものの中にはレゾート・ホテルに匹敵するものもでてきた。宿泊利用率も昭和34年度の28.3%から現在は約45%に伸び，その利用者数も全国で昭和34年30万人から本年度は50万人に増加することが予想される。

6. レクリェーション地域における新しいコミュニティの造成—国民休暇村の構想

以上休暇村が生まれるに至った背景を述べてきましたが，その論点のとおりレジャーを生む国民の社会的，経済的生活の現状と，国立公園などの観光地の歓楽地化あるいは高級化しつつある姿から，レクリェーションのための新しいコミュニティとしての国民休暇村の造成が要請されるようになってきた理由も明らかとなろう。さらに休暇村の建設に希望と確信を与えたものは前記の公団国民宿舎の意外なほどの好評と成功であった。既存国民宿舎の経営実績を分析することにより，厚生省当局は休暇村建設に対する明るい確信を持つに至った。休暇村の思想は必ずしもオリジナルなものでなく，諸外国の実例に徴するとすでにイギリス，西ドイツ，スェーデン，ベルギーなどにおいて，国民生活の内容充実を目的とする国の重要な社会政策の一環として，ソーシャル・ツーリズムの立場からHoliday Center Vacation Center などの名称をもって低れんな利用施設の整備が強力に実施されている。（第2表参照）

従来の国民宿舎が低れんで清潔な宿泊の場を整備するものであったのに対して，国民休暇村はこれら国民宿舎を中心として，さらにその他の保健休養施設が総合的に整備された休養地である。とくに大衆的レゾートとして長期の滞在利用をも増進させようとする考慮がはらわれる。

(1)　基本的公共施設（無料施設）

道路（車道，歩道）駐車場，園地，広場，休憩所，公衆便所，給排水施設，運動施設，博物展示施設休暇村のひとつの特色は，これら公共施設が宿舎など有料施設と質，量ともにバランスを保って総合的な計画が保持されるところにある。

(2)　有料施設

国民宿舎　200～300人収容のもの2，3棟
（1泊2食付500～600円）

第 2 表　ベルギーにおける休暇用施設の整備状況

（1）　休暇用施設

区　　分	1951年	1952年	1953年	1954年	1955年
休暇用施設数	29	28	30	30	26
ベ ッ ド 数	3,694	4,223	5,502	5,843	6,782
休暇利用者数	33,747	37,321	43,142	45,660	50,901
宿 泊 者 数	188,417	222,407	268,993	282,558	342,640

（2）　休暇センター

区　　分	1951年	1952年	1953年	1954年	1955年
休暇センター数	2	3	5	5	6
ベ ッ ド 数	892	1,180	2,480	2,735	3,818
休暇利用者数	7,362	8,071	15,621	18,451	24,239
宿 泊 者 数	44,362	58,989	105,330	124,365	186,965

（注）1．これは国の補助金（交通省の勤労者休暇振興費予算）により整備されたもので，1954年には2,000万フラン（14,400万円）1955年2,400万フラン（17,300万円），1956年3,000万フラン（21,600万円）が支出されている。

1．"LE TOURISME SOCIAL EN BELGIQUE"（1956年ブルユッセル市「美術と旅行出版社」刊）および「観光」（観光事業専門視察団報告書，日本生産性本部発行）によつた。

ダイニングロッジ　100人～150人収容
ケビン　4人～8人収容のもの20～30棟
30人収容のもの15棟
（1泊150～300円）
海水浴場　バースハウス，人工プール
野営場　セントラルロッジ，ケビンなど
スキー場　スキーロッジ，スキーリフト
ロープウエイ
水族館，博物館，舟遊施設（ボート，ヨット）

休暇村1ケ所当りの規模は

A　面積　50～200陌
B　事業費　3～5億（全体計画）
（うち公共施設の整備費が10～20％をしめる。）
C　収容力　1日800～3,000人
D　年間利用者数　20万～50万人

休暇村はレクリエーション地域における新しいコミュニティの造成を目指すものであり，従来の観光のように単にそこで宿泊を中心とした消費的な慰楽地ではない。ひとつの地域社会として民主的で，自由なまた自発的なレクリエーションが強調される。利用者はその好むところにより休息や温泉利用がとられ，あるいは海水浴，運動，野外の自然観察，登山，キャンプ，スキーなどが組織的に実行される村である。村自体の内部で，あるいは村を基地として周囲の大自然の中で野外活動が営なまれるところにその特色がある。とくに教化施設に重点がおかれ，このためには自然観察路や博物展示施設などの無料公共施設，さらに収益は低いが博物館，水族館も計画される。これらの各種利用施設が一貫した設計，意匠のもとに計画的に配置されて，自然公園としてふさわしいコミュニティが造成される。

このような休暇村の構想からすれば，その位置の選定についても，設置場所の具備すべき条件は自から定まってくる。すなわちわが国39ケ所の国立，国定公園の区域内において次のような条件が満たされるところが選定されるであろう。

（1）　付近一帯の自然景観がすぐれており，地況が多衆を収容する施設に適していること。

（2）　数10ヘクタールの土地が休暇村の地域として自由に使用できるための管理権を設定することができること。

（3）　交通が便利で，大都市または地方基幹都市からの到達性が良好なこと。とくに大都市から3～5時間が到達できる週末旅行に適当な場所がのぞましい。また今後発展が予想される地方工業都市との関連も考慮されるであろう。



(4) 登山，キャンプ，温泉，スキー，舟遊，海水浴などの多様な利用があること。

(5) 施設の計画的な製備が可能であること。理想的な計画の実現のためにはサラ地であることも要件となる。

昭和36年を初年度とする10ヶ年計画において，全国的な視野にたって約40ヶ所（前期5ヶ年において約22ヶ所）が造成される予定である。

7. 国民休暇村の運営

休暇村に計画された施設の事業および運営については，従来のように民間企業の設置，運営にまかせる形式では，計画の意図通りの完全な実施は困難である。休暇村のような低れんでしかも全国にわたって適正に配置し，総合的に整備することは，単に営利を追及する民間企業では困難であり，また国，地方公共団体が直接経営することも能率，機構上の諸点から適当でない。そこで公共性の高い休暇村の施設を効果的に運営するため，国の監督が充分に行なわれる財団法人国民休暇村協会を設立し事業を行なう予定である。

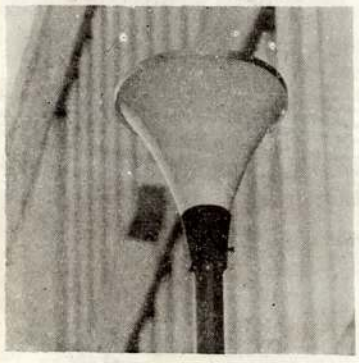
休暇村の設備投資々金については基本的な公共施設は国の直轄費をもって国立公園施設整備事業として，無料で開放することとなる。休暇村は全くの処女地に造られる場合が多いので，道路などの公共施設に多額の投資を要するので，これらの公共施設は国で責任をもって製備する方針である。次に有料施設についてはこんご年々増加の一途をたどる国民年金積立金および厚生年金保険積立金の環元融資による低利長期の資金が予定されている。一般大衆のため国民休暇村の造成こそ国民年金積立金の使用方法としてもっとも意義あることである。

8. 保健休養施設の社会的ニード

これからの経済の発展に即応して所得の増加，労働時間の短縮，これにともなう主婦の家庭管理の合理化などにより利用されるべき余暇時間は増大するであろう。このような生活時間の社会的，経済的変化に対処して，余暇をいかに効果あらしめるかということが重要な問題となってきた。余暇の消費が健全であり，豊富であるかどうかということはその国の教育と文化の量と質とを規定する大きな要素である。われわれは生活構造全体の中で余暇利用施設の全般的問題を再検討すべき時期が到来したのではなかろうか。レジャー産業としてパチンコや競輪，競馬などのギャンブリングなものから，国民宿舎，ユースホテルのような多種多様な施設が現われてきた。これらすべてのものが社会的に必要なものであるかどうか，あるいは社会的に要求されているものであるか―たとえばパチンコや競輪，競馬といえども一般庶民の気晴らしとして明日の生産に役立っているという意見もあるが―検討を要する問題である。

こんにち人間の生活環境のなかで適宜に配置され，適宜に構成された保健休養施設が社会的に要求されるようになってきた。住居や職域などの身近かな場所から初まって，都市，農村の地域社会，あるいは観光地から国立公園のような原始的地域に至るまで，人間の生活空間全域にわたり，どこに，どれだけの，どのような，保健休養施設が社会的に要求されているが，保健休養施設の社会的ニードの問題を解決する必要がある。こんにちの建築家はとくにこのような新しい需要を満たすため保健休養施設の計画，デザイン，建設について大きな責任を持つものである。新しいコミュニティとして国民休暇村の建設もこのような社会的ニードに合致してはじめて成功するものである。

（筆者　厚生省国立公園部計画課）



NEC水銀ランプは　特殊螢光体とプレス方式電極により独特のやわらかい光と明るさを生み出しました。このランプを使用したNEC水銀灯は用途に応じたモダンなデザインで好評をいただいております。

NEC
水銀灯
NEC 新日本電気

国民宿舎の設計について

永嶋正信

最近における国民生活の安定と保健休養思想の普及に伴っていわゆるレジャーブームを現出している。いまや観光や保健休養のための旅行は，広く庶民の日常生活にとけこんできている。ところが旅行のため旅館の申込みは3～4週間も以前に申込まないと満員というのが現況である。この極端な利用客に対して旅館は高級な旅館，ホテルが着々整備されているが，庶民が安心して利用できる，清潔で低廉な宿泊施設は足りないのが現状である。

これに応ずるため厚生年金保険積立金の還元ゆう資の枠を保健厚生施設におよぼし，地方公共団体にゆう資して昭和31年から建設されてきているのが国民宿舎である（別表参照）。

なお，既存の施設に対して国民宿舎として指定して，名を冠しているものもあるが，ここではこれは省略する。

▶国民宿舎の建設地は自然公園内，厚生省指定保養温泉地およびその他の温泉地である。

—そのためには自然景観—風致—に調和していなくてはならない。自然を破壊するような強調的なものではなく，調和的な色彩・形態を考慮し，風景の中の添景として好ましいものであってほしい。施設の性質からして耐火性のある永久構造物としたい（利用率が低い場合は木造または木造防火構造による 注1)。しかし一般の旅館のごとく商業建築という観念から離れて，レクリェーション施設として建物の楽しいものでなければならない。

注1. 収容定員は原則として100人以上とし，利用季型が3季型以下で，年間平均宿泊利用率が35%以下の場合は木造，または木造防火構造にしたい。

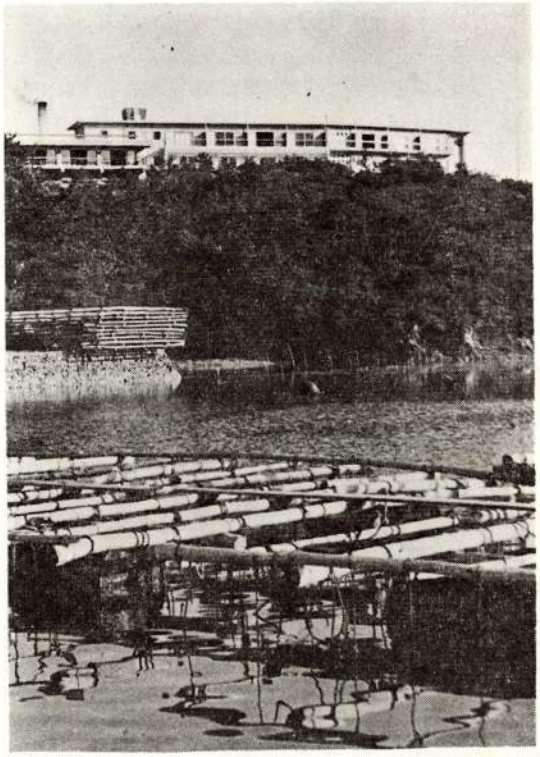
▶被保険者とその家族および一般国民の健全なレクリェーションと健康の増進に資するものである。

—家族および小団体客の同時利用に対しても，互いにさまたげあわないような計画が望ましいものである。洋服を着て玄関から入ってくる客と浴衣の客とが玄関ロビーで交叉する気まずさと，女中が食膳を持ってその間を縫ってゆくなどの動線もそれぞれわけて計画することが大切である。

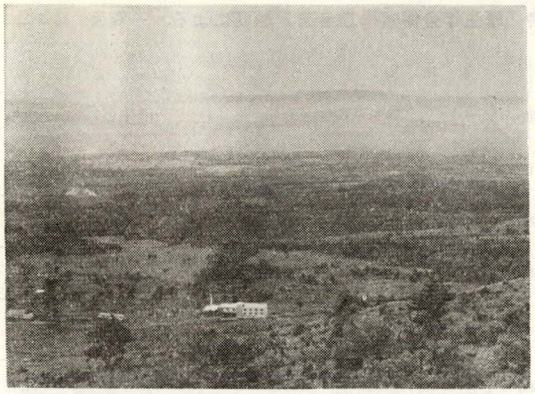
最近は，会社が社員のための休養施設を次第に整備しつつあるが，まだごく一部の会社に限られているようである。

▶建物は清潔で生理的に満足する寝室，食堂，便所などであることが望ましいと同時に，限定された枠内での起債であるから，資金の効率的な設計をとくに要望される。

—建物の虚飾はさけて風致的に調和するデザインとすることは前述のとおりである。すっきりとしたまとまり



海浜の国民宿舎（伊勢志摩国立公園）



高原の国民宿舎（大山国立公園）

がほしいものである。

利用客の数は家族ずれ，小団体が多く，3～5人で構成されているのが多く，1人当り2帖あての計算であるから，6～10帖が一番多くなってくるが，場合によってそれ以上のフレキシビリティをもち，しかもプライバシイをもたすことも必要となってくる。

利用料金は1泊2食付500円～600円程度で，安くして大衆的に快的な旅行を試みるようにするためにも，低廉な利用料金と見合う採算を考えることが必要となってくる。これはあえて安宿というものではなく，たとえば食事は食堂で行なうことを原則として人件費の節約をはかる。延面積に対する収容定員の増加をはかることが必要である。

	国民宿舎	一般旅館
客室	40%	60%（普通30～40%）
パブリックスペース	45%	普通5～6% 30～40%（内10%大広間）
サービススペース	15%	20～30%

国民宿舎のパブリックスペースが多いことは，比較的広い食堂が計算に入っているためでもある。

休憩利用の多い地区などについては多少の移動があり，特色をもたせることも大切である。

畳敷の方向については，間仕切によって宿泊客の利用に供する場合もあるが，この場合には宿泊部分とみることができる。

衛生的な自炊施設も場所によっては必要ではなかろうか。

—特に客間について

建坪に対して少しでも収容人員を増加させることが要求される国民宿舎にあっては，あまり不必要な広い踏込みは省略したり，効率的な造作にすることも必要となろう。

一般の旅館でもかくべつ客の荷物置場を考慮してないので，どうしても床の間におくようになるのが積の山である。床の間を作っても荷物の置場程度にしか使われないのでは，むしろ床の間をやめて，最初から飾棚などによって潤を与え，荷物の置場として洋服ダンスの下または違いダナの下を利用するように設計し，実質的な効果をもたらすように考慮することが望ましい。

ベッド式の場合には，見知らぬ人の前で着換えなどしなければならないようなことになるので，間仕切など今後の問題となると思われる。

各室の施錠も必ずつけるようにすべきで，ベッド式の部屋（2段ベッドなどで多数を1室にいれる場合）は，各人専用の戸棚を造りつけ，それぞれ各人で施錠する考慮をはらいたい。

なお，客室から戸外に直接でることのできるようにし，陽光と緑蔭を容易に享受し，静かな環境で精神の緊張緩和をはかるように健康的な配慮が必要で，たんに宿泊しうればよいという従来一般の旅館とは自から性格を異にしている。

—パブリックスペース

宿泊客，食事客の別なく自由に共用できる部分であって，ロビー，食堂，化粧室，便所，浴室，広間，客用廊下などであるが，これらは国民宿舎のみならず一般の旅館でもとくに大切であるが，必要最小限度であってしかも充足度の高いものにしたい。

玄関ロビーは開口部を主要景観方向に向うようにし，地方の特殊性を生かし，しかもよい印象を与えるようにしたいところである。

ホール，主食堂，広間，集会室は，宿泊客も一時利用客も同時に使用するものであるから，これらが混乱しないように考慮する。宿泊客も食事は原則として食堂でとるということにしてあるので，主食堂は1人当り1.0平方米～1.5平方米程度を計画し，これに対してなお増加する場合を考慮して，広間あるいは集会室を隣接して食堂として使用するなど，ずい時，間仕切などによってフレキシブルな内容にするなど，採算を考えるなど合理的な計画が強く要求される。

また戸外室を設けて，食事をする場所，喫茶，ビールなどを飲む場所があったほうが，客に対して明るい印象を与え，健康的で経済的な利用方法であるということができる。集会室は必ずしも設けることもなく，広間，食堂でもかねられるが，会議場，スライド映画の映写場として付近の観光案内，自然科学の解説，スキー，スケート技術の習得に便利である。

ホール，ロビーの一隅には土地の土産物を陳列，販売することはこれらの改良，品質の向上に資し，地元観光事業の進展の一助にも寄与することにもなる。

共同便所，洗面所は各室ごとに設けることはやめて，各階ごとに1ケ所か2ケ所の共同式にし，各階とも同じ場

所に位置したほうが管理も容易である。階段室，ホールに近接するのが一般的である。

水洗式にして入口から男女別に区分することにし，洗面所を通りぬけて便所にはいる構造はなるべくさけたいが，もしそのような場合は男女の洗面所は入口からわけることがよい。

また，とくに男子用の場合，洗面所と便所を区分することに留意する。

—サービス・スペース

人件費を節約するため従業員を制限することが多いのでとくに無駄なく計画しなければならない。厨房関係と食堂広間の距離があまり隔っているのは好ましくなく，必要に応じてこの間にはリフトなどの設備も設け，食膳運搬を迅速に楽にするようにしたい。

配膳室も収容定員と合わせて充分とるようにしたい。従業員関係の部屋は支配人，板前，男子，女子の従業員はそれぞれ一間づつわけてとり，一般の客室，広間とは離した位置にとることが必要である。

なお従来の設計の中には物品庫，食品庫などがなく，あとからつぎたしの醜さがあるが，最初から充分にとりたいものである。

▶敷地には計画性を持つことが必要である。

これは一番あとの項目になったが，むしろ一番先に考慮する問題である。しかし，建物の付属施設についてであるので後にしたのである。

敷地を選定したならば展望方向，恒風の方向，地形などの自然環境を計画に取りいれることは常識的であるが，将来の増築についてのスペースとともに，あとに述べる魅力となるべき施設を落さないように設計に盛りこむべきである。

たとえばベビーゴルフ場，テニスコート，プール（遊泳用または温泉プール，屋外緑蔭食堂，散歩道，広芝生，庭園などを計画的に設けたいものである。

身心の疲労を回復し，休養もしくは保養をはかるための施設としてのもの

国民宿舎（厚生年金保険積立金還元融資による）一覧表

道県名	経営	融資額 万円	規模構造	設置場所及び施設名	収容人員	備考
鳥取	東郷町	2,500	鉄筋コンクリート造3階建 延415坪	東伯郡東郷町大字引地 水明荘	105	県立公園東郷湖畔
〃	米子市	700	腰石積木造2階建 延208坪	西伯郡大山町大山 ぶな林	50	大山国立公園 大山寺
広島	湯来町	1,300	木造2階地下鉄筋コンクリート1階建 延300坪	佐伯郡湯来町多田 大峰閣	70	湯来保養温泉
長野	厚生連	1,600	防火構造 延429.19坪	小県郡丸子町鹿教湯温泉保養所	27	内村保養温泉
昭和31年度計 4ヶ所 6,100万円						
福島	二本松市	1,500	木造2階建1部鉄筋コンクリート造 延359坪	二本松市岳温泉 しやくなげ荘	120	磐梯朝日国立公園岳保養温泉
富山	富山県	2,600	腰石積木造2階建 延292坪	中新川郡立山町芦寺ぶな坂 立山荘	270	中部山岳国立公園
山梨	山梨県	2,800	コンクリートブロック造2階建 延404.53坪	西八代郡上九一色村本栖 本栖ロッヂ	140	富士箱根伊豆国立公園 本栖湖畔
長野	丸子町	1,000	木造2階 延272.54坪	小県郡丸子町大字西内字宮脇 鹿月荘	80	内村保養温泉
三重	阿児町	1,600	鉄筋コンクリート造 延275坪	阿児島 賢島ロッヂ	100	伊勢志摩国立公園
岡山	湯原町	1,200	鉄筋コンクリート造 延244坪	真庭郡湯原町 桃李荘	50	湯原保養温泉
〃	玉野市	1,700	鉄筋コンクリート造3階建 延466坪	玉野市渋川 玉野荘	100	瀬戸内海国立公園
北海道	北海道	900	防火構造 延262坪	幌別郡幌別町登別道立登別労働者保養所	45	支笏洞爺国立公園
昭和32年度計 8ヶ所 13,300万円						
北海道	大滝村	2,200	防火構造木造2階 延393.25坪	有珠郡大滝村 ホロホロ荘	84	北湯沢保養温泉
岐阜	恵那市	2,500	鉄筋コンクリート造3階建 延353坪	恵那市大井町2709	80	恵那峡県立公園
静岡	天城湯ヶ島町	2,500	鉄筋コンクリート造3階建 延461坪	田方郡天城湯ヶ島町	110	富士箱根伊豆国立公園（湯ヶ島）
滋賀	彦根市	2,000	鉄筋コンクリート造2階建 延300坪	彦根市松原町1435	70	琵琶湖国定公園
兵庫	龍野市	2,000	木造2階建 延420坪	龍野市龍野町字台山	110	西播丘県立公園
愛媛	玉川村	1,500	木造2階建 延333坪	越智郡玉川村鈍川	80	鈍川温泉
香川	津田町	2,400	鉄筋コンクリート造3階建 延358坪	大川郡津田町鶴羽	80	瀬戸内海国立公園（津田の松原）
福岡	八幡市	1,500	鉄筋コンクリート造2階建 延205坪	八幡市大宮西河内	50	帆柱県立公園
佐賀	佐賀県	1,800	鉄筋コンクリート造2階建 延260坪	神崎郡三瀬村中谷	70	北山ダム県立公園
鹿児島	開聞町	2,000	鉄筋コンクリート造3階建 延300坪	指宿郡開聞町川尻	80	錦江湾国定公園（長崎鼻）
埼玉	秩父市	2,500	鉄筋コンクリート造2階建 延360坪	秩父市大宮6278	100	武甲県立公園
奈良	奈良県	3,000	鉄筋コンクリート造2階建 延420坪	吉野郡上北山村	100	吉野熊野国立公園（大台ケ原）
鳥取	鳥取市	2,000	鉄筋コンクリート造2階建 延280坪	鳥取市沢坂字鳥打	70	山陰海岸国定公園（鳥取砂丘）
岡山	奥津町	2,000	コンクリートブロック造3階建 延300坪	苫田郡奥津町奥津川西	70	奥津温泉
福島	新甲子国民宿舎経営労組合	2,000	コンクリートブロック造2階建 延448坪	西白河郡西郷村鶴生	80	日光国立公園（新甲子温泉）
群馬	片品村	800	コンクリートブロック造2階建 延126坪	利根郡片品村戸倉中の原	70	日光国立公園（尾瀬山の鼻）
長野	小諸市	1,300	木造平家建 延260坪	小諸市大字菱平字高峯	70	上信越高原国立公園（高峰）
〃	穂高町	500	木造2階建 延120坪	南安曇郡穂高町有明字中房	50	中部山岳国立公園（中房温泉）
〃	高山村	1,200	木造2階建 延320坪	上高井郡高山村大字山田入	80	上信越高原国立公園（七味温泉）
新潟	新潟県	3,000	鉄筋コンクリート造2階建 延377坪	両津市大字椿字蜂ケ尾	100	佐渡弥彦国定公園（ドンデン山）
計 52ヶ所						

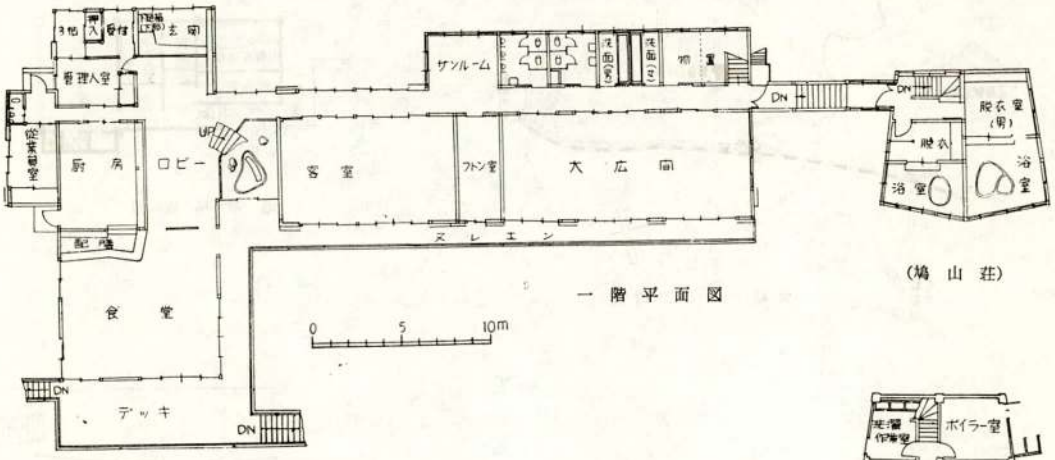
○国民宿舎　鳩山荘

南房総国定公園内館山市
昭和34年度施設・収容定員80名　木造防火構造
延294坪（970m²）2階建

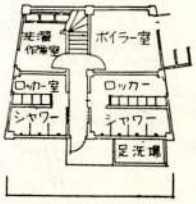
収容定員	1人当り 3.67坪	
客室	94.5坪	40%
パブリックスペース	113.5坪	35%
サービススペース	67坪	25%



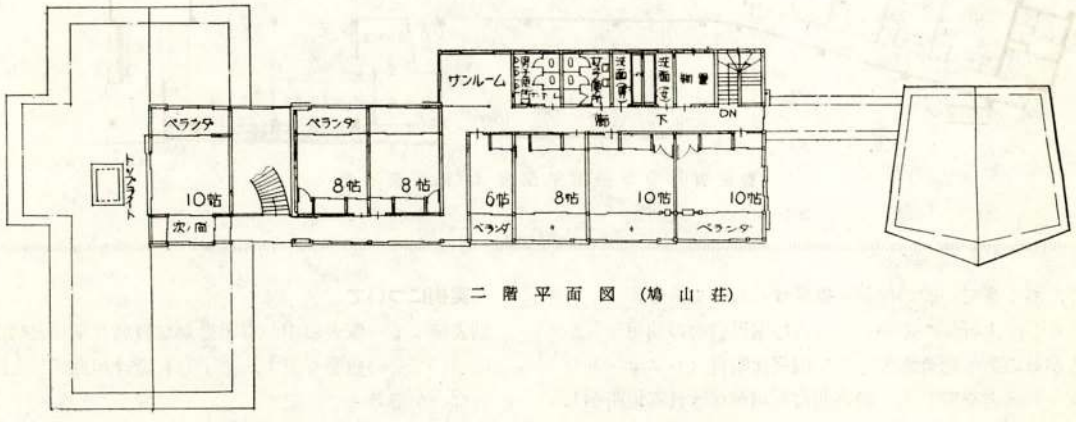
鳩山荘　正面玄関



一階平面図　（鳩山荘）



地階（鳩山荘）

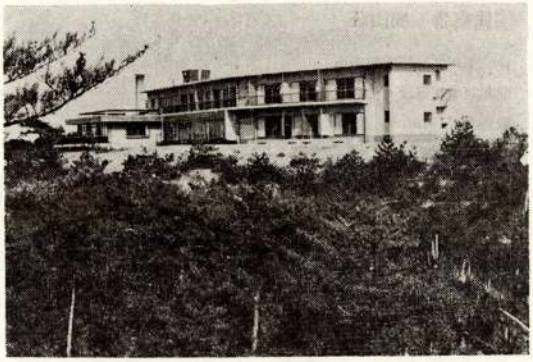


二階平面図（鳩山荘）

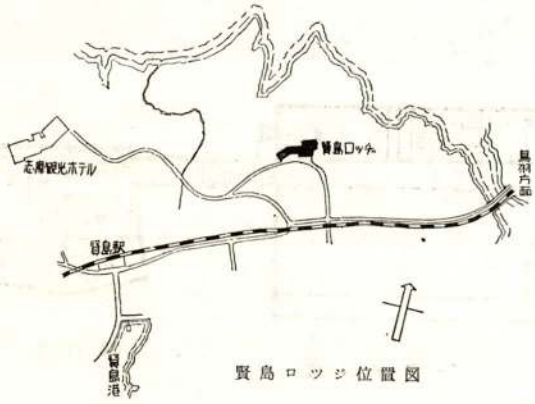
○国民宿舎　賢島ロッジ

伊勢志摩国立公園内阿児町
昭和35年度施設・収容定員70名　鉄筋コンクリート造
延275坪（907m²）2階建

収容定員	1人当り　3.94坪	
客室	70坪	25.5%
パブリックスペース	167坪	60.7%
サービススペース	38坪	13.8%



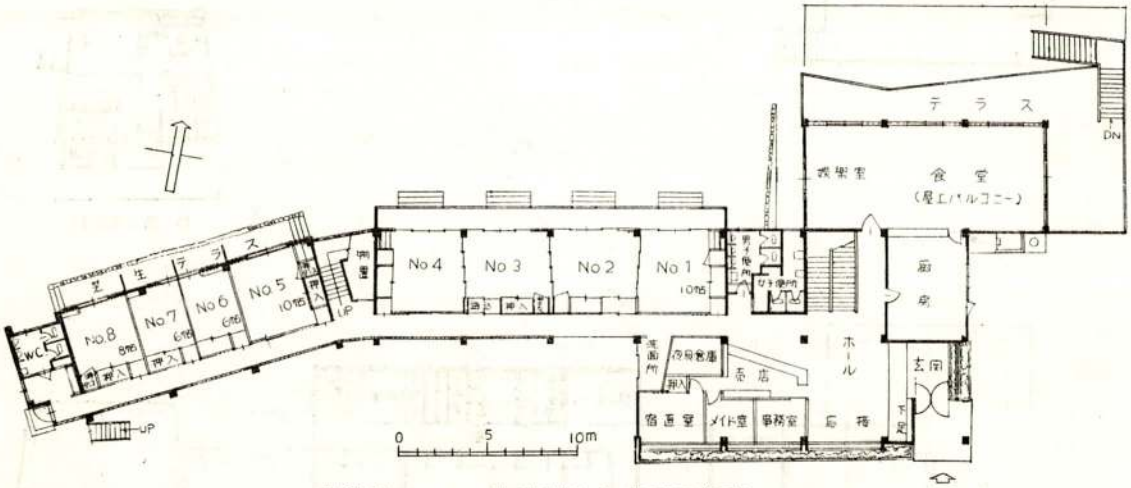
賢島ロッジ



賢島ロッジ位置図



地階平面図



賢島賢ロッジ一階平面図（二階平面省略）

で，あくまで一般の旅館とは異なるものである。
こんごは1軒づつのいわゆる点の国民宿舎の利用から，広がりのある総合施設として国民休暇村（レジャーセンター）へと発展して，総合的な利用がなされる場所がしだいに多くなってゆくことと思われるのである。

実例について

別表による一覧表の中から手近かな賢島ロッジと鳩山荘についてその概要を記す。必ずしも設計が良好だとは限らないが参考までに記す。

（筆者　厚生省国立公園部計画課・厚生技官）

日本のユースホステル

林　幸二郎

ソーシヤル・ツーリズム

ソーシャル・ツーリズムの概念は，ある時間においては「労働者に対する休暇」と同意語であって，労働者が観光往来を始めることによって起る問題を扱うものと考えられたこともあった。しかし，現在ではその概念は拡大され，低額所得者が観光旅行の目的で移動することに伴う現象のすべてを含むものと考えられている。すなわちその目標は，旅行資金に乏しいか，または旅行になじんでいないか，または旅行事情にうといなどのために，こんにちまで観光旅行のらち外にあった国民層を観光往来に参加させることにある。この点からみて，ソーシャル・ツーリズムは重要な観光政策ではあるが，一方，国民大衆が余暇を有効に使って，精神的，肉体的疲労からの回復をはかるという面からは，社会政策であるともいえるし，また労働者の活力の回復によって，産業の生産性の向上がはかられるという点からは，生産性向上運動にもつながったものである。最近青少年の教化，厚生の見地から，その重要性を認識されているユース・トラベル（青少年旅行）も，広義においては，ソーシヤル・ツーリズムのひとつの分野を形成するものということができよう。

欧米各国において展開しつつあるソーシャル・ツーリズムは，国々によって規模も内容も多少異なってはいるが，その基盤となるところは有給休暇制度であり，この休暇施設としてはホリデーセンターや休暇キャンプと同時にユースホステルが多数利用されている。

ユースホステルは，国籍と境遇を異にする青少年が友好的雰囲気の中で会合し，憩いのできる場所であり，民族，人種，宗教，階級，性別の区別なく，誰でも自由に利用できる宿泊施設なのである。

ユースホステル

欧州のユースホステルは，いまから約50年前にドイツに始まったもので，ワンダーフォーゲルと呼ばれている青年たちの旅行運動をする人々のために，清潔で安く，しかも環境のよい宿泊施設をつくったのが初まりであり，この気運がドイツからヨーロッパ各国にひろがっていき，国際的な組織にまでなって，いまはユースホステルの数も3,000をこえ，年内利用者は1,200万人の多きに達している。

ユースホステルは観光地のみならず，大都市周辺や，大都市内にも設けられるに至った。施設としては寝室，広間，自炊用厨房，食堂，浴室，便所，洗面所など一定の基準が設けられ，簡素ではあるが極めて衛生的かつ快適に生活できるように整備されている。管理のためにペアレントと呼ばれる管理人がおかれて，その指導のもとに規律正しく門限や利用時間などが定められ，寝室その他交歓場以外は男女別がはっきりされており，しかも1泊100円前後，2食付でもだいたい1ドル内外で使用できる低廉さを保っている。極めて安い会費を納入して各国のユースホステル協会に会員として入会すれば，会員証を持参することによって，世界中どこの国のユースホステルでも利用することができる。

ユースホステルはたんなる宿泊施設ではなく，青少年に対するひとつの教育の場として考えられており，また各国の人々が泊り合わせ互いに交歓することにより，相互理解と国際親善の増進に大きな役割を果している。各国政府はユースホテルの重要性を認識し，ユースホステル協会，その他のユースホステルを経営する団体に対し，その建設費の5～8割におよぶ補助金を支出して本運動を援助している。

日本のユースホステル

アメリカのユースホステル運動の影響をうけて，昭和26年に，わが国にもユースホステル協会が設立され，昭和29年に，国際ユースホステル連盟の会員に日本の参加も認められ，各国共通の会員証を発行できるようになった。発足以来10年を迎え，ようやくユースホステル運動も盛んになってきたが，発足当初はもちろん専用のユースホステルを建設する資金もなく，また専用のユースホステルとして使用できる建物も簡単に入手することもできなかったので，やむをえず過渡的の手段として，簡素な旅館，山小屋，社寺などと低料金で宿泊できるような

契約を結び，これをわが国では契約ホステルと呼んで，会員が使用できることとした。この契約ホステルは年とともに数も増え，こんにちでは300になんなんとするにいたった。しかし，これらはその立地条件においても，また，施設的にも欠陥があるし，ホステルの管理者，すなわちペアレントについても，ホステラーと一般宿泊者との接客を同時に行なわなければならない場合があり，なかなか困難が多い。

運輸省はつとにこのユースホステルの必要性を痛感していたが，昭和31年閣議決定の「観光事業振興基本要領」に基ずく「観光事業振興5カ年計画」のなかで，ユースホステル100カ所建設の計画がたてられ，昭和33年度にはじめて，地方公共団体の建設にかかるユースホテル整備のための補助金が，運輸省に予算化された。これによって建設されたユースホステルを一般に公営ユースホステルと呼んでいるが，昭和35年度末で全国に26カ所，さらに来春にはこれが35カ所になる予定である。

公営ユースホステル

この公営ユースホステルはその建設地の選定基準として，

(1) 内外の青少年の利用度の高い観光地および観光基地であること。

(2) 環境が良好であって，とくに思想，衛生，風紀などについて青少年の心身に悪影響をおよぼす事物のないこと。

(3) 土地，気象，飲料水などの保健的条件が良好であるとともに，風水害その他の災害に対して安全であること。

(4) 交通および物資供給に便であること。

(5) 各種の野外活動の根拠地として好適であること。

などをあげていて，運輸省観光局ではその基本方針をつぎのようにうたっている。

ユースホステルは，その性質上，相互の連繋的利用を可能ならしめるよう設置するものとする。これがため，もっとも利用度の高いホステル網を形成し，爾後遂次ホステル網の拡充強化をはかる。

この基本方針にしたがって，昭和33年度は関東から近畿の間に8カ所，34年度は本州の北と西へのばして10カ所，35年度はさらに北海道と九州にまでのばして8カ所が建設された。これによって一応表日本沿いに北海道から九州までのメインルートが一応形成された状態で，今後は裏日本や四国にひろげて行く計画である。

公営ユースホステルの建物や設備は運輸省の告示で示された「ユースホステル建築基準」に明記されている諸基準によっているが，大略はつぎのとおりである。

1. 主要構造部は，耐火構造またはは不燃構造とすること。
2. 受付室および適当な広さの玄関，広間を設けること。
3. 4台以上8台以下の寝台を備えつける寝室は総寝室数の半数以上とし，1室の寝台は20台をこえないこと。
4. 寝室はつぎの条件をみたすこと。
   イ 入口から男子用および女子用に区分できるようにすること。
   ロ 寝台式とすること。
5. 収容人員1人につき床面積0.8平方メートル以上の集会室を設けること。
6. 収容人員1人につき床面積0.5平方メートル以上の食堂を設けること。ただし，集会室と兼用する場合の床面積は，収容人員1人につき1.2平方メートル以上とすること。
7. 利用者が自炊するために適当な広さの調理室を設けること。
8. シャワー室，浴室，便所および洗面所は，その入口から男子用および女子用に区分して設けること。
9. 便所は水洗式とし，各便所には1個以上の座便式便器を設けること。

主要な点はこのようなものであり，相当程度の高いものを要求している。

現在26ケ所の公営ユースホステルがすでに開設されているが，建築設計事務所や各都道府県の建築課などで設計され，それぞれ立地条件や地方の特色を生かしたデザインは若い青少年の間でもあこがれの対象となってきているし，また建築としてもユースホステルというひとつの新らしい建築スタイルが発生し，こんごその発展が楽しまれるものである。

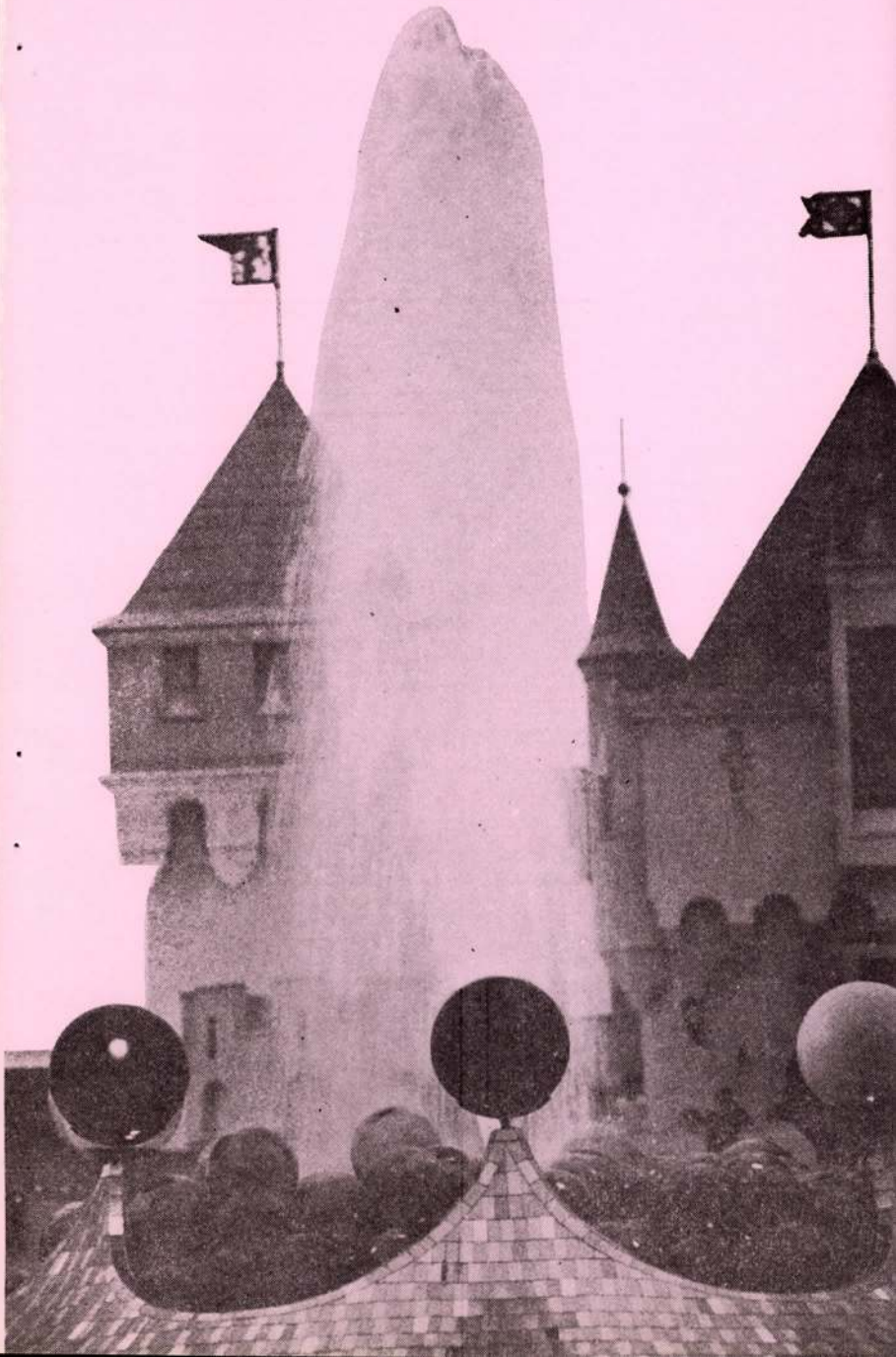
昭和34年の6月に公営ユースホステルの第1号が生れて以来，いまだ日も浅い関係もあって，その利用状況や運営状態はあまりかんばしくはないが，それでも35年度中の利用者は前年にくらべ80%も増えており，全利用者は12万名をこえている。また，宿泊者の男女比率は男56.5%女43.5%となっており，女子の利用がますます増加しつつあることは注目すべき現象であろう。

この公営ユースホステルのほかに，前に述べた契約ホステルもこんにちでは約300種あり，さらにユースホステル協会専用のユースホステルも持つにいたった。日本のユースホステルはその歴史も浅く，しかも欧州のごとく下から燃え上って発生したものでないだけに，今後いろいろの問題をはらんでいるが，国際観光からみても，またソーシャルツーリズムの面からみても，大いに発展するべきものであり，かつ発展させねばならないものであると確信している。

（筆者 運輸省観光局整備課）

群

リクリエーションと建築



びわ湖観光開発計画

京大西山研究室

I レクリエイション生活の発展と観光計画
―びわ湖の全体計画―

最近観光事業が＜レジャー・ブーム＞のムードの中で花形産業としてたい頭してきた。北は北海道から，南は沖縄にいたるまで，全国土的な範囲で観光資源は注目をあびている。そして各地域で観光開発の「計画」をつくろうとする機運が急速に高まっている。観光事業が開発計画という形で進められるようになったことは大きな進歩である。しかしこれらの計画がたてられるようになってきたのは，レジャー産業好況化の中で観光事業が企業性を高めてきたことに基ずいている。したがって計画はなにより観光客を一人でも多く誘致できればよいということが当面の目標となりがちであり，せまい視野と利害にとらわれた開発の競合は，観光客には疲労と，現地には塵埃しか残さないということになりかねない。

国土全体に対して，またすぐれた観光資源，自然景観をもつ広域圏のそれぞれ，および一定の観光地に対して開発のマスタープランを早急につくりあげることが目下の急務である。これによって全体をころす誤まった開発や，無駄な投資をふせぎ，効果的な開発が行なわれるように目標を与えることが必要である。むろんそれが効果的に進められるためには，それについての法的な裏ヅケが必要であり，その実現が望まれるが，いっぽう試案的マスタープランの作成も，現在可能かつ有効な作業といいうるであろう。われわれは滋賀県の要請に基ずいて，このようなマスタープランの作成を如何に進めるべきかという態度でひとつの試案的な作業を試みた。

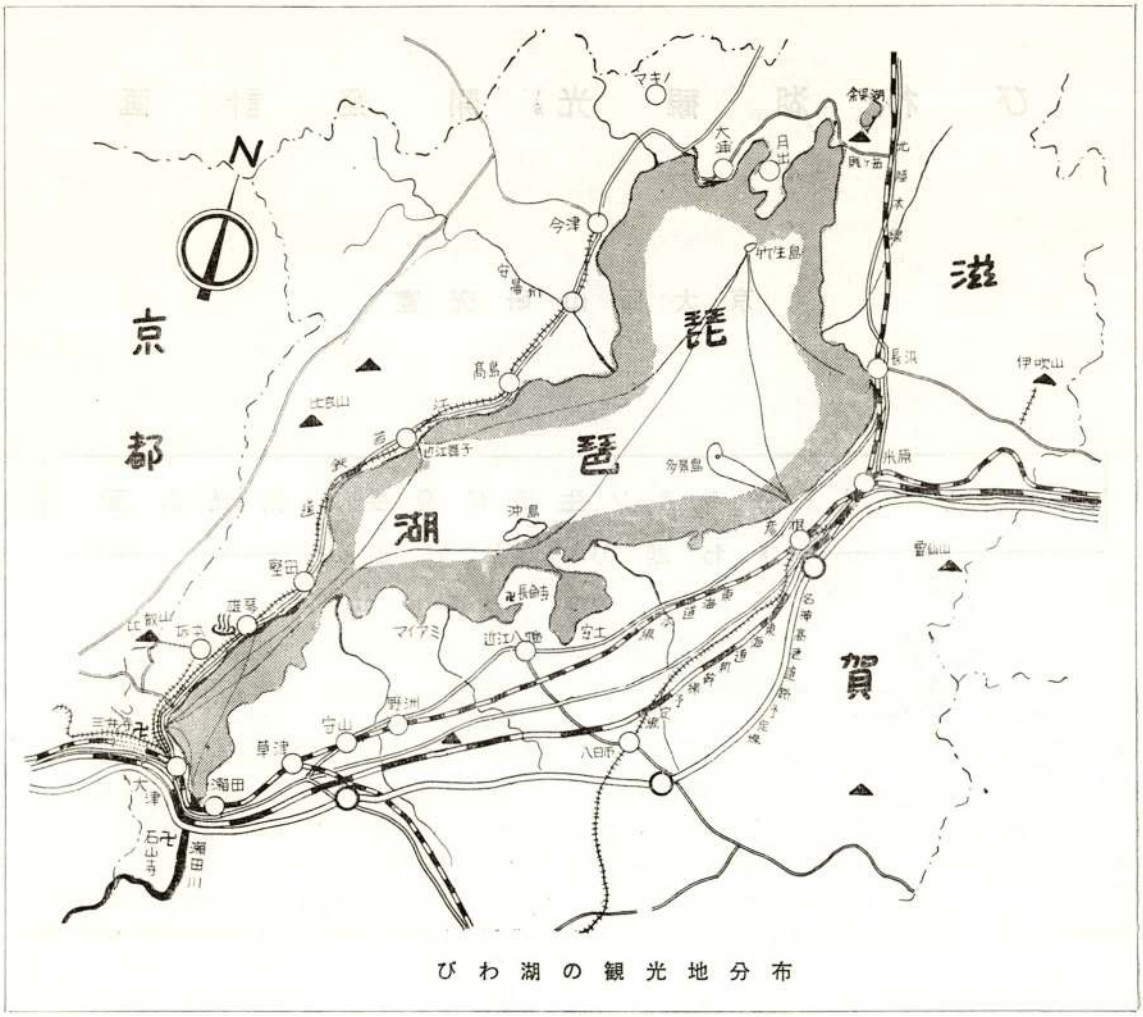
こんにち，観光開発を手がける場合，計画の前提としてもっとも考慮しなければならないことは，レクリェーション生活の発展変貌に対する正しい把握である。「消費革命」という言葉で指摘されはじめているように，生活構造は大きく社会的に変化しつつあり，その中で余暇消費は量的にも質的にも変換しようとしている。観光をたんなる慰楽とか気晴らしというつかみかたでなく，レクリェーションの一部としてはっきり把握することが必要である。レクリェーション生活の発展の見通しと，その空間的な展開に対する明確で豊富なヴィジョンを培うなかで，生活の変貌に対応する計画を創出していくことに務めなければならない。

計画の客観条件として，人口集中圏の変化と交通技術の発展とが重要な問題となる。大都市を中心とした人口配分が，将来，東海，瀬戸内のベルトへ発展していくすう勢にある。レクリェーション地域が，従来人口集中地域に対してもっていた立地性向がこんご変ってくることが予測される。また交通条件の改善はレクリェーション地域の圏域を拡大し，日帰り休養圏の拡大と広域旅行の普及をもたらす。その意味で，観光流動のルートの整備と資源の適切な配置が重要な問題となってくる。

これからの観光計画の立案については，これらの点についての考慮が是非とも必要である。われわれはレクリェーションの展望と観光開発の基本的な問題点について研究を進めてきたが，びわ湖計画においてもまず観光概念の基本的な検討に力をいれ，びわ湖のレクリェーション需要がどう変るかということに重点をおき，その上にたって各地域のフイジカルな計画を進めた。以下びわ湖の新しい位置ずけと全地域の計画の方向ずけに主眼点をおいて，観光開発計画の一試論をのべてみたい。

1. 観光の将来像

観光とは「気晴らしのための旅行」というような考えかたは，こんにちの余暇消費が社会的な変化をみせつつある段階では極めて表面的な観方であることに気ずく。



びわ湖の観光地分布

レジャーブームの根底には消費革命による生活構造の変化が強く働いており，レクリエーション生活の形態も大きく変ろうとしている。まずはっきりと指摘できることは，最近の観光需要の年々の増加であり，さらに将来は爆発的な需要に膨張するものと考えられる。これは生産の機械化，自動化に代表される技術革新の進展と労働条件の近代化によって余暇時間が増大すること，消費革命の家計への滲透による消費水準の上昇のため生活享楽傾向が増大することに基因する。また人口の大都市集中の激化による大都市および周辺の市街地化のため，平均的画一的な市街地環境からの脱出意欲が，労働環境の機械化，オートメ化による人間性抑圧化の反動と相まって，自然的開放空間への指向増大となってあらわれる。さらに交通機関の発達は観光行動圏を一層拡大し，観光資本の競争的開発とマスコミのＰＲは，観光人口の量的増大を促進せしめる下地をつくることになる。

このような観光需要の増加は，観光の大衆化，集団化となってあらわれ，それは必然的に観光そのものを質的に変えていく。観光大衆化は従来の静養的観光を後退せしめ，多人数が同時に「楽しめる」観光へと発展していくであろう。拘束時間（労働）の縮少と自由時間（休養）の増大は，休養の再生産としての意義を高め，それは積極的な形態のレクリエーションとなってあらわれ，観光においても「みる」観光から「する」観光へと変っていくであろう。

したがって観光の形成においても顕著な変化があらわれてくることが想定される。観光の大衆化は長期間の連続した観光滞在客の比率を相対的に減少させ，都市周辺の日帰り型１泊型観光の巨大化をおしすすめる。そして日帰り１泊の観光ルートをもとに観光地の正常的な分布が成立するであろう。さらに観光の団体化は貸切観光バスを利用した広範囲の回遊観光を激増させており，回遊観光は一連の観光地域のルートを育成させ，中核としての観光センターの形成化をおしすすめるであろう。

このような観光ルートの形成を促進するものとして交通事情の変化が考えられる。都市間幹線をはじめ，観光道路，ドライヴウェイの整備が進められ，観光地間，都市間のルート網が結束されている。また東海道新幹線の設置によって，大都市圏間の時間的距離は縮少されるであろう。観光客輸送において自動車の占める比率が年々急激に上昇していることは注目すべきである。とくに観光バスによる流動はめざましく増大している。将来さまざまな観光ルートが設けられるならば，この自由な行動性をもった「大型観光バス」があらゆる観光流動の基本的な足となるであろう。

観光対象は，自然公園や古社寺などの自然的歴史的条件への依存度の大きいものから，スポーツ施設，遊園地などの新しく開発され創りだされるものまで極めて巾広い。将来観光のタイプの豊富化とあいまって，これらの資源は多様な組み合わせをみせるであろう。せまいわが国土では，各段階の資源がたがいにいりくみからみあっている。積極的な開発を行なう場合は，これらの各資源の適正なバランスを保持することが極めてむずかしく，その意味で開発の原則確立が望まれる。とくに自然公園や古社寺などの観光資源の保持は産業開発ともからみあって，早急に保護整備の体制をうちたてねば将来とりかえしのつかぬことになる。

したがって観光開発における最大の問題点の第一は，自然条件をいかに保護しつつ開発するかということであり，第二は，爆発的な伸びをみせる観光需要に対して，それをいかにさばく形を創りだすかというマス・レクリェーションの計画である。そしてマス・レクリェーションの新しい型の創造とマス・ルートの整備についての考察が計画の基本的な問題になってくる。

2. びわ湖観光の新しい位置ずけ

このような展望にたって，びわ湖の観光の将来をみるとき，国土的なレクリェーション地域の配置からびわ湖をどのように位置ずけ，どのような形の開発をとるべきであろうか。まず，びわ湖の観光利用の現況についてその問題点を明らかにしよう。

びわ湖は面積約694km²，滋賀県の6分の1の面積を占めている。湖周は約235km，南北両端は直線距離にして61kmにおよぶ。船で浜大津から竹生島を往復するのに1日かかる大きさである。一回の観光では，とてもその全貌をつかめぬ広域を占め，観光資源は各所にいろいろな形のものが点在している。いまこれを地域別にグルーピングすると表-1のようである。

現在観光の対象となっているのは，近江舞子—大津—彦根間の馬蹄状の地域であり，とりわけ浜大津を中心とする湖南地域に観光流入が集中しており，北部へいくほど誘致力は激減している。びわ湖利用の現況について，その要点を記せばつぎのごとくである。

表-1　観光資源の地域分け

	センター	観光資源	性格
湖南	浜大津	大津，瀬田，石山，南郷，雄琴，比叡山，宇治川ライン	行楽中心 歴史記念物
湖西	近江舞子	近江舞子，堅田，比良山	水浴，登山
湖北	大崎 飯ノ浦	今津，海津大崎，飯ノ浦，マキノ賤ケ岳，余呉湖，竹生島	自然景観
湖東	彦根	長浜，多賀，醒ケ井，伊吹山，霊仙山	行楽地
安土八幡	近江八幡	近江八幡，長命寺，安土，びわこマイアミ	水泳
裏江州	永源寺	愛知川源流，鈴鹿山系，日野，水口，信楽	自然景観，登山，文化財

i) 観光客の居住地分布　流入客を居住地別に，近畿，中部，その他とわけると，昭和33年の年間統計ではそれぞれ47%，45%，8%である。このうち，京阪神，中京両圏からの流入は67%におよぶ。8月についてみると，近畿とくに京阪神からの流入が51%に達する。

ii) 観光客の地域流動　大津地区の利用比率が27%と高く，比叡山，瀬田石山と合わせた湖南地域への流入は58%に達する。湖西16%，湖東，八幡地区は両者ほぼ10%である。湖北，裏江州地域は1～2%の利用にすぎず，観光の地域格差をあらわしている。

iii) 観光のタイプ　びわ湖の観光をみるときとくに重要な水泳，登山，スキーをとりあげ，この三つの型以外をまとめて慰安行楽とすれば，33年の年間総利用者数のタイプ別比率は30：3：2：65となる。水泳の占める比率が高い。

iv) 季節変動　びわ湖利用の月別変動は8月23%，4月16%，10月10%であとの月はいずれもそれを下回り，8月にピークのある春秋—夏型である。しかし，各地域別にみると少しづつ違ったカーヴとなり，大津，彦根は春秋型，近江舞子は典型的な夏型である。

v) 日帰りと宿泊　昭和33年の総利用者に対する宿泊客の比率は約7%であり，宿泊客は少ないとみられる。これは，現在びわ湖地域に宿泊施設が充実していないこと，また利用者が京阪神，中京圏からの日帰りの客の多いためであろう。

総じて，びわ湖観光の現段階は日帰りの行楽客，水泳客を主とした春秋—夏型の観光客であり，流入客は京阪神，中京がその主層をなしているといえよう。

観光資源を個別的にみると，超ド級の比叡があるとしても，だいたいはB，C級のものが主体であり，誘致力からみていま一歩の迫力を欠いている。自然依存の観光資源は豊富であるが，観光施設の整備という点からみれば貧弱さはまぬがれない。観光資源への依存の度合から，自然型，歴史人文型，投資型というわけかたをすれ

ば，現段階では前二者に属するものがほとんどである。しかし，これらの観光が，「みる」観光から「する」観光へ発展していくことを考えるとき，行楽的スポーツ的レクリェーションに適した投資型の立地性向の高い未開発の地域が豊富に存在している。誘致力を高めていくためには現在の観光資源に新しい大量の施設を導入するとともに，新しい積極開発によって観光地を創りだすことが必要である。比叡山にしてもドライヴウェイの整備によって，爆発的な需要を誘発したのである。関発はたんに大規模に進めればよいというものでは無論ない。どのような規模でどの方向に進めるべきかは観光地の立地条件を正しく見極めることにならねばならないが，巨視的にみて，びわ湖には積極的な観光投資によって流動の拠点となるようなところを数ケ所必要であることを強調しておきたい。

しかし，また一方では誘致力の高い資源は少なくてもびわ湖全体として観光地の数の多いことも重要視すべきである。すなわち各地域のセンターを結節点として，観光地をルートとして連鎖していくべきである。陸上ルートではほとんどが湖南区域内に限られている。ルート網が小さく全域からみて偏在化の傾向が大きい。たんなる点や線としての観光地でなく，びわ湖を点や線でかこまれた面としての特質をだしていくべきである。つまりこのことは，これからの観光においてますます高まっていくであろう回遊型観光に対応するものである。さまざまな観光資源を巾広く組み合わせ，しかも種々なルートを容易に選択できるようなルート構造を確立すべきである。

びわ湖の観光では，湖上遊覧がとくによくしられている。その代表的なものは竹生島めぐりであるが，これを利用者統計から年次別にみると年々減少の傾向を示している。水面観光全般について需要は伸び悩みであり，全利用に対して水面観光客の比率は相対的に低下している。この理由として考えられるのは近年の観光型式の変化である。竹生島めぐりなどでは，景観はすばらしいが，往復に1日かかり，しかも船の中で風景をみているだけで終ってしまう。つまり静的で単調な観光がだんだん観光客にうけいれられなくなっているからである。したがって将来においては湖上性ということより臨湖性をもっと強調し，たんなる水上ルートではなく，水と陸を結び，しかもみるだけでなく水に手をつけ，砂を素足でふむような，景観に積極的に溶けこませる方向へもっていくべきである。水をモチーフとした能動的なレクリェーションの場への発展がのぞまれる。現在においても水浴利用が大きな特色となっているが，将来水浴客はさらにいちじるしい増加をみるであろう。大都市圏の臨海部は重化学工業化が急ピッチで進行しており，中心部の海岸線は港湾，埋立地が占拠し，周辺においては，海面が工場排液によって汚染の度を加えるため，水泳場としての立地は極めてむずかしくなってくることが予想される。大阪湾，伊勢湾沿岸の海浜にかわって，のこされた広大な水面としてのびわ湖の利用価値がいちじるしく高まっていくものと考えられる。この意味からもびわ湖の観光産業の将来性は極めて大きく，開発もスポーツ型を主とし，行楽型を従とし，水の利用を中心とした施設導入を積極化すべきであろう。

ついで，びわ湖を巨視的な観点からみてみよう。観光コースはピストン型と回遊型に大別されるが，日帰り圏を主に考えた行動範囲は電車利用によるピストン型では約50km圏，観光バス利用による回遊型の場合は約100km圏とみるのが妥当であろう。びわ湖は大阪を中心とすると50km圏から100km圏にまたがる地域にあって，だいたいのところ日帰り圏に属するとみてよい。どうように中京圏からの距離をみると，やはりちょうど50～100km圏に位置している。

大阪からはピストン型の日帰り観光圏にはいっているが，びわ湖周遊というコースになると日帰りでむずかしくなる。名古屋からにしてもせいぜい彦根どまりである。大阪，名古屋いずれからも彦根―大津間の地域が利用圏に入るのみで，新しい観光資源を内包する湖北地方はどうしてもとりのこされることになる。びわ湖を一周するドライヴウェイが整備され，それへのアプローチとして名神高速道路が利用できると京阪神，中京からの所要時間は短縮し，大阪，名古屋からのびわ湖一周は走行時間5時間～5時間半が可能となり，日帰り圏にはいってしまう。このようにみるとき，びわ湖周遊の道路網整備は，びわ湖の観光開発の大きな条件となるであろう。

名古屋周辺の観光資源は総体に誘致力の大きいものが少なく，愛知県全域をみても，流入より流出が大きいのが特質である。日帰りの範囲では彦根方面への流出が近年伸びてきているが，将来ますます高まってくることが予想される。大津がびわ湖の西の基地であるのに対して，彦根を東の観光基地として整備していくことによって，中京方面からの誘致力を高めていくことが，びわ湖の開発のポイントとなるであろう。

将来，国鉄新幹線，国土縦貫ハイウェイを主軸として京浜，中京，阪神，北九州の各大都市圏は，東海，瀬戸内地域の発展によって緊密に結びつけられ，わが国を縦に貫ぬく巨大な帯状都市圏（ベルト地域）が出現し，また，それと同時に地方的副次的な都市圏とベルトが国土をおおうことになろう。近畿においては淀川沿岸，びわ湖東辺の帯状地域に都市化，工業化が進むものと考えられる。北陸においては福井―金沢―富山間が地方開発の要点としてクローズアップされよう。そして北陸と東海道は，北陸線複線化，国道8号線の整備によって緊密に結ばれ，とくに京阪神との連絡は湖西バイパスの整備で

その距離を短縮しよう。このようにみるとき，びわ湖は東海道のベルト・サイドのレクリェーション地域となり，さらに北陸との交差点に位置して，三辺を交通幹線にかこまれることになる。ベルト後背の広域緑地として日帰り客を主とした大量のレクリェーション需要を収容し，加えて有利な交通立地により国内各地からの立寄り客の増加をみることになろう。

3. 観光需要の伸び

計画にあたって利用者の量を算定することが，開発の規模を決定するために重要である。とくに将来観光人口が激増しようとしており，その意味からも需要構造の変化に対する把握が必要である。われわれは計画のチェック年次を10年後の1970年におき，その年次の需要推定を行なった。従来とられてきた推定の方法は，利用客の年次別変化から伸び率を決定し，所要年次の量を算定するやりかた（統計的推定）である。しかし，この方法は過去の需要構造が変化せず持続的に膨張していくという考えかたが前提となるところに弱点がある。

前節にのべたごとく，将来の観光は大きく変ろうとしている。生活構造の変化に対応して観光については，観光回数，観光型式などの変化となってあらわれてくるものであり，需要変動要因をたんに伸び率の概念に抽象する方法とは違った別の面からの推定—すなわち生活条件，空間条件からの構造的把握（構造的推定）が必要である。

ここではこの方法による推定を試みるが，将来の需要が必ずその通りになるというものでなく，あくまで計画のひとつの目安であることを留意しておきたい。そして計画の各段階において，新しい需要要因をもとに推定を修正し，計画を合理的に実現するようにしなければならい。

まず統計的推計によって需要の伸びをみよう。滋賀県では昭和31年～33年の観光流入量を次のように推定している。（表-2）

表-2　年次別びわ湖観光量

年次	総需要量 千人	対前年比
昭和31年	6,700	—
32年	7,200	1.10
33年	8,600	1.12

昭和32，33年は対前年比にしておおよそ10%前後の増加率である。この伸びが将来においても一定であると仮定して，8～10%の範囲で，昭和45年の需要を推定すると，max2,690万人，min2,160万人の値となる。

構造的推定をいかなる形で行なうか，まず需要成長の要因として次のことが考えられねばなるまい。

i) 経済の成長に伴って国民生活の消費水準がどのように変っていくか。

ii) 地域間の人口流動によって人口配置が都市生活圏をどう変え，それが観光誘致圏にどのような影響を与えるか。

i)は1人あたりの観光回数の上昇という形となってあらわれ，ii)についてみると全国の地域別の主要人口集中圏の変化，交通ルートの発達が必然的にびわ湖への流入人口の居住地分布の形態を変える。したがって推定にはこの要因がおりこまれたものになってくる。

算出はまずびわ湖を中心に全国を4ブロックにわけ，この地域別に人口の自然増と，とくに地域間流動から都市圏の配置がどうなるかを考慮し，1970年の総人口を求める。そして各地域別に居住者の年間観光回数をきめ，びわ湖への誘致率を仮定して総人口に観光回数と誘致率をかけることによって需要量が求まる。ここに誘致率とはある地域の年間延観光者数に対するびわ湖観光者数の比であり，各地域からどれくらいの割合でびわ湖へくるかを示す値である。観光回数に誘致力をかけたものをびわ湖利用率と呼ぶとすれば，観光需要量は各地域別の総人口×びわ湖利用率とも考えらる。

このようにして，1970年のびわ湖の観光需要量を求めるとtotal約2,000万人となる（表-3）。統計的推定から

表-3　びわ湖観光需要量の推定

地域別		昭45年総人口 A 千人	観光回数 B	誘致係数 C	観光需要量 A×B×C 千人	比率
近畿	滋賀	854	5.4	0.20	922	4.6
	京都	2,015	8.5	0.08	1,370	6.9
	大阪	6,560	9.0	0.09	5,313	26.7
	兵庫	4,170	7.7	0.06	1,918	9.6
	奈良	799	6.2	0 05	248	1.2
	和歌山	1,031	6.1	0.04	247	1.2
中部	中京	8,440	7.4	0.10	6,246	31.5
	北陸	754	5.6	0.06	256	1.3
	その他	10,400	5.8	0.005	301	1.5
大都市圏	京浜	16,100	9.2	0.01	1,481	7.4
	北九州	5,130	7.9	0.009	405	2.0
その他	中国	7,390	5.8	0.008	340	1.7
	四国	4,430	5.4	0.007	168	0.8
	九州	9,680	5.6	0.004	213	1.1
	関東	10,200	5.8	0.006	357	1.8
	東北	9,940	5.3	0.002	99	0.5
	北海道	5,670	6.1	0.001	34	0.2
計		103,563	—	—	19,884	100.0

（注）中京は愛知，岐阜，三重の三県，北陸は福井のみ，京浜は東京，神奈川，北九州は福岡とする。

は約2,100万～2,700万人となるが，ここで採用する値としては安全側にみた2,000万人をとる。近畿，中部，京浜および北九州，その他の比は50%，34%，10%，6%くらいとなっている。近畿圏全体からの誘致がちょうど半分となり，京阪神，中京圏からの流入は75%となる。大ざっぱにみて近畿，中京，北陸を目帰り圏とみなせば約83%がそれにある。

つぎに10年後における総需要量がびわ湖の地域別に，また観光のタイプ別にどのような需要分布を示すかを推定する。推定の方法は，総需要2,000万人を各地域別の現在の流入比率，観光のタイプ別利用比率を10年後の変動を考慮して比率を修正し，総需要量にかけて算出する。

ここで，びわ湖の地域内の需要量は，同一人が2ケ所以上回遊することを考えれば，流入した観光客数より多くなるはずである。したがって総需要量から地域別の需要量を配分する場合，流入した観光客が何ケ所ぐらいの観光地を回るかを考えなければならない。ここにルート観光すなわち地域内の観光流動を示す指標として「流動係数」を次のように定義する。

$$流動係数=\frac{\Sigma 目的地点観光量}{\Sigma 流入地点観光量}$$

このような点を考慮して，延観光数を求めると約2,600万人くらいとみられる。地域別には今後湖東，湖北，八幡地区の需要が絶対量において増加し，大津，瀬田石山が相対比率の上では利用が低下するとみた。このような方法で地域別タイプ別に需要量を求めたものが**表-4**，**表-5**である。

以上のような推定をもとにピーク時1日の観光客数を求め，その数をもとに，交通機関別流入量から，道路網，駐車施設などの容量をきめ，さらに宿泊施設をはじめとする各種施設の適正規模を算出した。

表-4　タイプ別延観光需要量

タイプ別	タイプ別比率	流入観光量 万人	宿泊比率	流動率	延観光量 万人	同比率
行楽	65	1,300	6～8%	1.4	1,820	68.5
水泳	30	600	15～20	1.2	720	27.0
登山	3	60	15～20	1.2	72	2.7
スキー	2	40	15～20	1.2	48	1.8
計	100	2,000	—	1.33	2,660	100.0

表-5　地域別タイプ別観光需要量（単位：万人）

地域別		慰安行楽	水泳	登山	スキー	計	比率
湖南	大津	455	144	—	—	599	22.6
	比叡山	310	—	—	—	310	11.7
	瀬田石山	218	—	—	—	218	8.2
湖西		91	324	18	9.6	442.6	16.6
湖北		91	36	7.2	19.2	153.4	5.8
湖東		364	72	46.8	19.2	502	18.9
安土八幡		127	144	—	—	271	10.2
裏江州		73	—	—	—	73	2.7
水面ルート		91	—	—	—	91	3.3
計		1,820	720	72	48	2,660	100.0

4．計画の方向と原則

以上のような需要の想定のもとに各地区の計画を進めたが，それらの計画をたてるについて力点をどこにおき，原則をどのように設定したかについてのべてみたい。

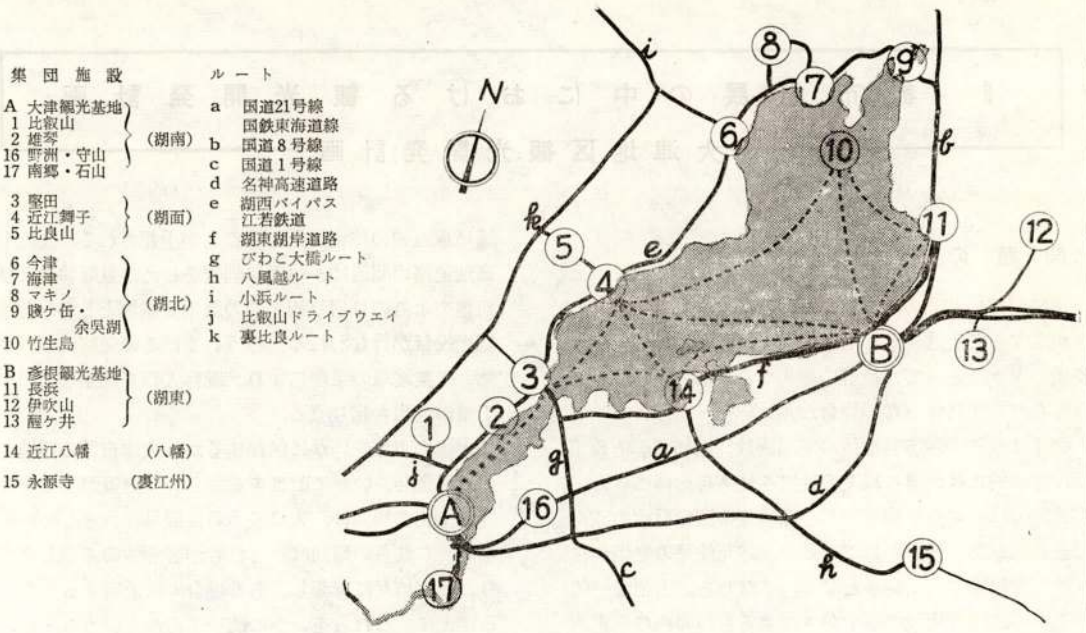
将来のびわ湖の観光地としての基本的な性格は，京阪神一中京間のベルトサイドの広域レクリェーション緑地であると規定した。こんにちまでのびわ湖観光は風光めい美な景観や史蹟を看板とし，これらをみせることを観光のテーマとしてきた。しかしこれからはマス・レクリェーションの時代であり，観光の形式も景観を賞し，社寺を詣でるといったものから＜する＞観光へ変りつつある。びわ湖の観光立地は人口集中地域への近接性，緑地性，水面利用性というレクリェーションの場としての性向に富み，観光の発展に即応していく可能性を充分にもっている。びわ湖を広大な遊び場とし，水に親しみ，湖畔にくつろぐことに開発の目標をおき，水泳，登山，スキーなどのスポーツレクリェーションを積極的におし進めようとするものである。ある観光地が伸びるか否かは，社会の動きの中における諸条件で決定されることで，その制約をはずれてしまった計画は夢想に終るにすぎないし，過去からのたんなる持続政策は観光地を衰退せしめる。びわ湖が変革期にのぞんでいることをよく認識し，新しい観光立地性向をみきわめた計画立案でなければならない。われわれはこのような観方にたって計画の力点を次のようなところにおいた。

(1)　観光基地の設定と観光ルート網の形成

大津・彦根に観光総合基地を設け，観光流入の拠点とし，観光資源をグルーピングしてそれぞれの地区別にセンターを設け，集団施設を導入する。そしてこれらの基地とセンターを結ぶルート網の形成をはかり，びわ湖周遊道路をその幹線とすることによって流動の一層の促進をはかる。

(2)　新しい資源の開発と新しい施設の導入

湖西，湖北，裏江州の自然資源の開発をすすめる。湖東とくに彦根を中心に観光施設の導入を積極化する。施設ではこんにち不足している遊び施設，宿泊施設に重点をおく。



集団施設とマス・ルート

(3) 新しい観光のタイプの発見

びわ湖を広域レクリェーションの場として，積極的に＜する＞観光の新しい型を考え，新しいアイデアを生かした遊びや，そのための施設を設ける。

びわ湖周辺には，歴史性，民俗性に富んだ自然人文資源が多いが，これらはマス観光のルートからはずれがちになる。探索型の特殊な観光客に対する観光モチーフの豊庫としてスペシャル・ツーリズム網を確立する。

観光の大衆化に呼応して経済的なる観光を容易とするため，ソーシャル・ツーリズム網の一環としてユースホステル，国民宿舎，老人ホステルなどの設置をはかる。またこれらの規模の大きいものとして休暇村，大衆別荘村の開発を行なう。

栗東(リットウ)，守山，八日市を中心に内陸工業地帯の整備が急速に進みつつあるが，これらの近代工業をはじめ醒ケ井養鱒場，信楽焼などの民俗産業をびわ湖観光の対象にとりあげ，テクニカル・ツーリズム網を整備する。

(4) 緑地の系統的確保と法的規制の徹底

びわ湖国定公園の緑地，大津，彦根などの都市計画区域の都市公園，風致地区など日常生活圏の小緑地から観光対象となる広域緑地までを系統的に確保する。湖畔のグリーンベルト網，湖西，とくに湖北の現状の自然景観はそれを尊重し，自然の保護と開発の進展とがマッチするようにする。乱脈な開発を規制するため，緑地の地域指定を徹底する。

(5) 新しい観光宣伝とサービス機関の確立

近江八景が古くなって，新びわ湖八景の宣伝にきりかえられたが，これも荒れる一方で事実に適さなくなっている。踏襲的な観光宣伝を近代観光宣伝にきりかえるべきである。そして宣伝啓蒙，観光客の案内サービスの機関を大津中心に設置し，その確立をはかる。

(6) 他の地方開発計画との関連重視

滋賀県においては，県内経済振興の諸計画がたてられている。また地方計画の立場からびわ湖の水利用計画がいろいろ立案されている。観光計画についても県内市町村において種々の計画がある。これらの諸計画が相互的に検討調整され，また他の産業振興計画とよく手をたずさえて連携して進んでいくようにすべきである。

このような原則に基ずいて各地区の計画を進めた。対象地区は6観光地区すなわち湖南，湖西，湖北，湖東，八幡，裏江州にわけ，2基地（大津，彦根）および17の観光センターの計19の集団施設地区を設定して，マス観光ルートを確立させる拠点としての役割をはたさせる。そして観光施設，交通施設などの利用の集約化，高度化をはかった。

各地区の計画は，観光開発が地区の生活圏を混乱させないような形をとり，しかも地域の発展にプラスするようなものでなければならい。その意味で観光開発のフィジカルプランは都市計画と密接に結びついたものでなければならない。

（京都大学建築学教室　住田昌二）

Ⅱ　都市発展の中における観光開発計画

―大津地区観光開発計画―

＜問題の背景＞

舗装のない凹凸の地方道を，砂塵をまきあげて観光バスが連なって突進する。沿道の人々，観光地の地元の大多数の人々にとって，最近の観光ブームは，埃と騒々しさをもたらすにすぎない場合が多い。

いまはやりの地方自治体の工場誘致，観光開発政策は，形式的には，ある程度の独立を地方自治体に与え，実質的には，中央集権されている戦後の国の財政のうんだ悲喜劇があるといわれているが，地元住民の立場が往々にして無視される結果となる。すなわち，上記の一例のごとく，関連施設の不十分さによるもののみならず，地価の値上り，教育環境，自然環境の悪化，観光資源の商業化による質的変化等々によって，地元民への圧迫が行なわれる場合がある。

現在の観光開発とは，資本が当観光資源を商業ベースにのせることによって，利潤をあげんとすることであり，主として，大都会を中心とする大量の観光人口を当該地域に誘致することで，その目的を達しようとする。したがって，大資本による開発の場合においても，観光人口の動員のための交通手段の改良，遊戯，宿泊，商業施設の設置に力が注がれるが，当該地域の健全な発展，地元民の福祉対策等々は，政治的取引の対象とされるにすぎない場合が多い。しかし，本来，観光開発とは，その地域の観光資源の保存をはかると同時に，それを広く公開し，その利用を高めることにより，広く国民の余暇生活に寄与し，あわせて，地域の発展をはかるものでなければならない。すなわち，地域住民の立場と利用者の立場とが統一されることにその目的がおかれるべきものである。

この問題を具体的に考察するため，びわ湖観光開発計画の中で，小生の分担した大津地区の開発計画を例にとり，話を進めたい。

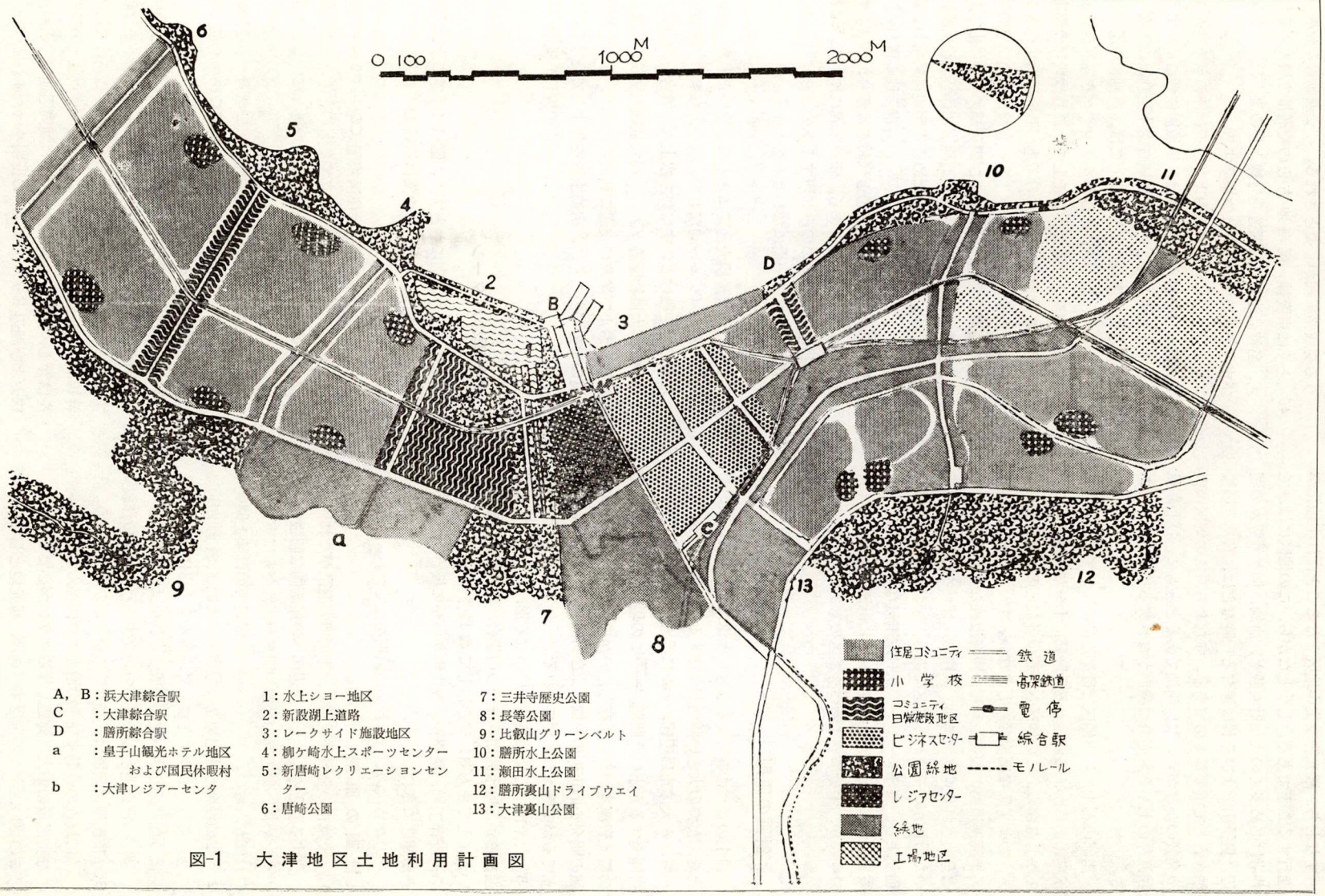
＜大津をどのように考えるか＞

大津は，びわ湖観光の基地であると同時に，滋賀県の行政，産業，文化の中心であった。しかし，いまや京阪神地方圏のひろがりの中で，大津は大きく変化する可能性をはらんでいる。すでに国鉄の電化以来，京都，大阪への通勤者は増加しつつあり，風光明媚な地形条件，北部の豊かな住宅用地などは，交地条件の改良により，急速に京阪神の住宅地となることが予想される。また名神高速道路の開通は，強烈な刺戟を与え，京阪神および東海地方よりの日帰り観光圏の最重要基地として，急速な観光投資が行なわれるだろう。またこの道路に刺激された，工業地域の東漸により，既存人口を利用しての中小工業の進出も起りうる。

大津のよさをいかに保存するか，大津市民の環境をいかに保全し，いかに改良するかという対策が不十分な場合，上記の傾向は，大津をさらに混乱におとしいれるだろう。これらの傾向は，どれもが必然性のあるものであり，また相互に影響し，ある場合には矛盾するものであるゆえに，これらをいかに統一するかということが，もっとも真剣に考えられねばならない。

さて，大津市の面積・人口は昭和30年国勢調査時において，面積152.94方粁，人口107,498人，人口密度702.9人／方粁であった。浜大津より石山に至る既成市街地の人口密度はきわめて高く，国鉄の電化以来，京阪神との交通条件が改良され，一部に存在した宅地はぞくぞくとうめられ，飽和状態に達するのも近い状態である。かつ，道路条件がきわめて悪いにもかかわらず，自動車の通過交通量は急激に増大しつつあり，市内交通の混乱をまねき，市内の居住環境を悪化せしめている。この原因のひとつに，地方よりの観光バスの増加があげられるが，こうした自動車用に，湖辺のドライヴウェイが計画され，なかば実現している。湖辺を公共用地として確保することは，必要であり，従来のごとき無統制な湖辺利用にくらべれば，このドライヴウェイは数等賢明な解決策とはいえるが，自動車交通量の飛躍的増大が予想される現在，ドライヴウェイのみをもって湖辺の公共性の確保ができるかどうか疑問とされる。なおかつ，これに至るアプローチの解決が不十分なることは，混乱を生ずる恐れが十分にあり，もはや大津中心部は，小手先の改良では現在の発展のすう勢にはとうていおいつけぬものをもっているといえるだろう。

しかし，浜大津以北の地区は，地理的条件がきわめて良好なるにもかかわらず，未だ市街地化は進行していない。すなわち，大津市自身の経済力が市内従業人口をさらに要求することが少なかったこと，京阪神地方への交通条件が悪いことなどが原因しているのであるが，大津の次期発展段階においては，きわめて重要な地区となることが予想せられる。



A, B：浜大津総合駅
C　：大津総合駅
D　：膳所総合駅
a　：皇子山観光ホテル地区および国民休暇村
b　：大津レジアーセンタ

1：水上ショー地区
2：新設湖上道路
3：レークサイド施設地区
4：柳ケ崎水上スポーツセンター
5：新唐崎レクリエーションセンター
6：唐崎公園

7：三井寺歴史公園
8：長等公園
9：比叡山グリーンベルト
10：膳所水上公園
11：瀬田水上公園
12：膳所裏山ドライブウエイ
13：大津裏山公園

図-1　大津地区土地利用計画図

すなわち，観光施設集中地区となること，住宅地化が進行することである。しかしながら，この地区には，三井寺はじめ多くの文化財を残し，唐崎，柳ケ崎等々の湖辺，皇子山およびそれに連なる丘陵などは，自然との接触点として重要なものである。すなわち，この地区は大津発展のかけがえのない用地であるとともに，びわ湖風物保存の上からも充分な配慮がなされるべきところである。

南部の石山，瀬田地区では湖岸沿には，すでに飽和の状態にあるが，後背地たる丘陵部に十分な用地をもつ。しかしながら，この地区も，石山寺などの観光資源を有し，いたずらな開発は許しえない。また，この後背地は名神高速道路，国道一号線，東海道線などで市の中心部と分断される地区であり，大津の一体性を確保しうる充分な計画がのぞまれる地区である。またこの南部には，従前より，東洋レーヨン，新日本電気などの工場を有しているが，こうしたものを，いかに計画の中にとりくんでゆくか，十分に考えるべき地区でもある。

＜計画の原則＞

以上のようにみてくるとき，大津については，次のごときふたつの大きい問題が存在することがわかる。すなわち，A 大津市周辺部，とくに浜大津北部の地域をいかに開発するかという問題。――この場合，山および湖辺の観光資源をいかに保存し，いかに利用するか？この地域の開発を旧市街の整備および再開発のためにいかに役立てるか？等々が問題にされる。

B 大津市中心部の整備をいかなる形，いかなる順序で進めるかという問題。――この場合，地域住民の立場をいかにしてまもり，いかにして改良すかということから，既存工場，業務街，商店街をいかに扱うかということが問題にされる。

そのため次のごとき計画の原則をたてた。

計 画 の 原 則

1. 大津市の発展を規制し，市街地の混乱がこれ以上激化することをふせぎ，周辺部への無統制な膨張をふせぐために，周辺部の計画的開発が，ただちに実施されねばならない。 ＜周辺部の計画と開発＞
2. この場合，住宅地を含む市街地と観光資源が両立し，それらが相おぎなって，各々をさらに充実させるような計画パターンが作成せられねばならない。 ＜市街地と観光資源の両立するパターンの作成＞
3. 市街地の発展は，必然的に交通量の増大を伴う。とくに最近の自動車交通の増大ぶりにかんがみ，爆発的な交通量の増大に対処しうるプランが必要とされる。このさい，とくに留意すべきは，観光地としての大津へ流入する交通と，通過交通，一般市内交通を処理しうる交通路線網が必要とされる。＜交通動線の分離＞
4. とくに京阪神，東海地方との交通量の増大にそなえ，名神高速道路，国道一号線よりの流入幹線，および市内通過幹線の設置は急を要する。 ＜流入および通過幹線の至急設置＞
5. 外部よりの観光交通動線は，地域居住者の日常生活動線をよこぎらぬこと。＜地域日常生活動線の尊重＞
6. こんごの交通量の増加に対しては，自動車交通だけにたよらず，むしろ，その弊をふせぐべき，高速鉄道の整備を必要とすること。そして，これは既存の都市間交通網を有機的に結びつける役目をはたすべきこと。 ＜有機的高速鉄道網＞
7. 市内交通の飽和，湖岸および周辺部の開発に応じた市内交通の更なる激化，市街地発展に伴う業務商業施設の再整備，住民の福祉のための市街地再開発が必要である。 ＜市街地の再開発＞
8. 既存の大工場は，施設の近代化をはかり，テクニカルツーリズムの対象とする。新設工場については，上記の目的にそうもののみ許可するものとし，観光の近代化，総合化に一役になわせるもとする。 ＜テクニカル・ツーリズム＞
9. こんごの大量観光需要にともなう施設として，近代的観光施設（ショー的なもの，教養的なもの，教育的なもの）を設ける。すなわち水上大小舞台，水族館，博物館，大植物園等々。 ＜大量観光施設の設置＞
10. 観光および業務の交通の結節点に近く，かつ自然環境の十分なところに，宿泊施設を集中して設ける。 ＜宿泊施設の集中化＞

＜計画のパターン＞

以上のごとき原則にもとずき，図-1に示すごとき土地利用計画案を作成した。この案は次のごとき方針で組立てられている。

1. 居住者の日常生活は住区集団(CC)―〔2～4近隣住区で成立〕を単位として成立するものとし，この内部には，通過および観光幹線道路を設置しないものとする。
2. CCの公共施設は，幼児用および教育施設を除いた他のものは，高速鉄道の駅をも含めCCの中心部に設けるのを原則とする。
3. CCの外周部はグリーンをともなった幹線交通路で区別されるものとし，これには，パークウェイを付設するものとす。この場合，山側の南北幹線道路は通過準幹線および丘陵地よりの見晴し用ドライヴウェイの役割をはたし，湖辺の幹線道路は，びわ湖周辺連絡の通過幹線および湖辺ドライヴウェイの役割をはたす。
4. CC郡の中央部に（南北通過幹線と国道1号線お

よび鉄道航路交通の結節点付近に）ビジネスセンター（BC）を設ける（現在の中心地）。とくに京都，大津駅，BC，浜大津総合駅を連絡する鉄道は将来モノレール化する。

5．CC郡南部地区に観光的工場地区を設け，通勤用としては高速鉄道を利用し，物資輸送，観光用としては幹線道路を利用する。したがって，この位置は観光施設郡の連絡幹線に沿うものとする。

6．観光地区として山側および湖辺にそれぞれ適当な間隔をもって施設集中地区を設ける。すなわち，幹線の交叉点付近にその地区をとり，山側の観光地区，湖側の観光地区が一対となって生かされるように配慮する。こうすることにより，山と湖を結ぶ，CC外周部の連絡道路に付設されたパークウェイが生かされ，各々徒歩連絡をもって利用されうる。

7．これらの観光地区の中央部かつBCに接してレジャーセンター（LC）を設ける。

以上をパターンにして図示すれば**図2-1**（日常生活動線），**図2-2**（レクリエーション動線）のごとくになる（名ずけてレクリエーション時代の新線状都市構造）。すなわち，業務用，産業用動線，日常生活動線が適当に分離され，しかも各施設，各観光地区はパークウェイを含むグリーンベルトをもつ幹線道路でつながれる。

したがって，観光用交通はCC内部を通過せずに，もっとも適当な組合わせで各施設間の連絡ができると同時に，CCの居住者が，山や湖を愛するためにパークウェイを利用して散歩することが可能となる。とにかく，外来の観光客も，地域の居住者も任意の組合わせによる各観光施設の利用が合理的に行なえるところに，計画の重点がおかれている。

通勤および施設間，CC間の連絡には，CC中央部に駅をもつ高速鉄道でもって解決されるようにしたが，各施設の利用度を高め，CC中心を合理的ならしめるための考慮も含まれる。

＜計画の段階的実施＞

A．第1次計画

メインアプローチの解決：大津にとって当面の急務は，増大する自動車交通をいかにさばくか？であり，交通量の激化による市内部への悪影響を除去することである。すなわち，幹線道路の設置が急務とされる。当面の問題は，国道1号線より浜大津にいたるアプローチと湖西へのバイパスが確保せられることである。しかるに現在の国道1号線よりのメインアプローチは，路面電車と混用されており，かつ至るところで細街路が交叉しており，たとえ拡張を行なったとしても，その交通処理能力は限られたものになることは明らかである。

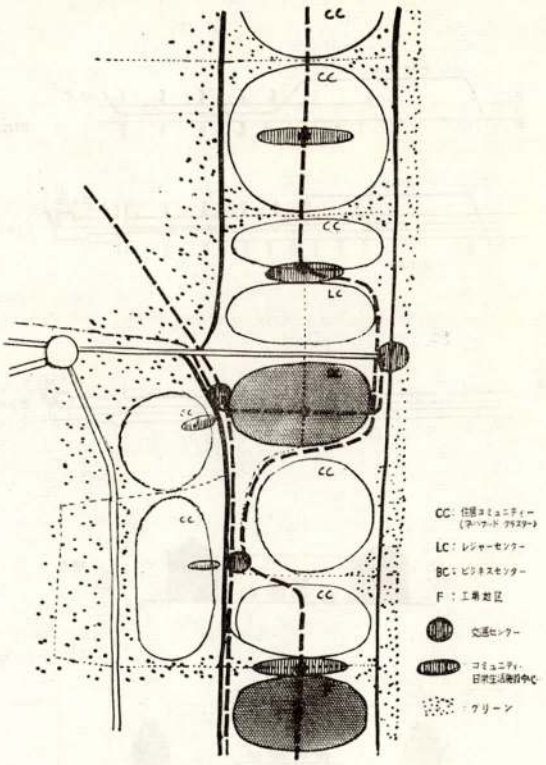


図2-1　日常生活動線

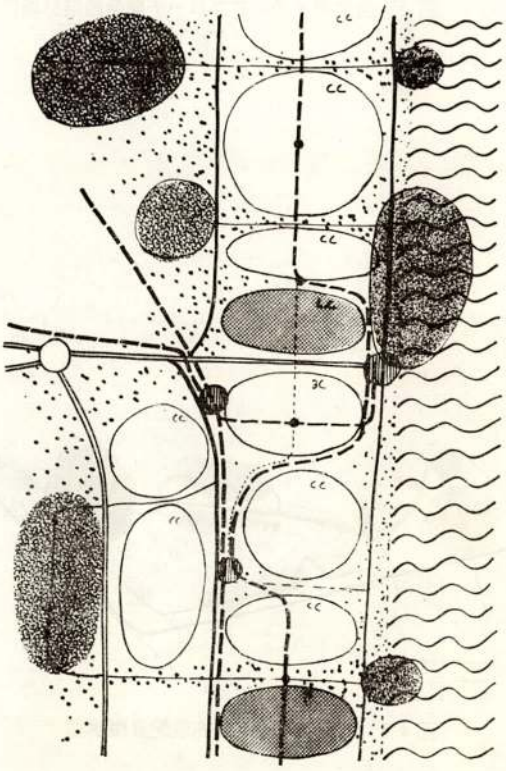


図2-2　レクリエーション動線

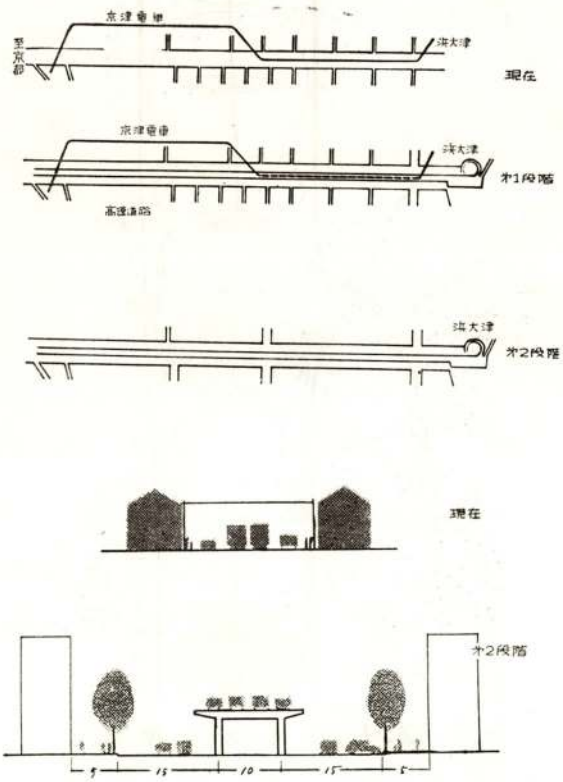


図-3　浜大津メインアプローチ開発段階計画図

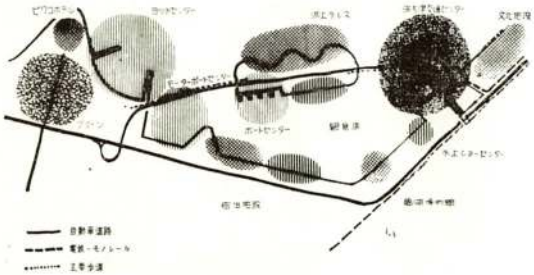


図 4-1　　湖面バイパス施設配置説明図

一方この道路は京都側より峠を登ってきて，浜大津側にかなりの勾配で下ってゆく道路になっている。この点よりも，浜大津側で高架にして，びわ湖をとじめおろしながら，アプローチできるようにしたほうがいいといえる。ただ，路面電車が急速に撤去しえない事情をあわせ考慮して，この道路を図-3に示す段階計画で設けることとした。

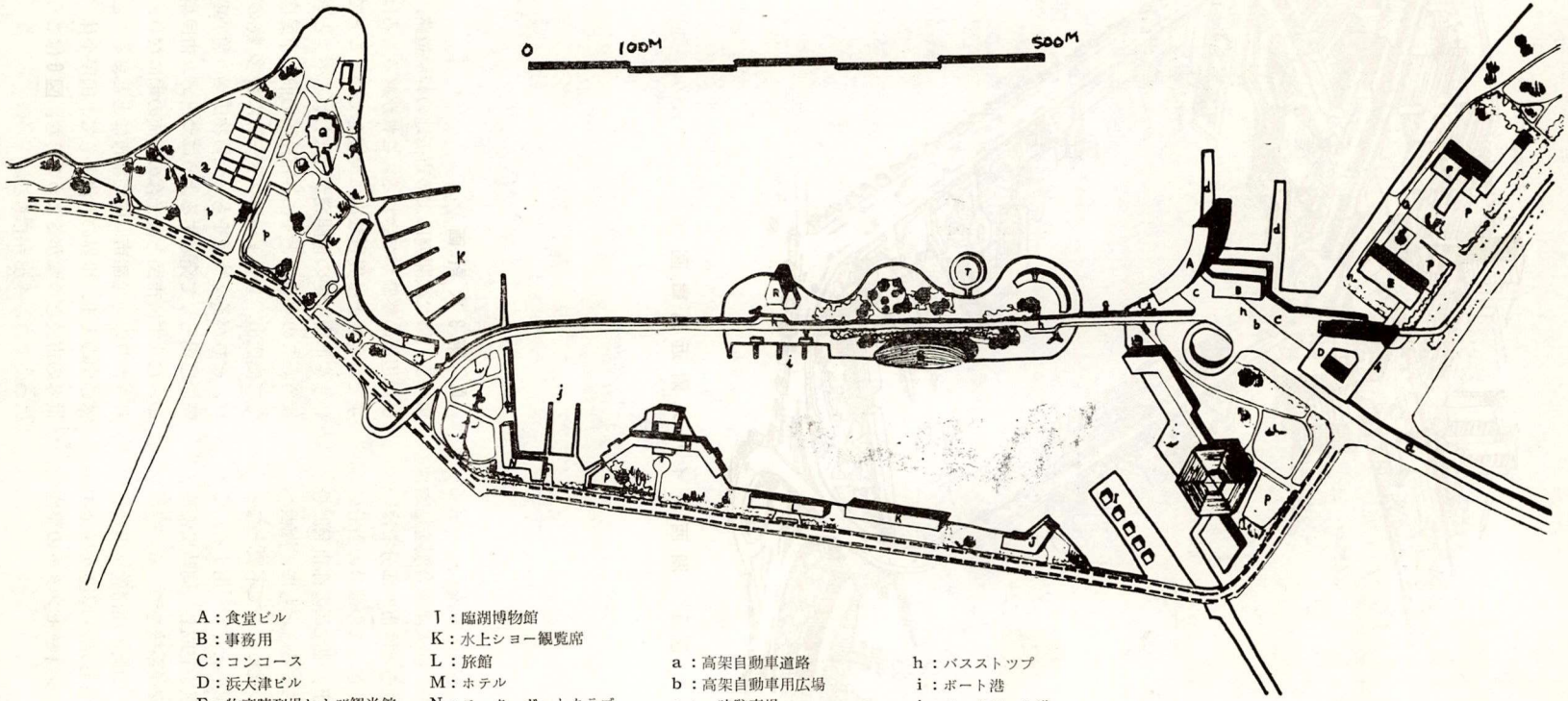
湖西通過幹線の設置：浜大津まで高架できた道路をさらに湖上に延長し，柳ケ崎に連絡し，浜大津，柳ケ崎間を観光施設集中施設地区とする。この湖上道路は，湖西バイパスと水上ドライヴウェイの両方を兼ねる。これによって内湖ができるが，この内湖を最大限に利用すべく，湖上テレスともいうべき人工島を設ける。この人工島の外湖側には，テレス，花壇をもつ休息空間とし，その中心施設として，展望タワー，レストラン，浴場をもつ水上レストハウスを設け，内湖側は内湖を利用した水上各種競技および水上ショーのための観覧施設を置き，また一部にボートセンターを設ける。この人工島へのアプローチは，湖西バイパス上にバスストップを設けるとともに浜大津および柳ケ崎よりの専用歩道をドライヴウェイに沿ってつくる。このバイパスは人工島レベルより＋7m の高架とし，この人工島レベルには自動車は入らぬものとする。高架道路下は各種施設空間，クラブ，ギャラリーなどとして利用する。（図4および5）

また現在の湖西道路，浜大津―柳ケ崎間は，内湖側に臨湖研究所，共済組合旅館志賀荘，旅館紅葉館，ボートレース観覧席があるが，今後もそれら旅館を活用し（一部建て変え）てゆくものとする。また柳ケ崎の湖上バイパスとの交叉点付近は，ヨットセンター，ボートセンターを設け，湖上運動競技の中心とする。湖西道路の山側には，びわ湖博物館，研究所，植物園などを設ける。これによって，新旧湖西道路を利用しての循環散歩コースが完成する。

その他：在日米軍より返却された皇子山キャンプ場付近は宿泊施設群として整備する。また皇子山運動場の整備，浜大津南方のすでに埋立てられた地区の公共文化施設地区としての整備もこの段階において行なう。

8．第２次計画

市内高速鉄道の整備：現在大津市内外の連絡鉄道として国鉄の他に，京都―浜大津間の京阪電鉄京津線，坂本石山を結ぶ京阪電鉄石坂線，膳所―近江今津を結ぶ江若鉄道があるが，京阪神地方圏の拡大による圏内流動人口の増大に対し，これらの鉄道はその十分な役割を発揮しえない。むしろ現状のごとき有様は，自動車へのの負担を増大せしめ，結局自動車におしまくられた計画となり，都市の混乱をまねくことになろう。そのため第２段階として，これらの鉄道網の整備を必ず行なう必要がある。京津線は勾配も急であり，また路面軌道の率も高い



A：食堂ビル
B：事務用
C：コンコース
D：浜大津ビル
E：物産陳列場および観光館
F：図書館
G：コロネード
H：水上ショーセンター
I：艇庫
J：臨湖博物館
K：水上ショー観覧席
L：旅館
M：ホテル
N：モーターボートクラブ
O：モーターボート艇庫
P：ヨットクラブ
Q：ビワコホテル
R：展望タワー
a：高架自動車道路
b：高架自動車用広場
c：一時駐車場
d：埠頭
e　モノレール
f：モノレールプラットホーム
g：湖上道路（高架）
h：バスストップ
i：ボート港
j：モータボート港
k：ヨットハーバー
p：パーキングスペース

図4-2　湖西バイパス附近計画図

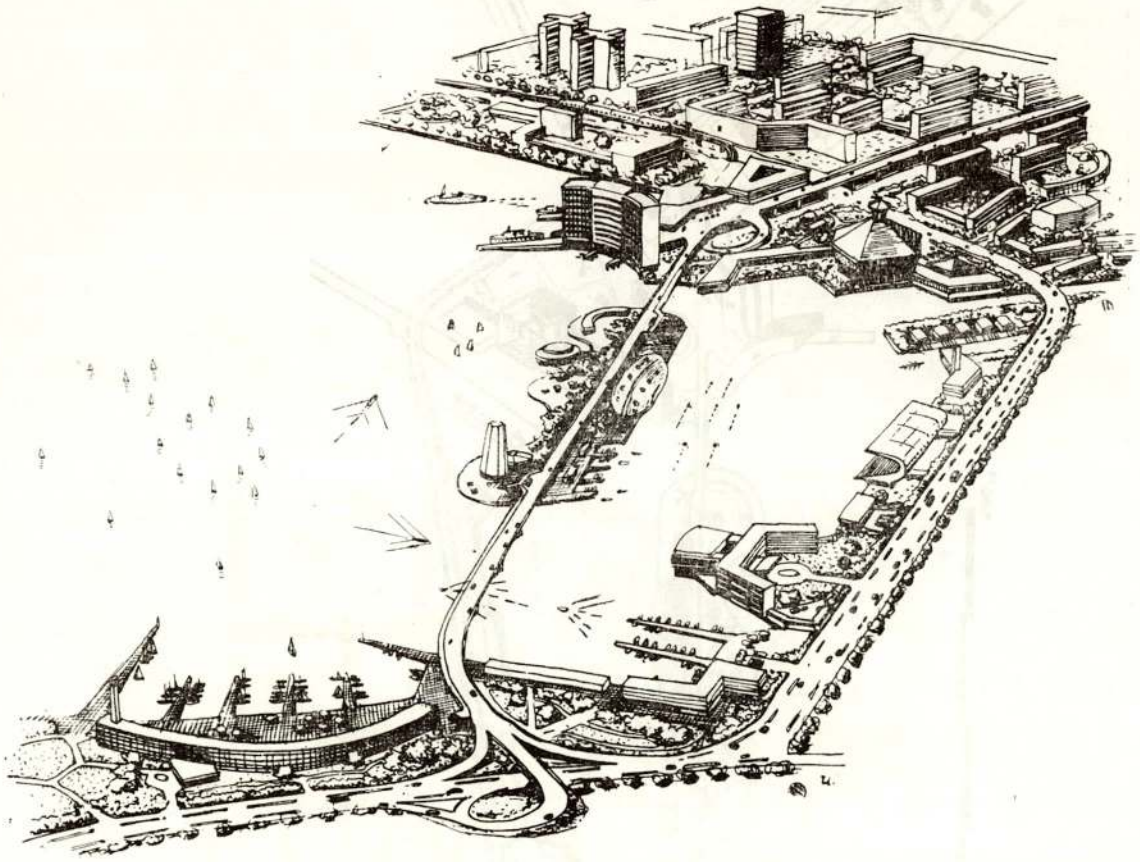


図-5　湖西バイパス附近鳥瞰図

ので，このさいモノレール化し，現路線を廃止し，京都—大津駅—大津ビジネスセンター—浜大津総合駅を結ぶものとする。また石坂線と江若鉄道とは市内部分では一体化し（江若は全線に狭軌であるが，この部分の当分の広軌併用を可能ならしめる），市街地北部の都市発展を前述の線状構造で行なえるようにするとともに，湖西への観光需要に応える。モノレール化によって不要となった高架下の旧京津線路線敷は駐車場として利用する。これらの装備により，浜大津総合駅を完成し，同時に業務中心の大津駅とを一体化しうる交通系統をつくる。

その他：地区中心施設と湖岸—山側の連絡幹線の建設による観光道路網を完成し，新住宅地の環境を保全する。また山側ドライヴウェイ，レジャーセンターの整備も着手する。

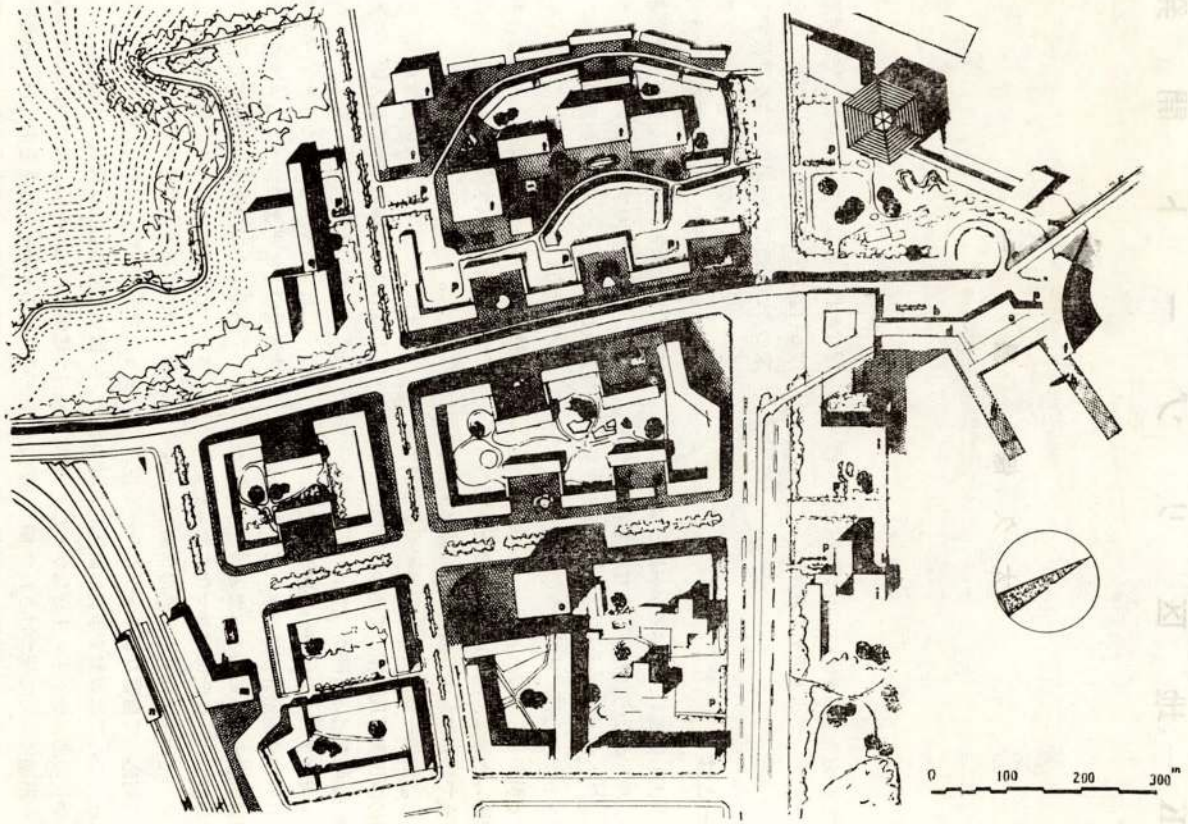
C. 第3次計画

第一次，第二次開発により市街地の幹線道路，鉄道および周辺部の整備がなされる。これが終るころは大津は，すでに現在とは異質な街に発展していることであろう。いまや旧市街地の再開発が行なわれるべきときだといえよう。この場合，とくに，市役所の前に市民広場を，そして商店街，レジャーセンター等にも多数の広場を設け，それが各々特徴をもった買物広場，憩いの広場，交際の広場として発展するようにつとめ，市民相互の交流のみならず，市民と観光客の交流の場になり，大津がありきたりの観光都市，住宅都市にとどまることなく，日本の中の大津，世界の大津として，国民全体，あるいは世界の市民とつながるようのぞむ。**図6**はこうした広場についてのらくがきである。

（大阪市立大学家政学部住居学教室　**絹谷祐規**）

図-6　大　津　市　中　心　部

a：市民広場
b：駅前広場
d：コンコース
e：事務所
f：浜大津食堂ビル
h：浜大津埠頭
i：物産観光館
j：図書館
k：コロネード
l：水上ショーセンター
m：浜大津駅
n：モノレール駅
o：市役所
p：パーキングスペース
q：市民病院
s：ショッピングセンター
t：劇場および映画館



K—地区リゾート開発

大久保昌一

開発のあらましを紹介するまえに，レジャーとか，観光とかいったことについて少々考えてみたい。

1. レジャーとは

労働も享楽も芸術も儀式も，すべてが一体となっていた古代社会から，現代のようになにからなにまで，分化し専門化している社会に至る間には，その中間的な形態が無数に発見できるだろうが，私の田舎の場合をひとつのサンプルとして引例しておこう。

太平洋戦争が始ったのは，私の中学2年のときであったと思うが，都会では想像もつかぬ滑稽な戦時体制化が進められていった。労働—筋肉労働—の神聖視が強調され，京都—灯園の西田天香氏を招いて山地の開墾や，例によっての便所掃除などの日課がつづいたことがあった。漁業を主要生業とするこの地方—奥熊野—では，外見的には知性よりも肉体的適性が尊重されていたとはいえ，生活の目的は労働そのものにあったというよりはむしろ，労働過程の戯画化，生活のドラマ化にあったことは事実である。そして南国の倦怠と早熟の情緒が，ニュアンスの多様性に対応して豊富なボキャブラリーを生んできたようである。ここでは現象や事実の直接的表現は下等な，ものわかりの悪さを示すにすぎなかった。簡単にいえば，皮肉や諧謔によって味つけされた婉曲叙法が，日常会話のボイスであった。小学生の作文にはまま傑作が含まれていても，中学生となるとすべて彼等の作文は不毛化するごとく，都会化の教育は会話のニュアンスとボキャブラリーの多様性をあえなく涸渇させてしまうのだが。

こんな中学生のある日，彼等の目的は，中学生共通の反抗意識に多少とも支えられていたとはいえ，天香氏の主唱し体現する労働の神聖視という課題に対する反対物を創りだすことであった。すべての労働は生産に結びついて始めて意味があるし，また結びつかぬ行ないを労働とはいわないのであろうが，生真面目な修養的訓練は未分化な労働—漁をすること—と享楽の分化を前提として行なわれるものであって，ここでは労働そのものを傷つける行為に外ならなかった。平たくいえば，労働とは本来つらいもので，そのつらさを克服するのが修養であるという見方—これがそもそもナンセンスだというのである。そんなわけで，山地の開墾は作付可能にするためではなくて，天香氏や彼にしたがう教師達の姿を戯画化したり，皮肉ったりするためのある種のリズムを会話に与えることであったし，京都訛りを会話のイントーネーションにとりいれ，大真面目な「ヨイトマケ」の叔父さんに挑戦し，「贅沢は敵だ」といえば，すかさず，敵の前に素敵の素を挿入することが彼等の技術でなければならなかった。

いまにして思えば，彼の悪童達にイギリス的教養を与えしならば，彼等の中から幾人のバーナードショーが育っていったことであろう。悲しいかな都会化の教育は，こうしたユニークなローカリティーを稀釈し，佐藤春夫的素地の上にザラついたモルタルを塗りこめてしまったのである。さて労働を神聖視する百万言は，綺麗に忘れさり，教師のなかの一人の異端者が話した「労働罪悪論」が，悪童達の共感をえたのは，こんなシチュエーションであったからである。

機械化と都会化は無限の加速度にしたがっているという迷信は，もはや信じないわけにゆかぬほどであり，そのための leisure ではあるのだが，田舎育ちのわれわれにとって，子供時代の未分化な時間は無限の郷愁を感ずじさせるわけである。

ところで，魚釣りとか狩りとか太古では主要産業であったものを，暇にあかしてやる分には，いまのわれわれにとって，これほど楽しいものはないであろうし，スポーツや絵画など，それ自体生産的ではないものでも，プロとなればしんどい話ではある。

「ある行為を楽しむためにのみある時間」を leisure というのであろうが，Veblen (Thorstein) のような真面目な社会主義の研究家は，もっと別な見方をしていたようである。つまり「時間と労力の非生産的ないしは衒示的な消費 (conspicuous consumption) もしくは浪費」をleisure

を意味することになるようだ。彼の「有閑階級の理論」(The Theory of Leisure Class) によれば，「有閑階級」というのは生産的労働から免除されて，もっぱら政治，軍事，宗教，スポーツ，学問などに徒事する階級の謂で，いわゆる「衒示的消費」—美術，建築，庭園，衣裳，愛玩動物，スポーツ，賭事，飲食，社交，古典などの金銭的基準にもとずく「高い趣味」の涵養と享楽が，有閑階級の生活の表徴となる。

先に「ある行為を楽しむ」といった楽しむことの含意は別な表現をとると，「人間の質的向上に寄与する」ということにもいいかえられるだろう。Mumford によれば「資本主義と共産主義の滓のような迷信の多くが廃棄されて，good life が，工業における原動力として goods life にとってかわる」—なかなか洒落た表現だが—方向では leisure がますます増大の傾向をたどるであろうし，そうしたオープンな世界では，歴史の進展は，「人間の発展という概念で捉えられねばならないし，そのための実用主義と利益主義の新しい規準が生れねばならない」ということになる。したがって leisure は人間的発展につかえる時間という定義を与えられることが望ましい。なるほど未来の社会における考え—post-historic man の考え—は，大地主，商人，不動産業者，金融業者などによる土地の買占めや投機のために，移民や貧農はなかなか土地を手にいれることができなかったような，当時のアメリカ東部の社会を背景として育った Veblen の考えかたは違うのも道理であろう。以上のような社会に住む現在のわれわれの考えかたも leisure を否定的にみかねないのも道理というものである。

Mumford は「人間が芸術と遊戯，儀式と宗教，哲学と科学に，簡単にいって存在の中心的ドラマに与えることができた時間と注意の量は，人間がその前の経済的過程に捧げるべく強制されたもののごくわずかな部分にすぎなかった」ことを憤り，いまや新しい価値転換の期到来せりと楽観する。「もはや労働による生活の支配はなくやがて自動的機械の領域外にある労働が，昔の職人が行使していた自由を，機械的機能の中にとりもどすことができるようになるだろう」。つまり「生活それ自体の質を高めるためには，自信と満足をもって，いままで主役をなしてきた機械的能率を，こんどはよろこんで犠牲にするであろう」と予見している。

われわれも未来を信ずるとして，かくかくしかじかで莫大なエネルギーを支配できるようになれば，労働時間は限りなく短くなり—だからといって1日の時間は天変のない限り変りようがないから—残りの時間がますます増えてゆき，もはやあまりの時間，つまり余暇などではなくて，その時間が時間の主役になることになる。そこで先述のように量的にも，そして「人間の発展に寄与する」という質的な意味でも，何とかこの時間に対する適当なボキャブラリーを与えねばなるまい。余暇などという訳語は空虚であり，だからこそ誤解をまねくというものである。そこで，leisure 理論の展開は，まず，この新語創造から始めることが望ましいということになる。

元来 leisure という語は，ギリシャ語で「人間性を解放する」ことであるらしい。leis-はラテン語の lic（許す）の変形で，-ure はたんに抽象名詞をつくる場合の接尾辞であるから，かんぐれば，「神が人間に対して，人間本来の諸行為を許す」ことを意味するのかもしれない。なにはともあれ，対応する日本語を用意することからかからねばならない。

ところで，日本の現状はといえば，池田さんの所得倍増ムードと，商業マスコミによってでっちあげられた一種の作意されたレジャームードによって，外形的には余暇活動として受けとれる諸活動によって，くたくたになって，あるいはくたくたにされているといったあんばいである。生活の実質的要求にささえられるのではなくて，ガルブレイス流にいえば，広告マスコミにのせられた民衆の見栄と欲望が作りだした消費景気— Veblen 流にいえば衒示的消費—の毒気に自からあてられていることになる。

leisure の利用方法も各人各様でありたいものだが，休日ごろ寝のテレビでよくみる光景は，潮のごとく特定の場所になだれこみ，くりこんでくる群衆のひしめく様である。ご苦労さまといいたいようなこの光景は，まさに一種の驚きであるが，家でごろ寝の組が実は最高数にのぼることを生活白書は告げている。目糞と鼻糞というところか。パチンコ台が全国で 100 万台，その年間水上げ高が2,000億円にもなるという話は，目糞鼻糞のもうひとつの側面ということになるらしい。パチンコはまだしも結構なことだが，「小人閑居」のたとえのごとく，leisure をとおしてますます自己疎外に陥ることは本末顛到というべきか。労働を「自己発現の否定的形態」（マルクス）というなら，leisure こそ「自己発現の時」といわねばなるまい。

2. 観光とリゾート

そんなときのために，実はそんなときをまてない商業主義の性急さのために，日本のレジャー産業は，生活の実質的要求とは無関係に，急速の伸展を示している。

夏のことゆえ，しきりとモーターボートの喧伝がとどろいている。アメリカでは自動車7台に1台のわりで売れており，1959年の売り上げが24億7,500万ドル（9,000億円），10年後の1969年には5倍の120億ドルにふくれあがるみこみだとか。

観光開発もなかなか盛んとみえて，国際観光を主とすべきか，国民相手の観光かという論議を耳にすることが



H—平　法人ブロック



H—平　北東ブロック

ある。将来外国からのaccessも現在とは比較にならぬほど容易になることだから，やりようによっては国際観光もドル儲ぎのよい手段になる((外国客消費額/輸出額×100=2.6%(33年))であろうが，一方国民の recreation system も大巾に変革されるであろうから，こっちの方をもっと大切にしたい気がしないでもない。いずれにしても観光開発によって，その土地の個性を喪失することは厳に戒めねばなるまい。地方都市に必ずといってよいほど同じような銀座があったり，都会と変らぬデザインが巾をきかせたりで，「もはや地方文化というものはない」とか「標準化現象」とか，「都会化の嵐」とかいわれているように，これには必然的で，抗し難い力を見てとるのではあるが，先述したように「機械化と都会化は無限の加速度にしたがっている」というのは，あくまでも機械を彼等の神とした者達によって押つけられた迷信であって，こんなときにこそ，この力に対して結束して抵抗しなければならないのではないか。この抵抗力こそ真の文化をささえるものとなるのだと信じたい。

したがって観光開発とは，自然が本来持っていた個性を，人工によってさらにその魅力を発現することにほかならない。「本来自然によって作りだされ，人間の歴史的努力の大部分によって倍加された有機的多様性とは対蹠的に，環境全体は，人間的単位を構成する一定の大衆の一定の機能を助けるために，コンクリートの高速度道路のように均一的で変化のないものとなってくる。こんにちにおいてすらも，速度が早いほど，その運動に機械的にともなう環境は均一的となり，また目的地についても変化のないものである」（Mumford）環境が monotoneous であることは，ひとつの個性であるが，人工によって monotoneous になることは厳に避けねばならない。

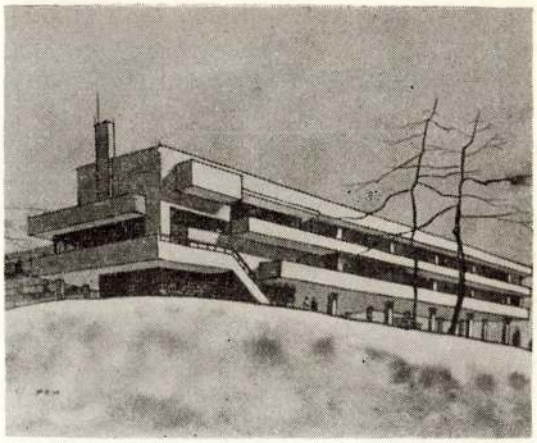
なるほど，その気になりさえすれば，湖や海岸を埋めたて，ついには丸い地球全体が一水平線にまで平たくされてしまいかねないのである。ときには Paulo Soleri の Mesa City (Forum; March, 1961) のごとく，巨大なレリーフや壁画のある人工の Grand Canyon をひとつやふたつ作ることも確かに面白くて，景気のよいことかもしれないが，それにしても人工の優位に関する自己主張にとどまるならば，しょせんイカルガスの失墜はまぬがれぬであろう。要するにある自然的環境を開発する場合，人工によって自然を傷つけることをおそれて，その人工を最少限度に止めることも，保守的な開発として肯定することができる一方，その環境内における人工の総量の多寡に関係なく，結果として人工と自然との対比において，自然のもつ個性をより強烈に主張しうるような開発をも肯定しなければなるまい。開発の目的によって開発の方式が異なるのが当然である。

ところが観光地と Resort との基本的な相違は，前者があくまでも客観化された環境であり，後者は主客融合を前提とする環境である。つまり象徴的にいってみるためにのみある環境と，生活する環境の違いがそこにある。たとえば観光地にある環境は勝手にしゃべりまくり，人々も得手勝手にしゃべっている。だからそこには人と自然との対立があるだけで，対等の会話がない。他方 Resort では人と自然の対話が条件となる。したがってそれらの開発方式には自ら大きな差異がなくてはならない。

大ダムの建設はその人工の総量が大きければ大きいほど自然の偉大さを結果として強調することになり，大ダムはそのまま観光の対象となりうることになる。つまりそこでの開発は自然との対立の方向をとりうる。しかし Resort においては，すべての人工は自然に吸収される方向をとらざるをえない。田畑が農民との生命のつながりをもっているように，Resort の自然はある種の人工によって人間とのつながりがもてるようになされねばならない。したがって，その開発の手段は Landscape design に圧縮されることになる。人間の優位があってはならない



N—丘　別　荘　地



N—丘　ホ　テ　ル

し，自然の優位があってもならない。

3. 立地の概要

K地区開発の目的を簡単に述べると，Resort placeとして開発することである。たとえば軽井沢が関東における避暑地としてあるごとく，K地区をいかにすれば，より近代的な魅力を備えたResortとなしうるかということが，この開発の主要テーマとなっている。

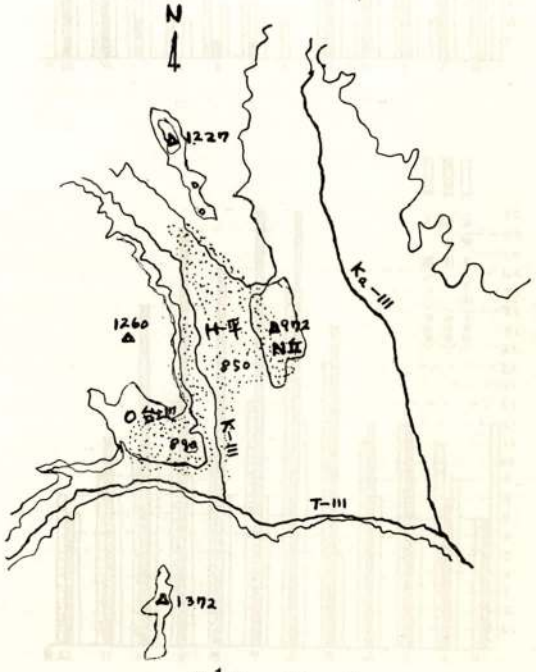
この開発はもちろんcommercialなbaseの上で行なわれるので，開発の諸方法は経済的なbalanceにかけられて採用されてゆくことを付言しておこう。

まずK地区の立地について略述しておこう。関西からのアプローチは中央線松本駅から大糸線に乗換え信濃O-駅からはいることになるから，大阪からの所要時間は8時間ほどとなる。新宿からのアクセスともっはもっと短時間ですむ。O-市から自動車で10分ほどすれば，目的地であるK-地区に到着する。

K-地区はちょうど中部山岳国立公園へのbase campといったところで，日本三大霊峯のひとつであるH-岳に源をもつK-川をはさむ約200haの地域で，標高は800～950mである。南端はK-川がT-川に合流するところで終り，東西はK-川両岸の山で限られた山すそおよび山麓の小丘である。河原といったところは，高低差1～2mのK-川に沿った帯状のテラスになっており，赤松，黒松，唐松，水楢，コナラ，欅，それに白樺がところどころに散見するといったぐあいの，そして荒川故の花崗岩の石ころが，ところどころに露出した表土の浅い河原が，大部分といったところである。南方に1,623mのKuwa峯の山脈をへだてて，遙かに2,763mの燕嶽，3,179mの槍嶽，穂高の連山をのぞみ，東に2,820mのH-岳，北に2,889の鹿島槍を遠望することができる。

第1図に示すドットをうったのがK-地区である。図でわかるように，この地区は890mのO-台地とK-川に沿う850のテラスと972を山頂とするN-丘の三つからなっている。

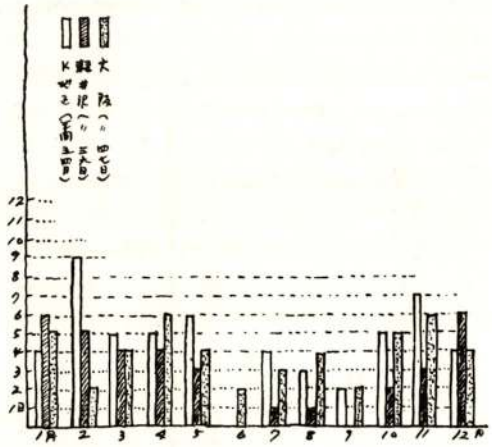
先述したように中部山岳国立公園へのbase campとしての立地と展望のよさは，この地区の利点ではあるが，resortとしての方位は一部西が閉されている関係上やや不利となる。さて，Resort placeをまったく新規に開発することは，立地の優秀さにもかかわらず，まったく難しいことだと思われる。軽井沢のごとく，東京からのアプローチが容易であり，長年にわたる名声は動かし難いものとなっているところとは比較にならぬhandicapをかかえて出発せねばならない。したがって，そのhandicapを



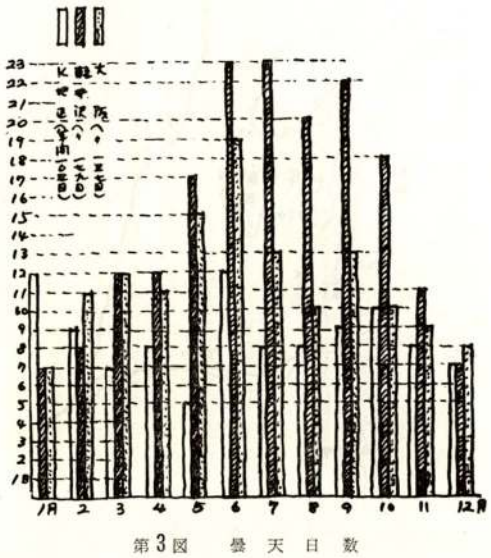
第1図　地　形

こえるためには総合的な計画の妙味を，この地区に与えねばならないことになり，それがこの開発の一大げさにいえば生き死にの一決め手となるであろう。

軽井沢は1910年頃から国際的な避暑地として開発され，夏季の冷涼，雄大な景観，清潔な環境などから内外名士の別荘が集中しており，Resort として歴史的な名声を保持している。しかし昨今都会化の嵐がこの地域にも吹き荒れて，旧軽井沢の環境は漸時破壊されていくようである。そしてその地域も沓掛から追分へと膨張し，古くからこの地を愛好してきた諸氏を歎かせている。したがって，歴史的な name value や東京からのアプローチの容易さ等々多くの handicap はあるものの，処女地としての魅力があろうというものである。K-地区の利点をあげれば，軽井沢に比して，①戸外利用に適する期間が長い。②晴天の日が多い。③暴風がほとんどない。④温度が極めて低い。⑤スケートのほかにスキーができる。⑥景勝の背後地に恵まれており，中部山岳に近く観光登山の基地となる。⑦世界第2位を誇る KL-dam への観光ルートとなる。



第2図　快晴日数



第3図　曇天日数

A) 気候要素

a) 天気 (weather)

i) 快晴日数（日平均雲量が0.25未満の日数）快晴日数は軽井沢年間36日，K-地区は54日，とくに夏季7，8月は軽井沢各1日であるに比しk-地区は4日，3日であり好天の日が多い。（大阪の年間快晴日数47日）（第2図）

ii) 曇天日数（日平均雲量が0.75以上の日数）

軽井沢が年間179日，K-地区は103日であり，とくに7，8月は軽井沢が23日であるに比し，K-地区は各8日であって，曇天日数が極めて少ない。（大阪年間曇間日数137日）（第3図）

iii) 暴風日数（10分間の風速が10m/sec以上の日数）

軽井沢が年間40日，K-地区はわずか1日で，極めて少ない。これはK-地区のもっとも大きな特色のひとつであろう。（大阪の年間暴風雨数40日）（第4図）

以上のごとく，天気に関する要素はいずれもK-地区が勝っている。

b) 気温 (temperature)

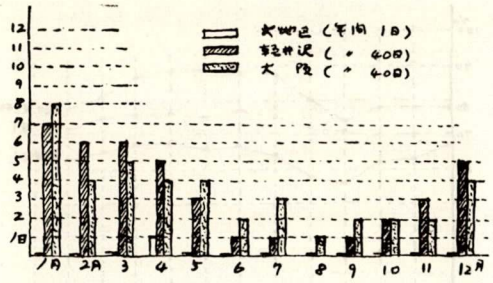
軽井沢は7，8月の平均気温が20°C～20.3°Cで，日最高気温の月平均が26°C以下であり，避暑地としては絶好な気温を示している。しかし冬季は12月から3月まで，月平均気温が0°C以下となり，暖房を必要とするから冬季の居住条件は悪くなる。最近酷寒と降雪量の少ない気候特性を生かして，スケートセンターを造って，青少年を誘致していることは賢明な策といえるだろう。

これに比して，K-地区は夏季7，8月の平均気温が23.1°C，24°Cであって，軽井沢より3°C高く，日最高気温の平均は7，8月とも26°Cをこえるので，やや暑く，避暑地としての条件は軽井沢に劣るが，冬季の平均気温は1月のみ0°C以下（−1.8°C）で，軽井沢より暖かく，初春，晩春の戸外利用期間が約1ケ月半長く，年間利用の点からはるかに有利である。（大阪に比し年平均気温で4.1°C，7，8月間では3.6°C，3.7°Cそれぞれ低い）（第5，6，7図）

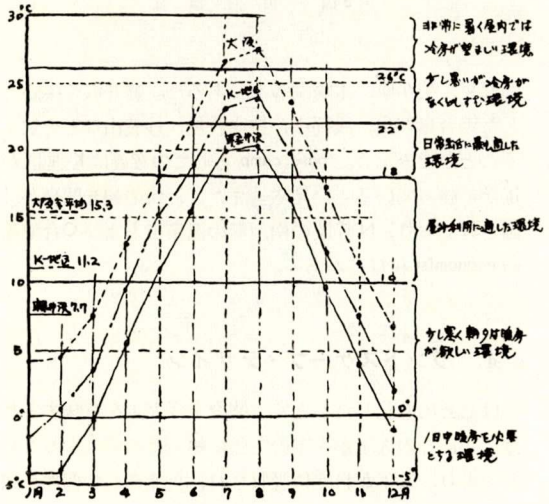
c) 降水量 (The record of precipitation)

年間降水量2,000mm以上の地区を多降水量地域，1,500mm以下の地域を小降水量地域とされているが，軽井沢は1,364mmで小降水量地域，k-地区は1,589mmで小降水量地域の範囲をわずかにオーバーするが，全国的にみて，降水量は少ないほうである。とくに6月の梅雨が少ない（77mm，軽井沢191mm）ことが特徴である。

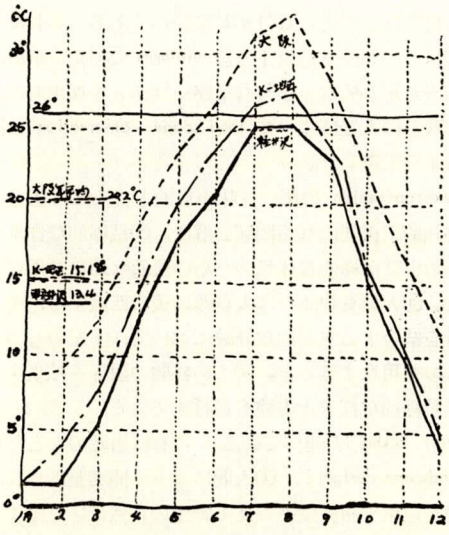
冬季の積雪はK-地区が多く，根雪期間は軽井沢が1月中旬から2月下旬までであるに比し，K-地区は12月下旬から3月初旬（最高平均46cm）までである。（大阪年間1,274mm）（第8図）



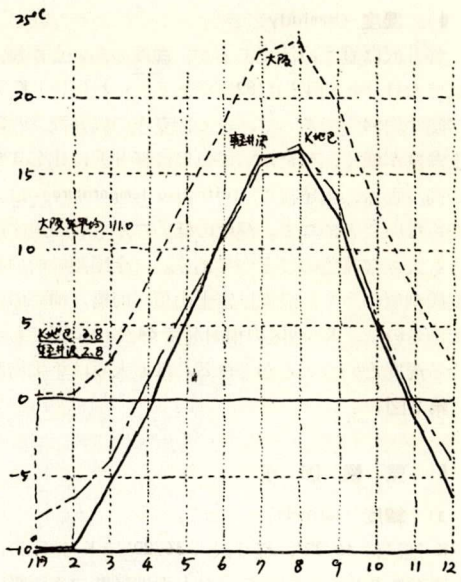
第4図　暴風日数



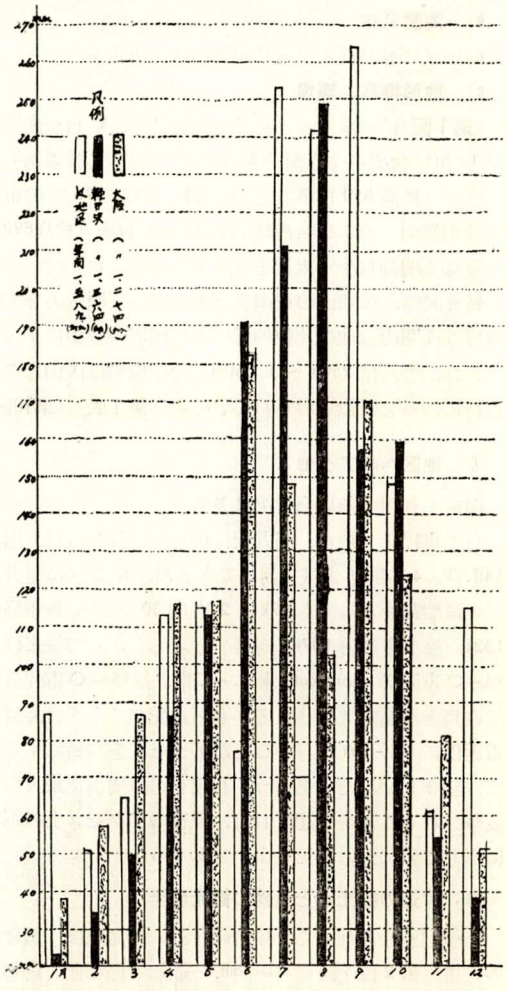
第5図　平均気温



第6図　日最高気温



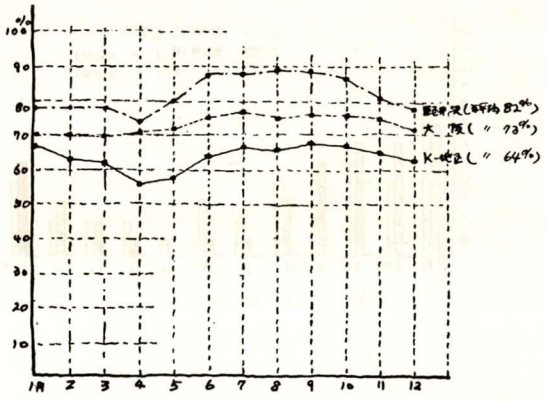
第7図　日最低気温



第8図　降水量

d） 湿度（humidity）

軽井沢は夏季冷涼であるが，湿度の高い点が難点とされており，年間平均は82％である。これに比しK-地区は年間平均64％であって，とくに夏季の軽井沢より20％以上湿度が低く，したがって気温は軽井沢に比し3°Cくらい高くとも，実感温度（effective temperature）はさして変らないことになる。湿度の低いこともこの地区のもっとも大きな特色のひとつである。（全国測候所の相対湿度観測値のうち，最低は富士山頂，前橋，神戸の各69％であるので，K-地区の相対湿度64％は全国でもまれにみる湿度ということができる。なお大阪は年平均73％）（第9図）



第9図　相対湿度

B） 気候因子

a） 緯度（latitude）

K-地区は46°32′，軽井沢は36°20′でK-地区のほうがわずかに北によっている。なお両地区間の直距離は約77kmである。（大阪34°42′）

b） 海陸分布

K-地区，軽井沢とともに中部内陸に所在する。

c） 地形標高，環境

（第1図）に示すドットを打った地区で，K-川が南流してT-川に合流する直前，K-川左岸の東南に緩傾斜したテラス（標高850内外）とN-丘陵（標高975）の東および南傾面，および合流地点北例のO-台地（標高890）からなる閑静な小別天地をなしている。

軽井沢は，浅間山の東南麓5km四方の高原であって，四周は浅間山の他は比較的低い上信国境の連山によって囲まれ，標高は950m～1,050m，その環境は浅山と落葉松林によって特徴ずけられている。（第1表）（第10図）

C） 地区へのアクセス

国鉄を利用する場合（第2表略）

自動車による場合，軽井沢は東京から舗装された国道148.7k，4時間あまりで到達できるが，K-地区は軽井沢から最短路をとっても97k，2時間30分（長野市経由132k，松本市経由109k）を要する。したがって将来は上田～O市間のshort cut，松本～O市，長野～O市間の路線改良と舗装が要望される。もっと先のことをいえばO市近傍にheli-portをもつことがアクセスを容易にする点で，望ましいことであろう。利用交通機関が将来大巾に変革されることを予想すれば，現在のアクセス上の不利はさして気にかけぬでもよいであろう。

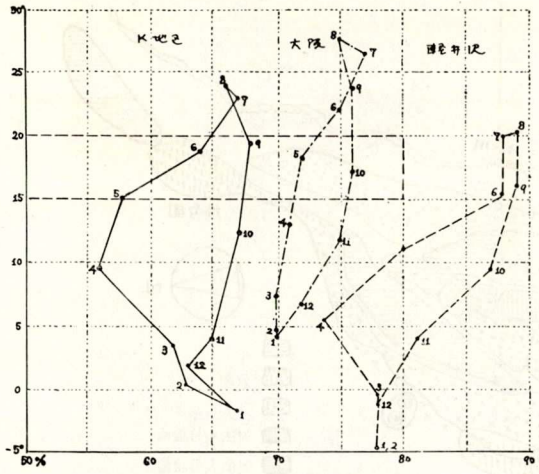
D） 付近の観光地と近傍の観光開発

K-地区を基地とした場合の付近の観光地は，黒部峡谷と世界第2位を誇るKL-dam，立山，上高地，白馬八方尾根，鹿島槍，針木岳，蓮華岳などの山岳およびそれらに点在する温泉地，長野市善光寺，松本市松本城，浅間温泉，美ケ原，木崎湖等々であろう。軽井沢を中心とした場合鬼押出，浅間山，神津牧場，妙義山などを数えることができよう。base campとしての意義はK-地区が遙かに勝っているといえる。また，近傍の観光開発が計画されており，N丘陵の南西麓の温泉街およびO台地麓のeconomist村などがある。

4. ランドスケープ・デザイン

はじめにも記したごとく，開発とは人工を意味するわけだが，この人工が人工の主張に終ったのではぶちこわしであり，人工が自然に吸収され，自然のもつ個性を強調するものでなければならないことはいうまでもない。ところがResort開発ということになると，前述のごとく大きなdamが峡谷の深さと自然の雄大さを強調することによって，観光資源となるのとは対蹠的に，そこにかけられた人工の総和が，大きければ大きいほど，自然を疎外し傷つけることになりかねないのである。それゆえここでは，いわゆる造成工事はminimumに押え，車道はできる限り短かくなるような道路システムを採用した。そして残りの人工はすべてland scape conservationに注がれるよう配慮した。

landscap designの広い意味の目的と責任は「①あらゆる実践的で機能的な諸問題の解決。②積極的な作業やプレーおよび消極的な休息のための快適な環境を用意すること。③大建築物または大自然の美に匹敵する，そして両者を結合する空間的な経験において，上記のもの以上のものを用意すること。④この経験の限界を拡張するために積極的な探求と実験を遂行すること。」であるとGarrett Eckboは述べている。これは当然のことだが，「landscape designは，①人間によって開発整形され，②建物や道路や諸施設をこえて野生の自然にいたるまで，③人間生活の空間―農業や林業などの空間ではなく―としてまず自然をdesignすることである。」ともいってい



第10図　クモリグラフ

気候要素		1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年
快晴日数	K-地区	4	9	5	5	6	0	4	1	2	4	3	4	56
	軽井沢	6	5	4	4	3	0	1	1	0	2	3	6	36
	大阪	5	2	4	6	4	2	3	4	2	5	6	4	47
曇天日数	K-地区	12	9	7	8	5	12	8	8	9	10	8	7	103
	軽井沢	7	8	12	12	17	23	23	20	22	18	11	4	179
	大阪	7	11	12	11	15	17	13	10	13	10	7	8	133
暴風日数	K-地区	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	軽井沢	7	6	6	5	3	1	1	0	1	2	3	5	40
	大阪	8	4	5	4	4	2	3	1	2	2	2	4	40
平均気温 (℃)	K-地区	-1.8	0.4	4.5	9.6	15.2	18.7	22.1	23.6	19.6	12.4	7.6	1.8	11.2
	軽井沢	-4.3	-3.3	-0.5	5.5	11.0	15.4	20.0	20.3	16.2	9.7	4.1	-1.2	7.7
	大阪	4.1	5.4	7.4	12.1	18.1	22.1	26.7	27.9	23.9	18.3	11.7	6.8	15.3
日最高気温 (℃)	K-地区	1.5	2.9	7.6	14.8	20.0	23.6	26.6	27.5	24.2	17.0	11.4	5.1	15.1
	軽井沢	1.3	1.5	5.7	12.5	17.4	20.6	25.2	25.4	21.5	15.3	10.2	4.2	13.4
	大阪	8.5	9.7	13.4	18.6	24.3	28.8	31.2	32.7	28.6	23.5	16.9	11.4	20.2
日最低気温 (℃)	K-地区	-7.7	-6.5	-4.1	1.3	6.1	11.0	15.6	16.7	12.6	5.9	0.0	-3.9	3.8
	軽井沢	-7.7	-9.7	-5.7	-0.6	5.1	11.2	16.1	16.6	12.3	5.1	-1.1	-6.6	2.8
	大阪	0.2	0.8	2.7	8.0	13.3	18.1	23.0	23.7	19.6	13.7	7.1	2.7	11.0
気温の階級別日数	K地区 max 30℃	12	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	23
	max 25℃	31	26	26	13	2	—	—	—	—	—	1	15	114
	max 20℃	—	—	—	0	4	8	18	18	10	1	—	2	61
	max 15℃	—	—	—	—	1	2	3	5	1	—	—	—	12
	軽井沢 max 25℃	12	11	3	—	—	—	—	—	—	—	0	4	29
	max 20℃	31	28	29	17	2	—	—	—	—	4	13	20	144
	max 15℃	—	—	—	0	0	3	18	18	5	0	—	—	44
	max 10℃	—	—	—	—	—	2	3	5	—	—	—	—	7
	大阪 max 30℃	0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	max 25℃	15	14	7	0	—	—	—	—	—	—	0	1	37
	max 20℃	—	—	—	—	10	23	30	31	25	6	0	—	124
	max 15℃	—	—	—	—	0	3	22	28	12	1	—	—	66
降水量 (mm)	K-地区	87	91	65	113	115	79	210	263	266	167	61	111	1509
	軽井沢	23	31	49	86	113	191	241	265	157	139	54	38	1366
	大阪	38	57	89	116	117	183	182	103	170	134	81	51	1294
日降水量の階級別日数	K地区 ≧1.0mm	8	7	7	7	8	7	6	3	6	6	5	5	76
	≧10.0mm	3	4	4	6	7	3	5	7	6	4	2	5	62
	≧20.0mm	0	0	0	0	1	0	1	2	2	0	0	0	6
	≧50.0mm	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	軽井沢 ≧1.0mm	4	6	8	10	10	13	13	15	12	9	6	5	110
	≧10.0mm	0	1	2	3	4	6	6	7	5	4	2	1	47
	≧20.0mm	0	—	—	0	0	1	2	2	1	0	0	0	6
	≧50.0mm	—	—	—	—	—	0	0	0	—	—	—	—	0
	大阪 ≧1.0mm	5	6	9	9	9	11	9	9	11	8	8	4	108
	≧10.0mm	1	1	3	3	3	5	4	5	5	3	3	2	43
	≧20.0mm	0	0	1	0	0	1	1	2	1	0	0	0	6
	≧50.0mm	—	—	—	—	—	0	0	0	—	—	—	—	0
相対湿度 (%)	K地区	67	63	62	56	59	64	67	66	68	67	65	69	64
	軽井沢	73	78	73	74	80	88	88	89	87	83	81	78	82
	大阪	70	70	70	71	72	75	77	75	76	76	75	72	73

第1表　気候要素比較表　K—地区　S33, 34, 35,3年の平均
軽井沢　S14～26　12年の平均
大　阪　T10～S25　30年の平均

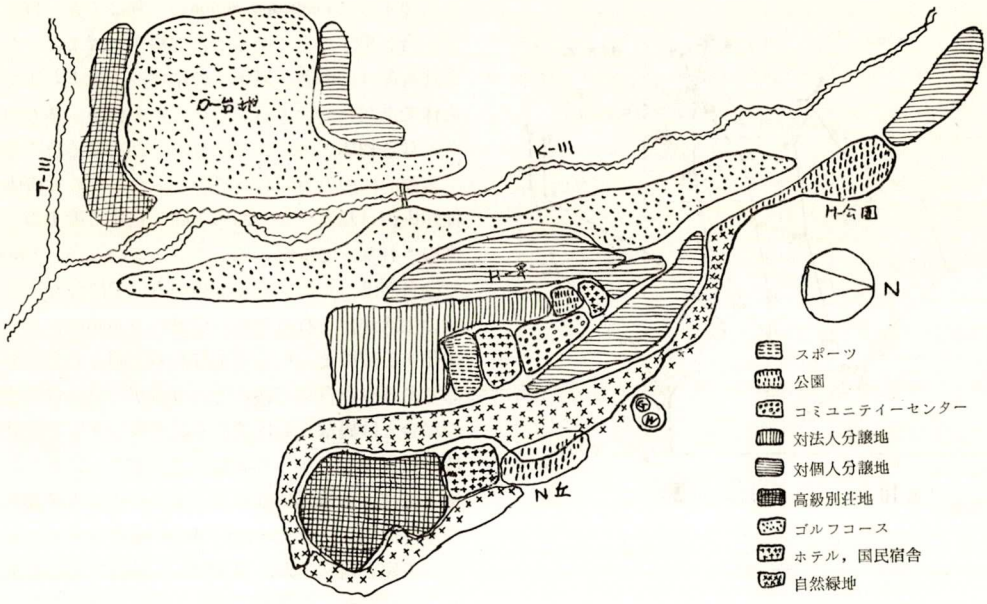
る。要するにlandscape designの役割は「人と自然の連続的結合を果すことである」と理解すればよいであろう。和辻哲郎はその著「風土」の中で，「風土もまた人間の肉体であったのである。しかるにそれは，個人の肉体がたんなる物体とみられたように，たんなる自然環境として客観的にのみみられるにいたった。そこで肉体の主体性が恢復されるべきであると同じ意味で風土の主体性が恢復されなくてはならぬ」といっているが，Resortとしての自然は，たんにみるためのみのではなく，そこで人間の生活が営まれるための環境，一人間存在が己れを客体化する契機ともなる—すなわち人間との会話を条件としてあるべき自然であるという点が，たんなる観光開発の場合とは異なるわけである。それゆえにこの計画では散策路をできるかきり縦横に巡らすことにした。また宅地と宅地との境界には塀などを巡らすことを禁じ，境界を示す簡単な，背丈の低い木冊程度とすることによって，人家と自然とが，連続的に結合することを意図した。これらがこの計画の技法上の大きな特色といえるであろう。

5. キープラン

地形に応じてだいたい三つのblockにわけることができるので，それぞれ造成をminimumにおきうるように道路システムを与え，これらを中心のcommunity centerともいうべき地点に結びつけた。

a) 土地利用計画（第11図）

三つのblockとは中央のH-平とN-丘斜面およびO-台地のことで，中央H-平は主として1,000坪内外のlotsからなる対法人分譲宅地および公園，遊戯場などの施設用地とし，北部の狭くなったところを300坪内外の対個人分譲地とする。またN-丘斜面は赤松の樹林がきれいで展望もよく，ここには山頂近くhotel用地を設け展望台を設備することとした。hotelはN-丘南麓の温泉街計画にあわせて，T-川の上流にあるK-温泉から引湯することは，経済的な線にのるのであればぜひ実施したいことである。「皮膚感覚のレジャー」といわれるように，日本におけるResort地域として温泉があるとないとでは，気分的に大きな差異を生ずることは事実で，温泉療法がどれだけの医学的効果があるかは温泉の種類にもよるであろうし，一律にはいえないけれど，生理的なものよりもむしろ精神的というか，多く気分的なものであり，それが日本人の生活の中でなくてはならない要素となっている。それゆえK-地区においても他からの引湯の経済性をcheckすると同時に，地区内に自身の温泉を開発することも考えなくてはならないであろう。このblockは500坪程度のlotsをもつ高級別荘用地とする。この計画全域についていえることだが，lotsは整形切売りとするので



第11図　土地利用計画図

はなく，下草や雑木はある程度整理するが，立木はそのまま保存し，分譲後も風致地区指定によって自然の景観を保護するか，あるいは建築協定によって，環境の犯されることを防ぐことを考慮しなければならない。

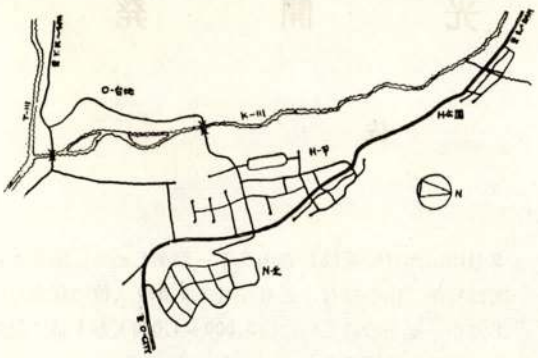
O-台地はこれらのblockとK-川によって分離されてしまうため，独立したgolf course（9 holes）とするかまたは，K-川沿のgolf course（9 holes）と橋によって結びつけて18 holesのgolf courseとするかといった利用が考えられるが，N-丘のごとく別荘用地として開発するかは慎重に決定せねばならぬが，courseとしての魅力からいえば18 holesとしたいところである。しかし利用期間が降雪期を除くと約8ケ月となるのはいたしかたなかろう。問題は18 holesのcourseが温泉同様このResortの魅力をいかほど増大することができるかにかかっている。

土地利用計画図は第11図に示したごとくであり，中央H-平のホテル用地および国民宿舎用地は既存施設によって限定されたわけだが，全体的にみて，支障がないようである。Community centerは例によって購売施設と医療施設，郵便施設，駐在所，集会所，娯楽室などを持つことになるが，これらは地区の成熟に応じて増築できるような形態とし，集会室などは管理方式をあらかじめ考慮しておくことが賢明であろう。商業施設に付属させるか，あるいは公共団体へ移譲してしまう方法も考えられる。これからの建物は共同建築として集約配置されることが，景観，管理，サービスなどの面から望まれるであろう。またcentreとしての意義をより多く負わせるため，ここには幼児や少年達のためのplay lotsやplay fieldを変化に富んだやりかたで（それぞれ個性をもたせて）設けたい。

中央公園は面積的には2,000坪程度の小公園にすぎないが，草花を主とした庭園式のdesignとし，他方北部のH-公園は低湿地であるため誘水池を数ケ所設けて，虹鱒を泳がせ回遊式の公園とする。池は冬季スケートができるようにしておく。

スポーツ用地にはテニスコート，バレーコートのほか，草野球ができる程度のフィールドを用意する。用地利用については，だいたいこれくらいだから，前にもちょっと述べたように，地区内に温泉を開発できれば，北のホテル用地に連なってホテル用と一般用の温泉プールを作ることが必須となろう。

次に供給施設であるが，第11図のⓌおよびⒼの位置にレザーバーおよびLP Gasのプラントを設けて供給する。これらは公共団体などによる近傍地の開発計画とも連絡をとって，より経済的にセットすることを心がけておく。下水処理施設または共同浄化槽などはぜひ設備したいけれど，これらは用地の分譲代価に大きく影響するので，期待はかけられないであろう。地方公共団体の開計発画とタイアップして負担金による建設を考えれば，あるいは実現可能となるかもしれないが。当然のことだが電気はなるべく幹線をはずして配線する。街路灯や公園などの夜間照明も必要となってくるであろうが，設置位置とコストを予めcheckし，管理方式も決定しておく。これらの都市施設については開発の経済性と，分譲lotsの商品価値などをbalanceにかけて，どこまで設備す



第12図　道路系統図

ればよいかを慎重に検討せねばならぬ——例えばこの外に温泉付宅地分譲を考えることができる——であろう。

b)　**道路システム**

第12図の太線で表現したのが，既存の貫通道路（巾員10m）でO－市とKL-damを結ぶルートである。この道路が地区内を貫通しているので将来交通量が増大すれば（観光ルートとなるから）disturbされる恐れがあるので，N-丘の東裾にねりつけるか，あるいは川沿のgolf courseと宅地との境を迂廻させるか，この2つが考えられるが，新ルートを設定するとなると，道路のための工事費をまるまる食うことになる。現在の路線は，KL-dam建設のためつくられたのであるが，資材運搬のため重量トラックなどにより路盤が非常によく緊まり，優秀な道路となっているので，これを一概に棄て去ることはおしい。そこでこの貫通路によって地区がdisturbされないような手当を考えてみると。先ず路線沿のgreen beltがあげられる。景観を保護し排気ガス及びいくらかの騒音を排除しようというわけである。ところがこのbeltも経済的に許されるならば巾が広いほど効果が上るわけだが，両サイドに6m巾のものをとって，欅または唐松（いずれも落葉樹であるため冬季の防御効果は少ないけれど）が景観的にも風土的にも，しっくりするので，これらを植樹し，6m巾の中で適当にくねらせた1m巾のプロムナードをとることにした。（経済効果についてはさらに検討したい）また宅地へのアプローチは直接この道路からとらないで，すべて地区内道路よりアクセスさせる方式をとった。地区内道路はO－台地に至るK-川に架けられた橋を通る路線を主幹線として貫通路から最初の交叉点までを車道3m，3m，中央に2mの植樹帯をとり両サイドに同じく2mのグリーンベルトを設けることとし，その他の幹線は車道6m，グリーンベルト2mとし，その他は4m道路とした。前述のように道路の総延長を可能な限り短かくすることがねらいであるので（経済効果と造成による景観の損傷を恐れる故），そうすることによってセットした道路はなるべく舗装をして完全なものとすることを意図した。従ってこれらの道路とは反対に，田舎道の持っている野趣や土の感触を味うために散策路を縦横に通ずることにして，「自然との会話」を可能にした。特にN—丘東裾沿の水路沿に，H－公園に至る間には春秋の景観を考慮して花をつける木を植えたいと思う。

6．建設と分譲の方式

建設の段階をどのように分け，分譲の段階をどんなふうに調整すればよいかということが分譲lotsの商品価値とにらみ合せて慎重に考えねばならない。例えば最初からcommunity施設をある程度充実させてlotsに魅力をもたせることが，その立場だけでは有利なことであるが，初回の売出価格に大きく関係するので一概にはいえない。どこでbalanceさせるかが問題である。供給施設についても同様であるし，golf courseの建設についても同じことがいえる。このためには相手のフトコロ具合をかんぐってかからねばならぬし，相手の欲する商品価値についても考察をめぐらさねばならぬ。しかも環境の品位を保持するためには特定の階層をねらわねばならないことはいうまでもない。

何はともあれ「自然との会話」がどんなふうに進められるか，気がかりである。

本稿作製に当って，K地区開発委員会の諸氏にお礼を申上げるとともに，本稿の拙さを詫びねばなるまい。

(July, 1961)

（筆者　日本住宅公団大阪支所企画課）



立　山　観　光　開　発

宇　野　佐

1. はじめに

立山観光開発計画—正確には立山黒部有峰地帯観光開発計画—の説明に入るに先立って，簡単に今日の富山県の姿について述べておきたい。富山県は本州のほぼ中央部日本海岸にあって，面積約4,260平方粁，人口103万人のどちらかといえば全国でも小さいほうの部に属する。富山といえば「くすり」と連想されるわけであるが，実際県のもっとも大きい産業は工業で，富山，高岡両市を中心とする富山湾沿岸の工業地帯は日本海岸ではほとんど唯一の工業地帯であるばかりでなく，昭和34年度の生産額は1,396億円で全国第7位にある。これは200億円をわずかに上回る程度の農業生産に較べて7倍に近い数字であって，富山県が工業県（米についても移出県ではあるが）であることを示すものである。

これだけの生産高を上げる工場の立地は，以前は豊富廉価な電力が原因であるといわれてきた。しかし最近では大火力発電の進歩でこの条件は薄れているが，工業用水と工場敷地の面でこんごの発展が期待されている。これに軌をあわせて，富山，高岡両市の中間に新港を建設中で完成すれば4万5,000トン級のタンカーが接岸できるようになるはずである。

このような条件のもとに計画された観光開発であり，県の3分の1を占める山岳地帯（その中心部は中部山岳国立公園に指定されているが）をもっとも有効に開発利用しようというわけである。

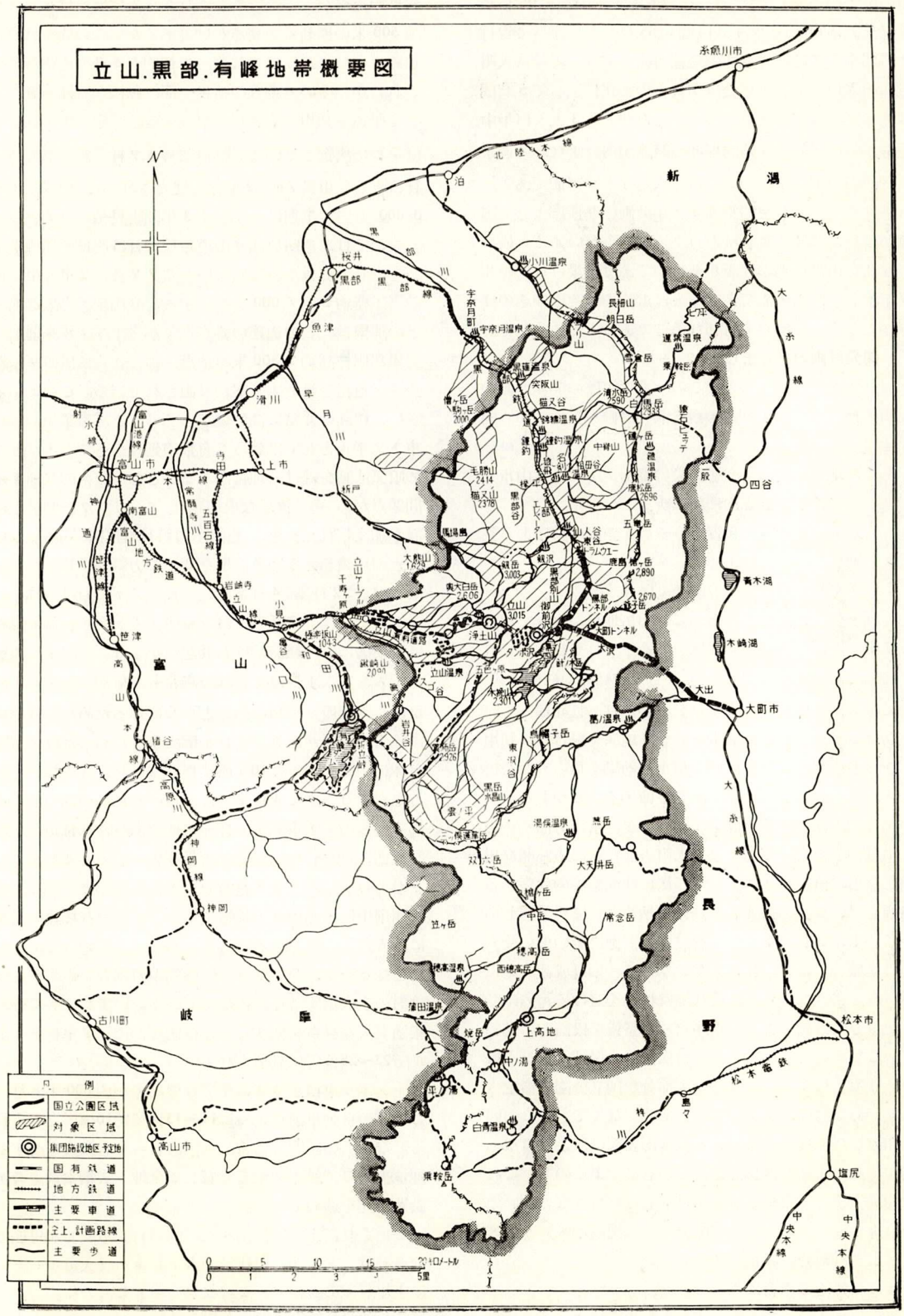
2. 立山黒部有峰地帯のあらまし

富山県の東南部を占める山岳地帯をその代表的地名をとって立山黒部有峰地帯と呼んでいる。狭い意味の立山連峰，標高3,015米を最高峰とする大汝峰，雄山などと，その西麓に拡がる標高1,000～2,000米の弥陀が原，それに剣岳（3,003米）など付近の山岳，峡谷，高原などを加えて立山地域と呼んでいる。この地域のなかには，高さ400米におよぶ称名の滝，ブナ，スギの原始林，お花畠，大雪渓，剣岳の岩壁などが含まれ，また標高2,400米付近には噴気現象と温泉の湧出がある。中心立山には江戸期にすでに年々1万人近い人が登山しており，第2次大戦後はケーブルカー（標高500から1,000米まで），自動車道路（標高1,000から2,000米までバス，2,000から2,450米まで小型車）ができて以来年々登山者が増加し，昨昭和35年度は約13万人が登山している。なお，弥陀が原から頂上近くまで，豊富な残雪があり，3月から5月頃にかけて豪快な春山スキーが楽しめる。施設としては旅館，山小屋などとりまぜて1,500人位の収容力があるが，夏季の最盛時には3,000～4,000人が1日に殺到し，非常な混雑をきたすことがある。

黒部地域はほぼ黒部川の流域を指す。富山，長野，岐阜3県の境をなす三俣蓮華岳の付近に源を発し，延長約90粁で日本海に注ぐ黒部川は，屈指の急流であり，3,000米級の山脚を縫って北流する間には，上の廊下，下の廊下と呼ばれる地域をはじめ，函状の峡谷を作り，そのために近年まで近づき難かった。今では下流宇奈月温泉から軌道が通じており，約20粁上流までは車窓から探勝することができる。それから上流にも高差200米のエレベーター，全トンネル式の軌道が通じており，この軌道の一部には高熱隧道と呼ぶ高熱蒸気の噴出地帯がある。さらに最近有名な黒部川第四発電所，いわゆる黒四（くろよん）といわれるダム，および発電所の建設工事が進行中で，このため長野県大町市から，県境をなす後立山連峰の直下にトンネルが貫通され，黒部峡谷の中流に直接自動車を乗入れることができるようになった。これが大町ルートあるいは針の木トンネルと呼ばれる交通路で，さらに前記の宇奈月方面からくる軌道とは，約10粁の黒部ルートトンネルおよび地下式インクラインによって結ばれている。したがって，高さ186米，世界第2といわれるアーチ式ダムが昭和38年に完成したあかつきには，このダムを中心として，秘境といわれた黒部峡谷を，上流へは湖上を遊覧船で，下流へはトンネル内を自動車，電車などによって自由に交通することができるようになるものと期待される。

最後に有峰地域は，常願寺川の支流和田川の奥の盆地で，大正末期まで10軒あまりの隔絶された小さな聚落が薬師岳麓の原始林の中に眠っていたが，その後ここでも水力発電の開発が行なわれ，最近高さ140米のダムが完成した。ここは標高約1,000米の高原状盆地で，広さ約5平方粁の人造湖の周囲は比較的平坦な地形の森林に覆われている。交通は富山方面と岐阜県方面からの2方向から車道が通じているので，避暑地的レゾートとしての発展に期待がもたれる。

これらの3地域を総括してこの地帯の外延交通をみると，阪神方面を結ぶ北陸線が近い将来複線電化される予定で工事が進行中で，その完成時には大阪富山間は5時間以内で結ばれる。名古屋方面とはすでに高山線経由で


立山.黒部.有峰地帯概要図
N
糸魚川市
新潟
北陸本線
泊
黒部川
桜井
黒部
黒部線
小川温泉
宇奈月温泉
宇奈月町
長旭山
朝日岳
大糸線
四谷
青木湖
木崎湖
大出
大町市
魚津
滑川
早月川
射水線
富山港線
高山本線
富山市
寺田
上市
常願寺川
五百石線
神通川
富山地方鉄道
岩峅寺
立山
小見
笹津
富山
小口川
高山本線
猪谷
神岡線
神岡
高原川
古川町
岐阜
高山市
薬師岳
上高地
中ノ湯
平湯
白骨温泉
乗鞍岳
松本市
松本電鉄
塩尻
中央本線
鳥々川
大天井岳
常念岳
燕岳
槍ヶ岳
中岳
西穂高岳
穂高岳
双六岳
笠ヶ岳
黒岳
水晶岳
鷲羽岳
湯俣温泉
薬師岳
東沢谷
岩井谷
千寿ヶ原
立山ケーブル
立山温泉
弥陀ヶ原
浄土山
室堂
タンボ平
雄山
大汝山
富士ノ折立
別山
剣沢
真砂岳
別山乗越
立山
御前沢
黒部トンネル
大町トンネル
ダム
ラムウエー
鹿島槍ヶ岳
五竜岳
唐松岳
八方尾根
白馬岳
小蓮華山
中綱山
鉢ヶ岳
清水岳
鑓ヶ岳
猫又谷
猫又山
毛勝山
駒ヶ岳
矢筈山
鐘釣温泉
鐘釣
黒部谷
東谷
山人谷
東谷
欅平
黒部峡谷
黒部ダム
黒部湖
黒部ダム
黒部ダム
黒部湖
黒部ダム
黒部湖
黒部ダム
黒部湖

気動車が5時間で運転されている。残る京浜方面とは，途中に障害が多くて簡単ではないが，上越線の複線化，信越線軽井沢横川間（アプト式区間）の改良などによって現行9時間半を7時間程度まで短縮可能であり，とくに大町方面の入口を考えた場合は中央線の強化によって5時間程度に短縮はできそうである。したがって3大人口集中地帯からいずれも5時間程度の距離圏内，すなわち週末旅行圏内のギリギリのところに入ることが可能である。

自動車交通でも道路整備5ケ年計画の進捗によって国道が改良，舗装されればどうようのことがいえる。最後に現在富山飛行場の建設が進行中であり，早ければ昭和37年秋から使用可能であることは近時の航空機輸送の伸びかたからみて極めて有利な条件であると考えられる。

3. 開発計画のあらまし

前置きが長くなったのでこのへんで実際の開発計画の説明に移ろう。まず，この観光開発計画を貫ぬく中心的課題はつぎの3点である。

A. 3地域を貫ぬく交通施設の整備，中でも富山市と大町市とを直線的に結ぶルートの設定

B. 大量の観光客を収容しうる観光施設の秩序ある整備

C. すぐれた自然景観の保護，保存

これを少しふえんすると，この山岳地帯，大きくわけて立山，黒部，有峰の3地域をみるとそれぞれにすぐれた観光的魅力をもっており，しかもその魅力の性格，いいかえれば観光価値を形成する要素がそれぞれ異なっている。そこで違った観光要素をもつ3地域を総合的に利用できる途を開いて観光価値の相乗的効果をねらうためには3地域を連絡する交通手段を整備する必要がある。その具体的方法はのちに詳しく述べるが，富山方面からの立山登山のための交通施設と大町方面からの電源開発用輸送路との直結に求めている。次に観光施設の秩序ある整備とは，大量の観光客の誘致を期待し，また予想している以上，これに応じうるだけの宿泊施設その他の受入施設を整備しなければならないが，多くの既成観光地にみられるような自然発生的な混乱状態を避けるためにしっかりした計画を作って秩序だった整備を段階的に進めていこうというものである。自然景観の保護，保存とはいうまでもなく，この地帯の大部分が国立公園に指定されている景勝の地であり，またそうでなくても，この観光開発を可能ならしめている根本的要因は，とりもなおさず，そのすぐれた自然景観そのものであるので，これを開発によって毀損しないようにしなければならないということで，そのためには開発地点（施設地区）と保護地区とを計画的に厳正に区分している。

次に具体的な内容に入ろう。

焦点は何といっても富山市と大町市を結ぶ交通路（自動車道路）の整備である。このうち富山市から立山山麓の藤橋（電車では千寿が原）まではバスの運行ができる程度の道路ができている。これから先は普通はケーブルで500米の標高差を登るわけであるが，この間を自動車道路（有料道路）でつなぐ。当初約8.6粁の道路が計画されたが，その後調査の結果一部は藤橋から称名滝にいたる県道を利用して経費の節減をはかる案が生まれ，ほぼそれに決定している。県道部分3.9粁，新設部分5.9粁はともに巾員7m，2車線で建設され，この工費は6億8,000万円，工期は今年から3年間と見積られている。

ついで日本道路公団立山道路13.8粁は改良を期待することとし，それから室堂にいたる9.9粁は2車線巾で新設（工費約2億7,000万円）する。立山地区と黒部地区との連繋は，この道路の終点近くからトンネルを掘削して黒部側標高約2,300米の地点に出，さらに黒四ダム地点まで道路を築造する案が計画されている。このトンネルは，標高の非常に高い地点にあること，営業用の自動車トンネルとしては恐らく有数の延長をもつこと，近くに噴気活動を続ける地帯があることなど技術的な種々の問題点があって，慎重な現地調査，ボーリング，測量と検討が加えられた結果，技術的にはほぼ開削に問題点はないとの結論をえている。現在3つの方線が予想されており，これは2粁案，4粁案という長短2案にわけられる。

このことは，2粁案では（長所）トンネル自体の掘削に技術的にも，経済的にも問題点が少なく，将来交通量が増大して人工換気を行なう場合も容量が少なくてすむ反面，（短所）標高の高いところに作るため，取付道路に除雪の問題があり，これを解決するためには取付道路自体に小トンネルを10ケ所位作らなければならないという点があり，逆に4粁案では（長所）標高の低いところにできるので工事拠点を作るに便であり，取付道路が短い反面，（短所）換気装置の容量を大にする必要があり，またあらかじめトンネル断面を大にする必要があり，また屈削中に不測の地下構造に出会ったような場合の処理に不安が多いなどの点が考えられる。したがって，どの案を採るかは，今年度さらに継続中の調査を終えて比較検討の上決定することになっている。いずれにしても，相当莫大な経費を要することは明らかで，2車線トンネルで23～28億円に見積られている。

トンネル東口からダムまでは標高差が約800米あり，この間の自動車道路延長は11～13粁で約10億円とみられる。なおこの区間は積雪，雪削のもっとも警戒を要する地域であり，通年利用を考慮して全地下式鋼索鉄道の併設も研究を進めている。

一応これによって富山～大町間の自動車交通が可能となるわけであるが，現状針の木トンネル（大町ルート）は1車線であるので，この改良も研究している。

その他の系統，すなわち黒部峡谷沿い，および立山と有峰両地域の接続について次のように計画している。黒



部峡谷沿いは宇奈月からの軌道を改良して大量の旅客輸送に耐えられるものとし，途中ネックになりそうなエレベーター部分も容量を増加するか，地上にロープウェーを新設する。黒部トンネル部分は1車線の軌道もしくは車道として換気に心配あるときはトロリーバスを運行する。地下インクラインは客用車両に改造する。これによって黒四ダム～宇奈月温泉間が全通する。また立山～有峰間は車道の延長およびロープウェーの併用によって解決する。

次に道路および交通施設の整備によって誘致される大量の観光客に対する宿泊等の施設については，次のように考慮する。

まず3地域を結ぶメインルートの重要拠点を集団施設地区として，施設の集中的整備をはかる。われわれが試算したところによると，富山～大町間が全通した場合に，この地帯に入りこむ人員は富山口，宇奈月口，大町口がおのおの36万，20万，53万と予想される。この数字は多少の見方の差はあっても，合計数においては国鉄など第3者の行なった試算と大差はない。したがって約100万人が入りこむことになり，これに対処する施設も相当のものを計画しなければならない。例えばこの場合の室堂平（立山登山の中心的位置）に到達する人員は年間約60万人，その場合到達人員は最高13,000人/日，宿泊は5,500人/日と予想している。

室堂平地区以外でも当然どうようの比率に近い割合で観光客が増加するであろうから，それに応じうるだけの施設を整備しなければならない。ここで当然問題になるのは，この地帯の核心的な地区は国立公園に指定されていて，法律によって厳重な規制をうけているわけであるから，このような大きな量の施設の新設が許されるかどうかという問題であり，また許されたとしても，デザイン配置その他の面で，どのように規制して行くか，また果してその規制がうまく行くかどうかということである。

施設の新設の可否については，まだいろいろと反対もあるかもしれないが，われわれの立場としては，この地帯の観光価値がすぐれていて，多くの観光客を誘致する魅力に富んでいる以上，多くの観光客を誘致しようとする策は妥当なものであり，技術的な努力によって，少なくともその観光価値の損壊をきたさないように施設の整備を進めるべきであると考えている。したがって，施設は中途半端な状態を避け，近代技術の粋をつくすべきである。外観のデザインの問題については，現在の景観にマッチさせるように努力するならば，鉄，コンクリート，ガラス，その他近代的な材料の使用も当然肯定すべきであろう。内部設備についても，あらゆるクラスのものを準備するたてまえで，しかも衛生面には思いきった投資をすべきであると考えている。

もちろんこの地帯全域をどうように開発することは考えてもいないし，また不可能である。当然積極的に保護，保存をはかり，いつまでも原始の姿をとどめるように努力しなければならない地域もある。剣岳周辺，黒部源流地域などを差当り予定しており，この地区では，自動車道路，ケーブル，ロープウェーなどの交通施設はもちろん考えていないし，山小屋などの宿泊施設もできるだけプリミティブな姿で建設していきたいと考えている。そういう地域を別にもっていて，はじめて前述したような交通施設や立山室堂平のような徹底した開発が肯定されるものであり，これが本当の意味の近代的観光開発といえるものであると確信している。

4. 開発の具体的方法

計画を進行させ，しかもその進行に秩序を持たせるには強力な機関が必要である。富山県をはじめ，この計画に深い関心をもつ関西電力，北陸電力の両電力会社および立山地区ですでに観光開発を手がけている立山開発鉄道の4者は，そのために共同出資して，立山黒部有峰開発株式会社を設立した。この会社は創立以来前記4者からそれぞれ職員の派遣をえて，主として富山～大町間ルートの研究，調査，測量，設計という具体的目標をまず第一にとりあげて作業を行なってきた。その結果，すでに藤橋～美女平間および弥陀が原～室堂間の自動車道路の新設については成案をえて，官庁手続きもほぼ終了して着工を待つばかりとなっている。また立山トンネルを含む残余の計画についても今年中に設計を完了する予定である。残る点は莫大な資金の調達であるが，これについても近く手が打たれるはずである。自動車道路以外の主として宿泊施設についてはすでに別個の申請が数件だされている状態からみて，遅くも昭和40年前後にはこの立山黒部有峰地帯は新たな近代的山岳観光地として大きくデビューできそうである。　（筆者　富山県貿易観光課長）

大阪城公園の計画について

田治六郎

(1) 大阪城公園の変遷

1. 大正13年7月1日　大手前公園として発足。
(2.3ヘクタール陸軍用地借用)
2. 昭和3年5月29日　大阪都市計画公園に決定。
(本丸，大手前より玉造に通ずる道路 12.32 ヘクタール)
1. 自昭和4年8月1日　至昭和6年2月2日
御大典記念事業執行。
(天守閣の再建および公園整備面積 7.3 ヘクタール)
1. 昭和6年11月5日　大阪城公園と改称。
1. 自昭和20年8月18日　至昭和23年3月9日
進駐軍に接収。
(同23年3月10日接収解除)
1. 昭和22年1月14日　特別都市計画公園として内閣に認可。　(164.32ヘクタール)
1. 昭和27年1月30日　計画変更。　(102.32ヘクタール)
1. 昭和28年6月13日　重要文化財に指定さる。
(乾櫓，焔硝蔵，玉造門，桜門，金明水井戸，銭蔵，大手門，一番櫓，六番櫓，多門櫓，千貫櫓他計13棟)
1. 昭和30年6月24日　特別史跡に指定さる。
(「大阪城跡」73.9ヘクタール)
1. 昭和34年9月16日　都市計画公園計画変更。
(102.32ヘクタール)

(2) 設計方針

本公園は大略

1. 大阪城内地区　54ヘクタール
2. 杉山地区　45　〃
3. 馬場町地区　3.3　〃

にわけられ，大阪城内地区は，ほとんど大阪の唯一の観光資源であり，他の二地区は，市民のレクリエーションに最適の位置にある。

したがって，前者には，史跡と重要文化財の保存と顕彰とに重点をおき，後者には運動施設を多く設ける。全体としては，大きな森，広場，芝生を設けて，新旧景観の調和をはかり，さらに快適な園路を通して利用の便に供する。

(3) 工事の概要

1. 城内地区

公園の整備

戦中戦後を通しての荒廃はいちじるしいものがあり，年々復旧整備に努力中であるが，まだ充分でない。

いっぽう大阪府警察部，近畿管区の警察学校などの移転にともない，この用地の造園化が可能となり，工事は着々進行中である。この区の一部に今年度武道会館が建設されることになっている。

史蹟の修復

戦争中，爆撃などにより石垣の破壊されたものが多かったが，昭和28年度から国庫補助をえて，修復工事を行なっているが，完成までにはなお数ケ年を要する見込み。

重要文化財の修復

戦災によって多数の重要建造物が失なわれたが，残存したものの一部については，昭和28年に大阪城修復委員会の手によって応急修理が行なわれ，続いて31年度から34年度にわたって，文化財保護委員会の直営で乾櫓の修復が行なわれ，34年から国庫補助事業として千貫櫓，銭蔵，焔硝蔵などの修復を実施中で，本年9月に完了の予定である。

そ　の　他

天守閣は戦前から郷土博物館的な利用が行なわれており，旧警察本部の建物は，博物館として今春から一部開館している。

豊国神社は二の丸の一部に遷座，本工事を実施中で38年に完成の予定。

2. 杉山地区

陸軍造兵廠跡で一部を除いた約40ヘクタールを第一期工事の対照とし，昭和28年度に着工，33年に一部を完成，引続き工事を行なっており，38年度で一応の工事を終了する予定である。

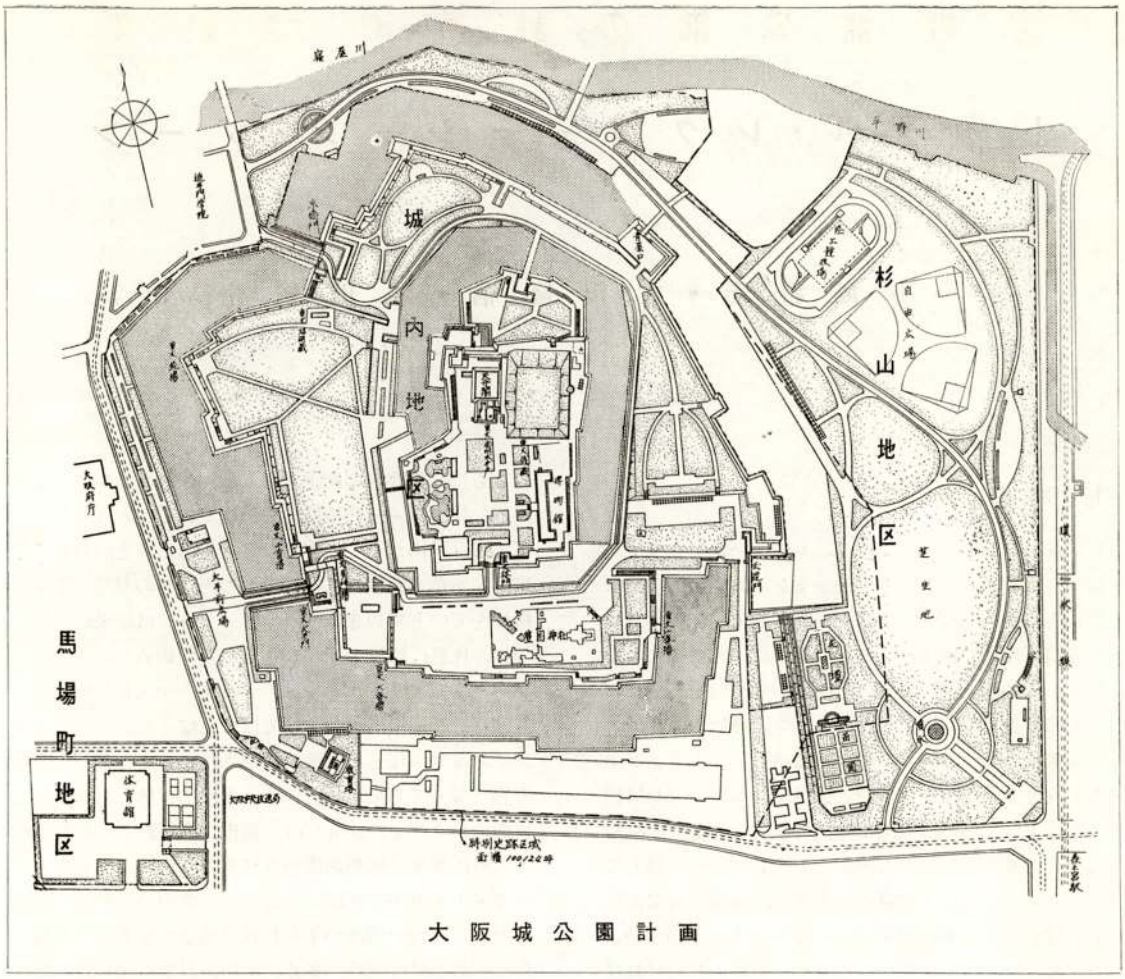
本地区は，明治の初年以来幾度か改造された造兵廠跡地であるがため，幾重にもある基礎の除去に多大の困難があり，所要工費のほとんど3分の2をこれに投じた。

3. 馬場町地区

旧兵舎の敷地で，独立した馬場町公園であったものを，昭和34年に大阪城公園に合併したもので，同年市立体育館が建設された。

なお，計画区域内には未着手の部分として

府警の使用地
国の出先機関の使用地
市立東市民病院用地
日本鉄線株式会社用地
自衛隊射撃場用地
その他



大阪城公園計画

があるが，これらは将来の問題として，現在着手している区域については，38年中に一応完成する予定である。

4. 工事費

総工費　5億円　（杉山地区4億円，城内地区1億円）ただし文化財，石垣修復費および公園管理費を除く。

事業年度　自昭和27年度―至昭和38年度

過年度工事費は別表の通りである。（ただし27～29年度は紙数の都合上省略―編集―）　（筆者　大阪市公園部長）

事業種別 / 年度	特失	公共	単独	計	主要工事
	円	円	円	円	
30	6,667,000	2,000,000	2,518,427	11,185,427	舗装および基礎取りこわし 4,150坪，外周石積 320m 弾薬庫跡整備，植栽他
31	10,000,000		20,400,000	30,400,000	整地69,800m²，噴水，池給水，袖石垣，排水 1,010m，瓦礫搬出，舗装取りこわし 7,868m²，植栽 2,617本栗石敷並べ
32	5,000,000	2,000,000	19,262,495	26,262,495	舗装取りこわし 8,100m²，間知石積 128m，袖石垣 897m，藤棚，すいれん池，門柱，煉瓦塀14m，玉石土止 1,150m，整地 32,000坪，排水 740m
33	3,000,000	7,500,000	46,000,000	56,500,000	舗装取りこわし1,161m³，瓦礫搬出2,081m³，玉石土止1,350m 給排水，棚 368m，噴水，門柱，袖石垣， 植栽 14,172本
34	3,000,000	7,500,000	31,500,000	42,000,000	舗装取りこわし 23,191m²，瓦礫搬出 38,600m³ 整地 62,100m²，給排水管3,635m，便所，交番所， 植栽 10，765本
35	3,000,000	5,100,000	52,600,000	60,700,000	舗装および基礎取りこわし 38,325m³ 17,815m³ 瓦礫搬出26,740m³， 排水 1,760m，玉石止 2,405m，保安照明，陸上競技場， 整地，便所，植栽

トータル・レクリェーション・ゾーン

小島将志・太田隆信・沖田裕生

1. はじめに

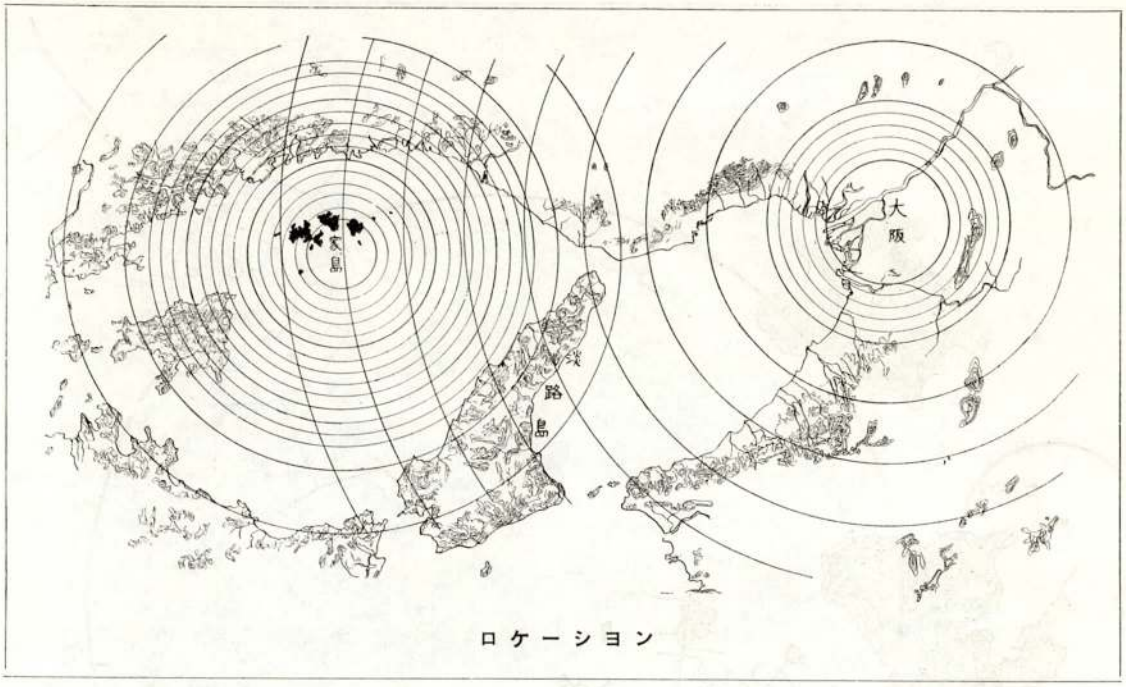
レジャー，レクリェーション，レジャー，レクリェーション，レジャー，レクリェーション，日本全国に混乱と集中をもたらしているのは――埋め立て――工場誘致――人口集中――混乱――の繰り返しによるものだけではない。この国の清く美しい自然は，今や急速に犯されつつある。無秩序なレクリェーション開発は，まさにエスパニア風的なスピードで拡がっている。しかしレジャーもレクリェーションも流行性感冒ではない。これは明日の時代をつくるべき重要な生活の要素である。われわれは多くの知識をレクリェーションやレジャーに関してもっている。こんにちの都市の混乱を，都市以外の部分におよぼし，われわれの生活をおびやかすことのないようレクリェーションの場は計画され，管理されなければならない。啓蒙と呼びかけを始めよう。この国の美しい国土のために，われわれの明日の生活を確保するために，これは建築家のために，これは建築家の義務である。

建築家として啓蒙的な仕事の進めかたはいかにあるべきだろうか，重大な問題である。ごく気軽に考えれば，データーを十分に集め，理論的に推理していく方法が，まず考えられる計画原論的な方法である。次にまず形をつくり，その形の内に，かたるべき多くの問題を，表現する方法がある。しかしこのふたつの方法は相容れないものではない。ちようど，〝数学の世紀〟といわれた19世紀に，ガウス，ツワイエルストラス，リーマンといった人々の系列と，コーシー，ガロア，カントゥルといった人々の系列とが，交互にセオリーの花を咲かせたように，両者はともに併行して進められるべきものである。

はじめに，われわれの断片的な知識の整理をしよう。20世紀は管理などとともに遊覧旅行の時代であるときめつける，アンドレ・シーグフリードの言をまつまでもなく，今世紀は，いや今後の時代は，遊覧旅行で代表されるレクリェーション時代である。レジャー，レクリェーションはたんなる流行病ではない。レジャーは技術革新とともに，生産性の向上とともに生まれる。レクリェーションはレジャーの積極的な消費であることはもちろんである。〝山がそこにあるから登るのだ〟といわれて以来，産業革命が進行し，都市がこんにちの混乱と集中の様相をていして以来，レクリェーションは従来の労働につづく休息，慰楽の意味から質をかえ始めた。さらにレジャー，レクリェーショは，大衆化，マス化し始めた。もはや，有産階級の独占物ではなくなった。レクリェーションはマス化し，大衆の蓄積されたエネルギーの発散形態となってあらわれている。とくに自然に直接触れる種類のレクリェーションは，都市生活に対し，われわれの文明に対する批判の機会を与えてくれる。まさにオルテガ・イ・ガセットのいうように，文明の形態は，自然に対する人類の態度のあらわれであるのである。人類と自然との接触は実際，多くの文明の形態を産みだしてきた。自然観の変化は文明の変化を意味する。直接自然に触れることは，きたるべき時代の都市を，文明の方向を決定するための重要な役割を果すのである。この意味からも国土の，自然の無秩序な開発は許されない。

わが国の現状をみてみよう。レクリェーション開発，あるいは観光開発はかなりの混乱様相をていしている。レジャーブーム，レクリェーションブームが予測されながらも，この問題に積極的に参加する余裕がなかったことも，わが国の建築界の現実であろう。しかし，玉ねぎの皮をむくように，ひとつの問題の解決の手がかりがみつけだされると次の問題が控えているのが，社会の一般である。都市開発の問題とともに，レジャー施設の開発は，建築界の社会のもっとも重要な問題のひとつである。こまぎれ開発は，自然を混乱におとしいれている。観光日本の看板を掲げながら，現状は混乱と無秩序があるだけである。レクリェーションを楽しむためには，レジャーの多くの部分を無意味な労働にけずりとられてしまうた。

流行病のように慢延したこの混乱の治療法は，レクリェーション圏の適切な配分と適切な施設の確立につきる



ロケーション

であろう。人口が極度に集中し，人間が手を加えた自然しか存在しない都市の形態は，レクリエーション圏の形態を暗示する。大衆化，マス化したレクリエーションに対応するレクリエーション圏は，種々の機能を集中し，マス化したレクリエーション施設として反映するであろう。このようなレクリエーション圏は，日常生活圏の一部として都市生活には不可欠の部分となるであろう。と同時に，自然本来の姿を保存することにもなる。大挙してやってくる外国観光国を巧みに処理する必要がある。避暑，避寒などの消極的なレクリエーションは，都市内の消極的，受動的なレクリエーションの増大とともに少なくなった。暑い時に炎天の海にでかけ，寒い時には，寒地で，スキー，スケートといった，活動的なレクリエーションを楽しむ。これらの活動的なレクリエーションを処理しなければならない。同時に受動的なレクリエーションも。

自然に接して行なわれるレクリエーションは，その場所によって制約をうけ，特徴ずけられる。海の場合はどうか。

2. 家島群島——トータル・レクリエーションの概念

海は風によって荒れる。陸を浸蝕する。しかし，水の動きは，風の強いエネルギーを吸収し，規則的な波の運動となり，熱エネルギーにかえつつ平穏に，平穏にと向う。海はまた，物質を熔かす。溶解された物はふたたび海底に凝縮する。溶解すること，吸収すること，規則的なこと，これが海の特徴である。しかし，規則的で，包みこむような海は，無限の未知の世界がある。海のレクリエーションにはこの規則性と未知の世界にある。溶解させるようなもの，その後につづく充実感，これが海のレクリエーション施設のテーマとなる。

多くの機能を集中し，あらゆる種類の生活が可能な様相を示している，現在の都市に対応して，時間的にも，規模の上からも，また変化の点からも，あらゆる種類の海のレクリエーションが可能な施設が考えられた。集中的な凝縮したレクリエーション施設が考えられた。

家島群島は，瀬戸内海国立公園の東の入口に近く，関西地方の莫大な人口を後にひかえ，一日単位の地域社会的なレクリエーションから可能であり，また，国際的な観光基点としても，他の無数の島々の開発とともに，重要な役割を果しうる地点に存在する。大きくいえば，あらゆる種類の人種が，1日から数年間におよぶレクリエーションが，地域社会的なものから，国際的なレクリエーションが可能であり，これを処理する必要がある。またここでは，こまぎれ開発が，人工的な，箱庭的な遊園地でごまかしていたのに対し，ここではファミリーなものが，自然な形で与えられる。島々の自然を残し，その自然に対立する形の人工的なものである。

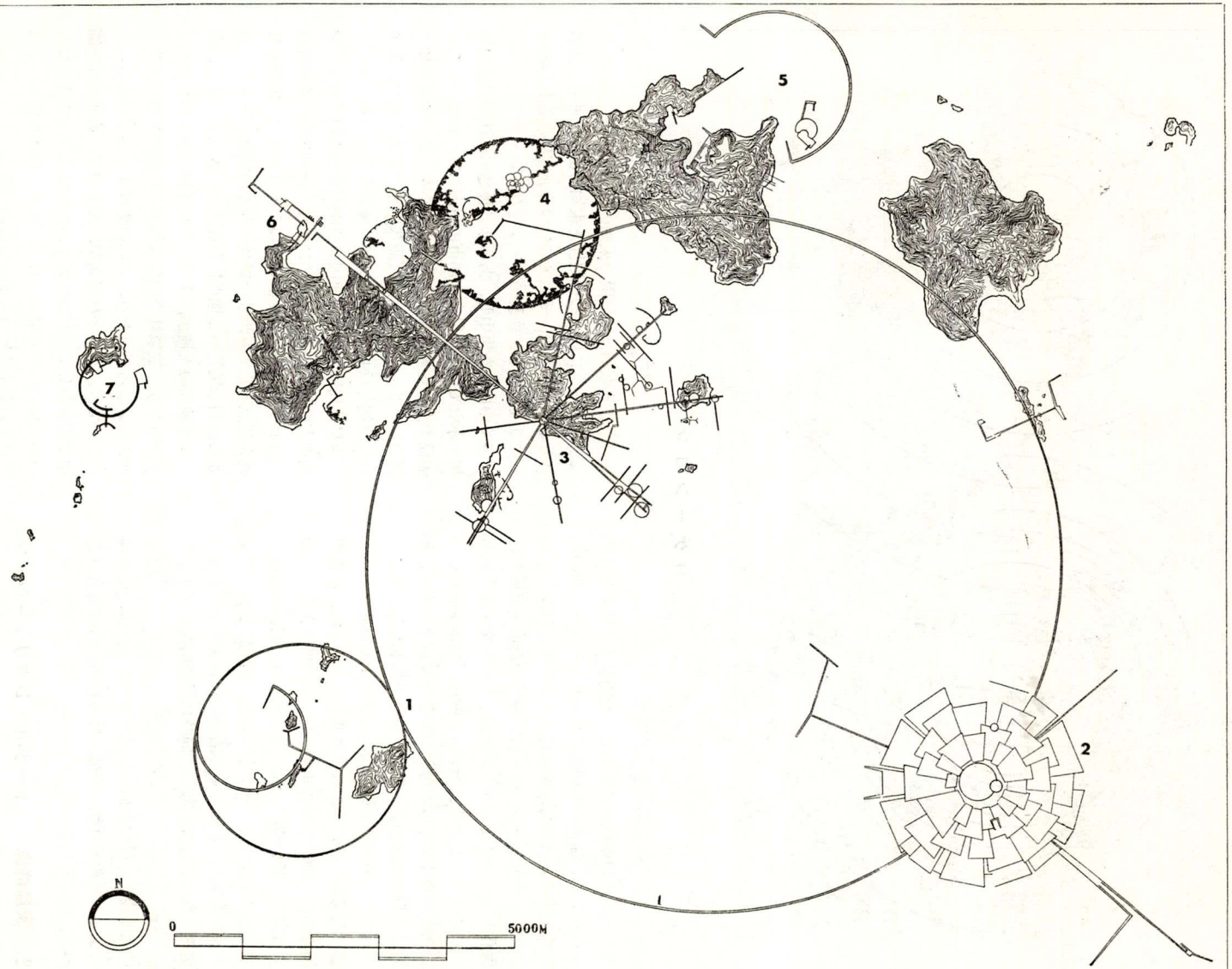
a. マリン・プロムナード

直径11.3kmの円状のマリン・プロムナードは，内部を外海から保護し，海の未知の恐怖感から人々を守る。

水上をあるいは水中にもぐり，リングの内外を自由に走るメビウス環状のマリンコースターは，子供達をタカラ島，ガリバーの島々，竜宮城，鬼ケ島，ロビンソンクルーソの島々へと導き，大人達をマリンソゥサーへと導く。

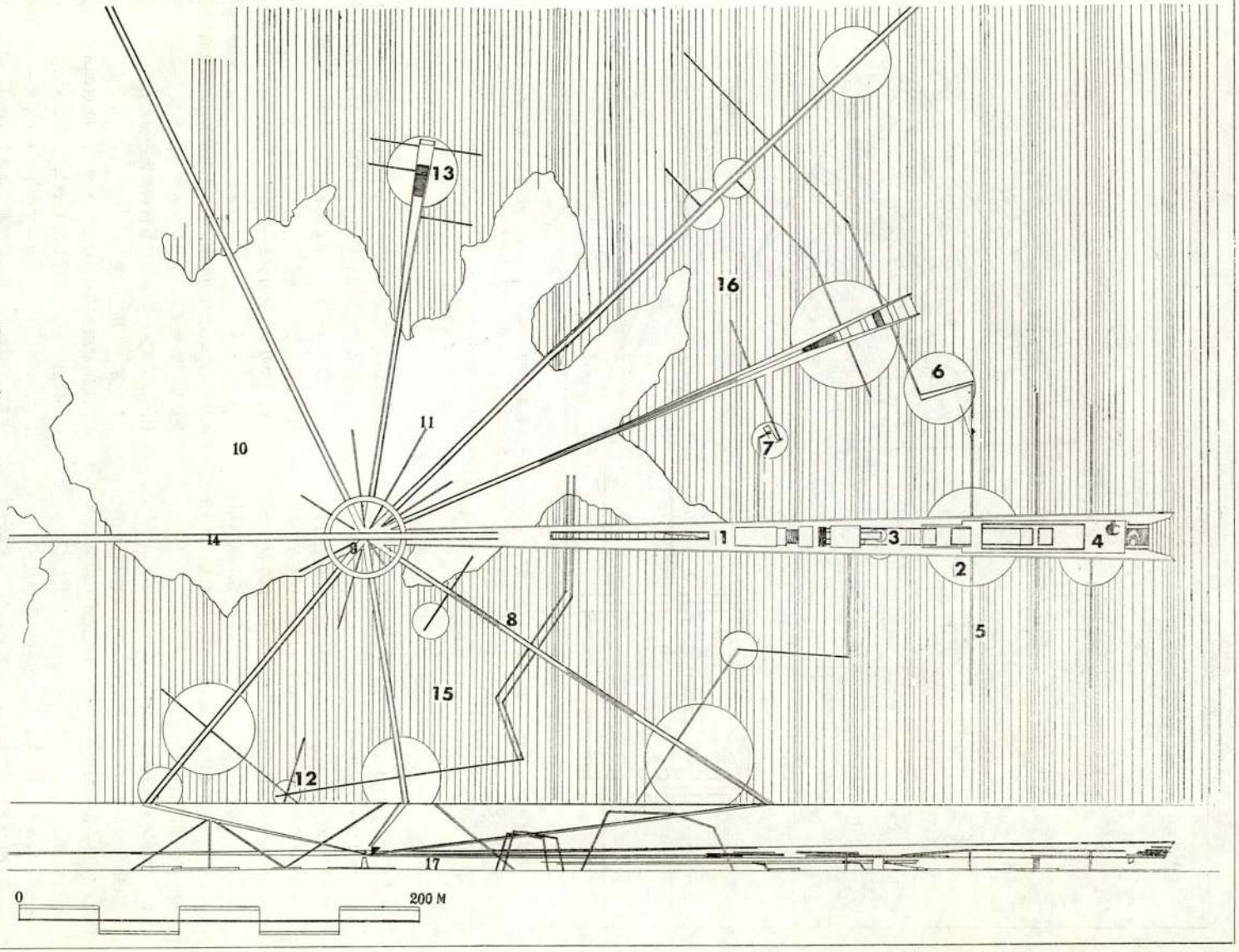
プロットプラン

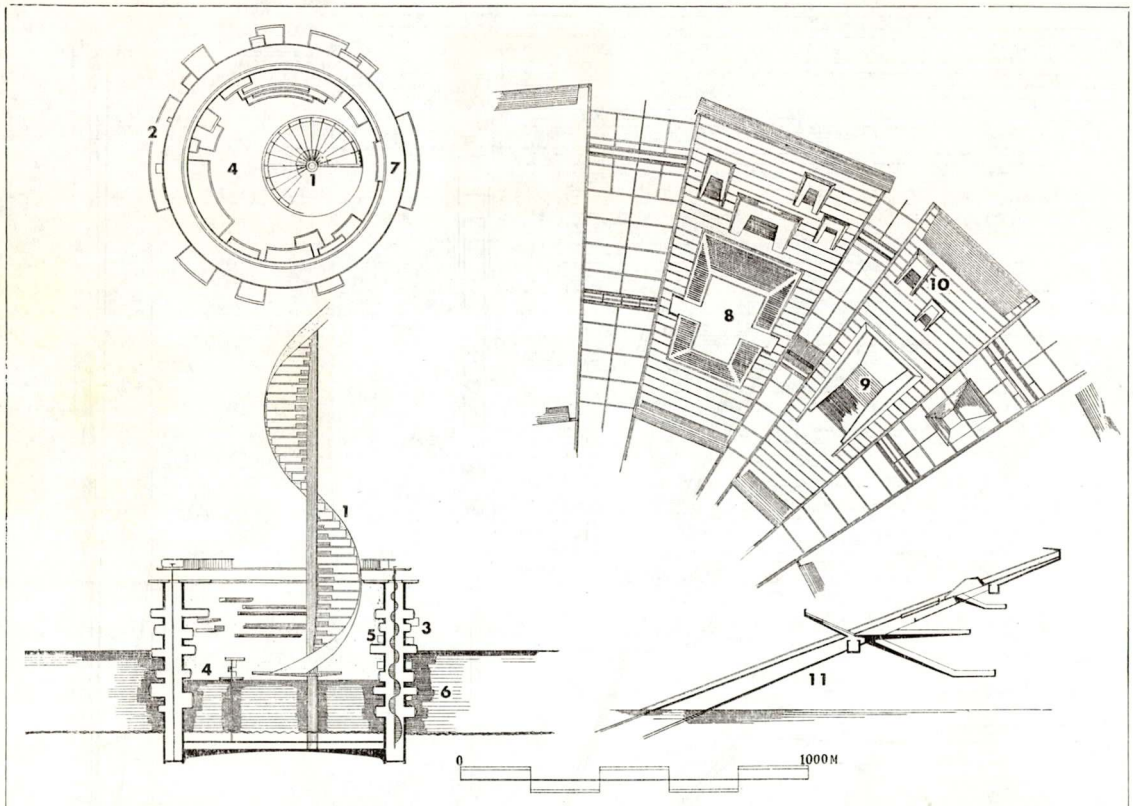
1. マリン・プロムナード
2. マリン・ソウサー
3. マリンステーション
4. 海水浴場
5. 家島港
6. マリン・アカデミー
7. ヘリポート



マリン・ステーション

1. マリンステーション　ブリッジ
2. マリンプラッツア（海の広場）
3. マリンスコープ（海ののぞきからくり）
4. マリンステーションプラッツア
5. 柱脚（パイプ）
6. マリン・プラッツア（船で泳いでいくプラッツア）
7. マリンシアター（海を背景にした演劇）
8. マリンステーション
9. マリンセンター（島のコミュニティセンター）
10. 島
11. マリンステーションへの遊歩道
12. マリンスコープ
13. 北のマリンプラッツア
14. マリンステーションブリッジ
15. 海のコミュニティ
16. 海のコミュニティ
17. 断面と立面





マリン・ソゥサー　1. ホテル　2. マリンバルコニー　3. マリンスコープ　4. 水族館　5. マリンスコープ　6. 海　7. プロムナード　8. 競技場　9. マリンシアター　10. マリンオーデイトリアム　11. セクション

ここは大きな海の広場である。

b. マリン・ソゥサー

外人観光客が数年間滞在し，瀬戸内観光の基地とすることができるようなホテル，モナコ，ラスヴェガスのようなカケ場，しかし，泳いでバスタオルで体を拭きカジノへ行ける気安さ，フレキシビリティがある。魚が人間をみるような水中水族館，海上音楽堂，映画館，ヨッテル……などが海上に。

c. マリン・ステーション

国際的なマリンソゥサーに対し，これは地域社会的な施設である。多くのプラッツア——伝統的な広場は，いまやレクリェーション圏にその存在をみだしている。——裸の人々が，直接触れあう空間が，放射状にひろがる。要のリングはモニユマンになるだろう。巨大なブリッジ状のプラッツアからは，マリンガローとでもいうべき宿泊施設が陸に，海上にあるいは水中に群をなし，あるいは点在する。ブリッジの下からは，ヨット，ボートが発着する。

d. 海水浴場

家島と西島の間には，海水海場がくる。宝島……とともに子供達のためのスペースである。ここは安心して泳げるところでもある。水中にもぐったり浮上したりする。マリンゴーラゥンドもある。アクアラングを使って魚をとることもできる。

e. マリン・アカデミー

マリン・ソゥサー，マリン・ステーションの軸線上の両島の端に，水産研究所，水産大学がある。画期的な研究成果，新発見が，マリンソゥサーの水族館に展示され，レクリェーションに教育的要素を加える。

f. 家島港

国際的な観光団を受けいたるべく，40,000ton 級の客船が碇泊できる。上陸した人々は，マリン・ステーションへ，マリン・コースターでマリン・ソゥサーへと溶解するように散り，ふたたび港へ帰るときには，何か充実したものをえているであろう。

g. その他——ボート・レース場，ヨット・レース場，モーターボート・レース場，マリン・スコープ，空港。

（筆者　小島：大阪市大家政学部住居学教室
太田：坂倉準三建築研究所大阪出張所
沖田：円堂建築設計事務所）

個

リクリエーションと建築



天井・間仕切には軽量鉄骨を・軽量鉄骨は日進式を御採用下さい・

耐震・耐火・軽量・堅牢
防錆完全・中空防音
合理的工法・責任施工

株式会社 奥村重兵衛商店
大阪市北区木幡町五六番地
電話北㊴四一三一～四

＝特許＝
氣光式通風器 製造販売
開閉式レヂスター
特許第一五一三八号
カタログ進呈
大阪市西区江戸堀下通2-17
田辺工業株式会社
電話土佐堀㊹7437—9

杭
株式会社 武智工務所
取締役社長 福留並喜
大阪市東区瓦町3ノ11(井池筋)旭洋ビル3階
電話(202)3233・3234

建築材料の選び方使い方の専門誌
建築技術者と材料業者の必読書
建築雑誌 材料と設計
毎月1日発行
B5 ¥150〒共
全国書店で発売
建設文化社
本社 東京都文京区小石川町1—1 電話(921)2739
支社 大阪市西区西長堀1—5 四ツ橋ビル 電話㊸9200

国民宿舎

玉野荘



上：海面よりの全景　　下：客　室

国民宿舎「玉野荘」の設計について

棚橋　諒

玉野市渋川の海岸は白砂青松岡山県下のみならず，瀬戸内海屈指のいい海水浴場であって，夏の海水浴客の集ることは阪神地方でいえば須磨にも劣らない。この地に先年水族館が建築せられたが，それいらい玉野市とご縁ができて渋川海岸に建てられる国民宿舎の設計のご依頼を玉野市から受けたのである。健康保険の保養所といい，国民宿舎といい厚生省が国民全体の健康の増進のため数多くの施設を作られることはまことに結構なことである。

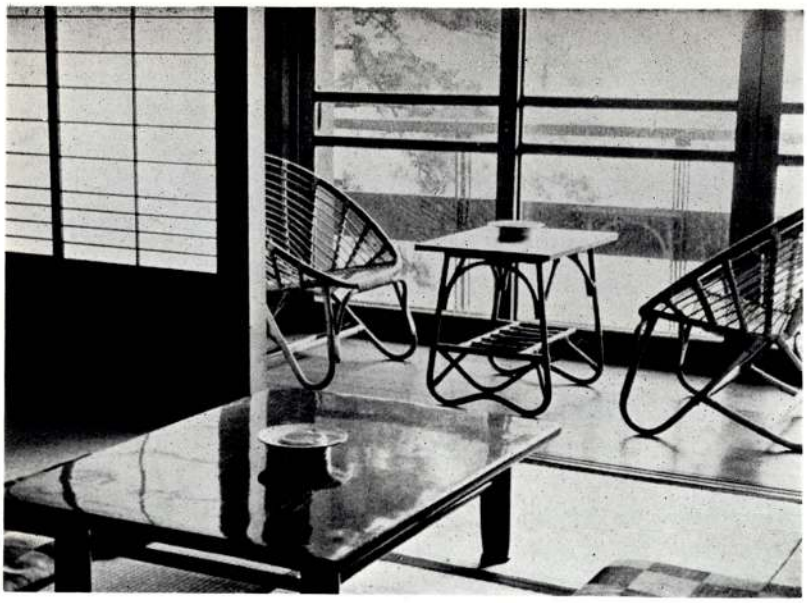
この渋川の海岸から味野町にかけての海岸には三井造船所の渋川荘，倉敷レーヨンの寮，電々公社や郵政省の寮など，大企業の社員さん方に対する立派な厚生施設はありながら一般大衆のために利便を供してくれる宿泊施設はなかったのである。この施設はしかし単に宿泊客を対象としたわけではなく，三つの大きな対象を考えて作られたものであああ。第1は日帰りの海水浴客，第2は昼食の場所を必要とするバス旅行の団体旅行者と，第3は四季を通じてのレクリエーションのための宿泊客である。

建物の一階は厨房と機械室の他は海水浴客のためにあてられている。一半は海水浴客の荷物の一時あづかりと男女のシャワー室で占められ，もう一半はふきはなしの海水浴客の休けい所である。これらの海水浴客は別階段を通って二階の宿舎の食堂をも浴室をも利用でき，さらに三階の大広間を家族グループごとに分けて休けいのため利用することもできるようにした。

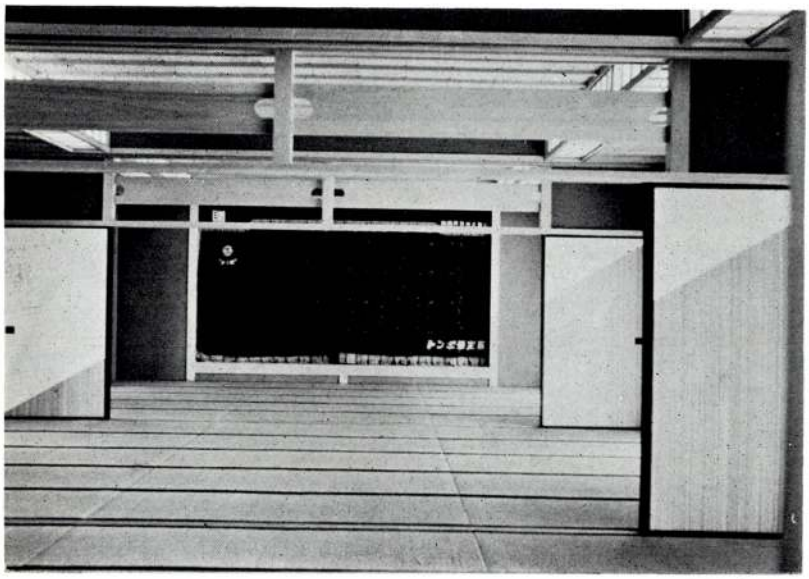
第2の団体旅行の昼食客のためには三階の大広間が提供される。ここで各自のおべんとうを食べてもよく，宿舎から提供される食事をとってもよい。

第3の宿泊客のためには二階三階の全施設が提供されている。





客室の一部



3階大広間

国民宿舎は簡素なものであってできるだけ低廉な料金で一般大衆が利用できなければならない。しかし能率的合理的で簡素であるといってもこれは禅堂の宿舎のように行をしにくる人達を相手にするのでなく，レクリェーション，保養客を相手なのである。彼等は本質的に気楽な気分をエンジョイしたいのである。そこに金のかからないということと，レクリェーションとの面の矛盾があるのである。そういう点では，ユースホステルは青年にある程度の訓練をあたえることをも広い目的の範囲に包含するであろうから，宿泊客――ここでは客でなくて宿泊者であろう――に多くのことをその立場で要請することができよう。しかし国民宿舎の対手とするのは「客」なのである。「客」というものはもてなしを向うから要請するものである。だからいかに国民宿舎はかくあるべきものであるという理念をうちたててみても，国民大衆がたのしくそれを利用できるのでなければ，その理念は何もならない。

必ずしも私の設計がそれらの矛盾をときほぐしたわけではないし，この矛盾は建物で解決できるものでもない。私としてでき得た最大のことはともかく当時としても低廉な建築を完了せしめ得たことであった。

もっともこれには地元の山陽建設工業株式会社の犠牲的な工事による点も多々あったので私は同会社に感謝している。

国民宿舎

玉野荘

設計　財団法人 建築研究協会
（京都大学内）
棚橋　諒・高原　道夫
山口　敬二・広井　正広
井藤　敏郎

管理　玉野市役所 土木課
近藤　豊・橋之口房夫

施工　山陽建設工業株式会社
（岡山県玉野市築港）
中国電気工事株式会社
朝日管工株式会社

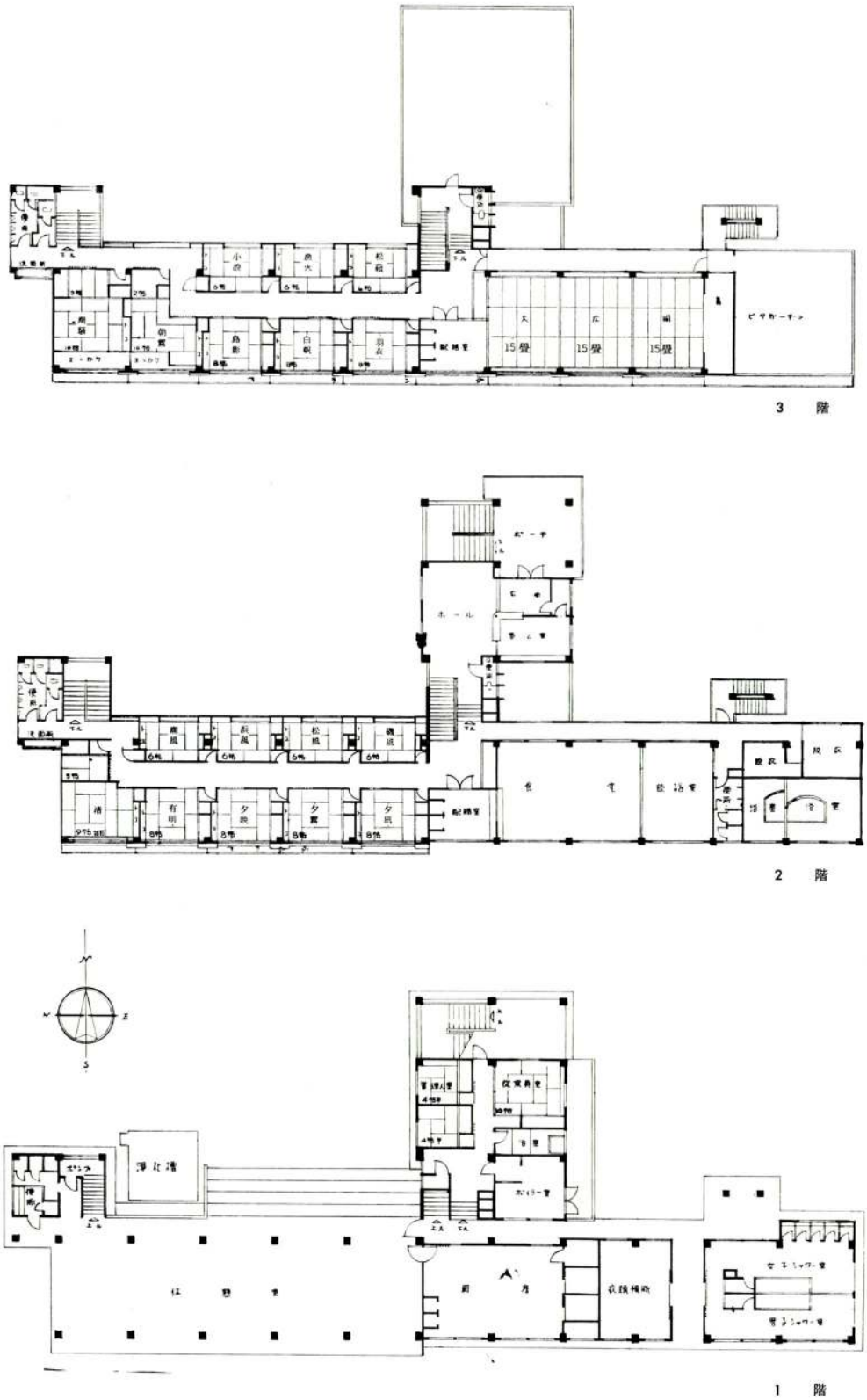
位置　岡山県玉野市渋川296番地
建物の概要　鉄筋コンクリート造　3階建
敷地面積　1,650　平方米
延面積　1,540.6平方米
1階　546.1平方米
2階　585.3平方米
3階　409.2平方米
工期　自昭和33年9月　至昭和34年3月
工費
造園工事　337,000.
主体工事　18,751,286.—
電気工事　1,924,498.—
衛生工事　3,635,970.—
合計　24,648,754.—

玄関ホール（2階）



男子浴室（2階）





国民宿舎玉野荘平面図



ユースホステル

小豆島ユースホステル

位置	香川県土庄町池田町(小豆島)
敷地面積	約 1,650m²
構造規模	RC 2階建 延 438.951m²

設計	連合設計社市谷建築事務所
	戒居 研造　小宮山雅夫
	吉田 桂二　吉田 秀雄
	構造　伊東豪夫
	設備　建築設備研究所
監理	連合設計社市谷建築事務所
	香川県計画課　金本芳治
	香川県建築課　山本忠司
施工	建築工事 寒川工務店
	担当 松永英治
	電気工事 中国電気工事KK
	給排水暖房 大阪暖房商会
	家具工事 桜製作所

むかし，小豆島を訪れる客といえば，八十八カ所の霊場をめぐる毎年同じいでたちの遍路姿が懐かしかった。部落の家並のなかに，杉の焼板に白いペンキで大きく〝へんろ〟と書いた宿があった。そのしるしさえなければ，並びの民家とどこといって変わらないたたずまい，ただ遍路の季節になると，朝夕の慌ただしさがわずかに宿らしい賑わいを見せていた。一日の道のりのあとさきに，そこでは食事の支度も部屋の掃除もみな，遍路の人たちの仕事であった。夕べ，ほうろくで煎る豆の匂いが，暮れなずむ入江の路に漂よい，翌朝になると子どもたちは往来で待ち構えては両の掌に豆おくれ，といったものだった。遍路の通る道端に置かれた密柑の籠は，空になると代わるだけの小銭が入っていた。村の人たちは〝おへんろさん〟と呼んで，迎えながらも何ひとつ大仰なそぶりのない，静かな応接が思いだされる。

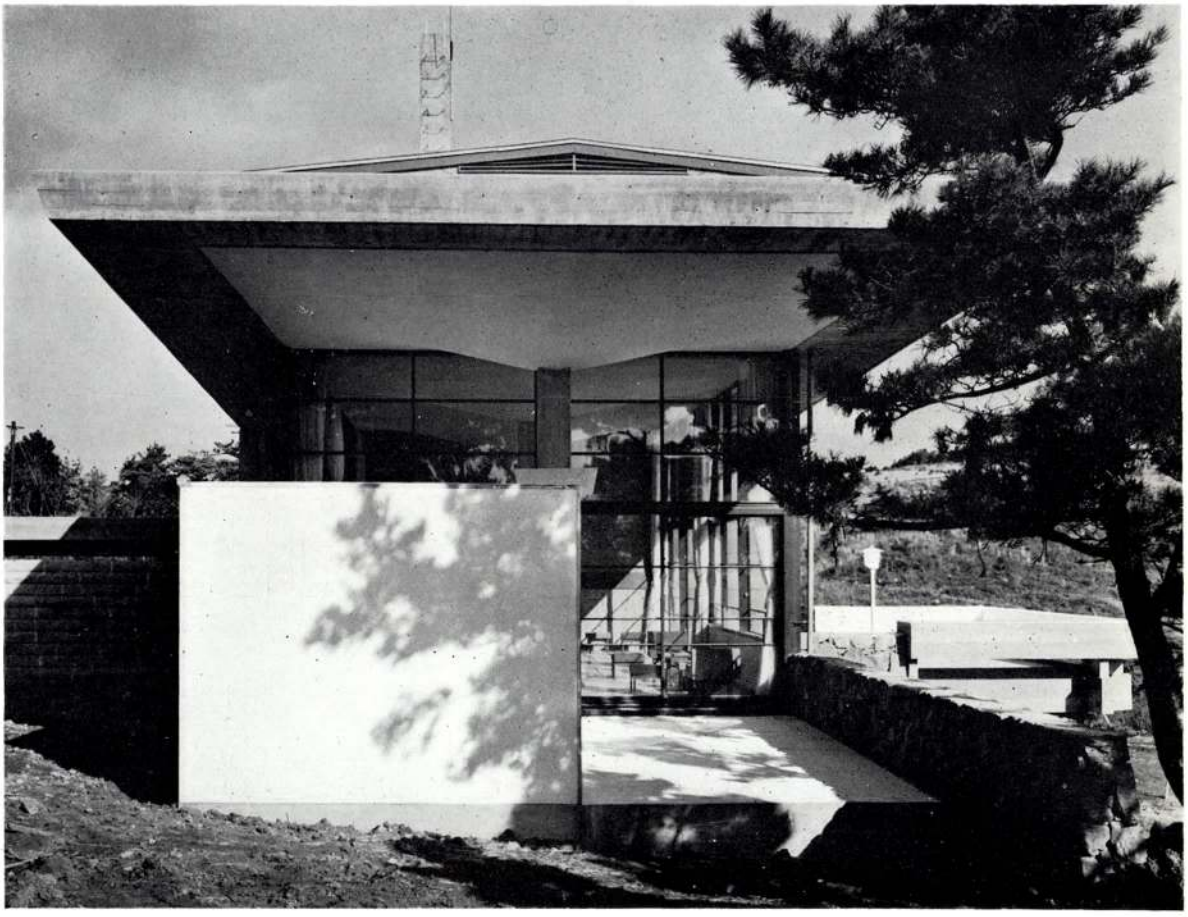
戦後，島を訪れる観光客がしだいに増えた。港には土産物の店が立ち並び，旅館はつぎつぎと建て増しをする。島めぐりの観光バスは数を連ねて，狭い道路にひしめき合うようだ。小豆島も観光地と名がつけば，つきもののような混雑した様相に近く，そろそろ曲り角にきていた。島の中央を東西に横たわる背骨の上に，新しい観光道路が土庄町(トノショウ)—四方指(ヨモザシ)—寒霞渓(カンカケイ)を結んで最近建設され，この道路はさらに先，内海町(ウチノミ)に延びようとしている。

小豆島ユースホステルは，この背骨の頂点，新しい観光ルートの中心ともいうべき四方指高原に，34年春計画され，35年10月竣工した。

附近の樹林は，斜面を吹きあげる強風に傾むきながら縞状にかき分けられている。風の通り路である曝された山肌一杯に建物の翼長を定め，起伏が滑り落ちてつくる内海湾とその周辺の聚落，その向うに遠く鳴戸



小豆島ユースホステル　　撮影：村井　修





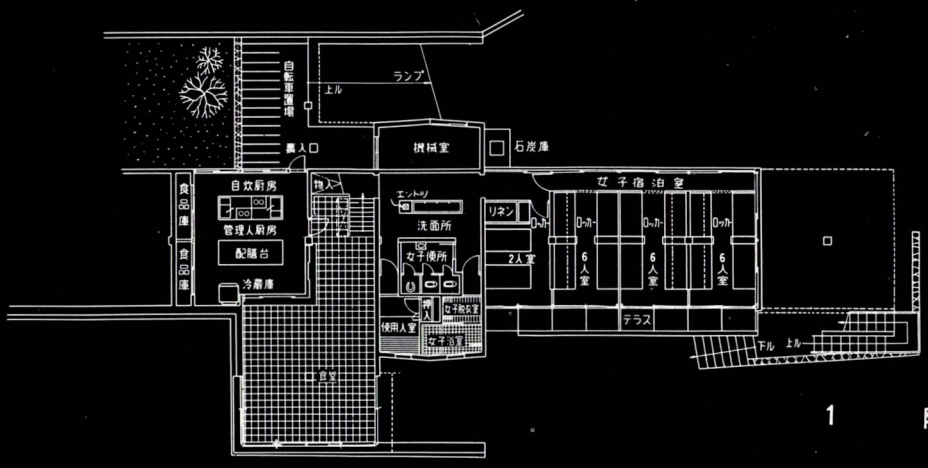
小豆島ユースホステル

海峡を俯観して，開口をひろげたい。四隅の柱から中央柱によるからかさ構造への凝縮は，眺望への開放を果しながら，同時に傾斜面に対して柱脚の碇着深さに自由度が与えられ，基礎を必要量におさえ得ている。天井高を集会室部分で大きく，他の部分でおさえようという意図も，スキップフロアーによって，西北から東南に下る土地勾配への各部分の床の順応をたすけながら解決された。管理人室，機械室，浴室，便所などの諸室を中央部分に集約し，このコアが宿泊部分と共同部分相互のプライバシイを高めながら，その壁はスキップフロアーによる床高の変化にも対応している。さらにこのコアは両翼に18mずつのH．P．シエル屋根を支持する構造コアである。シエル面は薄く曲面をなすから水平力は専ら周辺の水平ビームスラブによってコアに伝達される。中央柱とH．P．シエル屋根は，コンクリート量を節減し，型枠施工を容易にしている。そのかたちは最初，現地の井水量不足を，雑用水は雨水の利用で補なうという条件に即して，中央柱による集水という意図もあったのだが，シエルスラブの収縮亀裂の防水とインシュレーションを兼ねた解決として，単純に木造架構による屋根を重ねることが，維持の上からも問題を少なくすると判断された。

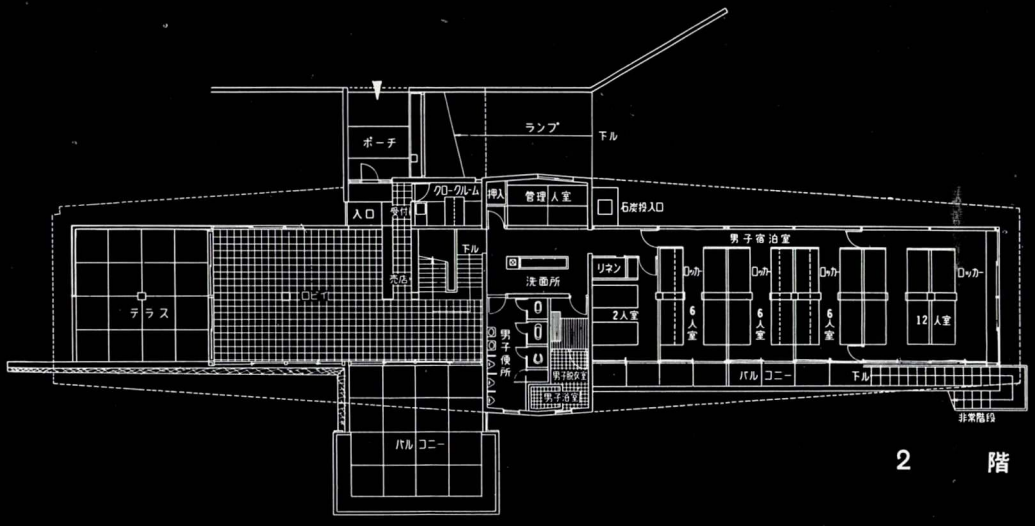
観光はいっときの消費でなく，生活のなかのレクリェーションとして，いま国民全体のものという時代を目指している。労働と再生産は，時間的なくり返し方も空間的なひろがり方も，これからますます大きくなるだろう。

道路とバス，港と定期船，漁船，聚落のひろがり，役場と学校，醤油工場，オリーヴや果樹園，畑……ユースホステルからの眺望は，風土に定着した人間生活の日常そのものである。ここを訪れて，眺める日常と，ふり返る日常との静かな応接は，相互の生活への限りない共感と愛着を生むだろう。眺望のなかに，遍路の辿った路，霊所や宿のあるあたりをさがすことができる。ユースホステルは，若い世代の，国民全体の，新しい木賃宿であると思う。多勢で無駄な消費をしない旅行をする。安い宿泊費で，利用者は労働にも参加し，そこからまた協調が生れる。

道路も新しく，バスも通いだした小豆島ユースホステルは，まず周辺の人々が自分たちの村を新しく眺め直すところとなっている。若い人たちが週末の夜を過ごしながら，わが家の灯をさがすこともあるようだ。新しい遍路宿，新しい若衆宿は，若く逞ましいR．C．造の木賃宿である。



1　階

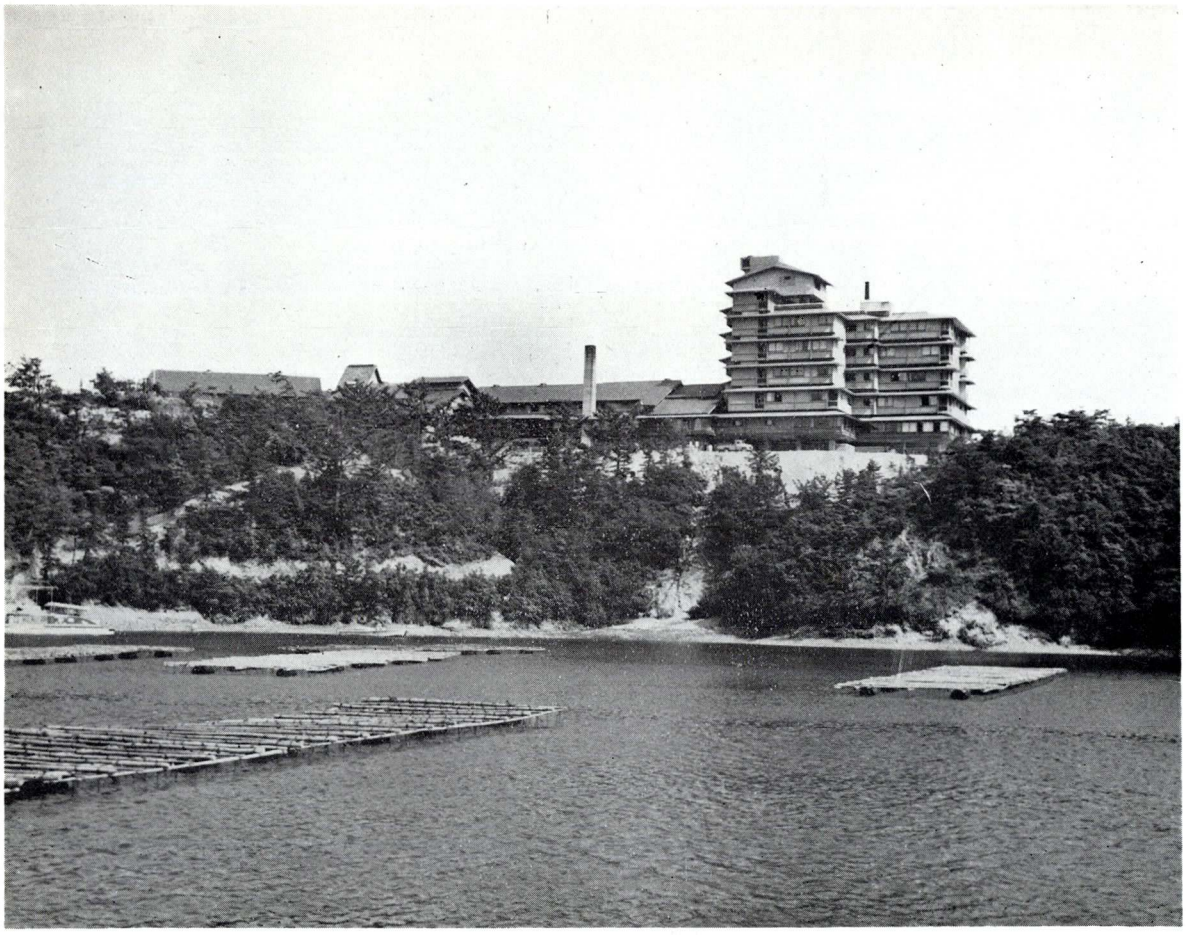


2　階





小豆島ユースホステル　　断　面



北よりの遠景

観光ホテル

志摩観光ホテル（増築）

所在地　三重県志摩郡阿児町賢島
設計　村野・森建築事務所
監理　近畿日本鉄道株式会社技術局建築部
施工　主体工事及給排水給湯工事　大林組
冷暖房換気設備工事　三機工業(株)
電気設備工事　紅屋商会
エレベータ設備工事　三菱電機(株)
構造規模　鉄筋コンクリート造，地下2階，地上5階，塔屋3階

志摩観光ホテル（増築）計画について

村野・森建築事務所

志摩観光ホテルは，戦時中われわれの事務所の設計により鈴鹿山中に建築された木造の旧海軍の将校クラブを10年前に解体し，伊勢志摩国立公園の中心，英虞湾賢島に一部移築したものである。移築に際して一部鉄筋コンクリート部が付け加えられた。四面を真珠養殖のいかだの浮ぶ波静かにして変化に富む入江に囲まれ，四季を通じ，都塵を避けて休暇をたのしむことのできるリゾートホテルとして長く利用されてきたが，昨春，要望により客室数の増加とそれに伴う各施設を含めて増築計画がたてられ，さる3月末竣工をみたものである。

客室からの展望，その他の諸条件から高層の形を採用する結果になったが，外観は旧館との調和はもとより，リヤス式海岸の柔和な最も代表的な日本的風景をもつこの国立公園に建つホテルとして，付近一帯の風致を十分に考慮したものである。また，着工当時は，その前年の伊勢湾台風の被害が付近にも未だそこここにみられたが，入江とはいえ，ひとたび外海へでれば太平洋の強風があり，特に高層の増築部分には相当に烈しい風雨が予想された。外壁各階に設けられた廂は，この風雨および夏季における日照に対する防護として考慮されたものである。外窓は，凡て十分なるエヤータイトとすべく片引きとし，一方はガラス掃除のために滑りだしとした。



西　立　面

平 面 計 画

旧館地1階および1階に連続する部分をパブリックスペースとし，玄関ホールを地1階に新たに設け，これより旧館1階のメインロビーへ階段により導くとともに，また増築部分2階以上の客室に至るエレベータロビーへ連絡する。食堂は旧大食堂を一部拡張し，新たに宴会場，スキヤキルーム（和室）を設け，これらの諸室の中間に厨房を配置した。

2階は和風客室10室とし，3階以上5階までは洋風客室として，シングルベットルーム，トゥィンベットルーム，スィートルームを含めて31室，計41室の客室増加を得た（旧館は和風客室8室，洋風客室26室，計34室）。

管理関係部分および機械設備関係部分の諸室は，主として地1階と地2階に設けた。

増築部分の上下交通は客用エレベータ1基，従業員用エレベータ1基および階段によるものとし，客用エレベータを軸として，娯楽室，食堂，ロビー，バーなどと客室を連絡し，従業員用エレベータは，客室各階のボーイステーション，厨房，事務室，ランドリーなどの管理関係部分を連絡している。

冷暖房設備は，1階以下のパブリックスペースに対しては，地下2階より送気還気を行ない，2階以上客室に対しては，塔屋空調機械室より南北2ゾーンにより供給するものとして計画実施された。

外　装　屋根及各階廂：銅板瓦棒葺き。屋階：アスファルト防水の上シンダーコンクリート押え，クリンカータイル貼り，屋上：砂利敷き，外壁・軒裏：リソイド掻き落し，一部コンクリート打放し。2階外壁一部：桧板竪羽目張りステイン仕上。1階外壁：自然石積み。

志摩観光ホテル
（増　築）



大　食　堂

1階ロビー；床：絨氈敷き。壁：プラスター木鏝仕上の上ゾラコート吹付。柱：内地産桧特製ベニヤ張り素地仕上。天井：軽量鉄骨ラスボード下地プラスター塗ペンキ仕上。

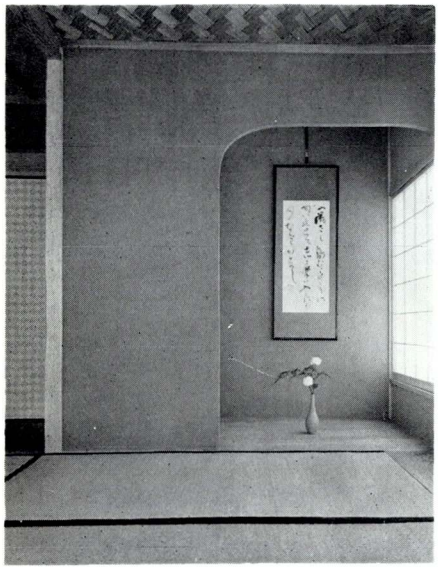
大　食　堂；床：栓フローリング。巾木：栓素地仕上。壁：リソイド掻き落し。柱：内地産桧特製ベニヤ張り素地仕上。天井：桧小節板押様付打上げ素地仕上。梁型：柱に同じ。

和風客室；床：踏込ゴムタイル，前室，松ベニヤ地板及タタミ，客室，タタミ。広縁：桧縁甲板張。壁：じゅらく壁。天井：杉柾竿縁天井，前室及広縁杉柾ベニヤ底目貼。柱：栂及杉面皮柱。内法材：杉柾。

浴　　室；床：モザイクタイル貼り，一部桧板簀ノ子。腰：25角タイル貼。壁及天井：桧小節板張り。

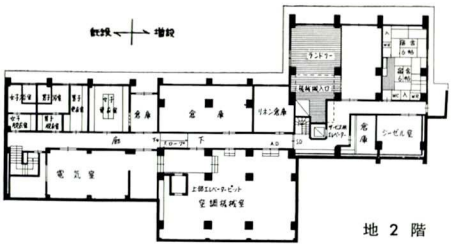
洋風客室；床：絨氈敷き。巾木：栓素地仕上。壁：ゾラコート（スィートルームのみクロス貼り）。天井：プラスターボードの上布地貼り。ワードローブ建具等木部はすべて栓特製ベニヤ素地仕上。

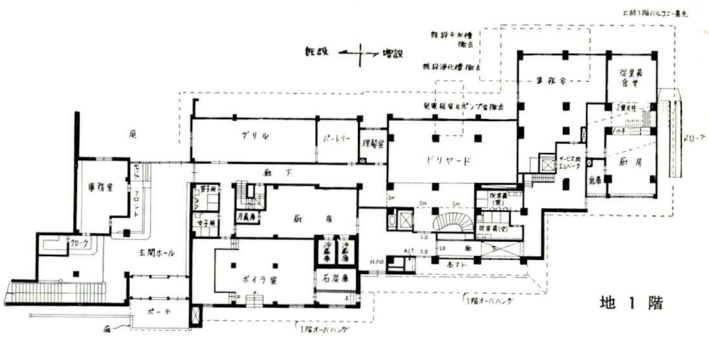
スキヤキルーム（和室）の一部



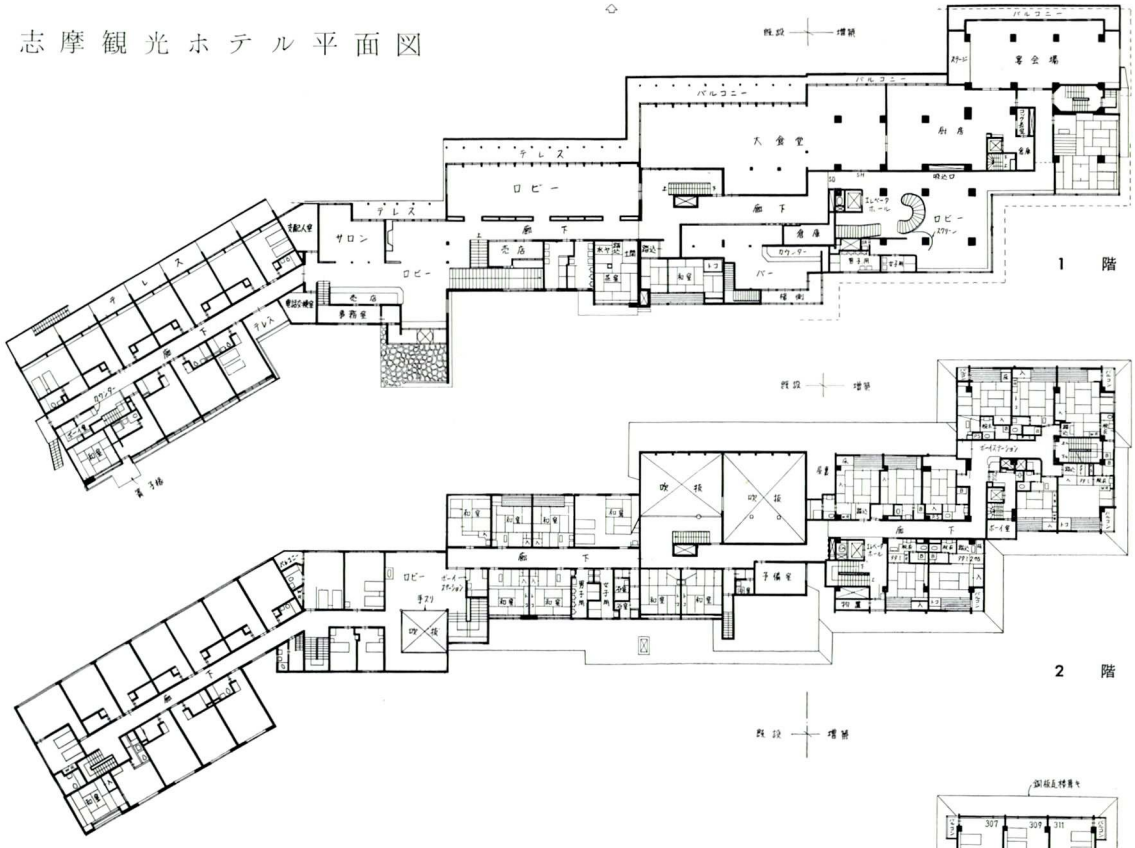
洋　風　客　室







志摩観光ホテル平面図

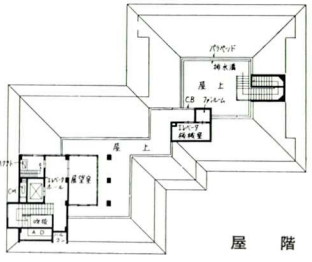




用途別面積表（m²）

	床面積	宿泊部分	客室数	収容人員	パブリックスペース	管理関係部分	料理関係部分	機械関係部分
塔屋3階	10.8							10.8
塔屋2階	89.3							89.3
塔屋1階	78.3				60.6			17.7
5 階	495.2	469.6	10	18		25.6		
4 階	〃	〃	10	18		〃		
3 階	〃	〃	11	20		〃		
2 階	1,690.0	1,504.4	33	76	123.4	62.2		
1 階	2,163.3	415.2	11	23	1,536.0	67.4	144.7	
地1階	1,131.0				468.0	388.3	150.9	123.8
地2階	681.8					332.8		349.0
計	7,330.1	3,328.4	75	155	2,188.0	927.5	295.6	590.6
%	100.0	45.4			29.9	12.6	4.0	8.1

1客室当り延面積≒68m²





観光ホテル

ホテル・パシフィック

設計監理	渡辺建築事務所
施工	KK戸田組
位置	和歌山県白浜町
構造規模	RC地下1階 地上2階 宿泊部分4階
延面積	6,930m²
工期	昭和35年8月～36年3月

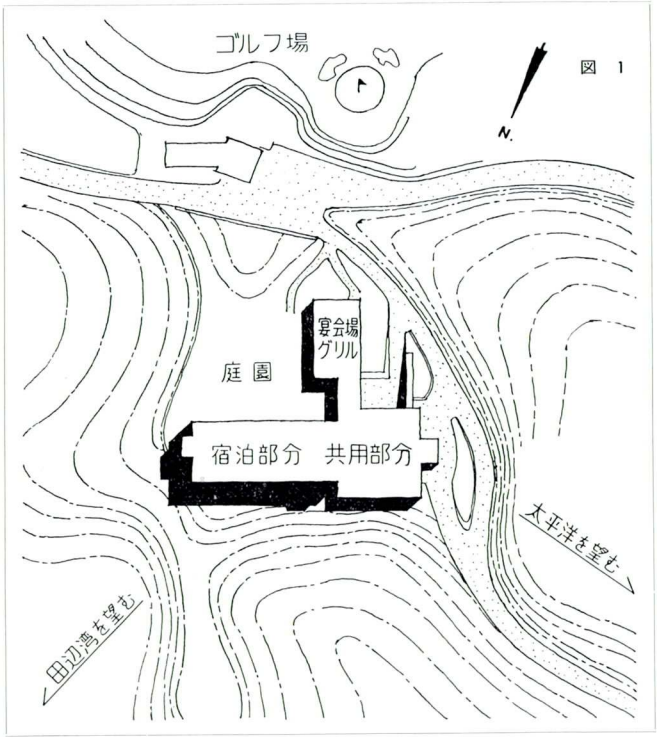


図 1



ホテル パシフィックについて

渡辺建築事務所

ロケーション

かねて計画されていた南紀観光開発の一環として，白浜にホテルを建てるという施主の考えが決り，現地を見に行ったのは着工の10カ月程前だった。現地の平草原の一画は，まことに素晴しい眺めを持つ場所で，また外部からの景観も大事であった。早朝の白良々浜からの遠望，午後のドライブウエーや，ゴルフ場からの姿を想像してみた。

ただ室内からの眺望は大変大事なことなのだが，残念ながら現地に立っての想像は，敷地が未整地であり，樹木が邪魔して，とくに高さの関係はこれこそ文字通り想像であった。

ロケーションの条件としては，

建物は四方から眺められること，また内部からは東北西の三方の景観がよいこと，できればパノラミックにみることができれば素晴しい。

西および南は道路で，東および北は急斜面で画された敷地は北下りの斜面で，海は北側にあること，および南はドライブウエーを挟んでゴルフ場に繋ること。

白浜町からホテル専用ドライブウエーを計画中でこれに合せること。

隣接白浜ゴルフ場との密接な連繋，等々である。

内　容

国際観光ホテル整備法に基くホテルとすること，および現地の立地条件を充分生かす。

規模は室数100室位としたいが，手固く70位とする。

外人客誘致が現実的に難しい（白浜年間観光客の内，外人客は数%もない）ので，経営方針としても日本人客が主体となる。

客層は観光客（家族連れおよび小人数の団体）およびゴルフ客となる。

温泉地であるから温泉大浴場はぜひ欲しい。

宴会場，娯楽場もかなりないと以上の点から困る。

プランニング

以上の点から次の方針とした。

T型ブロック案とし，宿泊関係ブロック，共用ブロックおよび宴会場，グリルブロック，という割である。この交点に主階段，エレベーター（将来設置）フロアーステーションその他サービス関係のものを置く。（図1）

これは主に動線の混乱をさけること，宿泊部分を他よりの騒音から離すということの他に，眺望および四周からみられるということによった。つまり裏表のない建物とすることで，マッスの異るブロックの組合せによるスカイラインも考えた。また北面の自然の借景に対し，南面は造園してできるだけグリーンでゴルフ場と繋がること，そのためにも東側道路と庭を遮断するブロックを置くという考えもあった。

縦割としては，宿泊部分4階，共用

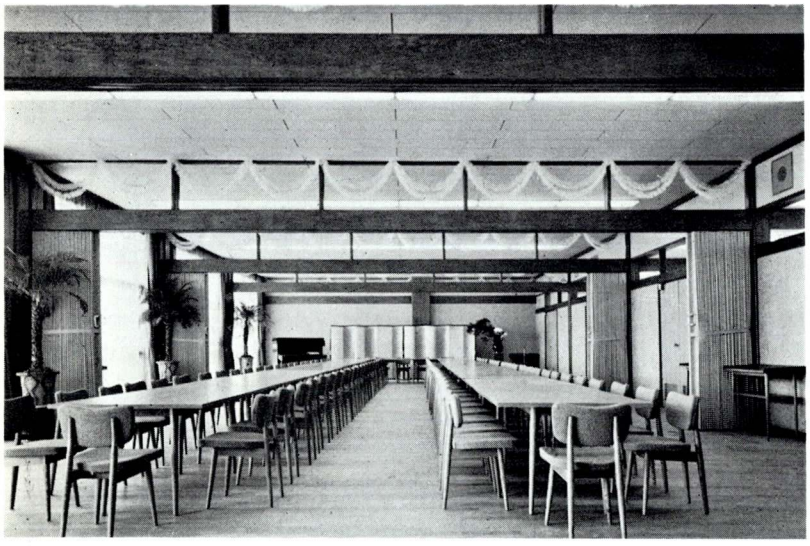
ホテル・パシフィック

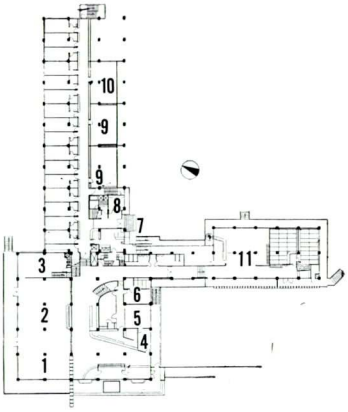


フロント

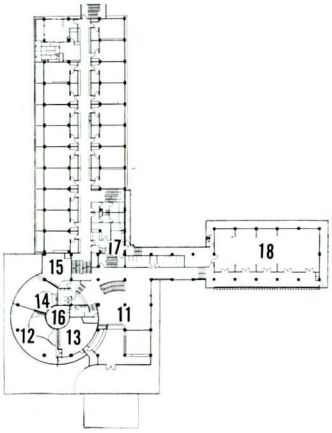


上：談話室　　下：大集会室





1 階



2 階



3・4階

1. 談話室
2. 食堂
3. パントリー
4. マネジャー
5. 事務室
6. 交換室
7. ゴルファー入口
8. ロッカールーム
9. 娯楽室
10. 倉庫
11. グリルルーム
12. 男子浴室
13. 男子脱衣室
14. 女子浴室
15. 女子脱衣室
16. ライトコート
17. 配膳室
18. 大ホール

部分を地下1階，地上2階，宴会場，グリルブロックも同様としたが，階高の差の利用と，宿泊部分が4階もあって，エレベーターを設置しなくても使えるということ，および計画道路の関係で玄関の位置および高さが決ってくるので，これには大分難儀させられた。（もっとも一部道路は変更してもらった。）すなわち玄関ホールから各階客室に至る，また客室からパブリックスペースに至る高低差をなるべく少くしようというのである（図2）。水平距離はかなりあっても，観光客には，場合によってはかえって楽しいものであるが，階段の上下は困るのである。いまひとつの理由は一般ホテルにはない大温泉浴場と，和室の扱いである。大体施主側にも考えが二つに割れていた。

あくまで一流国際観光ホテルとして品格を保つ上からは浴衣がけで歩くのは，もってのほか。

現実的に温泉地旅館の開放的な浴衣がけで，座敷で飯を喰い，温泉につかり，ブラブラ土産ものでものぞくこともできなくては客が寄りつきにくい。

二つを一つに盛るのは難しいが，何とか大した混乱なく纏める案として，

和洋室を階別に置く。これはサービスがちがうから当然かも知れないが，1，2階を洋室として，これとロビー，食堂が繋る。2，3階を和室として，これに大浴場，娯楽室が繋る。宴会場は大浴場，娯楽室のフロアーに繋る。（当初，宴会場は畳敷の予定であった。）各々を階段で遮断しながら連絡する。ということになり，始めは一階に置いた大浴場を2階に持ち上げて所謂スカイバスとしたことである。

各　室

客室については階別に和洋室をおいたため，間口寸法，柱間の決定に弱った。すなわち和室には小さく，洋室には広すぎるということである。また和室の場合の次の間の利用法も何とかちがった方法を考えたかったが，スペースの余裕がなかった。

客室廊下の扱いは，もっと変化をつけたかったが，管理面からの強い要望で直線とし，内法も最小限の1m80であるので，中一杯にじゅうたんのランナーを敷いた。

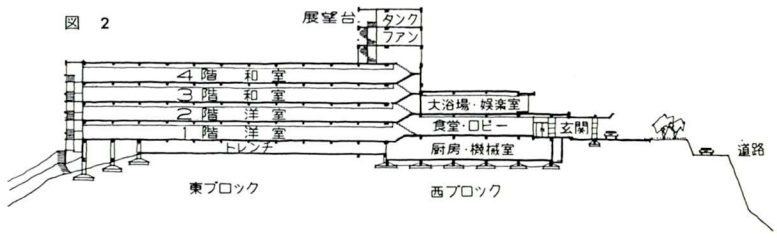
またパイプスペースを総て廊下側にとり，パイプの点検取替ができるようにした。これは温泉地の水道はやはりスケールが着くこと，また給湯の場合は，適当な時期に配管替をする以外いまのところ方法がない，という結論であったためである。（温泉はアルカリ泉である。）このため廊下の壁の大半はパネル式となっている。

ロウンヂは憩いの場であり，特にリゾートホテルではかなりのスペースをさきたかったが，当初よりは大分圧縮されたものとなった。また現地は一泊程度の客が多く，大阪方面からの急行が日に数本程度で，（将来は増える）客が間断なくくるとか，また帰るということがない。この意味では時間待ちにも利用されるということも考慮し



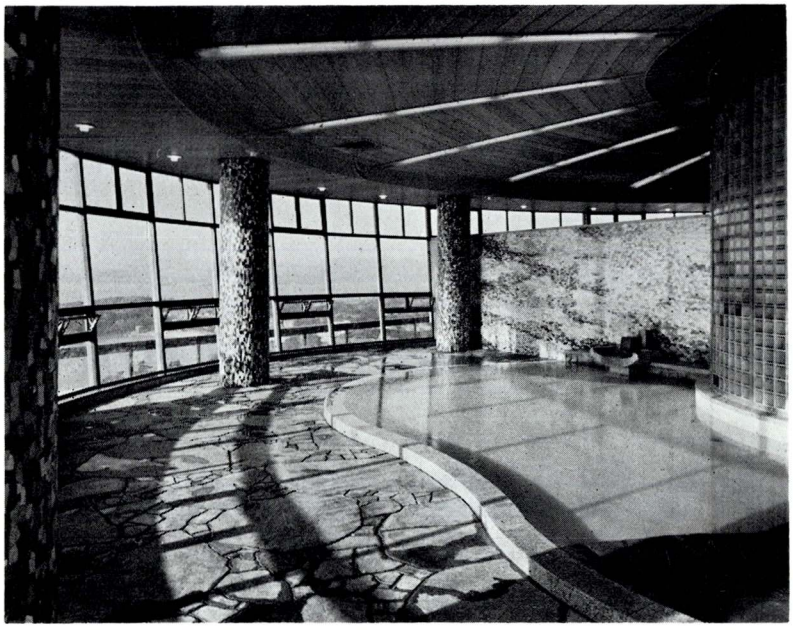
グリルの一部

図　2





客　室



大　浴　場

た。

食堂は独立させたかったが，スペースとして整備法ぎりぎりの広さなので，ロウンヂと一体とし，花台で仕切る程度のものとし，相互に融通をつけるということにした。

この点はいささか心配であったが，現実は大して支障なさそうである。

グリルは趣をかえて，すし，天ぷら，和食一品ということになり，また中庭に面して気易く入れるようにし，すきやきの小宴会場も附した。（近い将来中庭にプールを設けプールサイドで飲みものなどをサービスする予定）

宴会場は当初畳敷の予定を変更して，椅子式としたため多少不工合な面もできたが，150名位の集会はできる。

大浴場は最も特徴あるところで，ロビー，食堂の上の2階にあり，円形ガラス張りとし，田辺湾を見下せる位置にある。防水にはとくに注意し，すべて鉛板防水とした。

娯楽室，バーなどは大浴場に接し，浴衣がけでも差支えないようにした。

設備関係

レゾートホテルとしてはかなり贅沢な設備をもち，各客室はクライメーターによる空気調整をしている。大浴場および6カ所の家族風呂には温泉をポンプアップしてあり，また大部分の客室はバス付で，もっともこの方は給湯している。

厨房設備も一般ホテルに比し随分広い面積をとってある。すなわち和洋両食を給することで無駄な面もある。

その他洗濯設備も高圧ボイラーを設置し，自家発電設備など一応完備している。

そ　の　他

現地は，とくに季節により風当りの強いところで，海岸近くは無風の状態でも山の上はかなり風がある。工事中も大分難儀した。ことに外部の吹付け仕事などは手がつけられない有様で，施工者の苦労はなみなみならぬものだった。サッシュ，硝子などは一応風速60mと予定したが，各客室のテラスに置く椅子が吹飛んで硝子を割ることがないようにと色々頭を悩ました。結局パイプ製の骨にサランの張物を着脱式にするということにした。また客室からの眺望で丁度水平線に当る処にテラスの厚みのある手摺が邪魔して小言を喰ったが，風当りも強いし用心に越したことはないと思っている。もっとも手摺前に花台をしつらえてあるが，花鉢の数だけでも大変で，とても維持管理できないとのことで恐縮している。さらにサービス関係の動線の末端同志の連絡がなくて，従業員の臨機のやりくりの時に困るということや，客の動線をいささか明確にやりすぎて，変化やうるおいに欠けたと自省させられる点もある。ソロバン片手の経営者と話合っている中に，すぐ面積とか金額の話に引張られそうで，ある見学に行ったホテルのマネージャーのごときは，「玄関なんてどっち向いてたってかまわんです。要は食物とサービスですよ」と極論する有様でまことに嘆かわしいことであったが，幸い竣功してから感謝されたのは関係者一同の喜びである。

終りに各部分の百分比は大体次のとおりとなっている。

客室部分	50%
共用部分	26%
管理部分	24%

（従業員宿舎は別棟となっていて含まない。）

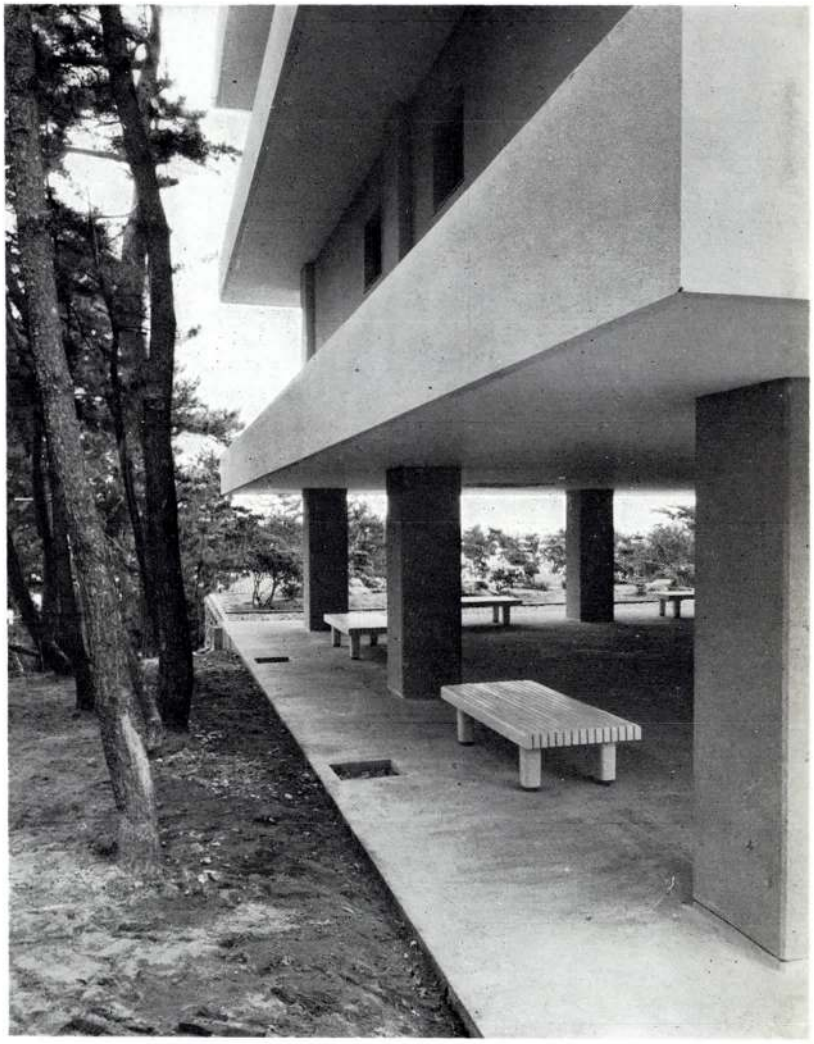
官公庁
厚生施設

観潮荘
鳴門逓信保養所

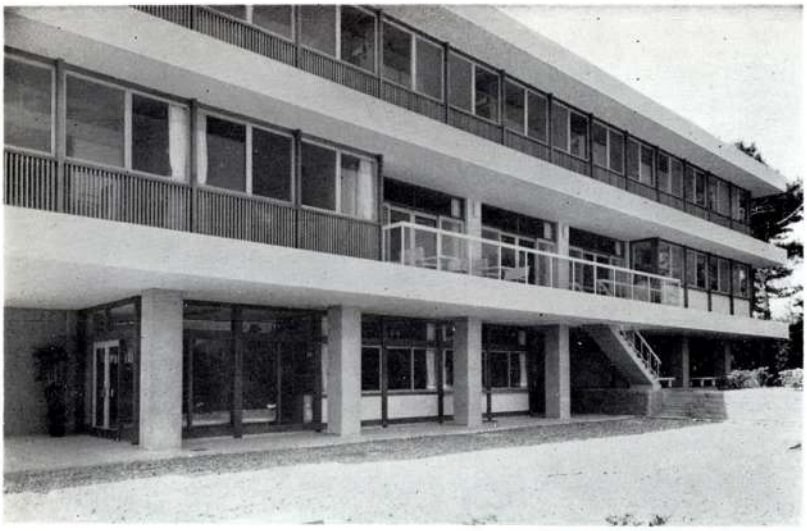


1. 左側道路より前庭（枯山水様式の河原）と本館を望む

2. 背面築庭よりピロテイならびに前庭の一部を望む



設計・施工監理	松山郵政局建築部
施工・建　築	株式会社 岡田組
施工・電気設備	三和電気土木徳島出張所
施工・衛生設備	株式会社 徳寿工業
位　置	鳴門市岡崎海岸
規　模	敷地 5,812.81m²
	建築延 1,004.26m²
構　造	鉄筋コンクリート造3階建（塔屋付）
工　期	昭和36年5月25日竣功
仕　上	外部1階柱，擬石小叩仕上，外壁モザイクタイル張り，軒天フレキシブル板ペンキ仕上，舗床人造石研出，ピロテイ部分床，小砂利洗出，窓枠その他木造（ラワン材）オイルステン仕上建具，桧柾材透明カシュー仕上階上（2・3階，塔屋）柱，外壁ともにエマルリシン吹付け，庇，防水モルタル小砂利敷，窓枠，建具ともに1階同様木造



前庭より本館の一部をみる



集会室兼食堂室よりバルコニーならびに前庭の一部をみる



集会室兼食堂　床：ビニール系タイル，壁：ラワン材羽目張クリヤラッカ，天井：銀もみ貼

観　潮　荘

（鳴門逓信保養所）

この建物は，郵政職員やその家族の憩の場所として建てられたもので，全国に30数カ所ある建築のうち，唯一の鉄筋構造のものである。

従来こうした目的の建物は，部屋の構成でもわかるように，大部分が宿泊兼休憩室を主体としたものであり，必然的に肩のこらない和室が必要とされていることおよび敷地をある程度自由に取ることができることによって，古くから木造方式が採用されていた。

今回この型を破って鉄筋構造を採用したことは，この地が台風コースにあたるという立地条件を考慮したからである。

このような条件と使用目的とをあわせ考えて，できるだけ鉄筋なるが故の「かたさ」をとることに努めるとともに，夏期における水浴客の利用にも，ある程度配慮したつもりである。

特に，窓枠，建具を木造にしたことは，この「かたさ」を考えるとともに，潮風による金物の塩害を防ぐことを目的とし，庇はできるだけ深目にして，木部の保護につとめた。

以上のような条件と配慮により建てられたこの建物は，白砂青松のロングビーチともいうべき，小鳴門海峡を経て，黒潮うずまく鳴門海峡を指呼の間に展望し得る丘陵の中腹にあり，この景観をバックに持つ建物のありかたとして，特に拡大なる構内の処理は，あくまで自然とともにありたいものである。当初この敷地は段々畑であったが，これを2段地に切り替え，芝付けしたスロープと枯山水様式による河原の作庭も，こうした考えの上での意図にほかならない。

なお，この構内には，徳島市を一望におさめる丘陵があり，この処理とともに右に続く松林もじゅうぶん利用価値があるので，これらの計画は今後に待つことにしたい。

観　潮　荘

（鳴門逓信保養所）



裏庭の一部



3階階段室より廊下をみる

床：ビニール系タイル
壁：ラワン材羽目張
　　クリヤラッカー
天井：杉柾（長尺もの）
　　目透張り



宿泊室（くろしお）

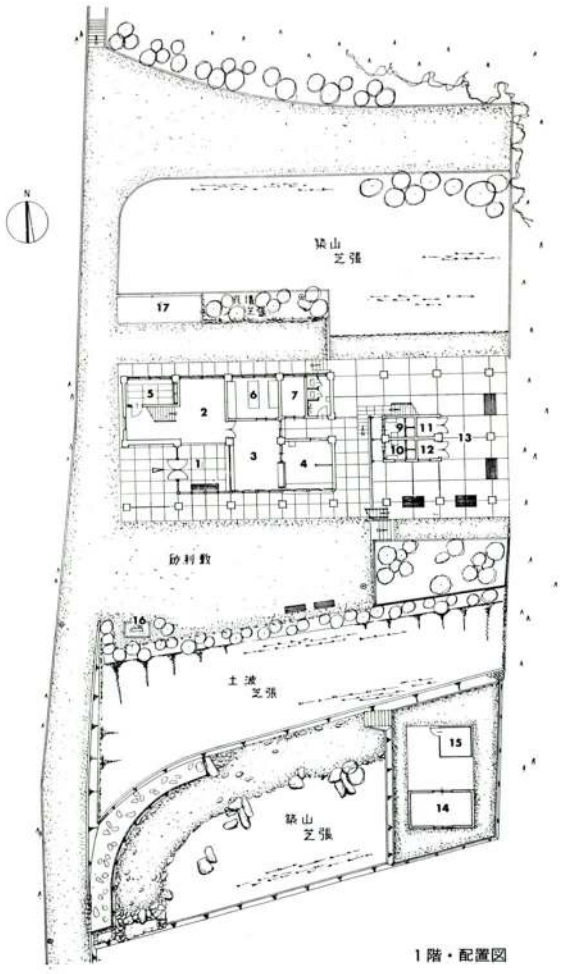
壁：錆色じゅらく
天井：舟底杉柾
床柱：北山天然

配置・1階平面

1. 玄関
2. ホール
3. 事務室
4. ロッカー室
5. 下足室
6. 倉庫
7. 新炭庫
8. 便所
9. 女子シャワー室
10. 男子シャワー室
11. プロパン瓦斯室
12. ポンプ室
13. ピロティー
14. 変電所
15. ポンプ室
16. 所名標識
17. 浄化槽

2階平面

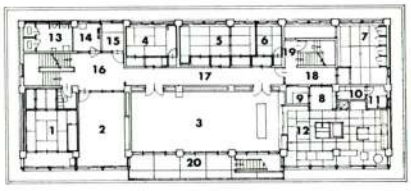
1. 宿泊室（眉山）
2. 談話室
3. 会議室兼食堂
4. 娯楽室
5. 所長室
6. 用務員室
7. 保健員室
8. 厨房前室
9. 食品庫
10. 脱衣室
11. 浴室
12. 厨房
13. 便所
14. 洗面所
15. 物置
16. 階段ホール
17. 廊下
18. 廊下
19. 階段室
20. ベランダー



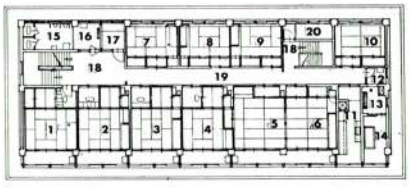
1階・配置図

3階平面

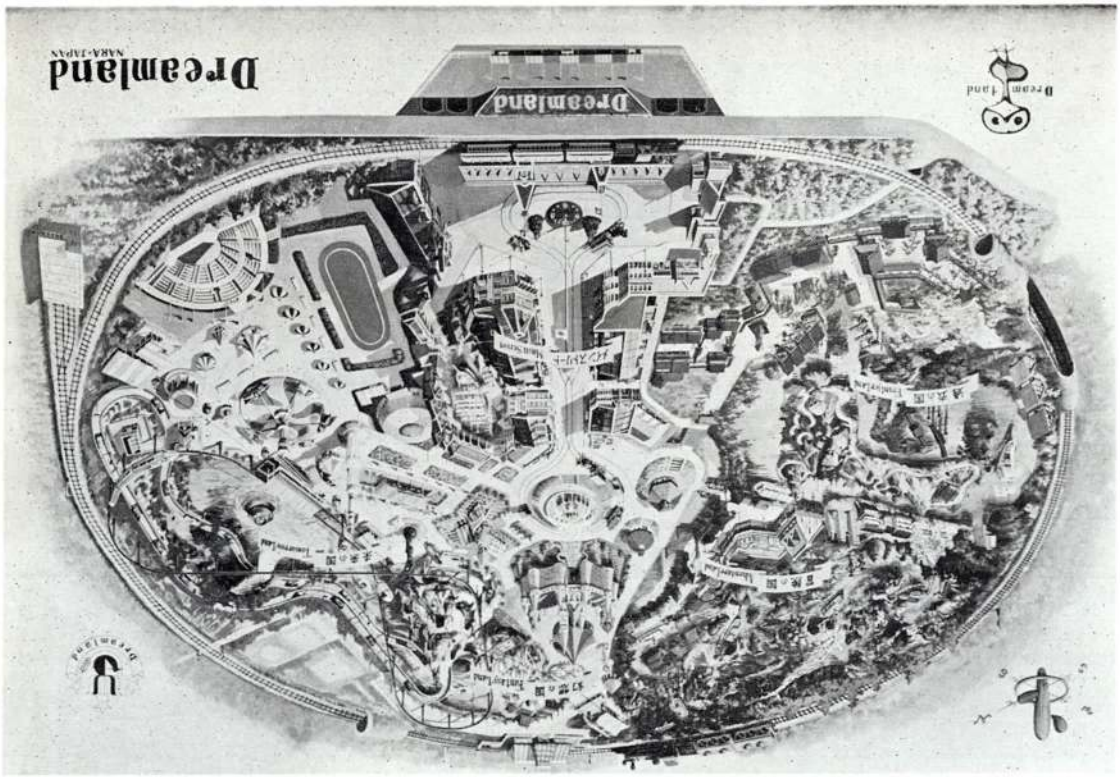
1. 宿泊室（なぎさ）
2. 同（さざなみ）
3. 同（うずしお）
4. 同（くろしお）
5. 同（羽衣）
6. 同（若松）
7. 同（春風）
8. 同（涼風）
9. 同（松風）
10. 厨房員室
11. 配膳室
12. 洗面所
13. 脱衣室
14. 浴室
15. 便所
16. 洗面所
17. 物置
18. 階段ホール
18. 廊下
20. 納戸



2階



3階



遊　園　地

ドリームランド（奈　良）

上：鳥瞰図　下：中央広場



お わ び

116頁のドリームランドの鳥瞰図は
反対に印刷されています。
謹しんでおわび申し上げます。

遊　園　地　ド　リ　ー　ム　ラ　ン　ド

奈良に開場したドリームランドをみられてまず最初に気ずくことは，その規模がひじょうに大型化されたこと，それにともなって園内の各建造物，遊園施設が数多く，また美しく豪華になり，在来の遊園地と異なって，遊園そのものがひじょうによく企画されてきているということもあげることができよう。それゆえに全体計画，ブロックプラン，色彩計画などの上で，いままでにない統一がみられるのは，むしろ当然の結果だといってもよいでしょう。

ちなみに概略の規模を記すと，

敷地面積	322,500平方米
駐車場面積	35,000平方米
建築物延面積	18,000平方米
舗装面積	45,000平方米
池容積	65,000立方米
外周列車周長	2,000米
工期　整地着工	昭和35年5月
建築物着工	昭和35年11月
竣工	昭和36年6月末日
工費	約40億円

ただし整地，土木，建築工事，電気，給排水設備工事，造園，照明設備，家具，遊戯施設，乗物を含む。

土木建築関係者　清水建設KK　矢島建設KK　KK乃村工芸社　ブルドーザ工事KK

以上のごとく，その規模の大きさがいかに大きくかついかに短期日に造りあげたかをうかがいしることができよう。

全体計画の上ではアメリカのディズニーランドにみられるのと同じように，ブロックをメインストリート，未来の国，お伽の国，過去の国そして冒険の国の五つのランドにわけたこと，そしてその五つのランドをスムーズに連絡するように園内のほぼ中央部に噴水と，その周囲に食堂を配し，そこを中央広場として各ランドを配置したことをまずあげなければならない。

その結果は，各ランドへの道線がひじょうにスムーズになり，中央広場で入場者が各自好みに応じて遊園の順序を選択することができ，また中央に帰れば休息するための食堂，喫茶各店が周囲をかこみ，そこで休憩しそしてまた別のランドへと行くことができる，いわば中央集中の企画こそ今回ドリームランドの最大の特色だといえるでしょう。

そこで，このドリームランドをさらに詳しく紹介するにあたって，この企画を建築，遊園械機施設，造園そして色彩の四つの観点に大別して，おのおの担当された方に説明していただき，この遊園地の構成なり性格なりをしっていただこうと思います。

(1)　園内の建造物

正面入口を入り，まず強い印象を与えるのは外国列車ステーションをかこむ駅前広場に建ちならんだ建物，そして中世紀の城を正面にみながら街路を構成するメインストリートの建物であろう。これらメインストリートに建つ建物は，色彩を豊富にして遊園地としての楽しさをもっともよく表現できるものとして，アメリカの19世紀ころのスタイルを単純化して採用している。とくにメインストリートは一棟が2間から3間の間口で構成し，その町並が自然発生的にできてきたように，ごく自然にみせるように考慮されている。

メインストリートを右におれると帆船の浮ぶ港町にでる。そこへでると建物の高さも3階建と一段と高くなり，またレンガと石とで構成されていてメインストリートとはぜんぜん雰囲気の違った町，すなわち18世紀の北欧の港町として眼前に展開する。実際のものが5～6階もあるに対して，3階でもってしかも階高も低くして同じような効果をだすように構成しているので，全体にそれぞれのプロポーションは大部くずしている。効果を第一に重点を置いたために全体としてひじょうにこじんまりとまとまった町になったように思われる。

これらの建物は主として売店，喫茶店としてまたその後方部分は，事務関係の諸室に使用されている。また港町は主として外観のみみせるために造られ，いわば書き割りのようになっている。

次に特筆しなければならないのは，乃村工芸社で担当していただいた過去の国の中にある日本町である。そこは江戸末期の武家屋敷，黒門，土蔵，火の見櫓，その他



メインストリート・パブリックホール

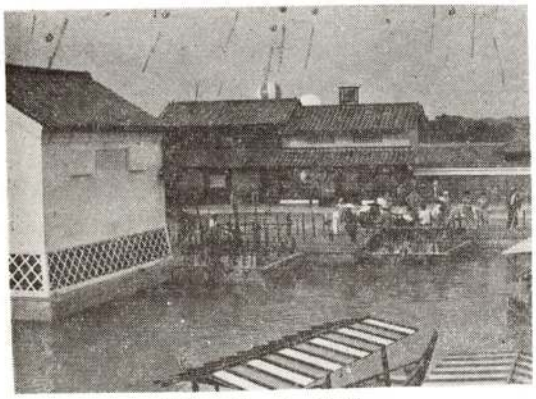
の建物で構成されている。これらの建物も全体に実物より大部縮小されているので視覚的な調子にもっぱら重点がおかれている。

それでもやはり縮小されているためにメインストリートにしろ港町にしろ，この日本町にしろセットのような感じをいだかせるのはいたしかたないことであろう。

以上アメリカ，北欧，そして日本の過去を表現したことによって，狭いながらにも一応世界の古い町に入園者を案内している。そして大人には古い時代の想い出として，また子供達にはある程度であるにしろ，古い時代の様式を遊びながらに，朧げにでも認識させようとするところに，このドリームランドの企画上のひとつの目的であったように思われる。

その他おとぎの国に建つ中世紀西洋の城，竜宮城，中央広場に建つ各食堂，冒険の国に建つ種々の建物も，それぞれに各ランドの雰囲気をかもしだすのに役立っている。

（村野森建築事務所 **保科幸一** 記）



過去の国　日本町

(2) 遊園遊戯施設

園内の数多い機械施設を大別すると，園内を見物して回る遊園施設と遊戯施設とにわけることができよう。

まず遊園施設から紹介すると，第一に外周2粁を走る外周列車である。これはモデルを輸入第1号列車と明治13年北海道の幌内鉄道を走った弁慶号とにとった2台が走っている。いずれも現寸大の大きさでしかも速度が当時のままの速度を採用しているところに興味がある。当時をしる人々には大変なつかしいことだろう。

次にメインストリートでは軌道馬車，ダブルデッカー，ステーションワゴン，消防車が走っている。いずれもふだん乗ったことのないものばかりなのも楽しみを倍加してくれる。とくにダブルデッカーには客が2階にしか乗っていないのに興味あることと思う。

過去の国では池を巡航する外輪船と帆船おしょう丸，おとぎの国では亀の子ボートで，冒険の国ではジャングル巡航船で探険旅行に，それぞれのランドのムードに調和した乗物で，園内を見物させてくれる。



冒険の国

また未来の国ではモノレールとスカイウェーでいずれも上から園内を一望にみせてくれます。このようにほとんどすべてのランドが乗物で見物して回れるように企画されていて，これこそ在来の遊園地にはなかったひとつの大きな特徴といえるでしょう。

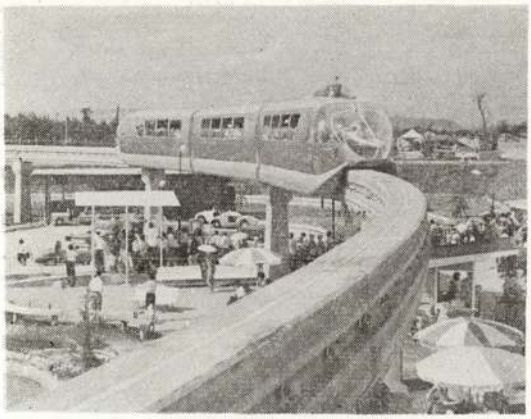
次に遊戯施設を紹介してみよう。遊戯施設はほとんどが未来の国とおとぎの国に集っている。

未来の国には世界最初といわれるホーバークラフトを始めフリーウェイを走る自動車，マッターホルンをモデルにした高さ45米の山からかけ降りるボブスレー，その他アストロジェット，ループザループ，ローター，おとぎの国にある回転木馬，カップランドなどすべてが子供達を楽しませずにはおかない。これら各種の遊園遊戯施設の中でとくに記さなくてはならないものとして，ホーバークラフト，モノレール，そしてジャングル地帯特殊装置をあげることができる。

ホーバークラフトはエアーカーとも呼ばれるように，プロペラによって吹き下したエアーの圧力を利用して空中に浮上するもので，目下アメリカ，イギリスなどでは軍事用として使用するために実験中であるが，ドリームランドではそれらに先駆けて世界最初の実用車として使用を可能にしたものである。ホーバークラフトの機構は，

最大直径	5.000m
全高	1.850m
定員	6名
機関	コンテイネンタル　0—300航空エンジン
最大出力	145P/2,700r.p.m.
全備重量	690kg
最大浮上高	0.25m
巡航速度	20km/H
登坂力	1/25

以上で，ホーバークラフトの機構上，円型を基準とし



未来の国　モノレール

てとくに軽量であることや，水上に浮ぶことを考慮して，アルミニウム材を主材として使用し，遊園地用として使用するためとくに展望ということを重視して床上全窓とし，窓はすべてアクリライト材を使用した。（製作大阪アルミ株式会社）

モノレールはドイツ ALWEG 社の騎乗型モノレールに範をとり，これと全く異なった方式によるモノレールで，すべてが純国産である。騎乗型モノレールとしては日本ではもちろん最初のもので，世界でも2番目のものである。

モノレールの機構は，

全　長	31.000m（3輌永久連結）
全　巾	2.300m
全　高	3.400m
定　員	88名
電　圧	D.C. 220V

以上で，デザインの上ではとくに運転室を上部に置き，最前端，最後端を展望室とし，透明アクリライトを使用して展望窓部の範囲を製作可能の最大限まで広め，前端部，後端部とともに同一の流線型曲線でまとめあげた。外装はステンレススチールを主材とし，窓部はすべて透明アクリライトを使用し，空中を走るモノレールに軽快さをもたせた。内装は清潔で爽快な感じをもたせるため，天井部はアルミニウム材を，壁面にはデコラ材を張り，床にはロンリウムを使用した。座席シートは住江織物から特別に織らせたものである。座席の高さや傾斜についても留意して実験を行ない，その結果割出したものである。（製作東京芝浦電気株式会社）

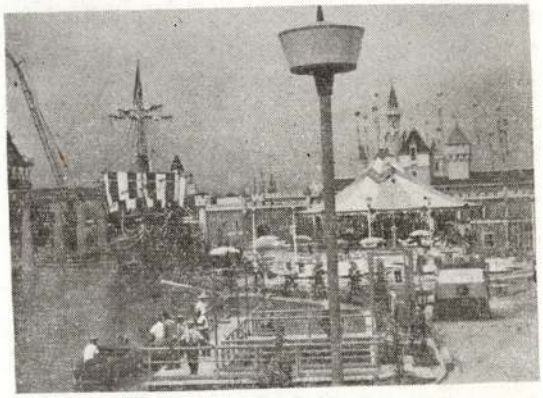
ジャングル地帯は船で世界各地のジャングルを探険するのであるが，襲いかかる数々の猛獣や踊りくるう土人の部落はすべて模造であるが，化学的な材料を使って実物そのままを現わしたものであり，複雑極まる機械機構を駆使して，二度三度襲いかかるもの，河の中から浮きあがるもの，踊りくるう土人の群などの装置を作りだし，探険する幾隻もの船の進行にともなって，出没する猛獣や土人達は光電管装置によってシンクロナイズされ，複雑な動作と音響発生装置を一致させ，すべて船の進行にタイミングを合わせるようになっている。

（株式会社ドリームランド技術部　関　邦之扶記）

（製作　動力関係　株式会社　乃村工芸社
　　音響関係　日本コロンビア株式会社）

(3) 造園計画

造園工事設計にあたっては場内をメインストリート建物関係および舗装地区，未来の国，おとぎの国，冒険の国，過去の国とに区分し，場外を正面道路および付近外周回り一帯とに区分してそれぞれ地区の特徴ある諸施設と相まって，許される限りの特異な景観を現出するように努めました。植栽した樹種は喬木，亜熱帯樹類合わせて約70種余，灌木類45種，蔓物，地被類14種とし，喬木，亜熱帯樹類約5,500本，灌木類24,400本（株），蔓物地被類12,500株，仙人掌類180本（株），その他花卉類などの植栽を施行いたしました。



おとぎの国

次に各地区ごとにその概要を述べますと，メインストリート関係地区は，各特殊建物に対する調和を保つため，概して整形的樹木を配植し，常に新鮮かつすっきりとした感じを保たしめるように，芝生花壇に重点を置くことにいたしました。植栽樹木の主なものは，花アカシヤ，カロリナポプラ，ヒマラヤシーダー，モクマオー，ユーカリ，銀杏，楠，枝垂柳，ユッカ，ドラセナ，玉伊吹，サツキ，ツツジ，その他花物を配植，未来の国，おとぎの国は，モノレール，フリーウェイ，スカイライン，ポップスレー，カップランドその他によって構成される流線的かつ立体的な景観地帯としての要素を生かすために，ヒマラヤシーダーを主体として，栂，泰山木，コブシ，モクレン，メタセコイヤ，ホーキポプラその他を植栽し，また蘇鉄単植の中島地帯を作り，フリーウェイのコースを取巻き，サツサ，キリシマツツジ，ヒラドツツジなどの帯状，ラッパ状の密植地帯を取設けて，流線型を表現し，椿，山茶花，山吹，雪柳，クチナシ，ボ

ケ，レンギョウ，アジサイ，コデマリなどの花物を植栽いたしました。

冒険の国は東南アジア，中南米，アフリカなど各熱帯地区の動植物の配置によるジャングルの景観を表現するため，亜熱帯植物およびそれにかわる植物を主体とし，サボテン地区を取設けまた喬木とサボテン類の擬木をも配列して，ジャングル地帯の構成に努力いたしました。

亜熱帯樹としてワシントンヤシ，カナリーヤシ，ビロウヤシ，ココスヤシを主体とし，芭蕉，ドラセナ，唐棕梠，和棕梠，蘇鉄，ユッカ，デイコ，カミヤツデ，モクマオー，ダチユラ，ガジュマル，ブーゲンベリア，その他各種類の樹木を集植し，一部を孟宗竹林とし，中南米地帯には柱サボテン類，扇サボテン類の大小を群植いたしました。このジャングルの構成にあたっては動物，植物，造園，岩石，人類聚落などの各専門学者の方々よりなる委員会を構成し，充分な調査研究を重ねて完成したものであります。

過去の国は日本と西欧に区分され，日本町にはアイヌ部落も含めて黒松，桜，樅，シラカバ，楠，椎樫，その他と西欧側にヒマラヤシーダー，貝塚伊吹，メタセコイヤ，ユーカリ，アカメチャンチン，花アカシヤ，コウヨウゲンなどを植栽して，日本町，アイヌ部落，西欧の城などにそれぞれ適応させました。

外国回り一帯およびその付近は軌道線を中心として，その外側は周辺の植物景観に調和させて風致地区の生命を失なわないようにしました。正面道路は中央にグリーンベルトを設置，花壇を取設け，フラワーボックスを配置して美観をそえることとし，歩道側はホーキポプラの大木並木とし，店舗付近はヒマラヤシーダ，ドラセーナを主体とし緑地帯を取設けることにしました。

ちなみに本工事に使用した樹木類その他は前記の通りですが，植栽時期のときに悪い樹木もあり，造園工事としては前例のないほどの突貫工事を強行いたしましたので完成後の現在手直しまたは補植を要する箇所も多く，土質改良もまた重大な仕事のひとつであり，こんごの活着生育には一段の努力を要することはもちろん，亜熱帯樹サボテンなどの越冬問題にもまた研究工夫するべき点が多いのであります。

（株式会社ドリームランド技術部 **木原五郎** 記）

(4) 色彩計画

ドリームランドが従来の遊園地と違う点は，たんに乗り物や遊戯運動具に乗って遊ぶだけでなく，同時に目を楽しませ，雰囲気を味あわせるところにある。メーンストリート，港街，中世の城，おとぎの国，未来の国，過去の国，冒険の国というように各地域それぞれ独得のムードを盛り上げ，実際そういう国に旅行しているような実感を与えると同時に，全体が夢の国として，現実の世界にはない美しいハーモニーを創りあげることなので，それは当然色彩計画の領域に入るものである。

当研究所は1959年から継続して，欧米に研究員を派遣して色彩環境調査を行なっているが，いずれの国のいずれの都市もそれぞれ独自の色彩をもっているのにくらべて，わが国の都市がいかに色彩貧困であるかを痛感していた。

アメリカのディズニーランドのごとき色彩の中で遊ぶ楽しさを日本の子供にも大人にも体験させる施設をもたさなければ，日本の都市はいつまでも美しくならないと考えていた。たまたまディズニーランドとどうようの企画のドリームランドの発足にあい，当所は欣然として参画し，全機能をあげて色彩設計監理を担当した次第である。

ここでは主たる建物はもちろん，看板，天幕，カーテン，街灯，ベンチ，屑籠，パラソル，各種乗物，遊戯具から従業員の服装にいたるまで，すべての色がこの巨大な色彩交響楽をかなでる要素なのである。すべての色が調和し，反映して色彩の世界を創りあげるように設計を進めた。

まず最初に使用する色の選定を行なった。たとえばメーン・ストリートに使用するアメリカ19世紀の東部の平和な田舎町を構成する色の種類，北欧の港街の重厚な色の種類，おとぎの国に使う玩具の世界の種類等々それぞれの色彩構成に必要な色彩を集めると1,000以上にのぼった。その中で共通の色，近似の色を整理して約500色をえた。さらにその中から互いに調和する色を選りだして最後に236色を残した。この236色をドリームランド・カラーと名ずけ，高彩度，中彩度，低彩度，無彩色に分類し，色相順に配列してD.C.1からD.C.236までの番号をつけた。

これらの236色の日本色彩研究所と関西ペイント株式会社の協力によってラッカー吹付けの色票として調整し，これを塗料メーカー，施工会社，機器メーカー，現場監督員などに配布し，設計伝達はすべてこの色彩番号をもってした。

個々の建築，機器などの色の記録についてはそれぞれ記入図面と配色カードとを併用し，将来修理塗替などの場合，もとの色彩設計がただちにわかるように整理保存することにした。

色彩設計は財団法人日本色彩研究所第二研究部長細野尚志と有限会社産業デザイン研究所大泉博一郎の協力により，色彩監理は佐々木高昭，大井義雄，今村照成，諸橋利明の諸君が担当した。

（財団法人 **日本色彩研究所** 記）

奈良県庁本館・奈良国立文化財研究所・奈良ホテル

はじめに

ここにあげる三つの建物は奈良公園内，もしくはこれに隣接した場所に建てられたもので，とくに環境との調和を考慮し，瓦葺屋根をあげた日本建築の外観をよそおったものである。もちろんこうした環境にもかかわらず，奈良国立博物館のように，純粋にルネサンス風な建物も造られてはいるが，明治20年代の後半頃からは欧米への心酔に対する反動として，国粋的な傾向が強まり，日本の古建築に対する関心も高まり始めるのであるから，奈良のような土地では，洋風式に生活する公共建築でも日本風な外装を施す風潮が高まり，ずっと最近まで公園内は勿論その隣接地でもそうした種類のものでなければ建築を許可しない当局の方針であった。こうした考慮は明治初期には全く払われなかったのであって，明治8年に興福寺境内食堂跡に建てられた寧楽学校（師範学校の前身）は図でみると2階建の洋風建築で，バルコニーのついたハイカラなものであった。明治25年起工，27年に竣功した奈良帝室博物館（現国立博物館本館）も前記のように純洋風建築であったが，明治27年に起工，28年に竣功した奈良県庁は設計者長野宇平治の記した「工事の来歴」によれば，「奈良公園の美観を害せざるため可及的日本風の趣味ある建築を起すの希望に従わざるべからず」とあり，当時の世論の動きを察することができる。明治33年起工，35年に竣功した奈良県下生産品陳列所（現奈良国立文化財研究所）は設計者が日本建築史の権威であった当時奈良県古社寺修理技師関野貞の設計だけあって，社寺建築の古典的な細部を至る所に活かし，全体の形を平等院鳳凰堂に擬した凝ったものであった。因みに古社寺保存法（現文化財保護法の発端）の施行されたのは明治30年であるから，すでにこの頃には日本古建築に対する研究もかなり進められていた頃で，その知識を大いに活用したのであった。

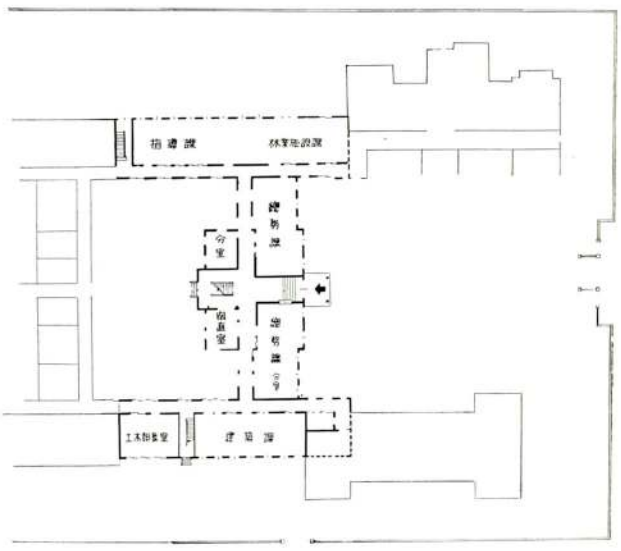
奈良ホテルはずっと下って明治42年に民間の経営で始められたものであるが，（中途から国鉄に身売りした）これも奈良公園から目に立つ丘上に建てられた関係もあり，外人観光客に対して，日本風なものを味わせる意図もあって，同様な傾向をたどったものである。しかし細部の日本建築としての洗練度においてはずっとおとるものである。

以上いずれも日本建築の外観をよそおうものではあるが，構造は洋風で，西洋小屋を用い，壁も大壁を主体とし，窓や戸口などの細部にも洋風をとり入れ，適当にこなされていることはもちろんであって，純粋な日本建築とは異なりその点では明治建築として，従来ここで取扱われているものと共通した基盤に立つものということができる。

奈良県庁本館

奈良市登大路町

大和国は最初独立県として設置されながら，間もなく堺県として現大阪府と合併され，再度奈良県として独立したのは明治20年である。最初は先に触れた寧楽学校を改造して庁舎にあてていたようであるが，明治27年に県会で予算を通し，その年から工事を始め，翌28年末に竣功したのである。幸に明治28年12月18日の奈良県報に県庁舎移転の記事あり，同24日の県報に竣功式に読み上げられた県庁舎新築工事報告がでていて，建設当初の事情を知ることができる。この報告書から摘記する



1. 奈良県庁旧本館平面図
単線で示したのは現在する主要な建築。



2. 奈良県庁旧本館　右端に見える妻は大正時代に増築した部分に属する。





3. 4. 奈良県庁旧本館正面大階段全景および詳細
この階段の横の室に立派な馬車がおかれていたと伝える。



5. 奈良県庁旧本館西南の大正時代の増築部
現在知事室などのあるブロックで，日本建築の細部がかなり生のまま用いられている。

と，

工事関係者

技師	杉　技師
工事監督者兼設計者	
雇工学士	長野宇平治
技手	橋本卯兵衛
雇員	片岡　謙吉
	桜井東一郎
	小島竹治郎
	横野　正範
工事費総額	23,102円9銭7厘
敷地	東西40間　南北120間
	約5000坪
本館（警察部収税部をも含む）	
総建坪	352坪
内2階建の部	232坪
平家建の部	120坪
総延坪	584坪
議事堂　平家建	162坪
附属建物	300坪

現在の庁舎はこの際の本館を残して，これに増築また増築を加えたものであるが，最初建った本館は現在正門の正面にみえている南面する中央ブロックとこれより両側にでた翼，この翼と直角に交わる翼に当り，全体の配置はH形になるものですべて二階建である。正面の中央ブロックは屋根入母屋造機瓦葺で，正面に千鳥破風をつけて中心性を与え大棟両端に鴟尾をあげる。また正面中央には入母屋々根の車寄をつける。翼の端はいま増築建物に接続していて，原形を知り難いが翼の端に鴟尾がみえているので，入母屋々根に終ったものかと思われる。車寄の正面に蟇股を一つおき，斗栱に舟肘木を用いている他は軒および屋根が日本建築の方式をとっており，壁面に柱型を入れて，日本建築の感じをだしている程度である。大棟端の鴟尾は唐招提寺金堂のものを模したもので，これらの屋根瓦は鈴木又市（現在も文化財建造物の瓦製造に従事している家）に請負わしている。これに対し内部はむしろ洋風であるが，なお階段などには高欄や擬宝珠のモチーフを応用しているのをみる。

この日本館の向って右の翼から前方に続けて，本館前の広場を囲うようにだされた，それ自体H形をとったブロックは大正末期の増築であるが，この方は反って日本建築のモチーフをなまに用い，舟肘木を用いて，柱をはっきり現わし，長押を模したり，虹梁，蟇股などを用いて切妻の妻を飾り，車寄に唐破風を用い，その柱にエンタシスをつけ，三斗斗栱をのせたりしている。その他の増築部分は問題とするにたりない。前記の工事報告書の中には設計者の意図や抱負を垣間見させる箇所があるので，その「工事の実況」中から少し引用しておこう。

県庁本館及び議事堂は同じく木造にして，其外観は日本風を主とし，而して構造は学術の応用より成立つ所の西洋の方法を主として用い，且つ近年本邦に於て震災の実験は大に斯学の進歩改良を促したれば，設計上意を此点に注ぎ，充分の堅牢を期せり，基礎は周壁下及び間仕切共に幅三尺のコンクリートを以て堅固に打固めたると，地盤の堅固なるとを以てしたれば，重量に堪ふることは固より容易にして，建物の各部を相連接するの効益あり，此のコンクリートの上に石及び煉瓦を以て礎脚を築き，以て其上に木造の構架をなせり。

木造の構架は前陳のごとく骨組全く西洋流の長所を採り，且つ耐震の点に留意し，これを被うに日本流の装飾を以てしたり。内部は骨組全く西洋流を以てするに拘はらず，外形は日本流の装飾を以て被ふに些の不都合なきを見るに足らん。此くの如き方法を以て後来木造の建築に応用するは予輩建築家の希望する所にして，或は此建物は他日の一標本となること無きにしも非らざるべし。素より工費充分ならず，為めに外観装飾に大に省減を加えたるの止むを得ざるに至らしめしは頗る遺憾のことなりと雖ども，内部構造は堅牢に設計されたるは予の保する所にして，彼を以て此に代う復た已むを得ざるなり。

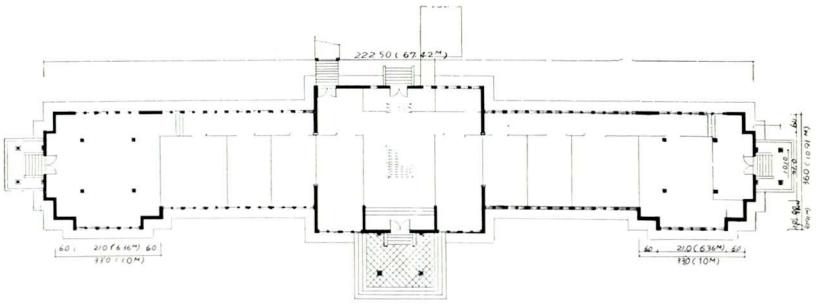
奈良国立文化財研究所

奈良市春日野町

この建物は奈良国立博物館の東南にあり，公園の真中に立つものであるが，これは昭和26年に奈良国立文化財研究所庁舎として県より国に移管されたもので，移管前の用途は奈良県商工館であった。最初にこれは奈良県下生産品陳列場として明治33年11月18日起工，同35年3月10日に竣功したもので，同年9月1日から開設した。その後制度の改正があって，名称はいろいろ変ったが，やはり物産を陳列する場所として終始したものであった。従って，意匠も多少人目を引くようにされたのであって，平等院鳳凰堂をなぞらえ，中堂の位置に南面した外観2階建のブロックをおき，両翼を出し，その先に楼をあげたブロックを配し，正面中央と，両端ブロックの妻から出入するようにされ，内部は全体として一つの大きいホールとなり，中央ブロックでは二階の周囲にガラリーをまわして高い吹きぬきにしていた。現在は中央ブロックを二階に改め，室を分劃し，床を張ったので内部の面目は失われてしまった。

建物の総坪数は337.66坪とあるが，これは若干の附属建物を含めた坪数である。設計者は当時奈良県古社寺修理技師であった工学士関野貞であるが，すでに記したように，県庁舎と違って日本建築の細部が縦横にとり入れられ，全体の格好も鳳凰堂を模したほどであるから，随分入念なものである。しかし使用された細部のモチーフは鳳凰堂のものとは無関係で，飛鳥時代あり，奈良時代あり，鎌倉時代あり，さらに窓などにはサラセン風のモチーフすらみられる。ちょっと日本建築のモチーフを駆使したバロック建築といった感じである。

残念ながら本建築については文献的資料が見出されていないので，建築当初の詳しい事情を知ることはできないが，主旨においては奈良県庁



6. 奈良国立文化財研究所平面図　単線で示したものは研究所になってから加えられた間仕切や階段。



7. 奈良国立文化財研究所正面東半



8. 奈良国立文化財研究所中央ブロック



9. 奈良国立文化財研究所中央ブロックと隅ブロックの中間



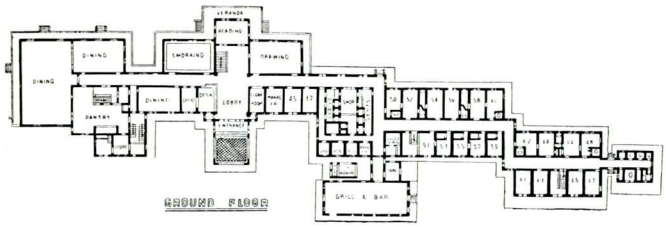
10. 奈良国立文化財研究所西妻入口附近



11. 奈良国立文化財研究所に改装前の中央ブロック内部



12. 奈良国立文化財研究所に改装前翼部内部
中央ブロックの周囲にはギャレリーをまわし，吹ぬきにされていた。翼部ではクリーヤーストーリーを作っていた。



13. 奈良ホテル初階平面図



14. 奈良ホテル中央ブロック
車寄を入った所がロビーである。



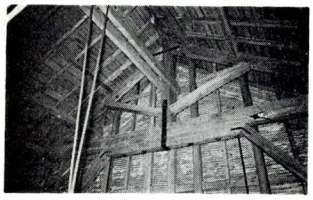
15. 奈良ホテルロビー上の吹きぬき
高欄やこれを支える挿肘木に注意，天井は折上格天井。



16. 奈良ホテルドローイング



17. 奈良ホテル桃山式の室
ともに日本座敷のモチーフをとり入れている。後者は最も豪華な客室の一部



18. 奈良ホテル屋根小屋組
クイーン，ポストを用いている。

の建築の発展したもので，設計者が日本建築の学者であっただけに，細部のモチーフが随分にぎやかなものになってしまったのである。

奈良ホテル

古くから当ホテルに勤務されている南正時氏の談によると明治40年に当時京都の都ホテルその他を経営していた日本ホテル株式会社の西村社長や関西鉄道株式会社の社長等が発起して，このホテルの建設が始められ，興福寺大乗院の庭を含めた展望の美しい丘を買い，丘上を整地して，いまの建物が造られたという。建築途中で関西鉄道が鉄道院に買収されたので，このホテルも鉄道院の所有となり，現在も国鉄の財産になっているが，経営は引続きホテルが行っている。かくして明治42年10月に開業したのであったが，最初は利用客も少く，年々赤字になやまされたという。

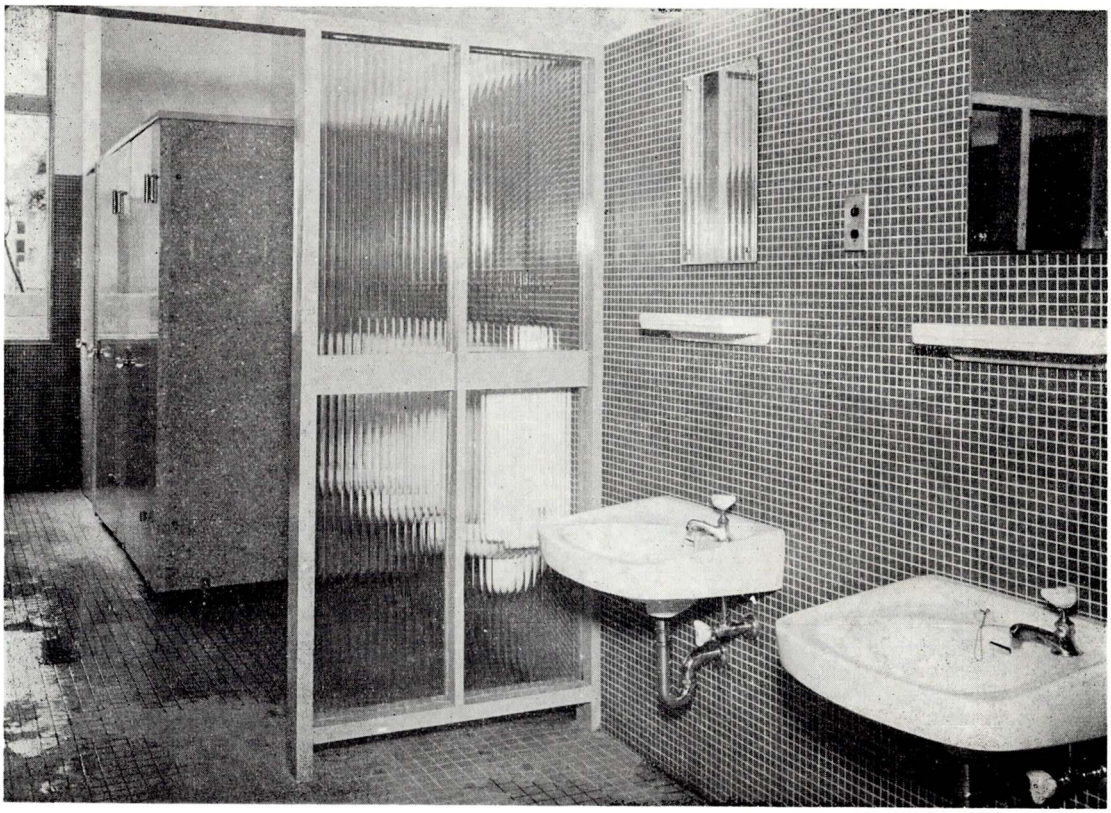
場所がこのように目立つ所であったのと，ホテルの性質からしても，日本建築のモチーフを活かしたものになったのは当然といえるかも知れないが，県庁や商工館などと一連の伝統の発展とも見ることができる。

建物はロビーやドローイング，スモーキングなどの室を含んだ南面する二階建のメーンブロックをH型に配し，中央に車寄をおく配置は前二者に似ているが，さらに東の翼から東方へ客室を延長し，西方へは食堂，大食堂などを配し，客室50をこえるかなり巨大な構えとなっている。外観には旧商工館のような日本建築の入念なモチーフは用いられていないが，柱型をつけ，舟肘木をいただき，日本建築の反りつきの屋根をあげ，棟に盛んに唐招提寺式の鴟尾をあげている。

構造は西洋式で，小屋にもクイーンポストが見られたりするが，さらに室内にはロビーの階段やギャラリーの高欄に止らず，書院造風の柱型や格天井をあげ，欄間その他の細部をとりいれて意匠し，マンテルピースやシャンデリヤなどにも日本風のモチーフを務めて活かしている。煖房は最初ストーブを用いたため，煙出し屋根を盛んにつけて，煙を導いていたというが，これは現在は撤去されている。

この稿を綴るに当り，奈良県観光課，建築課，文化財保存課，奈良国立文化財研究所，奈良ホテルの各位に多大のお世話になった。また奈良県報については奈良県政史編纂室の森本留治郎氏のご教示にあずかった。また林野全孝氏と大阪市大工学部学生神水守男君の助力を得た。記して感謝の意を表したい。

（浅野　清記）



伊奈の
衛生陶器

伊奈製陶株式會社

本社・工場　愛知県常滑市扇面新田　電常滑700（代）
東京事務所　東京都中央区西八丁堀2－8　電（551）6371（代）
大阪事務所　大阪市西区新町南通1－23　電㊾5484（代）

カタログ送呈

錆びない 岩住のサッシ・ドアー

当社の製品はボンデライトをして焼付塗装をして居ます

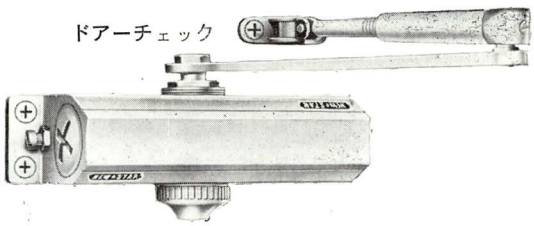
株式会社 岩住鐵工所

本社・本社工場　大阪市西淀川区千舟東2—31　電話代表㊼5123・3000
尼崎工場　尼崎市守部下河原15　電話代表㊵6751～3

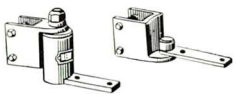
NEW★STAR

創業大正八年

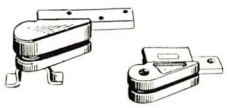
ドアーチェック



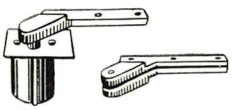
ラバトリーヒンヂ



ピポットヒンヂ



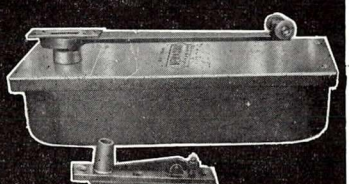
ピポットヒンヂ



ドアーチェック



フロアーヒンヂ



日本ドアーチエック製造株式会社

取締役社長　出向井啓蔵

本社工場　大阪市生野区巽矢柄町222　電話　大阪(716)2231(代)
東京支店　東京都千代田区神田錦町1丁目23　電話　東京(291)1920・4920
福岡出張所　福岡市舟津町1番地　電話　福岡(74)2372・3312
名古屋出張所　名古屋市中区下園町1丁目5番地　電話　名古屋(23)7361

世界に誇る驚異的建材！

ガスにも熱にもビクともしない！

40年の厂史と最新技術の産物

特許…… 耐酸，耐アルカリひふく鉄板

オリエンタルメタル

永久建材・超ひふく鉄板

スーパーオリエンタルメタル

新時代にマッチした色つきのひふく鉄板

オリエンタル カラーメタル

美しいアルミ箔 ひふく鉄板

オリエンタル アルシート

型録送呈

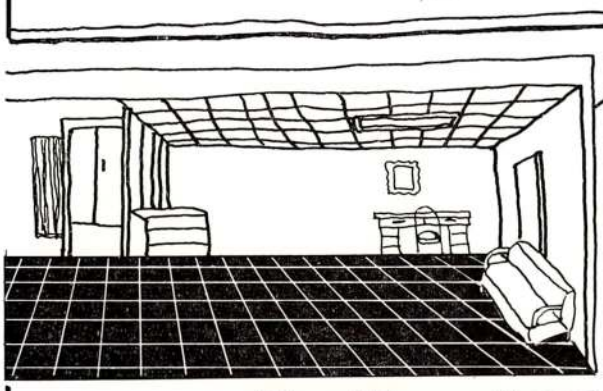
責任施工

オリエンタルメタル製造株式会社

本社並工場　尼崎市大物北口　電話(48) 4947～9
東京支店並工場　埼玉県蕨市大字塚越1620　電話蕨3252～4
名古屋支店　名古屋市中村区黄金通8丁目6　電話(54) 1023
支店、出張所　八幡・都山・敦賀・徳島・三原・徳山・延岡・岩国・宇部・川崎

世界長

床板に美を生かして住む



特長

1. すべらない
2. 摩耗に強く、長もちする
3. 他のビニールタイルに比べ、疵が目だたない
4. 衛生的且つ経済的である
5. 施工が容易で仕上が美しい
6. 伸び縮みがない

セカイチヨータイル

世界長ゴム株式会社

マルエス

永久防水材
ハイダック

特　絶対に裂けない
　　永久に腐らない
長　冷工法で施工出来る

接着剤
ハイダックセメント
No. 1　ジヨイント用
ハイダイン　No. 2　貼付用

メルタン
ルーフィング

国内の気温較差の著しい所に於ても能くその苛酷な条件に抗して老化せず　特に寒冷地に於ける技術的困難は殆んど解決されたと云つても過言ではありません

特許
ビニエス
タイル

お部屋のポイントは
床材から

明るい配色……
落ちついたムード

マルエスルーフイング製造元

日新工業株式会社

本　　社　東京都足立区千住東町93　TEL東京(888)2101～9
大阪営業所　大阪市西区新町北通1丁目40　TEL大阪(53)5281～3
出張所　名古屋　TEL名古屋(54)9996・広島　TEL中(2)1019
　　九州　TEL　福岡(5)0768・札幌　TEL(5)6885

書　　評

「消費革命とレジア産業」

（日本生産性本部生産性研究所篇）
（東洋経済新報社刊）

レジャー・ブームが湧きおこってきた。本書はその時流をいち早くキャッチし，積極的にレジャーの理論化を試みている。したがって終始すこぶる問題提起的である。

こんにち，わが国は技術革新と消費革命の進展によって大衆消費時代に入った。そしてレジャー消費が経済の動きの中でかってない重みを占めるようになったという観方にたって，消費革命とは何かということの解明が狙いになっている。6章からの構成。別々に書かれた論文を加筆修正して1冊にしたもの。したがって考えかたは共通しているが，一貫してつながっていない。

本論はまず，消費革命の歴史的意義をといて人間社会における最後の封鎖経済（家庭）が大巾急速に解体していっていることを指摘する。そしてレジャーの発生と展開を，主としてアメリカの場合についてのべ，レジャー消費が途方もなく巨大なものであって，資本主義発展の原動力になっていることを説明している。わが国の労働時間と余暇時間がまだまだ国際水準におよばず，レジャー消費の実態がギャンブルと性に関連をもつ消費だとし，最近零細レジャー産業の増加が目立っているとのべている。さらにわが国の8都市を産業の性格別にわけ，そこでサービスなどがどのように位置ずけられるかを分析し，最後に，消費革命は流通段階に大なる影響を与えるが，それを生産や消費の段階の変化にできる限り順応させる流通政策が必要だといって終っている。

わが国の経済を成長発展させるためには，消費市場の積極的拡大が必然的に要請される。それには，レジャー産業を中心とした第三次産業部門が極めて重要な役割を果すのだという考えかたが基本になっている。「第三次産業が非生産的だなんてケチをつけることはやめましょう。第一アメリカをごらんなさいな」――とはいっていない。けれども，そうかんぐりたくなるような高姿勢であることは事実である。レジャー論の展望は，＜労働―休養＞の循環の中で，豊かな生活とはどういうものか，という設問が出発点となるべきであって，それを捨象した経済的アプローチは「持たされるレジャー」にならざるをえない。そういう意味で，将来のレジャーの生活的社会的展開について，アメリカ的形態が当然の方向であろうか，考えてみる必要がある。所得倍増的な立場ではそうかもしれない。レジャーの生活構造的の変化に対応した把握と，生活に密着した新しいレジャー・タイプの創出についての考察が経済的解明の前後において必要だと思う。

レジャー消費の実態については，巨視的に所得の傾斜構造と対応した零細性が指摘されているが，階層的にみて生活構造の違いから，レジャーがどのように違っているかをもう少し詳しく比較してほしかった。しかし，レジャー論の理論的な解明が少ないおりから，いろんな問題点が示されたことは喜ばしい。あとがきに今後計画的に第三次産業の分析を進める意図がのべられているが，その成果を期待したい。

（京大西山研究室　住田昌二）

特許 防火シャッター全般
小俣式
電動式～箱型・ウオーム・スパー
手動式～自動・鎖・オートマチック
ステンレス・アルミニウム・シャッター
株式会社小俣製作所大阪支店
大阪市北区若松町30　電話(34) 9004・9016・4825
本社及工場・埼玉県与野町
東京事務所及工場・東京都北区田端町

会　　報　（7 月 分）

理　事　会

12日　4時――5時　於会館会議室
出席者　尾崎，竹中正副会長外4理事
井手京都支部長
議　事（1）会館裏防潮堤工事に伴う排水工事費の件
（2）夏期会員懇親会開催の件
（3）高野山納涼懇親会後援の件
（4）入退会者承認の件
（5）報告事項

法規委員会

7日　2時半――3時　於会館集会室
出席者　恒岡委員長外9委員
議　事（1）委員長選任の件
（2）違反建築防止運動の懇談会に関する件

事業委員会

打合会（各種説明会）
7日　正午――1時半　於会館会議室
出席者　井上主査外2委員　説明会社　栗本鉄工所外2社
「これからのパーキング施設」説明会の実施について打合

小委員会（工場見学会）
10日　正午――1時半　於会館会議室
出席者　山本主査外4委員
8月以降の事業企画について協議

小委員会（若い会員の集い）
10日　6時半――7時半　於会館会議室
出席者　滝本主査外2委員
夏の懇親会企画について協議

委　員　会
12日　5時半――7時　於会館集会室
出席者　岩崎，岡本正副委員長外13委員
議　事（1）事業報告
（2）経過報告
（イ）「これからのパーキング施設」説明会
（ロ）「団地アパートにおける家具」展示会
（3）8月，9月の事業企画について
（4）45周年記念事業実施について
（5）委員追加委嘱の件

小委員会（若い会員の集い）
20日　5時半――7時半　於会館会議室
出席者　滝本主査外4委員
「若い会員の集い」の性格を再検討の上今後の事業について概要を協議

建材委員会

11日　3時半――5時　於会館会議室
出席者　伊藤委員外8委員
議　事（1）委員長，副委員長選任の件
（2）委員会の運営方法に関する件
（3）ダイヤセム，ダイヤローレル審査に関する件

日本建築協会優良認定
外部用壁塗料
ダイヤアルテックス
恒和化学工業株式會社
本　社　豊中市豊南町南6－16　電話(39) 0666～8
東京支店　東京都太田区北糀谷町287　電話(741) 2145～8

出版委員会

鉄骨鉄筋コンクリート構造実例集編集委員会

13日　5時半――7時　於会館会議室

出席者　石崎主査外7委員

本の定価並に発刊のPRに関して協議

編集委員会

委員会

14日　4時――6時半　於会館会議室

出席者　森，上林正副委員長外6委員

議　事（1）経過報告

（イ）8月「建築と規格特集」号

（ロ）9月「リクリェーションと建築特集」号

（2）10月「建設産業構造特集」号企画審議

（3）11月「材料特集」号の幹事選任

幹事会

21日　4時――7時　於会館会議室

出席者　上林副委員長外4幹事

11月「材料特集」号企画について協議

教育委員会

委員会

14日　3時――5時　於会館集会室

出席者　橋本幹事外7委員

議　事　1．設備工事技術者の教育に関する件

小委員会（工高生デザインコンクール）

14日　正午――1時半　於会館会議室

出席者　杉本主査，吉田委員

コンクール入選者に対する賞牌について協議

住宅委員会

見学会

1日　1時半――4時半

出席者　海上委員長外25名

新築の内外木材工業KK本社工場を旧委員も加えて見学

小委員会（PR冊子）

15日　2時――3時半　於会館会議室

出席者　木原幹事外2委員

18日　正午――1時半　於会館会議室

出席者　木原幹事外4委員小林邦雄氏

PR冊子の発行企画に関して協議

災害委員会

27日　正午――2時　於会館集会室

出席者　越田前委員長外11委員

（1）委員長選任の件

（2）前年度委員会より申し送り事業について

近代建築調査委員会

27日　3時半――5時　於会館会議室

出席者　滝沢委員長外6委員

議　事（1）神戸市長宛礼状に関する件報告

（2）8月号発表建物の件

（3）9月号発表建物の件

（4）10月号発表建物の件

（5）信州開智学校に関する件紹介

（6）その他

懇談会

違反建築防止に関する懇談会

7日　3時――5時　於会館集会室

ブロックの防水塗料！
ビニール・セメント・ペイント
ブロックタイト
刷毛又はスプレ塗り　常備淡彩12色
安価・速乾・美麗
水谷ペイント

出席者　法規委員，恒岡委員長外10委員
府下建築団体代表者9氏

法規委員会の主催で開催，違反建築の防止運動実施策について懇談

夏の会員懇親会

22日　4時——10時　参加者50名

銭高組ご提供のバスにより，途中同組施工の京都市鳥羽下水処理場を見学した後同じく同組施工の琵琶湖畔滋賀県観光文化会館に赴き，会館を見学，湖上の涼風を満潔しながらビールパーティーを開催して会員の相互懇親を深めた。

若い会員の集い

「建設記録映画を見る会」

28日　6時——8時　於大阪建設会館

「三菱大手町ビル」「東宮御所」「大阪環状線」の3工事記録映画を上映，出席者80名

午　餐　会

「菅建築部長渡欧観送午餐会」

12日　正午——2時　於産経会館パーラー

大阪府建築士会と共催。出席者40名

見　学　会

「内外木材工業KK本社工場見学会」

設計施工　大林組

26日　1時半——5時　参加者60名

同社ご提供のバス2台により実施，府建築士会と共催

「日本ビールKK大阪工場見学会」

設計施工　大成建設KK

29日　2時半——5時半　参加者90名

大成建設KKご提供のバス2台によって実施

要望書提出

京都大学建築学部の講座増設拡充並に学生定員の増加に関して，本会および友好団体6会の連署で，文部大臣外関係当局者に要望書を提出した。

後援した会

「高野山納涼懇親見学会」

1．主　催　本会和歌山支部，和歌山県建築士会
1．と　き　7月15日（土）16日（日）
1．ところ　高野山一乗院

「毎日建築講座」1961年度

1．主　催　毎日新聞社
1．と　き　7月3日（月）4日（火）
1．ところ　毎日国際サロン

編　集　後　記

「レジャー・ブーム」にまきこまれたわけではないが，それに関連したリクリエーションを建築的にとらえる特集としたものが本号である。

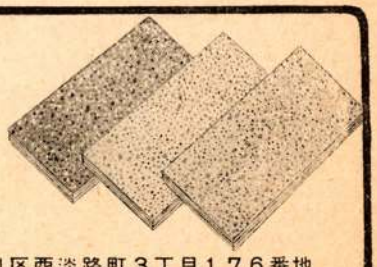
企画を考えていくうちに，「論」「群」「個」と3つのグループに分けることになつた。「論」の部では，梅棹忠夫氏や松下圭一氏に「生活様式の変革とレジャーの将来」についてお願いしたが，駄目であつたしかし，今さんから生活とリクリエーションについての原稿をいただいた。その他，リクリエーション開発のマスタープラン，国民休暇村，国民宿舎，コースホステルについてそれぞれ専門の方からの論文をのせた。

「群」の部では，びわ湖観光開発計画を中心にとりあげたものである。K地区や立山の観光開発も合わせ紹介した。大台ケ原観光開発計画は，結局当局の都合でとりやめざるをえなかつた。「トータルリクリエーションゾーン」は投稿であるが，この号に入れたもの。

「個」の部では，リクリエーションとしての施設，とくに屋外の施設をとりあげたものである。したがつて，遊戯場，スポーツなどの屋内のリクリエーション施設は一切はぶいた。

国民宿舎，コースホステル，観光ホテル，遊園地，官公庁厚生施設などのなかで，西日本でもつともユニークなものをとりだしたものである。そのほかに都市公園も考えたが，これは実現できなかつた。

この企画に協力いただいた幹事の方，および厚生省，運輸省の関係者の方々，ならびに執筆者各位に厚くお礼申しあげます。

特許吹付タイル・内装・外装用化粧材
セラスキン
CERASKIN
関東地区取扱店
小林窯業株式会社
東京都太田区新井宿2の1500　TEL 771－6347
山本窯業研究所

大阪市東淀川区西淡路町3丁目176番地
TEL (37)－9025番

屋根浪板
谷樋には **大島化学のひふくてっぱんを**

固定式通風器 連続式換気装置にも

耐酸スタンダードメタル

カラースタンダードメタル

大島応用化学工業株式会社

本 社 大阪市城東区野江東之町4の104 ㉝3679・4481・8471
支 店 新 居 浜・名 古 屋・四 日 市・広 島

田中式 スカイライト・ベンチレーター
スチールサッシュ・ドアー
スチールシャッター・オペレーター

TNK 田中工業株式会社大阪出張所

大阪出張所 兵庫県尼崎市南竹谷町2～89　　TEL 大阪(40)6341(代表)・(40)6342

本社	東京第一工場	東京都墨田区錦糸町1～25
	東京第二工場	東京都墨田区吾嬬町東4～122
	小倉工場	福岡県小倉市赤坂上の宿37
	川崎工場	神奈川県川崎市東渡田3～43
	札幌出張所	北海道札幌市北上通東4丁目4
	盛岡代理店	岩手県盛岡市木伏49・東北建設(株)
	名古屋代理店	愛知県名古屋市西区西菊井町2～12・岡田建材KK
	米子代理店	鳥取県米子市祇園町2～93・吉田工務店
	長崎代理店	長崎県長崎市要町11・関西工業(有)

TEL	東京(623)代表0106～0108・(622)0790
TEL	東京(611)2118～9
TEL	小倉0653・2833
TEL	川崎 ② 4540
TEL	札幌 ③ 6762・0515
TEL	盛岡 7642
TEL	名古屋(53)0121・2057
TEL	米子 4683
TEL	長崎 ② 6046

信用ある技術と伝統の

アスファルト工事

専業大店

株式会社 久保商店

大阪市北区真砂町5番地　電話大阪(34)207～8・4836～7

暖冷房・温湿度調整
水道・衛生・環境衛生装置
設計施工

山田工業株式会社

本社　大阪市西区京町堀上通1丁目7
電㊹（代表）2613・（代表）9431
営業所　神戸市生田区北長狭通7丁目1の1
電④1778・4386
出張所　名古屋市中村区牧野町1－6　電話㊺0966
〃　東京都北区上十条1の10　電(911)2346
〃　広島市西魚屋町31　電②1375

暖房・冷房・水道・衛生設備
設計施工

株式会社 **三晃商会**

本社　大阪市北区富田町一六　㉞7031㊱6793
出張所　東京都中央区宝町二・六(村幸ビル2階)(561)5441
名古屋市中区新栄町二丁目一　⑨1820
福井市宝永上町一〇五　1596
松江市東本町四丁目一四九　5098
広島市紙屋町八　②1938
福岡市養巴町二二　④1158

給排水・衛生
暖冷房・換気　設計施工

株式会社 **大阪城口研究所**

代表取締役　城口庸平

大阪市北区高垣町一・電話大阪㊲7575(代表)
京都市東山区大和大路大仏前・電話京都⑥4945(代表)
神戸市生田区下山手通六ノ一・電話神戸④5892

電気・暖冷房・水道・衛生設備
設計施工

株式会社 **大阪電気商会**
株式会社 **大阪暖房商会**

取締役社長　菅谷三郎

本店　大阪市西区江戸堀一丁目60番地
電話大阪㊹大代表8231番
支店　東京・名古屋・福岡
出張所　京都・神戸・岡山・高松・広島・熊本
札幌・仙台・新潟・金沢・福井

水道・衛生・暖冷房・其他管工事
設計並施工
特許YM式ルーフドレイン製造販売
(旧斎藤久孝事務所)

斎久工業株式会社大阪支店

大阪市南区順慶町通一丁目四四番地
電話大阪㉙代表4496～8・4993～4番
本店　東京都千代田区丸ノ内2ノ8仲12号館5号
電話(281)局6505～8番
金沢営業所　金沢市高岡町三五　電話金沢②2074
福井出張所　福井市城之橋下町一〇　電話福井2436
高松出張所　高松市二番丁九　電話高松②5195

創業　大正二年
暖冷房・換気・空気調和
病院諸機械・給排水・衛生

株式会社 **斎藤省三商店**

東京店　東京駅前丸ビル6階676区
電話東京(201)3761・3762・3763・3764
大阪店　大阪市西区土佐堀通大同ビル714号
電話大阪㊹1568・1569・2594
札幌店　札幌・北四・西四（札幌駅前）
電話札幌②0010・0956③4661
名古屋店　名古屋市中区南大津通一丁目千代田ビル522号　電話中局㉔1766

暖冷房・環境衛生・水道・電気・厨房・築炉
鋼製建具・軽量間仕切・工事設計施工
荷役機械・製造販売

三機工業大阪支店

取締役社長　山田熊男
取締役支店長　池田英太郎

大阪市東区高麗橋三丁目一番地　電話(202)代3071
本社　東京都千代田区有楽町一丁目十番地
支店・出張所　名古屋・福岡・札幌・広島・仙台・金沢・富山・高松
工場・鶴見・六郷・高槻

暖房・冷房・水道・衛生設
設計施工

須賀工業株式会社

大阪市西区土佐堀通1丁目14番地
電話㊹代表5171番

東京支店　東京都港区芝田村町6丁目　電話(431)代表7121
名古屋支店　名古屋市中区材木町1丁目　電話㉓代表7856
京都支店　京都市下京区烏丸通松原下ル　電話㉟1989・2255
神戸支店　神戸市生田区北長狭通2丁目　電話③代表5101
福岡支店　福岡市千代栄町　電話㊽代表4731

給水・排水・衛生設備・暖房設備
汚水浄化装置・都市廃物処理装置

株式会社 **西原衛生工業所大阪店**

大阪市大淀区中津南通4—44　TEL㊺3415(代表)
東京事務所　東京都港区西芝浦3の1　電話東京(451)5281
広島出張所　広島市空鞘町99の1　電話広島③7544
福岡出張所　福岡市下呉服町2の9　電話福岡②5389
祐徳ビル

空気調和装置・熱風乾燥装置
設計施工

株式会社 **建材社**
大阪支店

大阪市北区中ノ島二丁目（新朝日ビル5階）
電話大阪㉓6041（代）
本社及東京支店　東京都中央区八重洲三丁目七
営業所　名古屋市中区西万町二丁目一

暖・冷房・空気温湿度調整装置
設計施工
高砂熱学工業株式会社大阪支店
大阪市北区中ノ島3丁目3番地（朝日ビル8階）
電話大阪㉓7641(大代)
本社 東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地

空気調和装置、各種冷凍機
設計・製作・施工
東洋キヤリア工業株式会社
大阪支店
大阪市北区堂島船大工町五三番地（毎日大阪会館内）
電話大阪㉞局8356(代表)
本社 東京都中央区日本橋兜町三丁目二四番地
支店 東京・名古屋 出張所 九州
工場 東京都足立区下沼田町360番地

暖冷房・水道衛生工事
設計施工
株式会社 **栄興商会**
取締役社長 中山敏正
本店 大阪市福島区上福島北二丁目一番地
電話大阪㊺3391～5番
支店 東京都新宿区荒木町一九番地
電話(351)2177～8番
神戸出張所 神戸市生田区下山手通八丁目三三 電話元町④3035番
京都出張所 京都市中京区高倉通三条下ル 電話上③2869番
三沢出張所 青森県三沢市上久保三一 電話大三沢36番

暖房・冷房・水道・衛生
温湿度調整装置
設計施工
株式会社 **朝日工業社**
大阪市北区中之島4－39 電㊹6671～5
東京支店 東京都港区芝浜松町2－7 電(431)7341～5
北海道支店 札幌市北四条西15丁目 電②2203・③5374・5969
仙台支店 仙台市元寺小路(五城ビル) 電②8061・③9261
名古屋支店 名古屋市中区東陽町6－5 電㉔1270・1484
広島支店 広島市大手町8－155 電③7949
福岡支店 福岡市薬研町3 電㊼0788・㊻0296

温湿度調整装置、暖房
冷房、水道、搬送機設備
設計並ニ施工
第一工業株式会社大阪支店
大阪市北区富田町30 電話大阪㉞{(代表)0977 / 0978～9・0970
本社 東京都千代田区丸ノ内2－10
電話(281)2631－5
仙台支店 仙台市新伝馬町60
電話7332
名古屋出張所 名古屋市東区東門前町3－6
電話⑨2893

温湿度調整・暖冷房・換気給排水・衛生設備
設計並施工
日本管工業株式会社
代表取締役 市川進男
本社 京都市中京区両替町通り姉小路上ル
電話㉒(代表)7975・(夜間専用)5532
大阪営業所 大阪市北区天満橋筋1-37(天満橋北詰)
電話㉟8829
四日市営業所 四日市市浜田西末広町 電話7503・3665
津営業所 津市栄町2－111 電話3610

暖冷房・空気調和・環境衛生工事一切
設計施工
日本熱学工業株式会社
社長 牛田正郎
大阪市北区万才町50 北大阪ビル
電話 大阪㊱代 8675～9・4953～5
東京支店 東京都千代田区神田和泉町1
電話(866)7683・7716・2594
名古屋支店 名古屋市中区城代町7
電話㉓4690・4317
営業所・出張所 下関・金沢・藤沢・新潟・八幡・京都

煖房・冷房・温湿度調整・衛生設備
設計施工
大嘉熱工業株式会社
取締役社長 嘉幡政四郎
大阪 大阪市北区万才町四三浪速ビル六階
電話 大阪㊱直通2085・5725
(代)9851～9・9951～9
東京 東京都千代田区西神田町一ノ八
電話 東京(291)8002～3
出張所 愛媛県川之江市・九州福岡市

冷房・暖房・温湿度調整装置
換気・給排水・衛生設備
設計施工
第一企業株式会社大阪支店
大阪市西区江戸堀北通3丁目46番地
電話大阪㊹(代表)3818
本社 東京都文京区元町2丁目17番地
電話(921)(代表)6294
支店出張所 名古屋・福岡・札幌・仙台・高松・広島

冷暖房・温湿度調整装置・換気装置
ファン・ヒーター・クーラー
スチール・アルミ・サッシ・ドア・シャッター
設計・製作・施工
理研鋼機株式会社
大阪営業所 大阪市北区宗是町1(大ビル)
電大阪代(44)8621番
本社・工場 東京都北区神谷3の10の3
電東京代(901)3191番
本社・分室 東京都港区芝佐久間町1の46(大同ビル)
電東京代(501)3156番
営業所 名古屋・仙台 連絡所 福岡

電気工事設計施工

工藤電気株式会社

大阪市北区野崎町八〇
電話・大阪㊱2891—5番
東京支店 東京都中央区西八丁堀二丁目十二
電話(551)8330・8303
営業所 名古屋・神戸・岡山・広島・福岡

各種電気工事設計施工

浅海電気株式会社

取締役社長 浅海正雄
本社 大阪市東区北浜二丁目六九
電話大阪㉓5273—5・5451—2
東京支社 東京都港区赤坂溜池町1
電話(481)8621～4・3573
営業所 名古屋・札幌・旭川・福岡

電気工事設計施工

栗原工業株式会社

取締役社長 栗原信英
大阪市北区永楽町8番地(日産生命館)
電話 大阪㉞代表 1234～9
支社 東京都港区芝浜松町(大門ビル)
出張所 名古屋・舞鶴・広島・八幡
福岡・富山

電気工事全般設計施工

中央電気工業株式会社

取締役社長 今村騰
本社 大阪市北区梅ケ枝町二五番地
電話 大阪代表㉞8131～4 ㊱7263・2144
営業所 東京・名古屋・新宮・御坊

電動機自動操作用配電盤・分電盤・受電盤
自動遠方操作盤・電動機単逆相運転防止装置
温湿度自動装置監視盤・遠方監視自動装置
各種フロントスイッチ・スペースヒーター及び
ウォータヒーター・其の他特殊電気機器設計製作

森井電業株式会社

東京本社 東京都港区芝三田綱町一番地
電話 東京(451)9611～5番
工場 東京都港区麻布新広尾町一丁目一三四番地
電話 東京(451)0535番
大阪支店 大阪市北区常安町十六番地
電話大阪(44)9516～8番夜間専用(44)502番
名古屋出張所 名古屋市中村区長戸井町三丁目四十一番地
電話 笹島(54) 6865・9495番
福岡出張所 福岡市東職人町二七番地
電話(4)7813番 (5)3516番
広島出張所 広島市三川町二六番地 電話(4)2449番

各種電気工事設計施工

株式会社 **ヤマト電気商会**

取締役社長 山本龍太郎
本社 大阪市北区西堀川町15番地
電話 大阪㉞代3056
東京営業所 東京都中央区銀座東8丁目4番地
全国燃料会館607号室 電話東京(541)7464
出張所 大阪南・北海道・名古屋・四日市・福山・福岡

電気工事設計施工

三宝電機株式会社

取締役社長 嘉納伝三
本社 大阪市北区絹笠町50(堂ビル3階)
電話 (312)1471(代)～5
倉庫 大阪市大淀区浦江北2丁目51
電話 (45) 5148・6646
支店 東京都中央区西八丁堀4丁目10番地
(後関ビル3階) 電話(551)5590～2
営業所 名古屋市中村区泥江町2ノ1
電話 (55) 7146

電気工事
設計・施工

朝陽電気株式会社

取締役社長 山本博三
本社 大阪市北区中之島三丁目三 朝日ビル7階
電話 大阪局㉙9531(大代表)
営業所 大阪市西区土佐堀通り四丁目十一番地
電話 大阪局㊹5201番(代表)～3
出張所 京都市右京区西院今田町六番地
電話 京都局㉞3481番

電気工事設計施工

江東電気株式会社

取締役社長 猪飼幸次郎
本社 大阪市生野区勝山通9丁目72
電話 (716)4035(代)～8
支社 東京・都新宿区淀橋533
電話 東京(371)6203
出張所 金沢・名古屋・高知・広島

電気設備工事・設計・施工

中本電気株式会社

取締役社長 中本正明
本社 大阪市城東区野江東之町三丁目一五
電話 ㉝5143・5373・9594・2134
機器工場 大阪市城東区野江西之町三丁目一一三
資材倉庫 電話 ㉝2193

鈴木式防火シヤタア

株式会社 **鈴木シヤタア商会**

大阪市北区茶屋町33　電話㊲0098・5837・8729・6810

北陸営業所　金沢市三構町7～17　電話③1086

電気工事設計施工

株式会社 三興社

取締役社長 坪井 大

本社 大阪市北区絹笠町50(堂ビル7階)
電話 ㊱2138(代)～9
支店 東京都中央区日本橋箱崎町3丁目2番地
電話 ㊼1478(代)～9
出張所 堺・下関

電気工事設計施工
並架線金具製作販売
(日本工業規格表示工場)

八千代電設工業株式会社

取締役社長 **梶本秀尾**

大阪市東区森之宮東之町
電話大阪 (94) 6531 (代)～5
支店 名古屋
出張所 東京・岡山・門司

青写真とマイクロフイルム

株式会社 内外写真

製図・トレース・複写写真

大阪市北区堂島北町16　TEL ㊱ 9055 (代表)

エレベーター・コンベヤー・リフト
エスカレーター・ホイスト・クレーン
N・T・E型オートパーキングステーション
設計・製作

日本エレベータ工業株式会社

本社 大阪市大淀区天神橋筋6 (天六阪急ビル)
電話 (35) 3812・4987・9339・7071
東京営業所 東京都台東区仲御徒町1－66
電話 (831) 7 9 4 9
東淀川工場 大阪市東淀川区小松中通5－6－2
電話 (38) 0 3 6 3

リグノイド床・床材料

製造・販売・施工

福屋工業株式会社

本店 大阪市西区南堀江上通一丁目三一
電話 大阪 ㊸ 3426～7

コペンハーゲンリブ

商月報無料送呈

井田商事株式会社

大阪市浪速区西円手町一〇一七番地 湊町駅荷物入号門前
電話 (53) 4890　(54) 0808~9

PAINTING CONTRACTOR

塗装工事請負

株式会社 **林塗装店**

TEL. 大阪 ㉕ 1756—7・東京 ㉙ 1335

諸官庁御指定
吹付及び掻落ソリジットスタイン
床材（合同リグノイド）マグネシート
外壁シリコン防水
製造。販売。責任施工

合同特許建材工業株式会社

取締役社長 山下謙治

本社 大阪市東住吉区田辺東之町3—109 電大阪 ㉖ 9086
営業所 大阪市東住吉区駒川町3—54 電大阪 ㉙ 4370・7660
出張所 広島市比治山本町1180 電広島 ④ 4967
出張所 東京都新宿区花園町46 電東京(351)5298・5264

T
K K

アルミニウム
ステンレス　　カーテンウオール
ブロンズ

東京鋼板工業株式会社

本社及工場　東京都荒川区尾久町5ノ1000
電話　(891) 8131～8
大阪支店　大阪市北区絹笠町18番地（聚嘻ビル3階）
電話　㊱ 9154～7
名古屋支店　名古屋市東区久屋町5の9（住商ビル）④ 2578～9
福岡出張所　福岡市橋口町15番地の1（サンビル3階）　㉔8825

工業用及建築用各種石灰製造販売
小野田 セメント / レミコン / ブロック 特約販売店
セントラル硝子特約販売店

樫野石灰工業株式会社 大阪支店

大阪市北区曽根崎新地三丁目十四番地
（桜橋電停曽根崎新地西入）　電話大阪㉞1274～6
支店・東京・神戸・姫路・徳島・高松

特許　白蟻

松平式白蟻殺滅予防所

奈良市南城戸南方町28　電話奈良4098
（近日移転先）
奈良市登大路二番町（博物館前）電話 奈良4098
出張所　奈良市春日町尾田組内　電話6011・6012
本部　高知県宿毛市宿毛町2639



陶管・練瓦・ヒューム管
ベンチレーター・アンホール

株式会社 三幸商會

大阪市北区曽根崎上一ノ四一
電話 大阪 ㉞ 3145

軽量鉄骨
設計・施工

新鋼建設工業株式会社

取締役社長　吉田信武
本社　大阪市西区新町通2丁目25
電話 ㊸ 7418・609・6575
工場　神戸市東灘区本庄町青木古堂町53
電話　神戸 ⑧ 616
広島県御調郡向島町立花3010
電話　尾道2868　向島西19

FUTABAYA DECORATORS, LTD.

建築物船舶等造作工事
家具・建具・室内装飾工事　設計施工
内外織物・敷物類一式

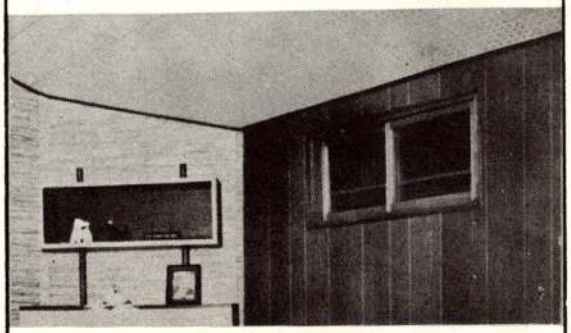
（創業大正7年）

若 二葉屋装備工業株式会社

取締役社長　若林繁吉
大阪市大淀区本庄川崎町2の6
（天六電停西北2丁）
電話・大阪 ㊲ 3321～3・3630

ノトン の新建材

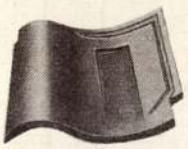
プリント合板
ビニオン
九徳天井板
美装パネル
リズムウッド
スーパーショイナー



ノトン 製品製造発売元

浪速合板株式会社

大阪市浪速区幸町通の3の20
TEL（53）2201（代）



だいわ
大和洋瓦

雨風に強く緩勾配に最適
超軽量荷重（坪当37貫）
和型より安い

発売元
大仏組　大仏瓦，各種和洋瓦 美術タイル・工事請負

本店　京都市東山区今熊野池田町九　⑥ 3555
大阪営業所　大阪市東区内淡路町一丁目　㊾ 975
名古屋営業所　名古屋市瑞穂区堀田通一丁目　㊽ 2703

耐酸ツボ各種
天窓瓦福林産地直売
建築陶器の百貨店



株式会社 吉田芳雄商店

大阪市北区南森町交叉点
電話 大阪㉞2403・3904

奉仕感謝の店
タイル 衛生陶器

㊿ 株式会社 **川岸窯業商店**

大阪市西区靱南通２丁目21　市電靱南通り電停前
電話大阪・(54)2435・2788・8597番

株式会社 **矢橋大理石商店**

大阪出張所

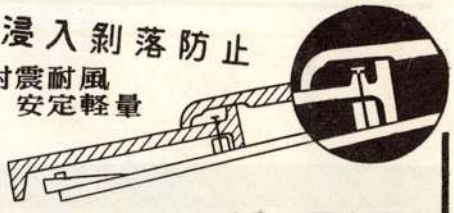
大阪市東区高麗橋二丁目九　野村ビル五階
電話大阪㉓4257－8番

特許植物性　型枠離剝塗料
サンヒット

メタルフォーム用特号
関西代理店　株式会社 **金剛商会**

大阪市西淀川区野里町1231　阪神国道　野里電停前
製造元　東京サンヒット商会　電 大阪㊼0417・4091

雨水浸入剝落防止
耐震耐風
安定軽量



大阪市浪速区元町一丁目七四三 電話㊹五〇六五
ナニワ瓦株式会社

ナニワ緩勾配瓦

３寸緩勾配最適軽量水止付（空葺）瓦

Acoustic Tex
吸音テックス



株式会社 室谷商店

本社　神戸市生田区長狭通四ノ一英和ビル
TEL神戸 ③ 0881～3
支店　大阪市北区梅笠町五〇 堂ビル５階
TEL大阪(312) 2031～4
出張所　岡山市内田京町158
TEL 岡山 ② 5189

燃えない建築資材
耐火ボード

タイガー印

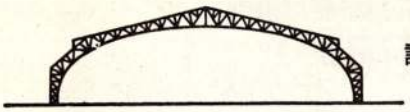
石膏デスボード
タイガートーン

絶対に亀裂を生じない劃期的下塗壁材
Y.N石膏プラスター

キーンスセメント
各種焼石膏

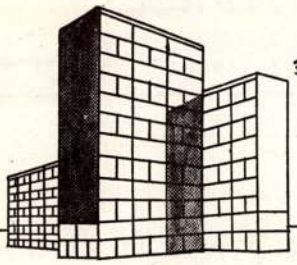
吉野石膏大阪支店

大阪支店　大阪市西区土佐堀通1－1(大同ビル)
電話(44) 8912～4
本社　東京都丸ノ内・三菱東九号館四号
電話 東京 (281) 2391(代表)
福岡営業所　福岡市相生町1－1 電話 (58) 631～3

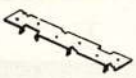


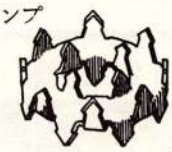
綜合建築設計への道

設計部 1.各種鉄骨・鉄筋コンクリート造建築の設計監理
2.ダイヤモンドトラス・ジグザグトラス・平行トラス等
各種大張間鉄骨造の設計監理

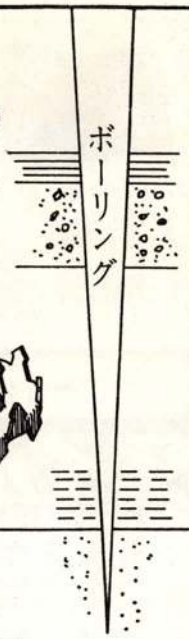


金物部 耐震耐風木材接合金具の製造販売
PAT.O式（織本式）ヂベル及クランプ





地質部 ボーリング・建築物基礎工事の為の土質調査



株式会社 **織本建築事務所** 所長 織本道三郎
（旧織本建築設計々算事務所・織本特殊構造研究所・合体）
東京都中央区日本橋かきがら町３の２ 電話（671）6443・7007・7062

・優美な繊維の京壁材 → **日本壁**

新日本壁 ←・繊維の床砂材……

・塗りつける織物壁材 → **パピロン壁**

錦上壁 ←・パルプの日本座敷壁材

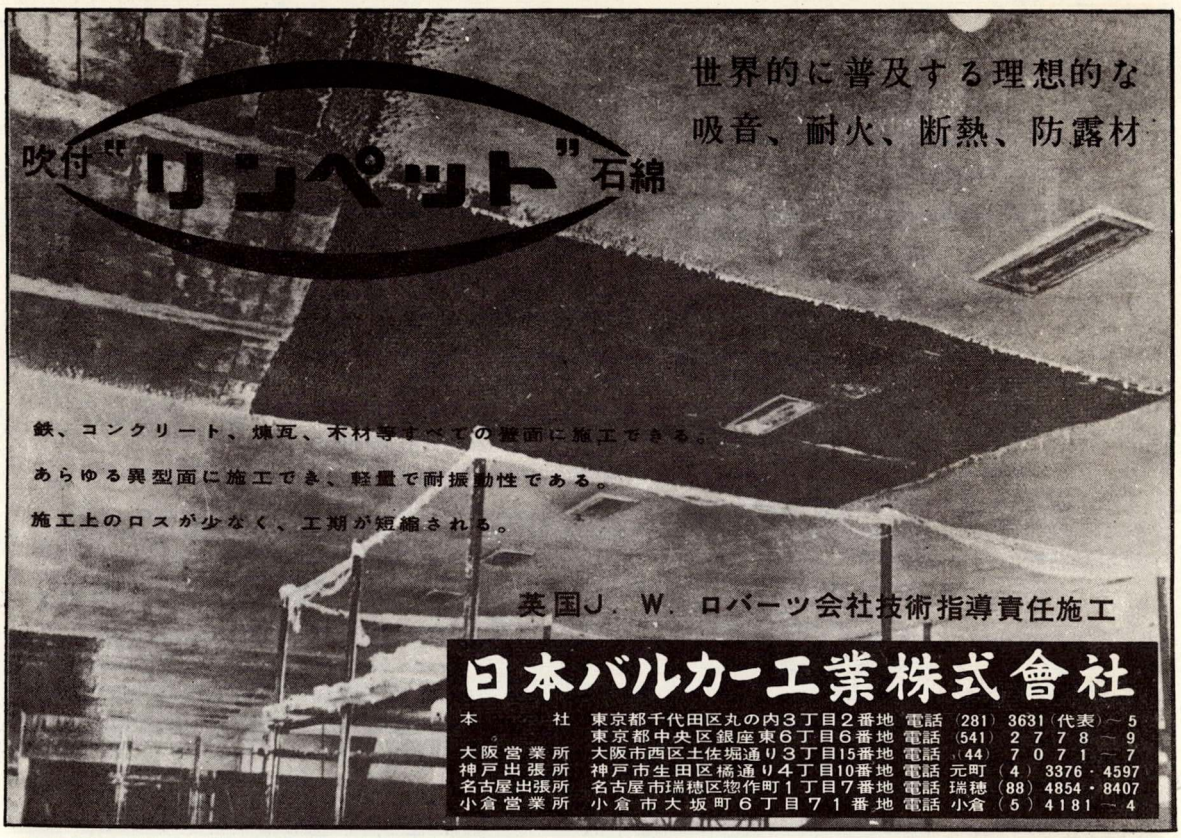
・近代的な趣味の壁材 → **いすゞかべ**

新いすゞかべ ←・吹付のできる京砂壁材

・繊維の色土…… → **大和壁**

近代的上塗壁材
繊維塗料製品

製造発売元 株式会社 **新興建材工業所** ■全国有名建材店にございます
本社 大阪市西局区内四ツ橋 電話 大阪㊹5756～9
営業所 明石市西王子町1丁目39 電話 明石 5852
営業所 福岡市西唐人町1番地 電話 福岡㊼7373



小野田防水ブロック

美しくて、強くて経済的な唯一の化粧目地、仕上用防水ブロック

特許 小野田NN防水剤

透水比も吸水率も低く、耐久的な防水モルタル、防水コンクリートをつくるには唯一不可欠な防水剤

小野田パーライト

粒状・均質・純粋で軽量性・断熱性・耐火性・吸音性の卓れた経済的なパーライト

特許 小野田CXモルタル

耐薬品性・防水性・防滑性・耐震動性・接着力の卓れた特殊弾性（ゴムセメント）モルタル

小野田 パール・フォーム・ボード

小野田パーライトの特性を活かした軽量・断熱・耐火・吸音防湿の諸点が特に卓れた強化気泡コンクリート板

特許 小野田K6セメント

塗装によって人造大理石が簡易にできる特殊着色セメント

小野田ブロック株式会社

本　社・東京都千代田区丸の内1の1　第一鉄鋼ビル
電　話・東京（201）1311・1411内線365～7

御問合せは最寄り工場へ
東京工場　東京都江東区深川豊州1の1
神戸工場　神戸市灘区灘浜町3
名古屋工場　名古屋市港区丸池町1の1

デラックス床材の決定版！



御一報次第係員参上致します

TLモザイク・フローリング
TLモザイク・ブロック

新製品

★**フローリング**はランパーコア合板式で狂いがなく簡単に張る事が出来ます寸法が一定していますから取扱が便利ですその上値段は寄木の½位の格安です
★**ブロック**はタイル式でコンクリートや板の上に接着剤で簡単に安価に豪華な寄木張の床が出来ます。
（各々樹種はなら、さくらがございます）

製造元　天塩川木材工業株式会社
関西総代理店　**太洋木材工業株式会社**
大阪市東区横堀6丁目21　電話　大阪㉕1025・5127

カタログ進呈

古き歴史と斬新な技術を誇る大鉄製品

スチール
アルミ
サッシュ
ドアー
シャッター

営業品目

ステンレス製品
美術金物
金庫 金庫室扉

設計 製作 取付

株式會社

大阪鉄工所

取締役社長　富田豊松

大阪市西区本田町一丁目四四番地　電話 大阪 ㊸ 1254・4615　㊹0910・0919
津守工場　大阪市西成区千本通七丁目二四番地　電話大阪㊻ 1418

アスファルト防水工事

年限仕様の理論と実際

¥400 〒60
建築家に限り２割引

何よりも安心できる
年限仕様

アスタイト防水

防水工事施工に望む

防水工事は建築工事の最も枢要な部門の一つでありその良否は建築物の死命を制すると言っても過言ではない。

外部に見えないと言う理由で或は又その効果が年月を経てはじめて表われると言う理由で不当な競争の結果粗雑な工事に趨り或は一部に防水工事はいくらでも安く出来ると云う概念すらあることは極めて危険であり建築技術の向上を阻害すること甚しいものである。

アスファルト防水工事は今更こと新しく言うまでもなく適切な材料の選択は勿論その施工が最も大切であり、しかもそれは明確な責任を伴うものでなければならない。

建設省阪建22号認可　　出資金 600万円

三星 西日本アスファルト事業協同組合

大阪市西区京町堀１ノ７４　TEL(44) 代表５９５１　夜間管理人室用(44)9910
東京連絡所　東京都千代田区神田岩本町１３（田島応用内）　TEL　(866) 代表６１０１

室内装飾一般

設　計　施　工

家具・窓掛・敷物・造作工事・照明器具・緞帳

船舶・車輛・航空機内部装備一切・ベネッシャンブラインド

髙島屋

装飾部　大阪市南区難波新地 電㊸1101

名古屋出張所　名古屋市中村区笹島町1の221の2 豊田ビル2階 電㊿2481～3

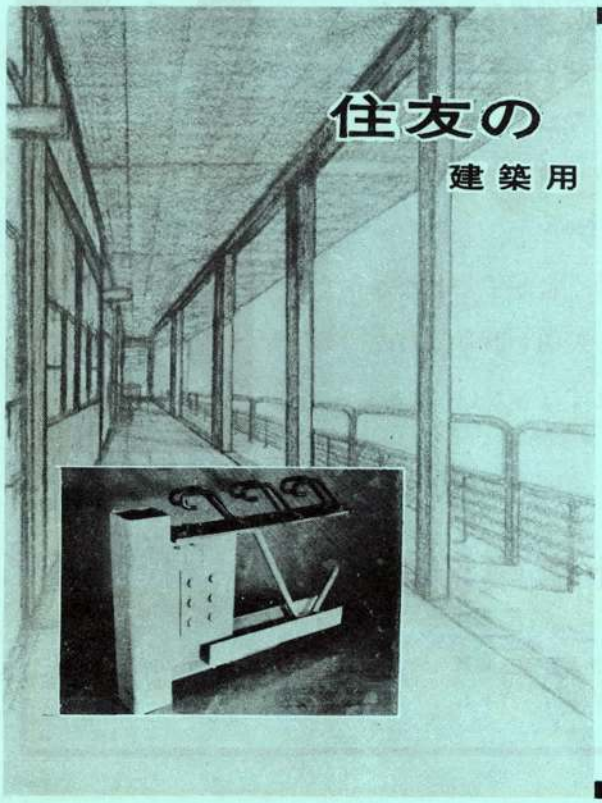
福岡出張所　福岡市上東町16 電福岡②5662～4

小倉出張所　小倉市金田3の155 電小倉⑤1293

長崎出張所　長崎市台場町3の3 長崎県水産会館2階 電長崎②2875

熊本出張所　熊本市練兵町95 電熊本②3854・8075

中国出張所　広島市中町3 電広島②2417～8



住友の 建築用

角形鋼管

角形鋼管は断面性能が著しくすぐれておりますので、形鋼を組み合わせて溶接した角形鋼などにくらべると、溶接の必要がなく、均質で信頼度に富み、軽量で取扱いがたやすくなり、その上経済的であるなど有利な特徴をもっております。

住友金属工業株式会社

本社 大阪市東区瓦町4丁目31 電話(大代表)大阪(202)2201

支社 東京都千代田区丸ノ内1丁目8ノ6(新住友ビル) 電話(大代表)東京(211)2211

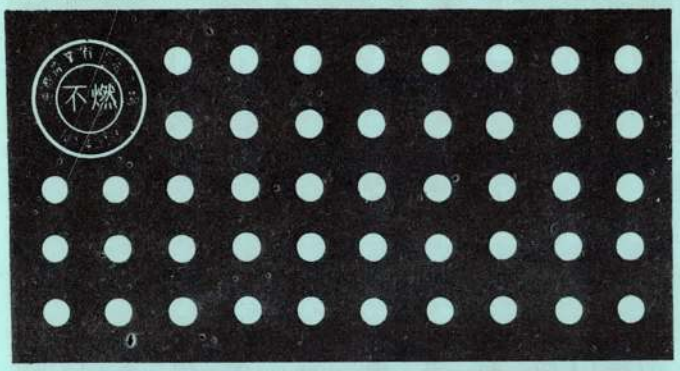
福岡営業所　福岡市天神町58番（天神ビル8階）　電話福岡(75)5190・3582

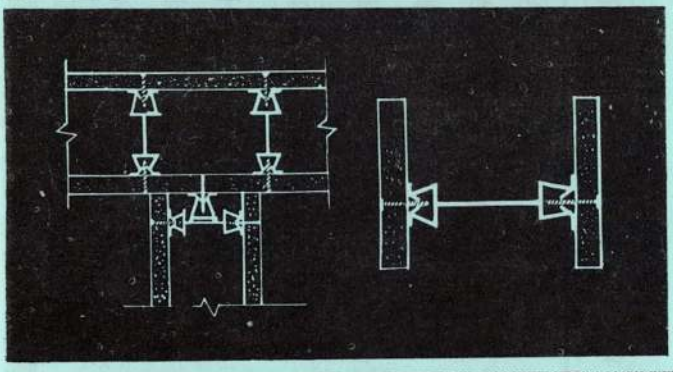
広島営業所　広島市紙屋町8番地（広電ビル内）　電話広島(27)7471・7596

名古屋営業所　名古屋市東区久屋町59(住友商事名古屋ビル)　電話名古屋(971)490・6222

仙台営業所　仙台市東1番町11東1番丁ビル内　電話仙台(3)3501-(5)2643

札幌営業所　札幌市北大通西4丁目6(住友生命札幌ビル内)　電話 札幌(4)0378





ファイアボード

（法定不燃材・軽量石綿耐火板）

完全耐火性
軽量・断熱性・吸音
変形は全くない
木材と同様の加工が出来る
釘打ち・鋸引き・孔あけ等

トムレックス

（吹付石綿・責任施工）

吸音・断熱・結露防止
耐火・耐振動・腐食防止

N.A.K.

日本アスベスト株式会社

本　　社　東京都中央区銀座西6の3　電（572）0321.0331（代）
大阪支店　大阪市南区塩町通4の25　電船場（25）5491～8
名古屋支店　名古屋市中区下前津町117　電　南（32）6591～5
九州支店　福岡市薬院大通り2の81　電福岡（74）1747 2827
札幌出張所　札幌市北三条西2丁目西向　電（2）6472（3）520（5）308

タムラ　最高の品質・新しい建築資材

内装材専門

天井材	パールタイル（アルミ吸音板）・吸音板
	インシュレーションボード・スパンドレル
壁材	ハードボード・高級化粧合板
	パーテイクルボード・コペンハーゲンリブ
床材	フローリング・モザイックパーケット
	アスハルトタイル・リノリューム
防火建材	プラスターボード・木毛セメント板
	フレキシブルシート・石綿板
プラスチック材	ヒッターライト・メラミン・ビニール合板
	樹脂ガラス・エンビリブ・ナミ板
壁下地材	リブラス・ラスボード
	シージングボード・ルーフィング
金属材	ボードサッシュ・レヂスター
	ノンスリップ・コーナービード

創業明治24年
貿易・木材・建材

田村商會 建材部

本　店　神戸市生田区京町七二（クレセントビル）　電話　神戸㊴局0881（代表）
市外専用神戸55
支　店　東京都中央区八重洲一丁目一西河岸橋西詰　電話　東京（271）局6181～2

サッシ・ドアの設計・施工は
伝統と信用のある
下記協会員へ

西日本規格サツシ（株）
大阪市北区神山町26（富国ビル） ㊱6501

朝日建材工業（株）
高松市木太町洲端2169 高松 ③3181

旭サッシ工業（株）
大阪市城東区野江西之町1ノ44 ㉝3561

尼鉄建材（株）
尼崎市西向島町270 ㊵6301

（株）岩住鉄工所
大阪市西淀川区千舟東2ノ31 ㊼5123

栄進鋼業（株）
大阪市城東区野江西之町2—2 ㉝8261

（株）栄進社大阪営業所
大阪市大正区南恩加島1 ㊺7170

大阪機工（株）
大阪市大淀区豊崎西通1ノ4 ㊲0664

大阪建材工業（株）
堺市松屋町1ノ6 (022) ②3323

（株）大阪鉄工所
大阪市西区本田町1ノ44 ㊸1254

大阪理研工業（株）
豊中市大字洲到止359 ㊴0661

加地シヤツター工業（株）
大阪市生野区中川町3ノ15 ㊸1020

川鉄建材工業（株）
神戸市東灘区魚崎町魚崎 (08) ⑧4343

（株）関西鋼業製作所
大阪市城東区野江中之町2ノ5 ㉝5508

（株）建鋼社
広島市中広町1002 広島 ③6616

三機工業（株）大阪支店
大阪市東区高麗橋3—1(東綿ビル) (202) 3071

昭和鋼機（株）大阪支店
大阪市西淀川区佃町3—155 ㊼6051

田中工業株式会社大阪出張所
尼ケ崎市南竹谷町2～89 電話 (40) 6341

（株）高橋サツシュ製作所
新居浜市久保田501—1 新居浜 4053

大建サッシ工業（株）
大阪市東区野江東1—12 ㉝3351

谷山鋼機（株）
大阪市城東区野江東之町2ノ2 ㉝7125

中国理研サツシユ（株）
広島市舟入幸町612ノ1 広島 ③2081

東京鋼板工業（株）大阪支店
大阪市北区絹笠町18（聚嘻ビル） ㊱9154

（株）中本鉄工所
大阪市福島区海老江下2ノ74 ㊺6464

浪速建材工業（株）
大阪市城東区野江中之町1ノ9 ㉝1171

日本建業（株）
大阪市城東区蒲生5—39 ㉝0071

日本建鉄（株）大阪営業所
大阪市北区堂島上2ノ36(毎日産業ビル) ㊱6758

日本スピンドル製造（株）
大阪市東区備後町（綿業会館） ㉓7958

（株）汎建製作所
大阪市此花区恩貴島北之町11 ㊻2903

不二サツシ工業（株）大阪支店
大阪市西淀川区御幣島中3ノ4 ㊼7651

（株）三高製作所
大阪市東淀川区西中島町7ノ69 (301) 0737

理研鋼機（株）大阪営業所
大阪市北区宗是町1（大阪ビル） ㊹8621

六甲工業（株）
大阪市西成区旭北通2—2 ㊸2921

社団法人
日本サッシ協会関西支部
大阪市北区神山町26（富国信用ビル）(36) 6501

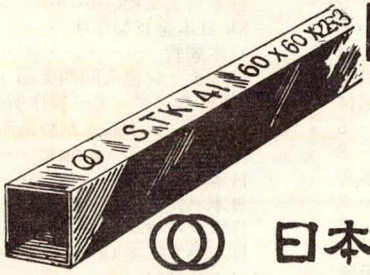
広告目次 (50音順)

ア アサヒカラコン……17
浅海電気kk……4
kk朝日工業社……3
朝日石綿工業……表4
伊奈製陶kk……中挟
井田商事kk……5
kk岩住鉄工所……中挟
岩元工業kk……20
宇部スレート工業kk……本文
kk栄興商会……3
栄進鋼業kk……19
オリエンタルメタル製造KK……中挟
大阪建材工業kk……22
大阪コンベス建材社……18
kk大阪城口研究所……2
kk大阪電気暖房商会……2
大阪耐酸工業所……20
大阪鉄工所……10
大島応用化工業kk……1
kk奥村重兵衛商店……本文
奥山化工業kk……21
織本建築事務所……8
小野田ブロック……9
小俣製作所……本文
カ 樫野石灰工業kk……6
桂商会……前付
kk川岸窯業……7
川口ゴム工業kk……前付
亀井kk……19
関西暖房工業kk……17
関西三星タイル会……表4
関西ペイント……前付
協和産業kk……前付
工藤電気kk……4
kk久保商店……1
黒川化学工業所……19
栗原工業kk……4
kk建材社……2
江東電気kk……4
小西儀助商店……22
合同特許建材工業kk……5
kk金剛商会……7
サ 斎久工業kk……2
kk斎藤省三商店……2
「材料と設計」……本文
三栄建材……17
三機工業kk……2
kk三幸商会……6
kk三晃商会……2
kk三興社……5
三宝電機kk……4
三和シヤッターkk……前付
敷島金物kk……前付
新鋼建設工業kk……6
kk新興建材工業所……8
新日本電気……本文
須賀工業kk……2
鈴木シヤタア商会……5
住友金属工業kk……12
世界長ゴム……中挟
タ 田島応用化工kk……表2
田中工業kk……1
kk田中風呂製作所……19
田辺工業kk……本文
田村商会建材部……13
高島屋……12
谷山製作所……本文
第一企業kk……3
第一工業kk……3
大嘉熱工業kk……3
大日本硝子工業kk……20
太洋木材工業kk……10
大仏組……7
高砂熱学工業kk……3
kk武智工務所……本文
淡陶kk……挟込
中央電気工業kk……4
朝陽電気kk……4
東京鋼板工業kk……6
東洋キヤリア工業kk……3
東洋シャッター……前付
東洋陶器kk……前付
東洋リノリュームkk……前付
東洋レーヨンkk……前付
ナ ナニワ瓦kk……7
内外工業kk……18
内外建材kk……16
内外写真……5
中本電気kk……4
浪速合板……6
浪速建材工業kk……21
日共冷熱機材kk……前付
日本アスベストkk……13
日本アスファルト防水工業会関西事務所……前付
日本エレベータ……5
日本管工業kk……3
kk日本金具製作所……前付
日本鋼管……前付
日本サッシ協会関西支部……14
kk日本シヤッター製作所…表3
日本セメント防水剤製造所…表3
日本ドアーチエツク製造KK……中挟
日本パイプ……16
日本バルカー……9
日本レイヨン……前付
日本熱学工業kk……3
日東紡績kk……前付
日曹マスタービルダーズ……16
日米ブラインド工業kk……前付
日瀝化学工業kk……前付
西日本アスファルト事業協同組合……11
kk西原衛生工業所……2
ハ kk林塗装店……5
kk平川鉄工所……前付
平田タイル……20
フタバ黒板……19
二葉屋装備工業kk……6
福屋工業kk……5
藤本鋳造鉄工所……前付
藤森建材kk……前付
平和工業kk……19
マ 前田白蟻……挟込
水島商店……18
水谷ペイントkk……本文
kk三高製作所……17
三井金属工業kk……前付
三菱レイヨン……本文
kk室谷商店……7
森井電業kk……4
ヤ 山田工業kk……2
八幡製鉄……前付
kkヤマト電気商会……4
八千代電設工業kk……5
kk山本建材社……前付
山本窯業……本文
kk油脂化工社……表3
kk吉田芳雄商店……7
吉野石膏kk……7
kk寄木商会……17
ラ 理研鋼機kk……3

特別広告 (順不同)

清水建設kk……1
松下電器産業kk……2・3
kk大林組……4
そごう大阪店家具装飾部……5・25
有田タイルkk……6・17
kk柏商会……6
kk鈴木シャタア商会……6
日本軽金属kk大阪事務所……7
日軽アルミニウム工業kk大阪営業所…7
kk大阪アルミニューム製作所大阪営業所…7
日本板硝子kk……8
kk平田タイル……8
ゲルカ工業kk……8・23
kk久保商店……8
kk中村塗装店大阪出張所……9
日本触媒化学工業kk……9
上田消防建設kk……10
石産商事kk……11
大洋商事kk……11
kk満点製作所……11
kk上野製作所……11
大阪鋼材kk……11
日本エヤーブレーキkk……12
日東紡績kk……12
理研鋼機kk大阪営業所……13
亀井kk……13
kk矢橋大理石商店……13・19・23
須賀工業kk……14
kk春本鉄工所……14
奥村重兵衛商店……14
近畿電気工事kk……15
日本瀝青工業kk大阪支店……15
磐城セメントkk……15
樫山耐火営業所……15
kk高島屋……15・20・24
鹿島建設kk……16
不二サッシ工業kk……17
和歌山スレートブロック製造kk大阪営業所…17
内外工業kk……17
田島応用化工kk……18
内外木材工業kk……19
岡田装飾金物kk……19
本田工業kk……19
建装工業kk大阪支店……20
日本装建工業kk……20
旭硝子kk……20
戸田組……21
日本スピンドン製造kk金属成型事業部 22
神戸材料kk……22
日本板硝子kk……23
井上窯業kk……23
岡田石材工業kk大阪営業所……23
八千代電設工業kk……24
河南電気機械kk……24
大阪電気商会大阪暖房商会……25
関西石材kk……26
東芝鋼管kk……26
竹林塗装工業kk……26

仮枠工事用
バタ材の決定版！



日本パイプの角形鋼管

従来の木材・軽量形鋼などのバタ材に比べると次の利点があります

- 半永久的に反覆使用出来ますので経済的であります
- クローズセクション（完全閉鎖断面）を有するので変形しません。
- コンクリート工事の精度を保ちます。

日本パイプ製造株式會社
東京・大阪

内外式電動
ベンチレーター

電気扇付　屋上強制換気装置

建築基準法にフリーパスのガラス屋根

内外式スカイライト
工場・プラットホーム・
体育館・アーケードに最適

内外式
コンチニアスベンチレーター
筒型各種ベンチレーター
設計　施工

内外建材株式会社
旧名（株）内外土木建材社

大阪市西区土佐堀船町23（大阪商工ビル）TEL（44）3983
工場　大阪市城東区天王田町1の141　TEL（98）1149

NISSO MASTER BUILDERS

最良のコンクリートを保証する……

ポゾリス
セメント分散剤

各地の工事現場でポゾリスはより良き
コンクリートの為に使用されています。
高度の各種製品とともに、テクニカル
サービスの御用命をお待ちいたします。

コンクリート表面
耐磨耗剤
マスタープレート

コンクリート表面
カラー耐磨耗剤
カラクロン

モルタル
無収縮、注入剤
エムベコ

コンクリート・モルタル
防水　撥水剤
ステアロリス

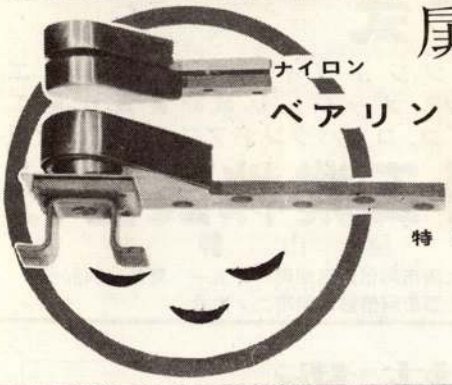
コンクリートゼロスランフ
ウオカビリチイ増進剤
ルブリリス

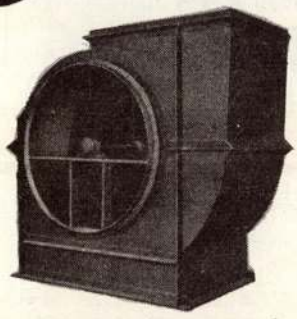
其他諸製品

日曹マスターピルダーズ株式会社

本　社	東京都千代田区大手町2の4（新大手町ビル）電話(211)2781—5
大阪出張所	大阪市東区北浜3の7（広銀ビル）電話(202)3294—6
名古屋出張所	名古屋市中区新栄町1の6（朝日生命館内）電話(24)9273
福岡出張所	福岡市天神町9（西日本ビル内）電話(5)7471
仙台出張所	仙台市東一番丁11（東一ビル内）電話(3)8516
札幌出張所	札幌市北三条西2丁目（桑沢商店内）電話(5)7171
二本木出張所	新潟県中頸城郡中郷村（日曹二本木工場内）電話（中郷）51
高岡出張所	富山県高岡市向野本町（日曹高岡工場内）電話（高岡）2001

三高式 サッシュ.ドアー.シャッター
オペレーター
ドアーハンガー
TRADE MARK
M.T.K.S
株式会社 三高製作所
本社工場 大阪市東淀川区西中島町7－69
電 話 大 阪 301－0737(代 表)


扉 555 !
ナイロン
ベアリングで扉の開閉が軽快
ピボットヒンヂ
特 徴 ◘ボンデライジングに依る完全防錆加工品
◘回転軸部にナイロンベアリングを採用した耐久品
三栄建材工業株式会社
大阪市生野区巽矢柄町一五一番地
大 阪 (74) 4655 ・ 0189 (716) 0188 番

KANDAN
煖冷房温湿度調整
設計 施工

各種送排風機
設計 製作
関西煖房工業株式会社
本 社 大阪市住吉区万代東6丁目3番地
電 話 大 阪 67－6751(代表) ～4・1590
堺工場 堺市浜寺石津町中二丁目二四〇番地
電 話 堺 ① 1213 ③ 1322
出張所 福 岡 徳 島

寄木貼床板
フローリング 施工請負
ブロック
ベニヤフラッシュドアー 造作取付
グラインダー床削
株式会社 寄木商会
営業所 大阪市東区横堀6—49
電 話 ㉕3731・3960
工 場 大阪市浪速区勘助町1

減らず・滑らず・美しい
モルタル打と同時仕上る 美装床材

カラー・コンク

超硬骨材に顔料、薬品等を配合した粉末剤でその儘水練り、金鏝仕上げの為特に技術を要せず、色ムラ、ノ口汚れ等の缺点がない耐磨耗性特に強大、表面滑らかで美しく清潔、耐水性に富み価格低廉であります。（坪当り材料代¥ 950）仕上り厚さ約2㎜程度
学校、工場、病院、事務所、商店、ガレーヂ、ガソリンスタンド、住宅の玄関、流し、浴室等に最適であります。

製造発売元
アサヒカラコン株式会社
大阪市此花区四貫島旭町1−3 TEL(46)3594
工 場 大阪市此花区四貫島旭町1

責任施工
アスファルト防水工事
セメント防水工事
アスファルトモルタル床舗装工事
耐酸アスファルト
モルタル工事

N.G.C式

N.G.インシュライト工事責任施工
メタリヤンメッシュD.M38番責任施工
米国パブコ.コンパウンドアスファルト販売

内外工業株式会社

脇 山 静 夫
本社 大阪市阿倍野区旭町一ノ五一 電話㊸3434〜6
工場 大阪市阿倍野区旭町二ノ六六

N.G.インシュライト断熱材製造発売元

経験と㊥技術

Y.C.コンベス（リグノイド）

ゴムタイル
プラスチックラブ
スポンヂシート
アスファルトタイル

大阪コンベス建材社

大阪市北区浪花町三五 電話 豊崎㊲6760・7063

MIZUSHIMA

おそうじ百貨ミヅシマ

'61年型ミヅシママット

ユービマット
ラインマット
マジックラインマット
ニューラインマット
ビニールマット

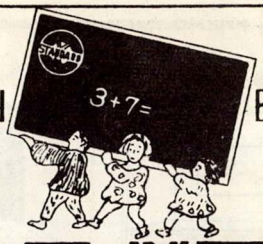


常にトップデザインのミヅシママット

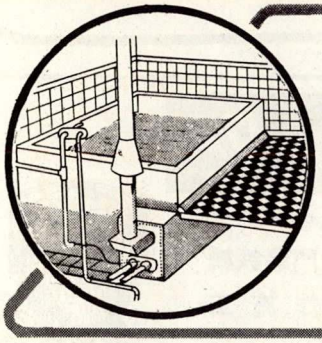
株式会社
水島商店

大阪	大阪市西区北堀江上通り一丁目	TEL(53)3514・8246
京都	京都市中京区蛸薬師通り烏丸西入	THE(22)5363・0214
福岡	福岡市下村馬小路一二八の四	TEL (3) 2706
工場	京都市右京区西院松井町八	TEL (84) 1697
展示場	大阪市西区北堀江上通り一丁目	TEL (53) 9347

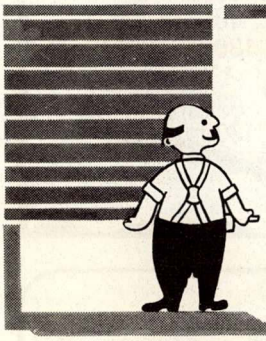
標準セメント防水材・特許ニッポン
特許ニッポン防水液 ・ 急結液一号（噴水急止）
二号（湧水防止） ・ 姉妹品粉末ニッポン
施工指導並ニ責任模範施工
黒川化学工業所
（国立大阪工業試験所創製）セメント防水材特許権実施工場
（大阪営業所）北区芝田町六八　電話大阪㉞7916
（本社・工場）神戸市灘区住吉町反高林1876・
神戸⑧2723



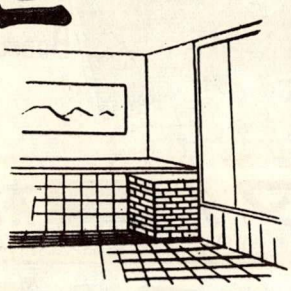
Standard Board & Slate
フタバ黒板
大阪市東住吉区桑津町三丁目101番地　電話天王寺(74)4692番


田中のガス風呂
清
各種銅鉄風呂釜一式
箱風呂・ボイラー・
ガス風呂
大阪ガス会社指定
田中風呂製作所
大阪市浪速区元町1丁目742　但シ賑橋電停前　電話㊹5313・8128

窓掛、緞帳、日際、壁紙 室内装飾 絨氈、舗床材一般
東洋リノリユームの 東リカーペット 発売元
亀井株式会社
大阪市東区南久宝寺町四丁目（心斎橋筋）
電話 大阪（25）1353（代）


平和式
親切・丁寧
ご御照会
軽量シャッター
平和工業株式会社
大阪工場　大阪市浪速区河原町2丁目 電(64)5750・8444
東京工場　東京都太田区糀谷町4丁目 電(741)0160・1733

鋼製建具
製作・販売
栄進鋼業株式会社
大阪市城東区野江西之町2—2　電話 城東 ㉝ 8261～3番
支店・福岡　営業所・広島・長崎



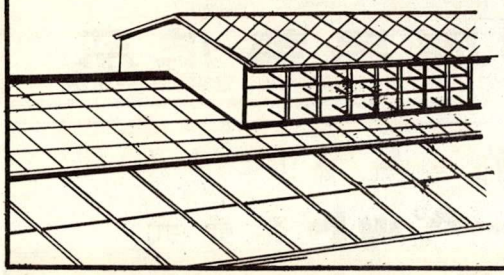
タイル・衛生陶器

株式會社

平田タイル

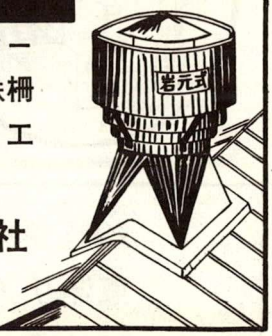
岩元式

スカイライト 並 固定筒型 コンチニアス ベンチレーター



サッシュ、ドアー、シャッター
伸縮扉、オペレーター、門扉鉄柵
其他金物一式製作施工

カタログ進呈



岩元工業株式会社

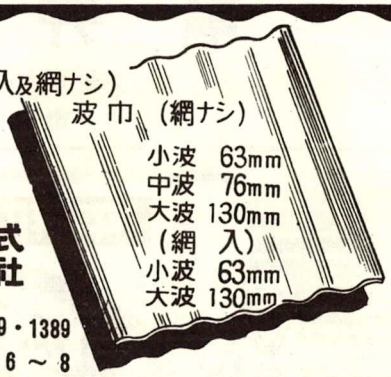
本社 大阪市東成区東今里町4の40
電話 ㊽0616～0618

光り 波型ガラス

（網入及網ナシ）

ダイニチライト

ポリエステル樹脂
硝子繊維強化板



製造元 大日本硝子工業株式会社

大阪支店 大阪市北区玉江町2—4（三菱倉庫ビル）電話 大阪 ㊹3389・1389
本 社 東京都中央区京橋3—6 電話(281)6926～8

冷蔵庫防熱工事
耐酸モルタル工事

アスファルト専門工事

アスファルト防水工事
アスファルトタイル工事
各種床工事

大阪耐酸工業所

大阪市北区浮田町82番地 電話大阪㊲1333番

COPPER-BOSUITAI
OAM
TRADE・MARK

● 黄綬褒章受賞

陸屋根防水には

特許 絶縁工法を

カッパー防水帯

コーパータイト

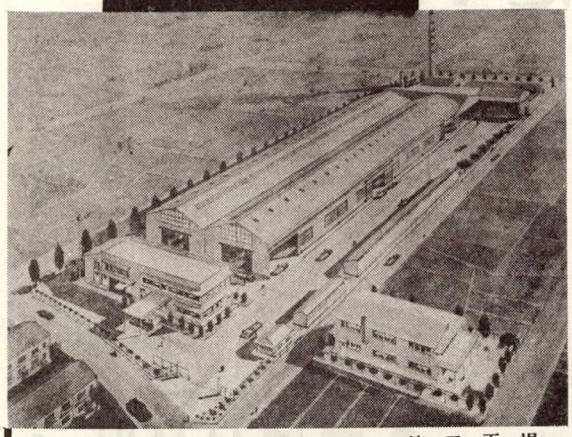
特許 奥山式熱工法・冷工法綜合防水層

奥山化工業株式會社

東京都中央区銀座西8の3
TEL 銀座(571) 2703～4・2370・4064・0264

● 御申越次第カタログ進呈

NK



第二工場

浪建式

アルミサッシュ・ドアー
スチールサッシュ・ドアー
シャッター・オペレーター
パーカライジングの処理工場完成
— 製造販売 —

NANIWA
大正十四年
創業

浪速建材工業株式会社

本社・工場・大阪市城東区野江中之町一丁目九番地 電話 大阪㉝1171～3番
第二工場・大阪市城東区茨田横堤町四一番地 電話大阪㉝6153・6824番
東京営業所・東京都中央区銀座東六丁目木挽館ビル六号館 607号室 電話 東京(541)4611番
福岡営業所・福岡市天神町三番地(サンビル内) 電話 福岡 ④ 8462番
出張所・大分市栄町下市三一七番地 電話 大分 1366番

日満ゴムタイル
全国總代理店
責任施工

建築用の接着剤には

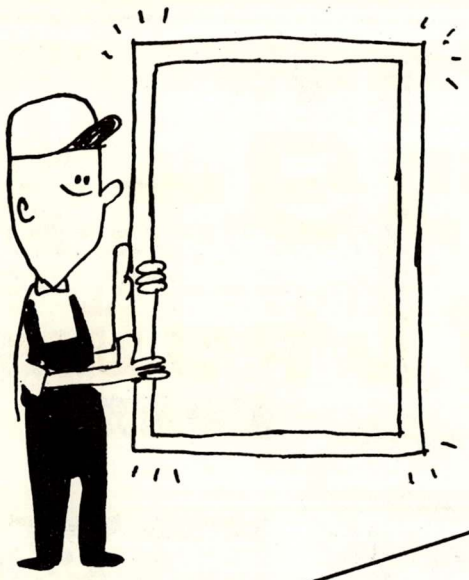
Bond ボンド

木工用	ボンド CH_2	ハードボード用	ボンド CV_{2000}	
テックスボード用	ボンド K	化粧板用	ボンド G_5	
セメントモルタル補強用	ボンド CZ	ビニタイルサラン用	ボンド G_{100}	その他
コンクリート石材用	ボンド E	木材構造用	ボンド KR	170種

製造元　株式会社 小西儀助商店 ボンド工場

見本カタログ進呈

営業所
大阪市東区道修町2丁目6番地　電話(23)2047, 2057(代表)
東京都中央区日本橋本町3丁目1番地　電話(241) 5524～8,
分室・東京都中央区日本橋本町1丁目7番地　電話(241) 2191～4, 2541
名古屋市西区西菊井通り8丁目21番地　電話(53) 7183～4
工場　大阪・東京



近代建築に....

大建の

アルミサッシ

住友軽金属工業株式会社と提携

■錆びないスチールサッシは

オートメーション焼付塗装ラインに依る

大建の 2重焼付塗装で

■部材で1回、成品で1回

建 大阪建材工業株式会社

本社工場　堺市松屋町1の6　電堺(2)3323～7
大阪営業所　大阪市南区九郎右衛門町21　電(75) 0836～9
名古屋営業所　名古屋市東区東新道町2の7　電名(97)7264

日本建築協会優良證明

セメント増強防水剤

ウォータイトB号

CEMENT WATER-PROOF WOTAITO

株式会社 日本セメント防水剤製造所

本　　社　兵庫県宝塚市高台上の池北28－1　電話　宝塚(079) 2153
大阪事務所　大阪市東区船越町2－31（船越ビル）　電話 ㊾ 2626(直通)
出張所電話　東京（431）0874・名古屋 ㉜ 1331
ウォータイト式防水工事　仙台 ③ 0721・札幌 ⑤ 7171
代行店電話　大三工業 高松②8697 安藤工事　福岡 ③ 5765
豊永建材　広島 ④ 3567

仕様書型録贈呈

紫綬褒章に輝く

責任・施工・請負

JIS 合格モルタルコンクリート用

特許 特マノール防水剤

特許マノール急結剤　特許マノール接着剤

八幡メタルホームKK推奨品

株式会社 油脂化工社　本社 東京都品川区二葉町1－441　電話東京(781) 1715

取締役社長 矢中龍次郎　大阪営業所 大阪市東成区西今里町2－48 電話 ㊼ 4765・0063

防火シャッター

甲種

乙種

パイプシャッター

電動式・手動式・バランス

株式会社 日本シャッター製作所

本社工場　大阪市東淀川区田川通6丁目38番地　電話(大阪)(301)3656～9番
東京工場　川崎市新丸子東3丁目1159番地　電話中原局(047)6325～7番
九州工場　福岡市種田町1268番地　電話 ② 4647番
名古屋支店　名古屋市中区宮出町23番地　電話 中㉔4811番
高松営業所　高松市丸ノ内10番地(井筒ビル内)　電話 ② 4008番
岡山営業所　岡山市内山下30ノ7番地　電話 ③ 7219番
高知営業所　高知市西敷屋町10番地　電話 ② 7349番
神戸連絡事務所　神戸市生田区中山手通3丁目18番地　電話 ② 2650番

（呈カタログ・資料）

代行販売店

中博光商店　札幌市北1条通東1丁目(通川通)　電話 代表(4)0281番
理研興業株式会社　小樽市色内町5ノ45番地　電話(2)0872・2656・7523番
三協建材株式会社　東京都中央区八重洲3ノ1(広瀬ビル2階)電話(271)265～6番
栄進鉄工所　沼津市大岡南小林3400　電話 沼津 955番
佐野鋼材株式会社　清水市江尻竹下町8　電話 (2) 3628・4615番
石本金属株式会社　新潟市古町五番町624　電話(2)3181～5番
福田商店　富山市奥田北町8番地　電話代表8541市外9
歳田金属工業株式会社　広島市研屋町25　電話(4)8271～4番
水見金属株式会社　松江市朝日町駅南口通　電話3224・5452番
三京交易株式会社　福岡市下浜口町23番地　電話 (3) 0144 (2) 4647番
〃 小倉出張所　小倉市博労町722ノ1　電話 (5) 3673番
〃 長崎出張所　長崎市千馬町1ノ9　電話 (2) 0890番
大石産業株式会社　八幡市通町20丁目　電話(6)1195～6番
中村金物株式会社　鹿児島市武町570番地　電話代表6650～3番
〃 熊本支店　熊本市紺屋町1ノ30　電話 (2) 1231・4684番
田中鉄工株式会社　丸亀市城西町142・電話329・1221番
小川建材店　千葉市汐見ケ丘24番地　電話 (2) 0897番
橋本工作所　福島県郡山市北田町16　電話 郡山 2830番

昭和二十四年三月十九日　第三種郵便物認可
昭和三十六年九月二十日印刷　昭和三十六年九月廿五日発行（毎月廿五日発行）

総てのビルに住宅に法定不燃建材を

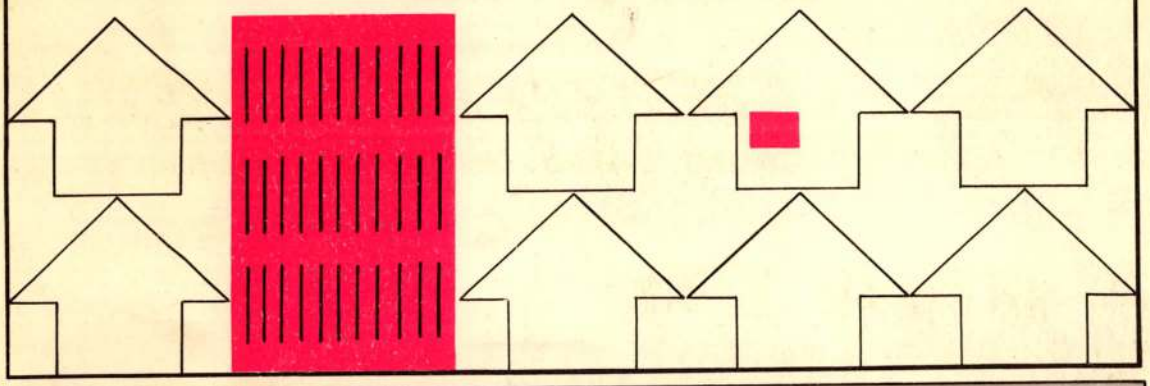
朝日フレキシブルボード
姉妹品　朝日カラーボード

朝日スレート
大波7.5山・小波

吹付石綿 朝日プロベスト

通産省認定 不燃 No.3012

ASK
朝日石綿工業株式会社
大阪営業所　大阪市北区神山町四六　電話 大阪㉞ 7236 代表～9 2095 夜間専用
本　社　東京銀座七
営業所　東京、横浜、名古屋、岡山、新居浜、門司、札幌
工　場　東京、横浜、山梨、名古屋、大阪、岡山、門司、宮城



三星の床材
ソフトンタイル

株式会社　木下謹三商店
大阪市西区江戸堀南通5ノ35
電話 ㊹ 5408・5486

株式会社　久保商店
大阪市北区真砂町5
電話 ㉞ 0207～8・4836～7

三友工業株式会社大阪営業所
大阪市西区南堀江大通1の19　電話 ㊺ 6161～4

合名会社　利倉幸商店
大阪市南区長堀橋筋2ノ20（道頓堀電停前）
電話 ㉕ 0471～2・0371 ㉗ 7604

京都営業所　京都市中京区河原町夷川下ル　電話 ㉓ 3277

和泉産業株式会社
大阪市南区日本橋筋2ノ36
電話 ㊸ 0137 ㊹ 3286

石井建材有限会社
神戸市兵庫区荒田町1
電話 ⑤ 2697・2140

タテバヤシ商店
京都市下京区大宮通四条下ル　電話 ㊹ 4468

岡田建材株式会社
名古屋市西区西菊井町2ノ12
電話 ㊸ 0121・2057

株式会社　名建商会
名古屋市中区宮出町41ノ2
電話 ㉔ 1329・2106・2817

日東物産株式会社
本　社・名古屋中区東瓦町39　電話 ㉔ 6176～9
岐阜出張所・岐阜市竹屋町27　電話 ③ 2201・2360

青盛建材株式会社
本　社・広島市鉄砲町108　電話 ② 2281～4
岡　山・岡山市東田町3　電話 ② 7911・8169
福　岡・福岡市万行寺前町14　電話 ③ 1225～6

関西三星タイル会員

売価　一部　金百五十円（送料共）

御入会の御申込は……
「建築と社会」発行所　社団法人 日本建築協会 大阪市東区北浜3—37　電話大阪㉓ 9648・9649・9640
振替口座 大阪39975番